

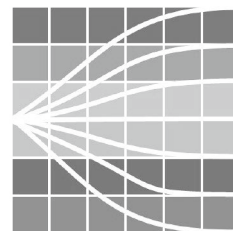


生物多様性地域戦略に関する自治体全国調査 (一次集計)

2017 年 1 月～2 月実施

2018 年 1 月

平成 28 年度戦略的研究開発領域課題 (S-15)
社会・生態システムの統合化による自然資本・生態系サービスの予測評価
ガバナンスワーキンググループ
東京大学総合文化研究科 吉田丈人
慶應義塾大学法学部 大山耕輔
(公財)地球環境戦略研究機関(IGES) 高橋康夫



PREDICTING & ASSESSING
NATURAL CAPITAL &
ECOSYSTEM SERVICES

生物多様性地域戦略に関する自治体全国調査 (一次集計)

2017 年 1 月～2 月実施

2018 年 1 月

平成 28 年度戦略的研究開発領域課題 (S-15)
社会・生態システムの統合化による自然資本・生態系サービスの予測評価
ガバナンスワーキンググループ
東京大学総合文化研究科 吉田丈人
慶應義塾大学法学部 大山耕輔
(公財)地球環境戦略研究機関(IGES) 高橋康夫

東京大学・慶應義塾大学・（公財）地球環境戦略研究機関（IGES）の3機関共同で作成しました「生物多様性地域戦略に関する自治体全国調査」にご協力いただき、ありがとうございました。

「生物多様性地域戦略に関する自治体全国調査」の一次集計結果をここにご報告いたします。

【調査の背景と内容】

平成20年施行の「生物多様性基本法」に伴い「生物多様性の保全と持続可能な利用に関する基本的な計画（生物多様性地域戦略）」を定めることが、都道府県と市区町村の努力義務として規定されています。自然環境は各地域によって千差万別であることから、地域の実情に適した生物多様性地域戦略が求められています。しかし、平成28年現在、生物多様性地域戦略を策定している市区町村は全体の3%程度に留まり、現状では、ほとんどの市区町村では生物多様性地域戦略は策定されていません。そこで、本調査では市区町村における生物多様性地域戦略の策定を進めるため、以下の3点についてお伺いしました。

①生物多様性地域戦略策定の経緯について。（主に慶應大学による質問）

②生物多様性地域戦略の策定にあたっての知見・情報の充実度と活用の程度（主にIGESによる質問）

③地域戦略推進における課題と取組方法、および伝統知・地域知の活用（主に東京大学による質問）

本調査は、環境省・（独）環境再生保全機構による戦略的研究開発領域課題（S-15）「社会・生態システムの統合化による自然資本・生態系サービスの予測評価」の一環として実施され、本調査報告書は<http://pances.net/>にも掲載いたします。

本報告書のお問い合わせ先

〒153-8902 東京都目黒区駒場 3-8-1

東京大学大学院総合文化研究科広域システム科学系吉田丈人研究室

准教授 吉田丈人 特任研究員 小川みふゆ

Tel & Fax: 03-5454-6645 E-mail: toiawase@pances.net

目 次

調査方法	5
調査チーム	5
結果の概要	6
一次集計結果	9
1. 職員の主担当業務	9
2. 職員の担当業務	10
3. 生物多様性地域戦略策定時の職員としての立場	10
4. 生物多様性地域戦略に対する現在の立場	10
5. 市区町村による生物多様性保全活動の意義・必要性	11
6. 生物多様性の保全に関連する取組の優先順位	12
7. 生物多様性地域戦略の策定により期待される効果に関する意見	13
8. 生物多様性地域戦略の策定により強化された取組	26
9. 策定後に新たな取組や既存の取組の強化のために予算がついた取組	26
10. 策定後に新たな取組や既存の取組の強化のためについた予算額	27
11. 生物多様性地域戦略を策定することによる住民の意識の変化	33
12. 地域の社会、経済、くらしに生物多様性地域戦略が役立っているか	34
13. 生物多様性地域戦略策定に至ったきっかけ	35
14. 生物多様性地域戦略の記載内容に対して、大きな影響力があった人や団体	36
15. 生物多様性地域戦略策定に際して、連携した関係部局	38
16. 生物多様性地域戦略策定に際して、連携した行政組織	38
17. 生物多様性地域戦略策定に際して、公式の検討／ 議論の場に参加した人や団体	39
18. 生物多様性地域戦略に書かれた新規の取組数	39
19. 生物多様性地域戦略に、地域にとって重要な 自然のすべて（種・環境・活動拠点）を取組強化として取り上げられたか	40
20. 生物多様性地域戦略策定に際して意識または注目した生態系サービス	41

21. 生物多様性地域戦略策定に際して、 下に挙げる種類の知見や情報が十分にあったか	42
22. 生物多様性地域戦略策定に際して、下の知見や情報を十分に活用したか	47
23. 知見や情報の入手方法の重要度	52
24. 生物多様性地域戦略の実施や改定に向けて、 下の知見や情報を必要としているか	66
25. 社会経済や自然環境の変化の予測結果は、 今後の生物多様性地域戦略の実施や改定に有用であるか	71
26. 生物多様性地域戦略の策定や実施、 改定に求められる知見や情報の入手や活用を進める上での課題	72
27. 生物多様性地域戦略策定における都道府県との連携	80
28. 生物多様性地域戦略の策定委員会の通算開催数	80
29. 策定委員会の他にを行った生物多様性地域戦略策定の打ち合わせや調整の時間	81
30. 策定委員会の他に要した 生物多様性地域戦略策定の打ち合わせや調整の時間負担の印象	81
31. 生物多様性地域戦略策定に関わった担当部局および関係部局の職員の数	82
32. 生物多様性地域戦略策定時の有識者の策定委員への参加	82
33. 策定委員として参加した有識者の専門分野別にみた人数	83
34. 策定委員として参加した有識者の人数	83
35. 策定委員に有識者が含まれていない理由	84
36. 生物多様性戦略策定時の環境コンサルタントの関与	84
37. 生物多様性戦略策定において、環境コンサルタントがどのように関与したか	85
38. 環境コンサルタントに使用した予算	85
39. 生物多様性地域戦略に要した予算のうち、 環境コンサルタントに使用した予算の比率	86
40. 生物多様性地域戦略策定にもとづいて 実際に進めている取組と関連がある生態系サービス	87
41. 生物多様性地域戦略策定による新規団体の設立や既存団体の新たな参加	88

42. 生物多様性地域戦略策定による 新規団体の設立や既存団体の新たな参加団体数	88
43. 生物多様性地域戦略で活用している 世代を超えて受け継がれる自然管理の知恵や技術および自然資源の利用方法	89
44. 世代を超えて受け継がれる自然管理の知恵や技術および 自然資源の利用方法が取組に活用されていない理由	91
45. 世代を超えて受け継がれる自然管理の知恵や技術などを 生物多様性地域戦略の推進に取り入れることについての考え	92
46. 生物多様性地域戦略で活用している地域に特有の 自然管理の知恵や技術および自然資源の利用方法	93
47. 地域に特有の自然管理の知恵や技術および 自然資源の利用方法が取組に活用されていない理由	95
48. 地域に特有の自然管理の知恵や技術および 自然資源の利用方法を生物多様性地域戦略の 推進に取り入れることについての考え	96
49. 生物多様性地域戦略を推進する体制が機能しているか	97
50. 取組の進捗が遅れている要因	101
51. 担当する施策の評価に積極的に取り組んでいるか	104
52. 生物多様性地域戦略の実施に際して重要な役割を担っている人や団体	104
53. 生物多様性地域戦略に基づいた活動として実施している取組	106
54. 生物多様性地域戦略における、 目標の達成状況・評価結果をどのように公表・活用しているか	107
55. 生物多様性地域戦略の改定予定の有無	107
56. 生物多様性地域戦略の改定予定の時期	108
調査票 生物多様性地域戦略策自治体職員編	109
調査票 生物多様性地域戦略策定委員会委員編	139

調査方法

この調査は、東京大学・慶應義塾大学・（公財）地球環境戦略研究機関（IGES）が協力して企画・設計・分析しました。調査の実施にあたっては一般社団法人中央調査に委託しました。

（1）調査期間 1月25日～2月28日

（2）調査対象 生物多様性地域戦略を策定した市区町村の職員の方
生物多様性地域戦略策定委員会委員の方

（3）実施方法 （一社）中央調査社より67市区町村へ調査票を配布し、担当職員の方から該当する職員の方、および策定委員会委員の方へ配布をお願いしました。市区町村で調査票を回収し、（一社）中央調査に送付をお願いしました。

（4）回収状況

自治体数	回収数	自治体職員 配布数	回収数 (回収率)	策定委員会 委員配布数	回収数 (回収率)
67	66 (99%)	435 票	275 票 (63%)	879 票	295 票 (34%)

調査チーム

吉田丈人 小川みふゆ 奥井かおり（東京大学総合文化研究科） 今井葉子（筑波大学）

大山耕輔 小田勇樹（慶應義塾大学法学部政治学科）

高橋康夫（（公財）地球環境戦略研究機関(IGES)）

結果の概要

①生物多様性地域戦略策定の経緯

「生物多様性地域戦略策定に至ったきっかけ」を伺った質問では、「生物多様性基本法で努力義務とされたため」とする回答が最も多く得られました。次いで、「従来から何らかの生物多様性の保全活動に積極的に取り組んでいたため」、「担当部局が生物多様性地域戦略の必要性を強く感じたため」との回答が多い傾向が確認できました。(図13)。

「生物多様性地域戦略策定に際して、公式の検討／議論の場に参加した人や団体」を伺った質問では、「学者・技術者等の専門家」、「環境団体」は、ほとんどの市区町村で戦略の策定過程に参加していることがわかりました(図17)。また、「生物多様性地域戦略の記載内容に対して、大きな影響力があった人や団体」を伺った質問では、「学者・技術者等の専門家」、「貴部局(回答者自身の部局)」、「環境団体」は影響力が大きかったとする自治体が多い傾向にありました(図14)。

そして、「生物多様性地域戦略策定に際して、連携した関係部局」を伺った質問では、生物多様性・環境分野を除くと、多くの市区町村が、「農業」、「教育」などの他部局と連携している傾向が確認されました。その他にも、「都市計画」、「土木・建築」、「林業」、「商業・観光業」などの回答が多く、生物多様性保全に関わる施策は、複数の部局・政策領域と関連していることが表れています(図15)。

②生物多様性地域戦略の策定にあたっての知見・情報の充実度と活用程度

「生き物や生態系の状況」、「自然の恩恵(生態系サービス)」、「生物多様性が損なわれる原因」、「地域の人口統計・推計」、「地域の産業統計・推計」の5項目について、知見や情報の蓄積状況と戦略文書への活用程度について伺った質問では、自治体職員の方の回答と策定委員会委員の方の回答とでは設問間で似たような傾向がみられました。概観すると、知見や情報が比較的充実している(知見や情報が十分にあったかという問いに対して「そう思う」「ある程度そう思う」という回答を合わせた回答数の割合が高い)項目について、地域戦略文書への活用程度が高い(知見や情報を十分に活用したかという問いに対して「そう思う」「ある程度そう思う」という回答を合わせた回答数の割合が高い)傾向がみられました。このうち特に「生き物や生態系の状況」と「地域の人口統計・推計」について、知見や情報の充実の程度と地域戦略文書への活用程度がともに高く、「そう思う」「ある程度そう思う」という回答が多数で、合わせると4

分の3以上の割合を占めています（図2 1—1～2 1—5）。一方、「人口統計・推計」については知見や情報が充実しているという回答が多かったにも関わらず、十分に活用されているとする回答は半数未満でした（図2 2—1～2 2—5）。

地域戦略の策定に必要な知見や情報の入手方法やきっかけについても、自治体職員の方の回答と策定委員会委員の方の回答とで概ね傾向が一致しており、参加型の取組のうち「検討委員会や策定部会など」が「重要であった」「ある程度重要であった」とした回答が特に多く（95%）、「地域の情報・活動拠点の整備」および「他の市区町村や都道府県を含む広域ネットワークへの参加」を除く他の項目については「重要であった」「ある程度重要であった」とした回答が7～8割を占めていました。「地域の情報・活動拠点の整備」が重要であったかについては、自治体職員においては48%が「重要であった」と回答しているのに対し、策定委員会委員においては76%が「重要であった」「ある程度重要であった」と回答しており、委員の方が重要性を高く評価する傾向がみられました。また、「他の市区町村や都道府県を含む広域ネットワークへの参加」については、いずれも「重要であった」「ある程度重要であった」とする回答が半数程度でした（図2 3—1—1～2 3—6—1）。

最後に、地域戦略の策定、実施や改定に求められる知見や情報の入手や活用を進める上での課題については、人材不足（自治体職員83%、策定委員会委員73%）、必要な知見や情報の不足（自治体職員78%、策定委員会委員72%）という回答が特に多くみられました（図2 6—7、2 6—1）。

③生物多様性地域戦略推進における課題と取組方法、および伝統知・地域知の活用

<課題と取組方法>

「生物多様性地域戦略の策定において重視された生態系サービス」について伺った質問では、「農産物」（供給サービス）、「水の調整」や「災害の緩和」（調整サービス）、「教育」、「景観」、「観光・レクリエーション」（文化的サービス）と回答された方が多い傾向がありました（図2 0）。

「生物多様性地域戦略において、地域にとって重要な自然（種・環境・活動拠点）の全てを新規や既存の取組の強化として取り上げられたか」について伺った質問にでは、約80%の方が「すべて取り上げた」あるいは「ある程度取り上げた」と考えていました。一方で、策定委員会委員の11%の方が「あまり取り上げられなかった」と考えていました（図1 9）。

生物多様性地域戦略の策定により「生物多様性の保全」の取組だけでなく、「生物多様性の保全以外の環境」、「教育」、「農業」、「商業・観光業」などの取組が強化され（図 8）、「生物多様性の保全」にある程度の予算がつけました（図 9、図 10—1）。なお、生物多様性地域戦略の策定時には、職員の方が打ち合わせや調整のために多くの残業をされていました（図 29、図 30）。

「生物多様性地域戦略を策定することによって住民の意識が変化したか」について伺った質問では、75%以上の方が「とても大きく変化した」、「大きく変化した」、「ある程度変化した」、「少し変化した」のいずれかを選んでいました（図 11）。

＜伝統知・地域知の活用＞

「世代を超えて受け継がれる自然管理の知恵や技術などを生物多様性地域戦略の推進に取り入れること」についてお伺いした質問では、70%以上の方が「とても必要である」または「ある程度必要である」と回答していました（図 45）。しかし、実際にそれらの知恵や技術を取組に活用しているかについては、「活用していない」という回答も一定数あり（図 43）、その理由に約 40%の方が「情報がなかった」を選んでいました（図 44）。なお、活用している例では「伝統的な作物の栽培」、「伝統的な水田の形態（棚田・縁田など）」、「森づくり、森林伐採、丸太の搬出などにおける伝統的な技術や技法（三角植栽法、あがりこ、台切り、馬搬など）」、「伝統的な草地管理（野焼き、入会地の刈り取りなど）」などがありました（図 43）。

同様に、「地域に特有の自然管理の知恵や技術および自然資源の利用方法」についてお伺いした質問では、70%以上の方が「とても必要である」または「ある程度必要である」と回答していました（図 48）。しかし、実際にそれらの知恵や技術を取組に活用しているかについては、「活用していない」という回答も一定数あり（図 46）、その理由に約 50%の方が「情報がなかった」を選んでいました（図 47）。なお、活用している例には、「地域独自の農産物認証制度にのっとった農業」、「減農薬・無農薬栽培における地域独自のノウハウ」、「モニタリングに基づいた里山やため池の管理」、「コリドーやビオトープの設置における地域独自のノウハウ」などがありました（図 46）。

一次集計結果

<図の見方>

図は、自治体職員の方と策定委員会委員の方の回答をそれぞれ集計して示しています。

図のタイトルは、調査票の質問文を集約して表示しています。質問の番号は、タイトルの次の行の括弧内に記載しています。自治体職員編と策定委員会委員編で質問番号が異なりますが、質問の内容は同じです。質問全文を参照したい場合は、一次集計結果の後（p109 以降）に調査票がありますので、そちらをご覧ください。

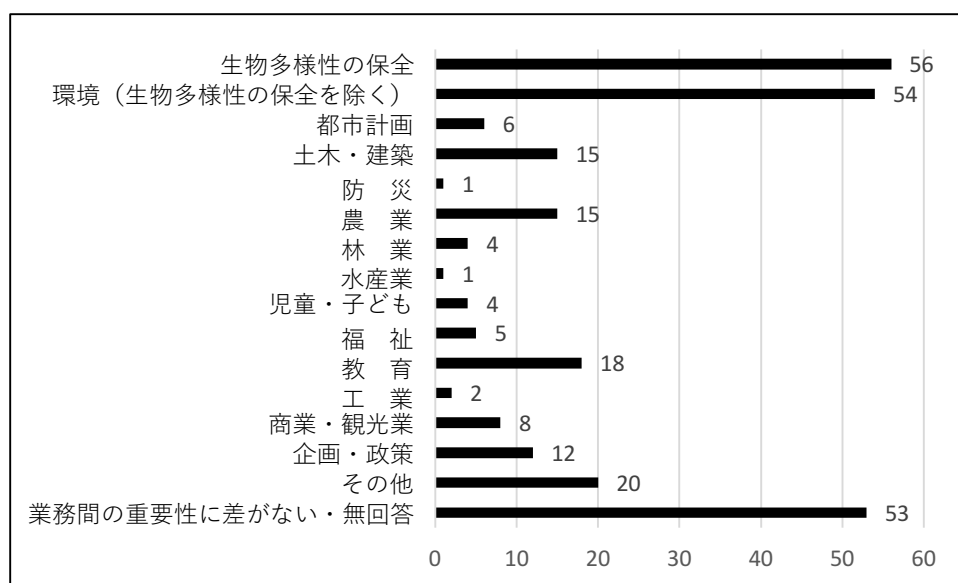
自治体職員編の質問番号が2つ記入されたものがありますが、同じ質問です。同じ質問を担当部局の方と関連部局の方がそれぞれ回答していますが、図では合算して表示しています。

図中の単位の付いていない数字は、ご回答いただいた方の人数を示しています。なお、図は2016年度内にご送付のあった調査票を用いて作成されているため、自治体職員の全回答者数が回収数より1人少ない274人で表示されています。

1. 職員の主担当業務

（自治体職員編：問3）

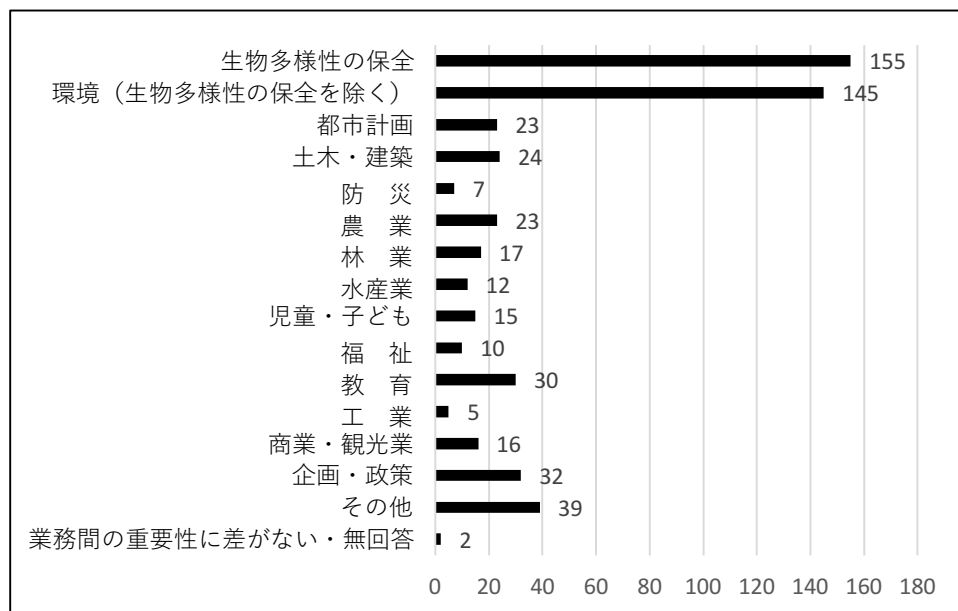
回答者：274人



2. 職員の担当業務

(自治体職員編：問 3)

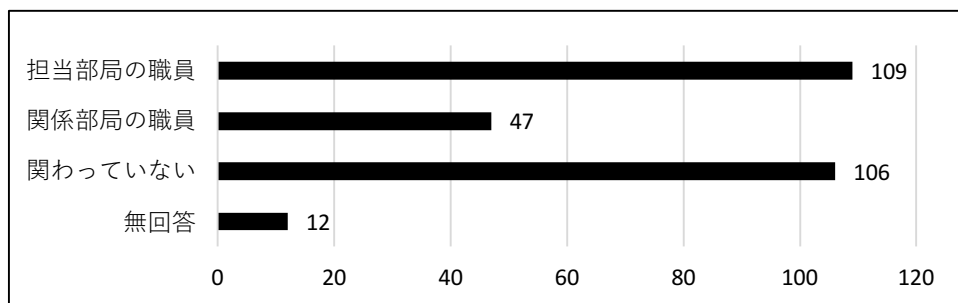
回答者：274 人（複数回答）



3. 生物多様性地域戦略策定時の職員としての立場

(自治体職員編：問 11)

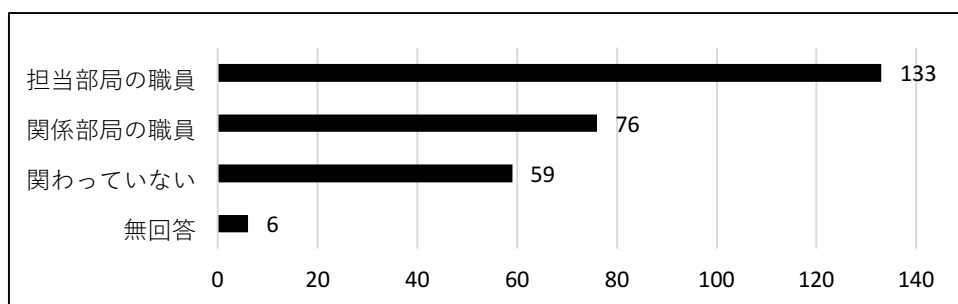
回答者：274 人



4. 生物多様性地域戦略に対する現在の立場

(自治体職員編：問 41)

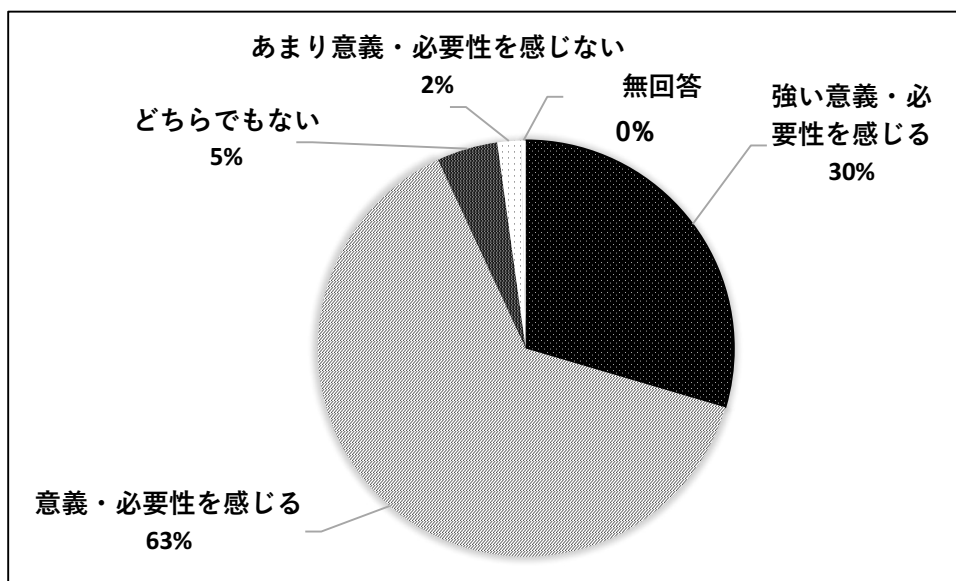
回答者：274 人



5. 市区町村による生物多様性保全活動の意義・必要性

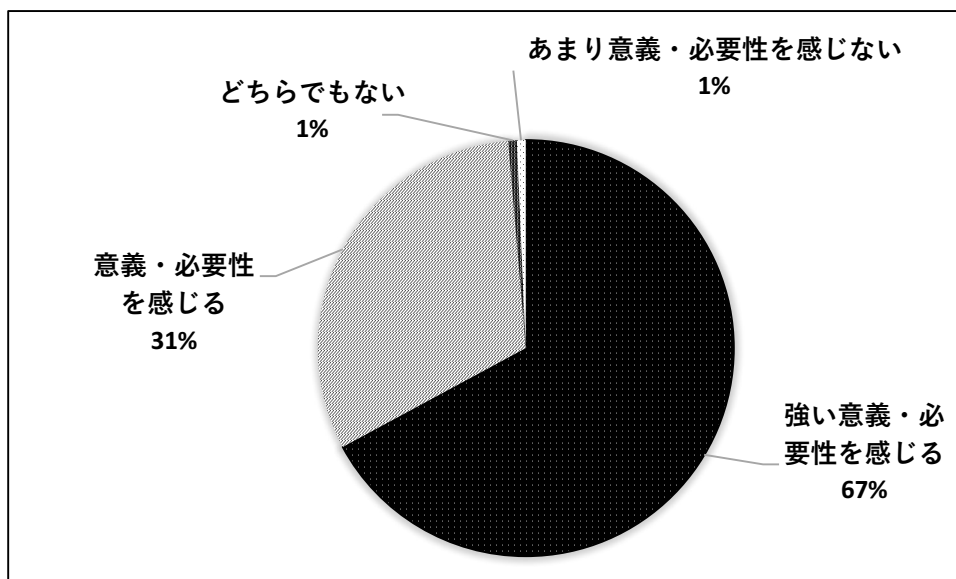
(自治体職員編：問 4)

回答者：274 人



(策定委員会委員編：問 1)

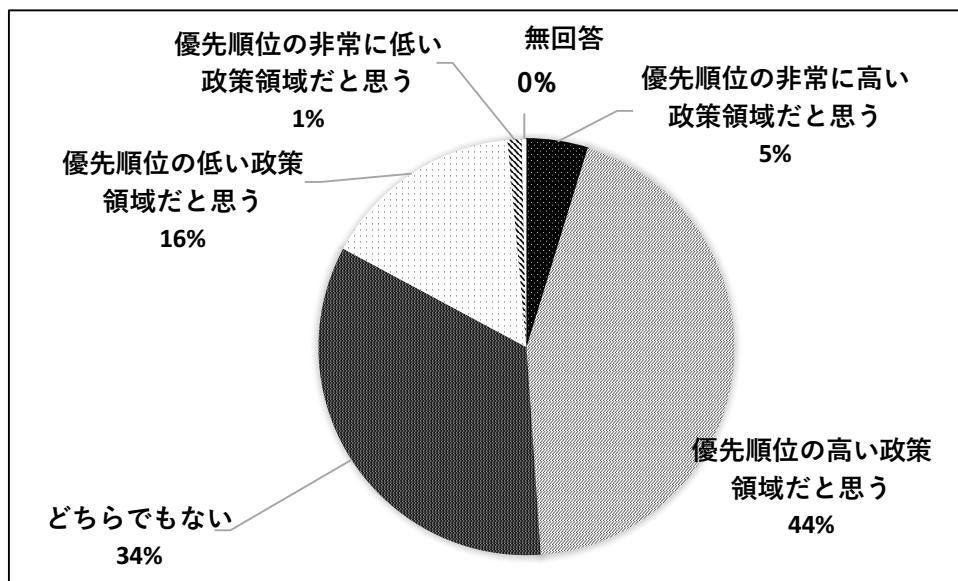
回答者：295 人



6. 生物多様性の保全に関連する取組の優先順位

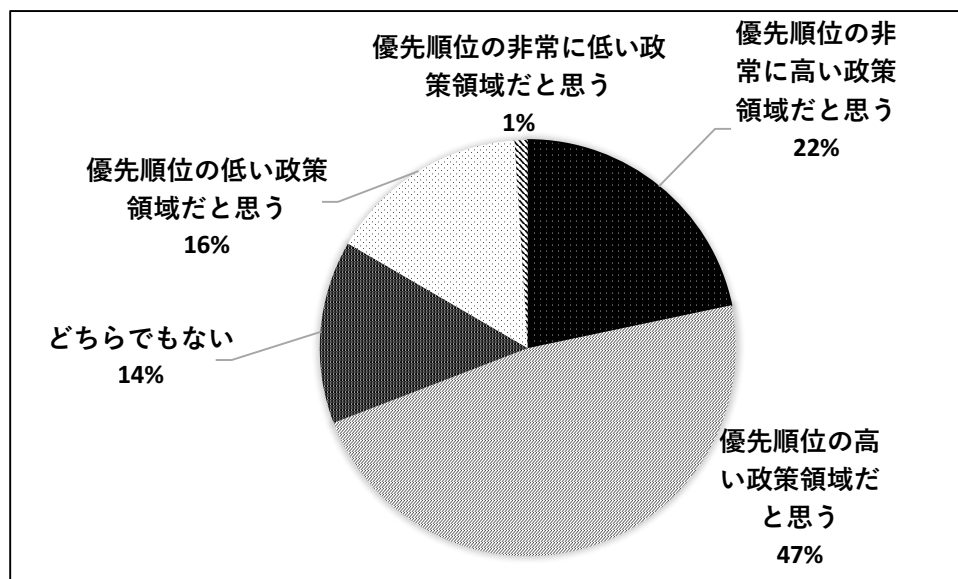
(自治体職員編：問 5)

回答者：274 人



(策定委員会委員編：問 2)

回答者：295 人

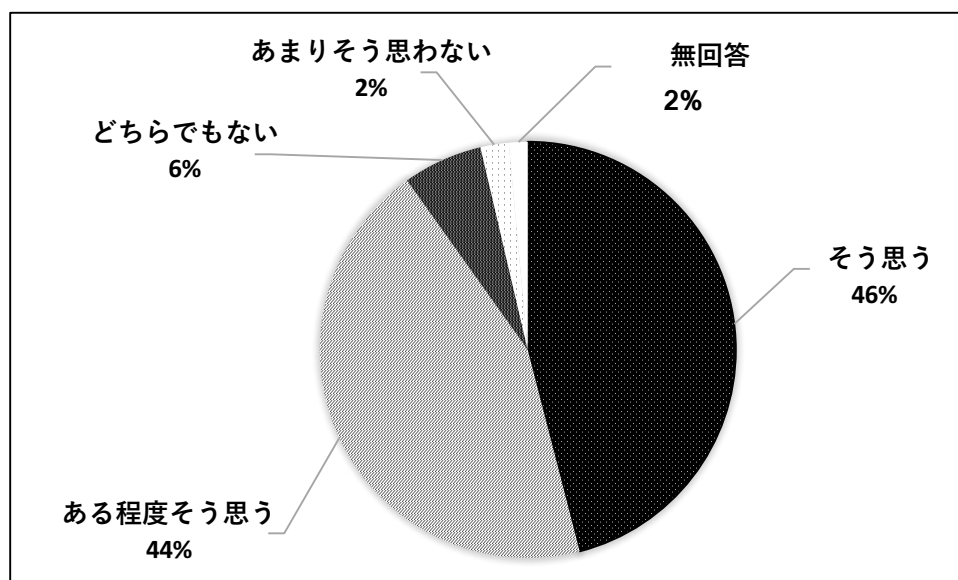


7. 生物多様性地域戦略の策定により期待される効果に関する意見

7—1. 生物多様性の保全に関連する取組を体系化できる

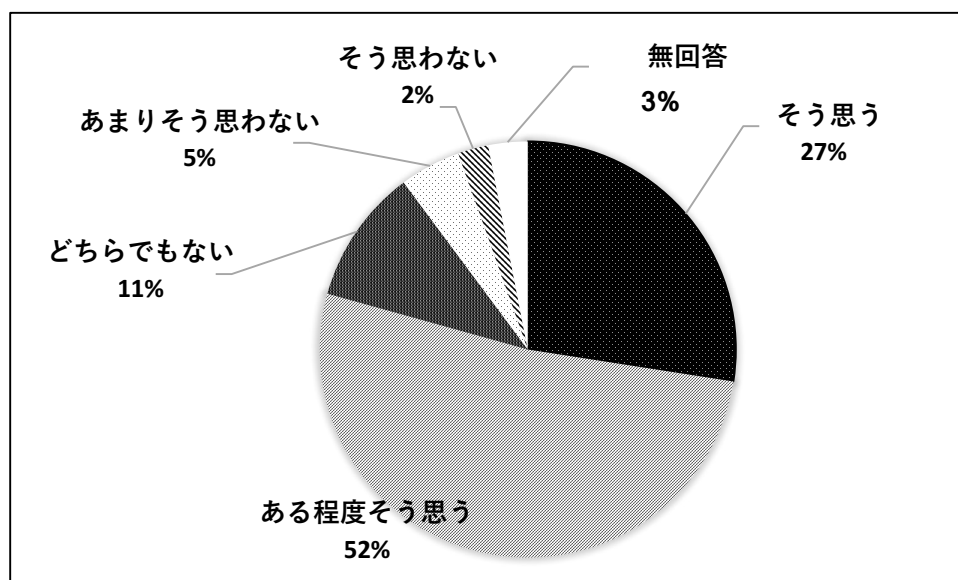
(自治体職員編：問 6 - 1)

回答者：274 人



(策定委員会委員編：問 16 - 1)

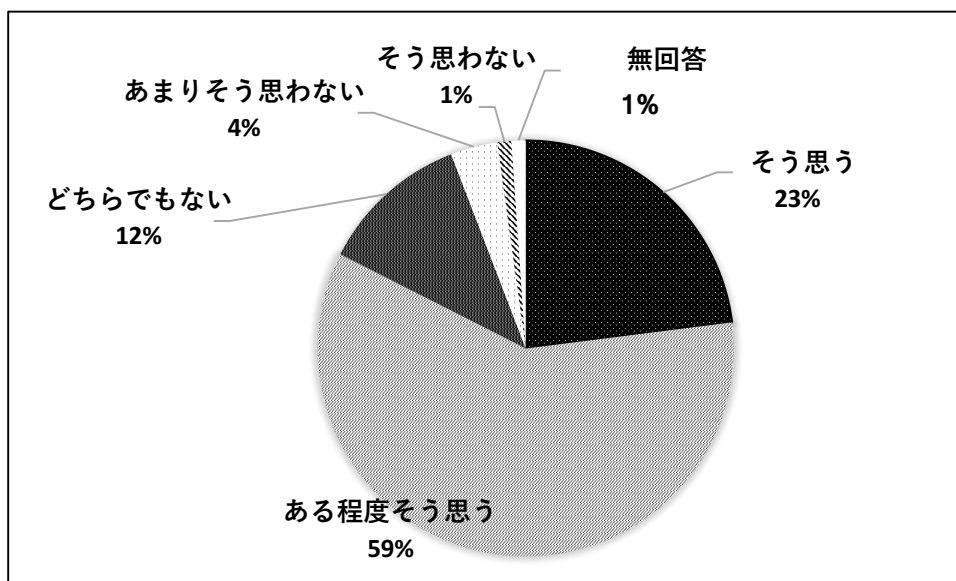
回答者：295 人



7—2. 生物多様性の保全が進展する

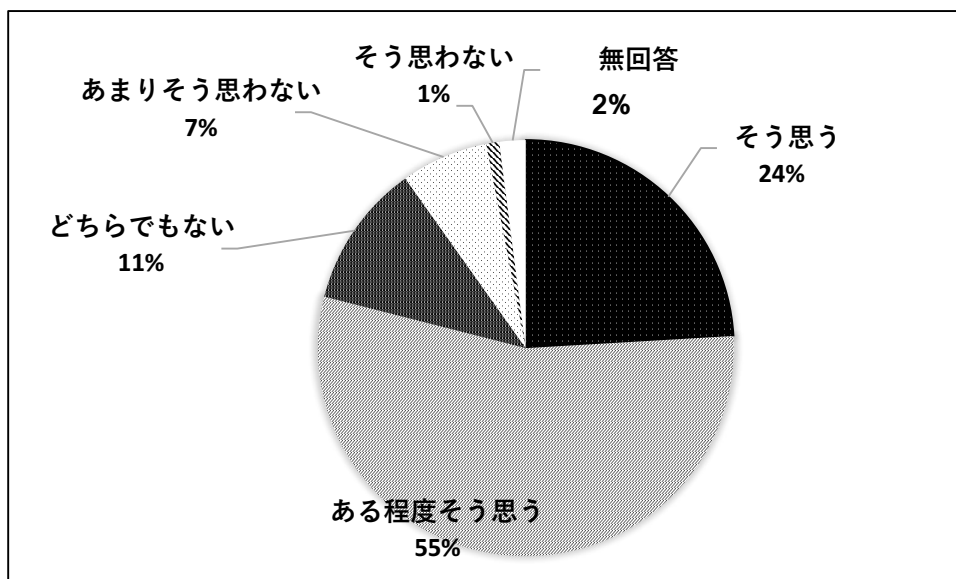
(自治体職員編：問 6 - 2)

回答者：274 人



(策定委員会委員編：問 16 - 2)

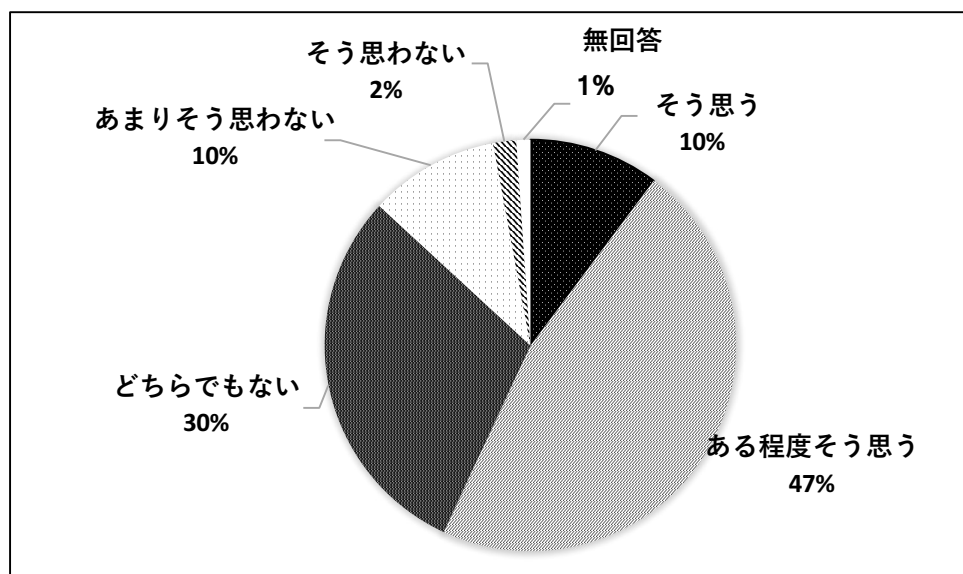
回答者：295 人



7—3. 市区町村・地域ブランドの創造・向上につながる

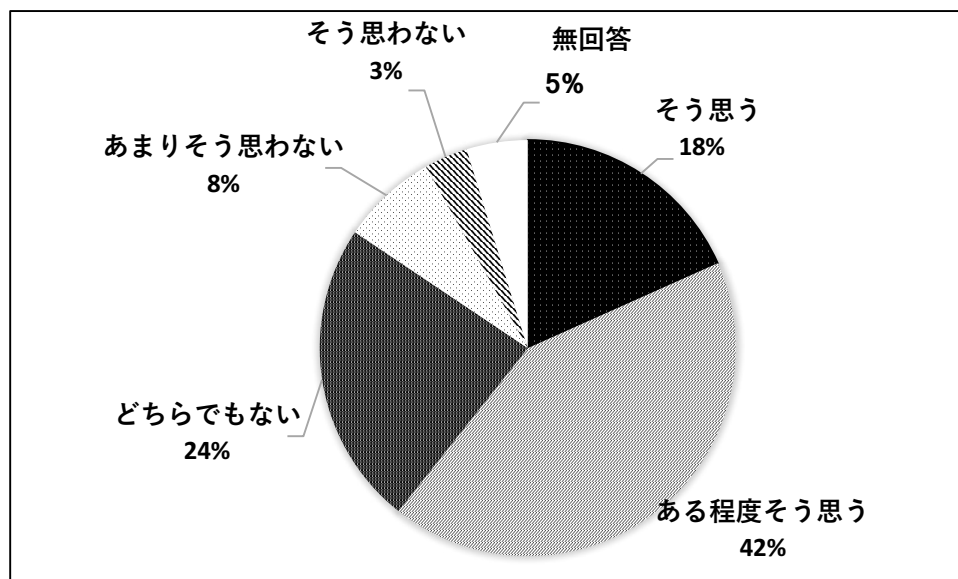
(自治体職員編：問 6 - 3)

回答者：274 人



(策定委員会委員編：問 16 - 3)

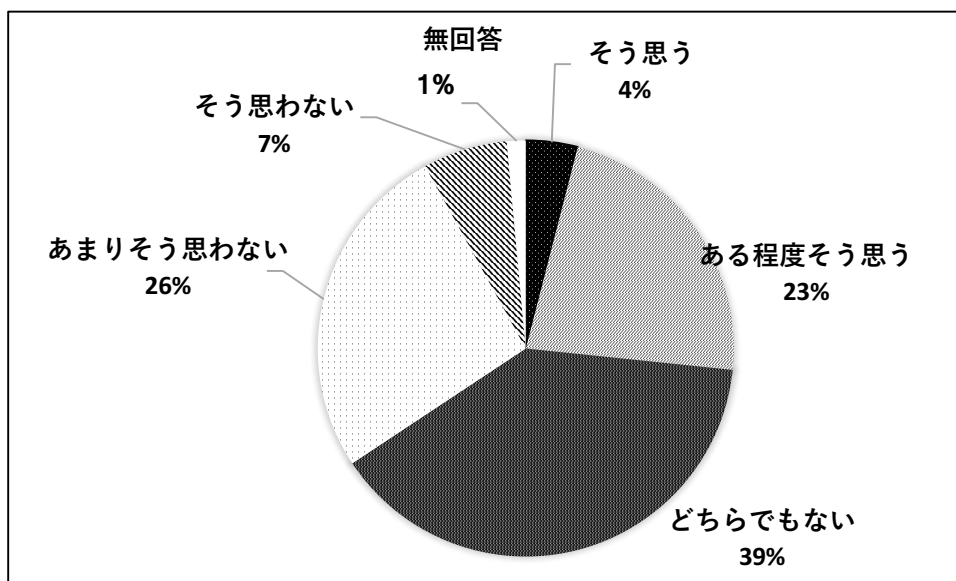
回答者：295 人



7—4. 農林水産業の振興・所得向上につながる

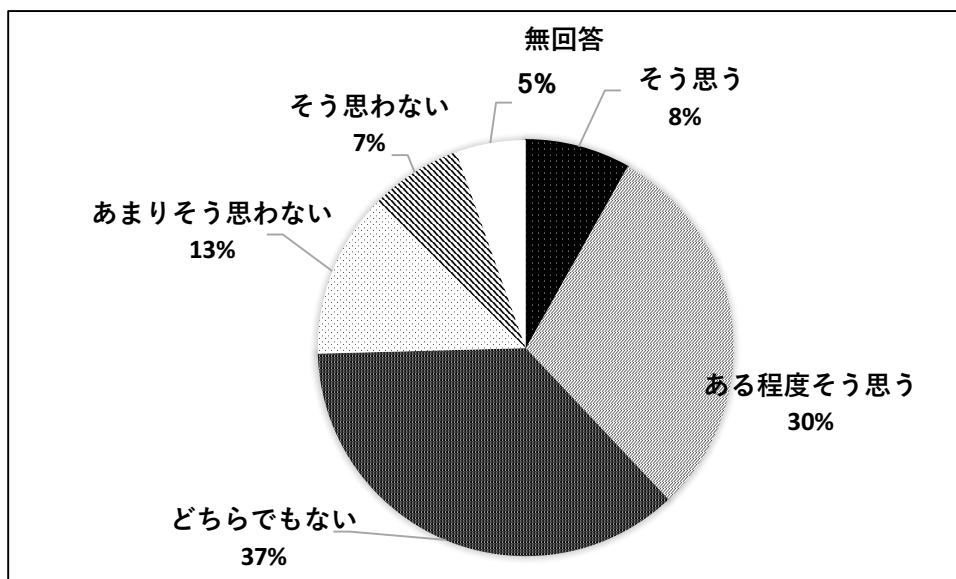
(自治体職員編：問 6 - 4)

回答者：274 人



(策定委員会委員編：問 16 - 4)

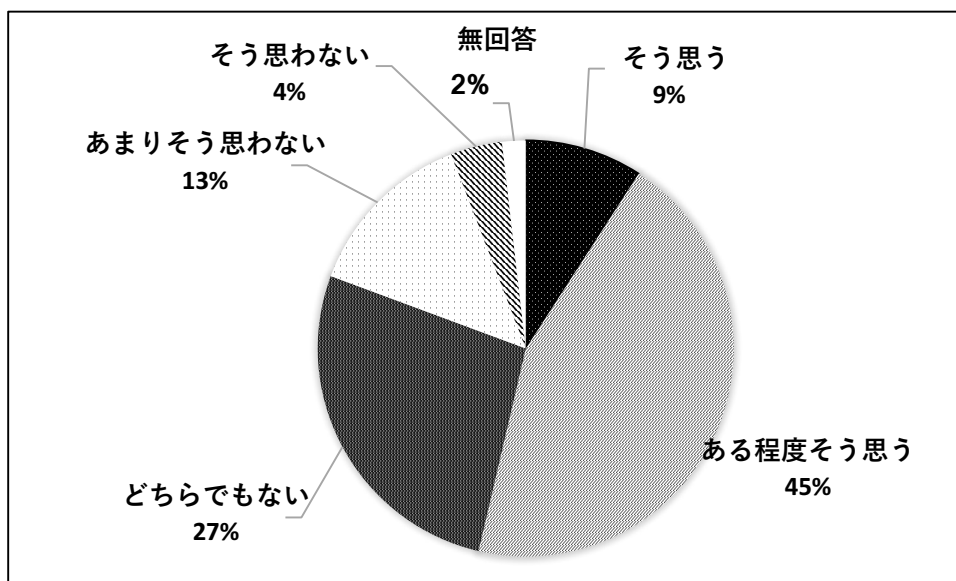
回答者：295 人



7—5. エコツアー等による観光の振興につながる

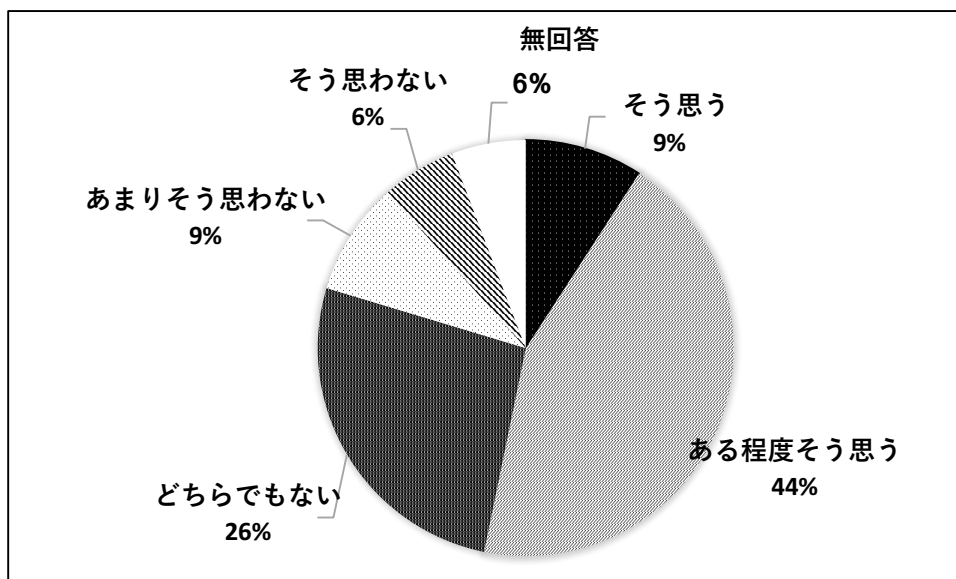
(自治体職員編：問 6－5)

回答者：274 人



(策定委員会委員編：問 16 - 5)

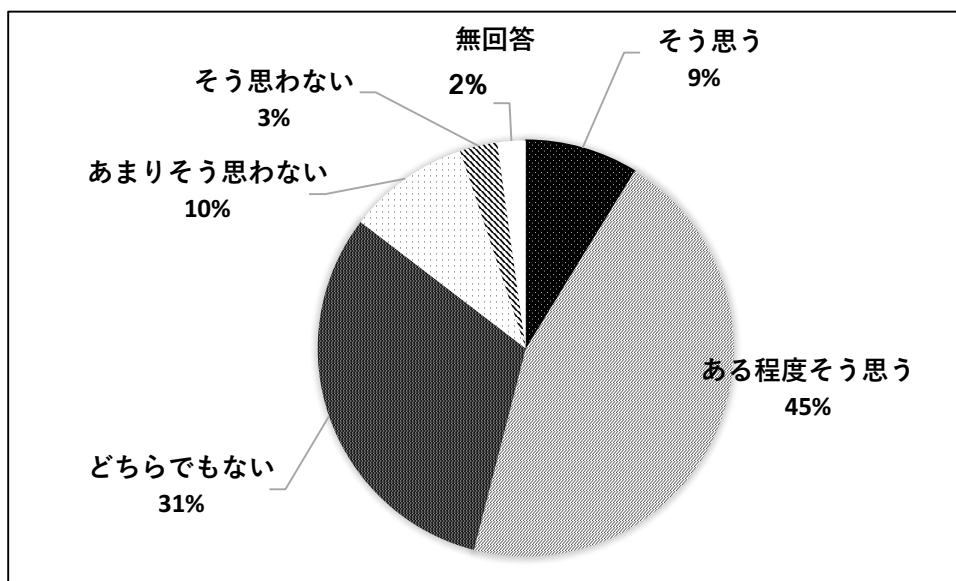
回答者：295 人



7—6. 環境共生・配慮技術の開発・導入が進展する

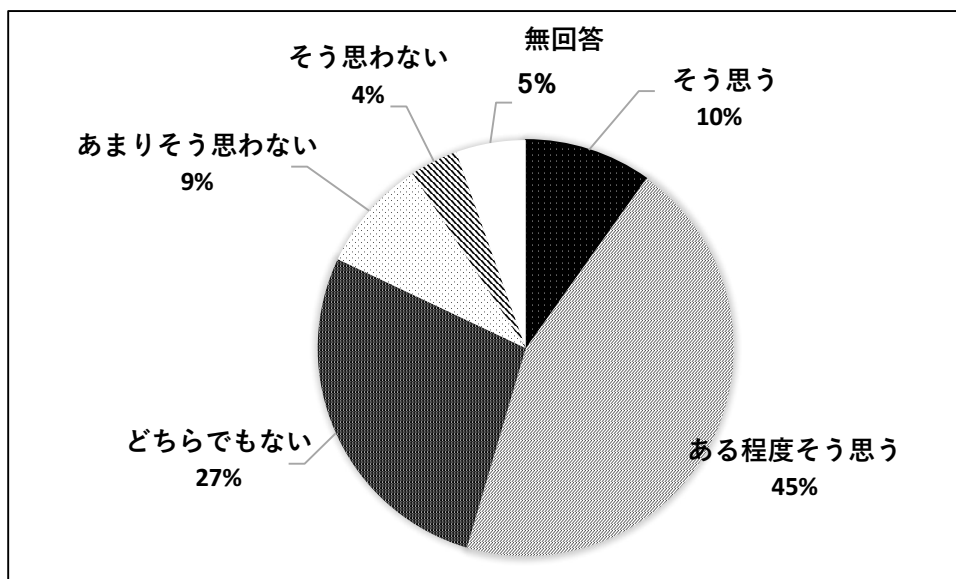
(自治体職員編：問 6－6)

回答者：274 人



(策定委員会委員編：問 16－6)

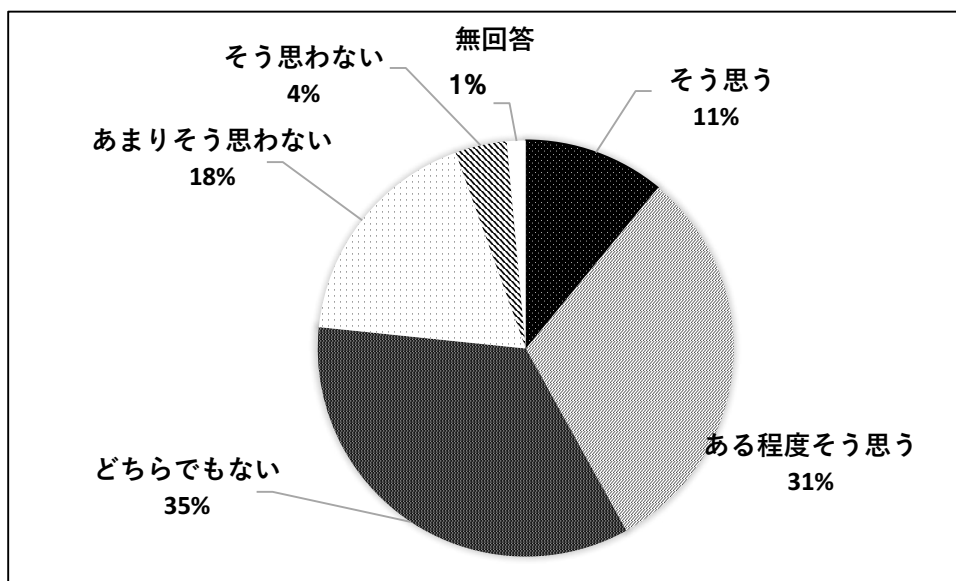
回答者：295 人



7—7. 地球温暖化の防止策となる

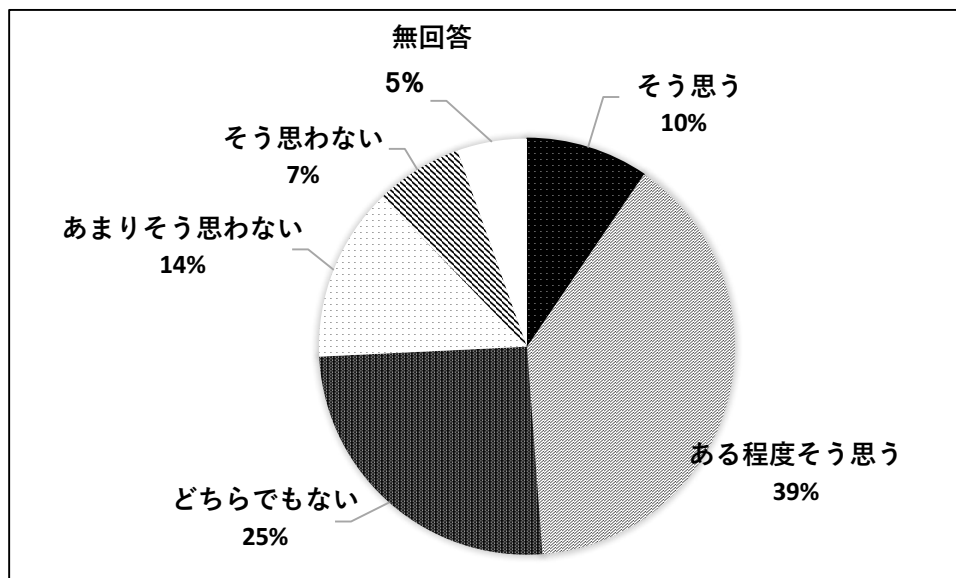
(自治体職員編：問 6－7)

回答者：274 人



(策定委員会委員編：問 16－7)

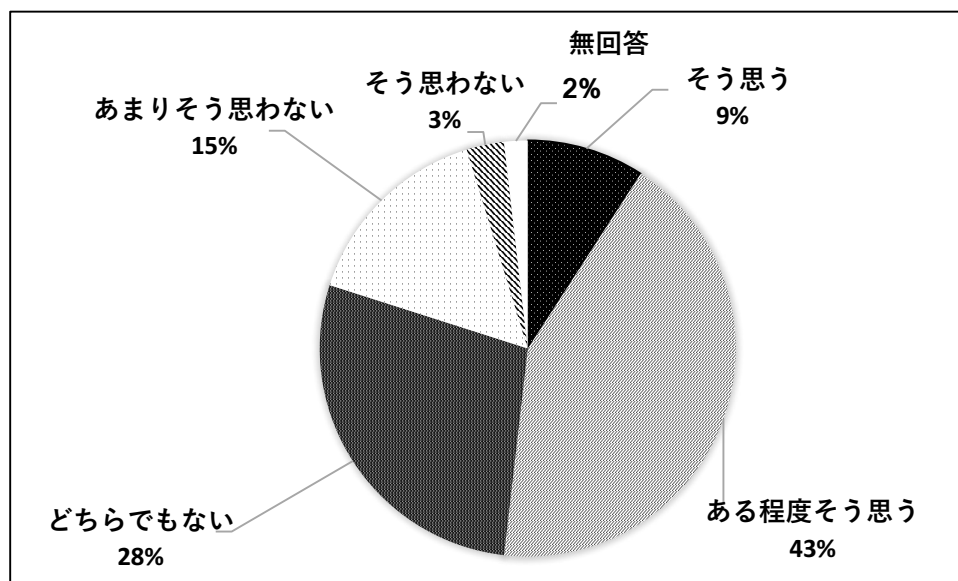
回答者：295 人



7—8. 地域コミュニティの再生につながる

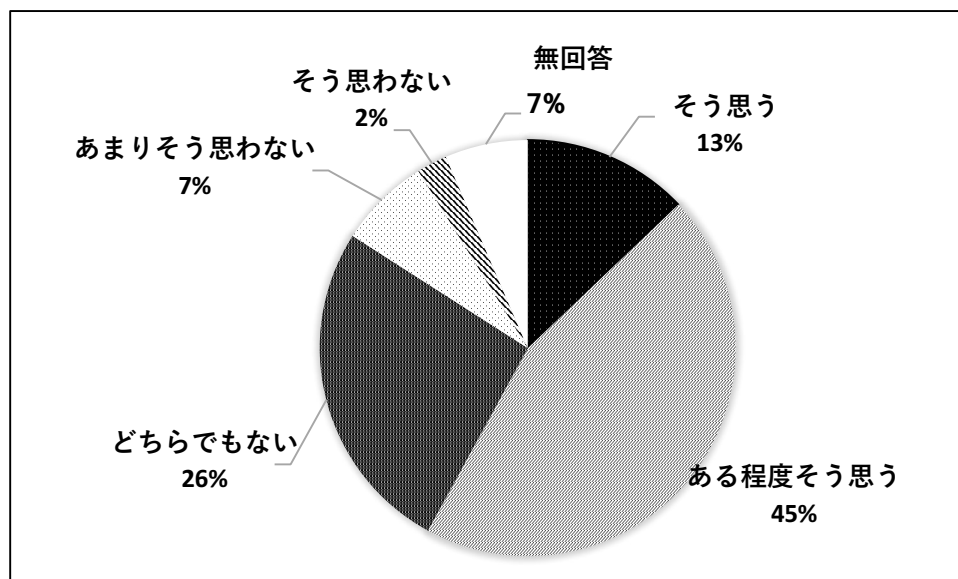
(自治体職員編：問 6－8)

回答者：274 人



(策定委員会委員編：問 16－8)

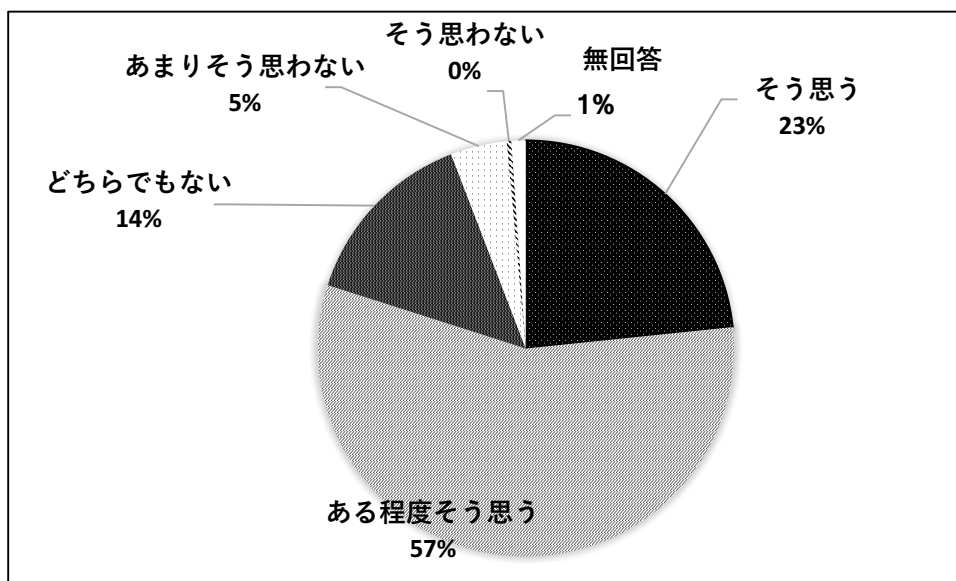
回答者：295 人



7—9. 学校における環境教育が進展する

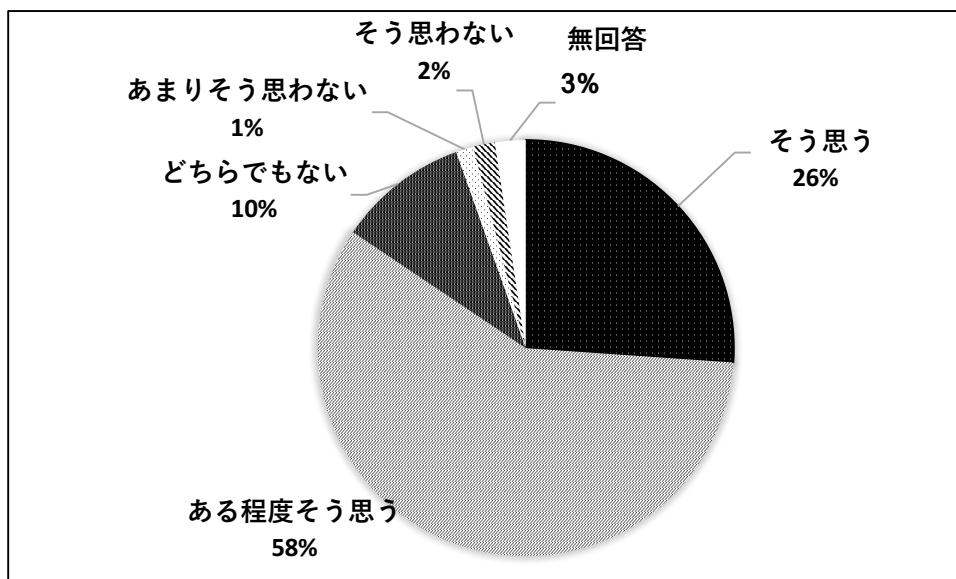
(自治体職員編：問 6－9)

回答者：274 人



(策定委員会委員編：問 16－9)

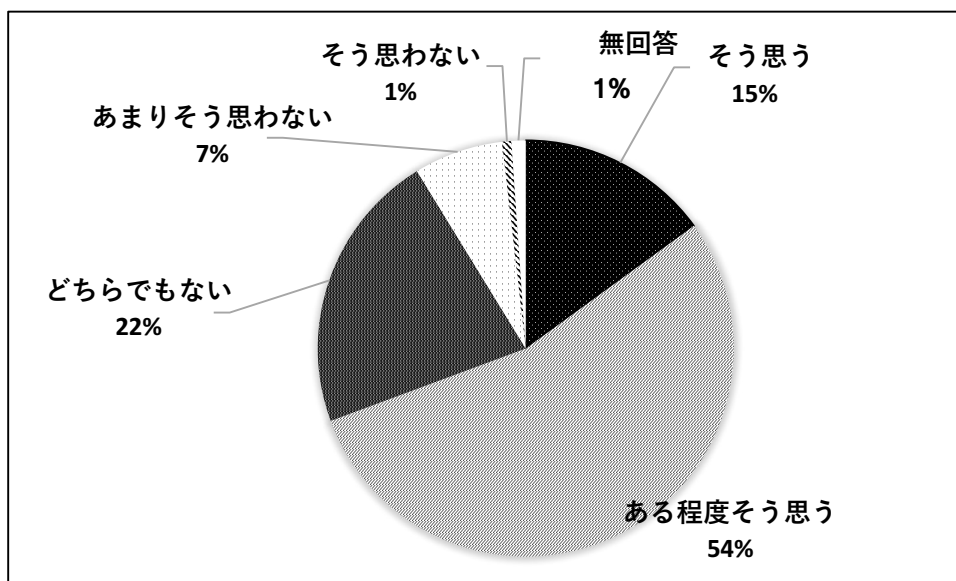
回答者：295 人



7—10. 市区町村外も含む関係者間のネットワークを形成できる

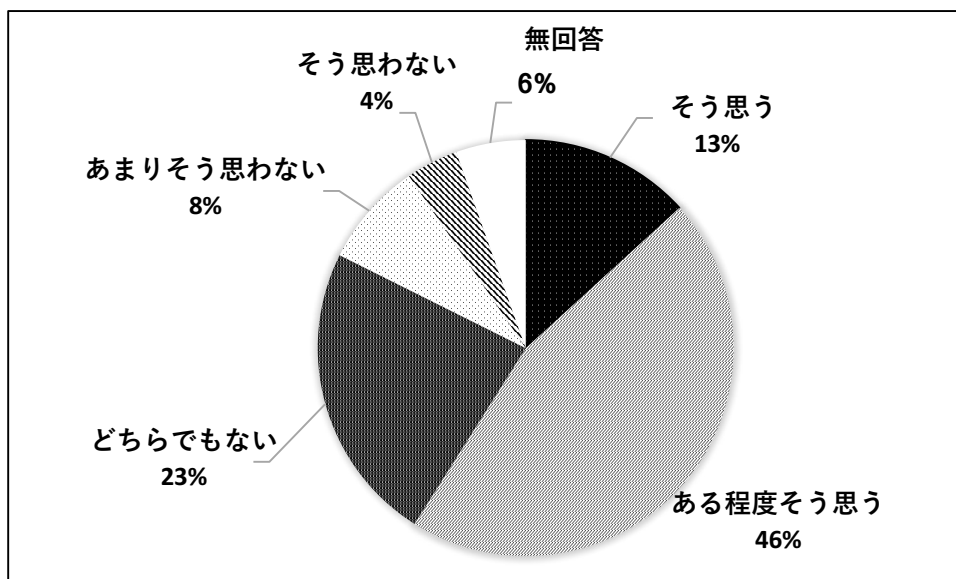
(自治体職員編：問 6－10)

回答者：274 人



(策定委員会委員編：問 16－10)

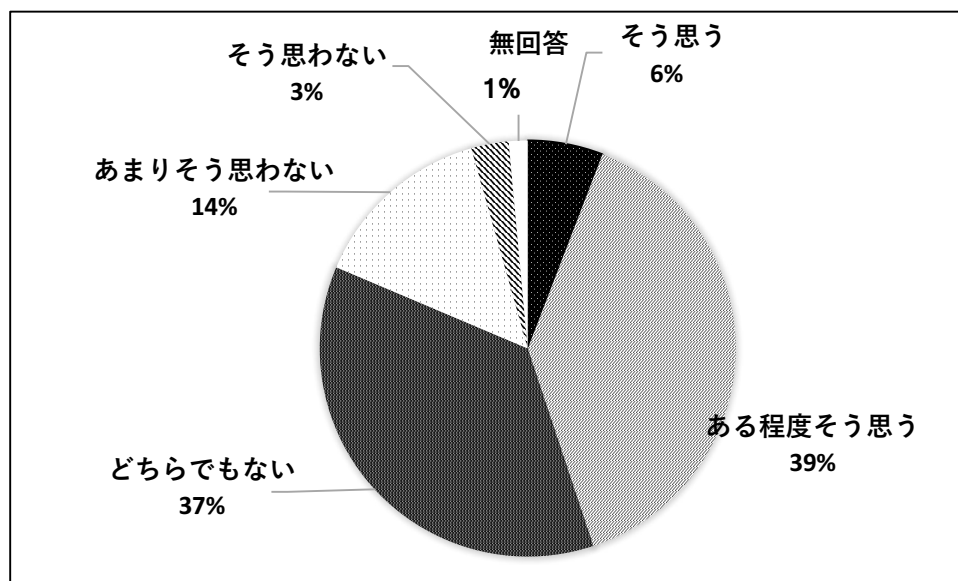
回答者：295 人



7—1 1. 市民などからの信頼が向上する

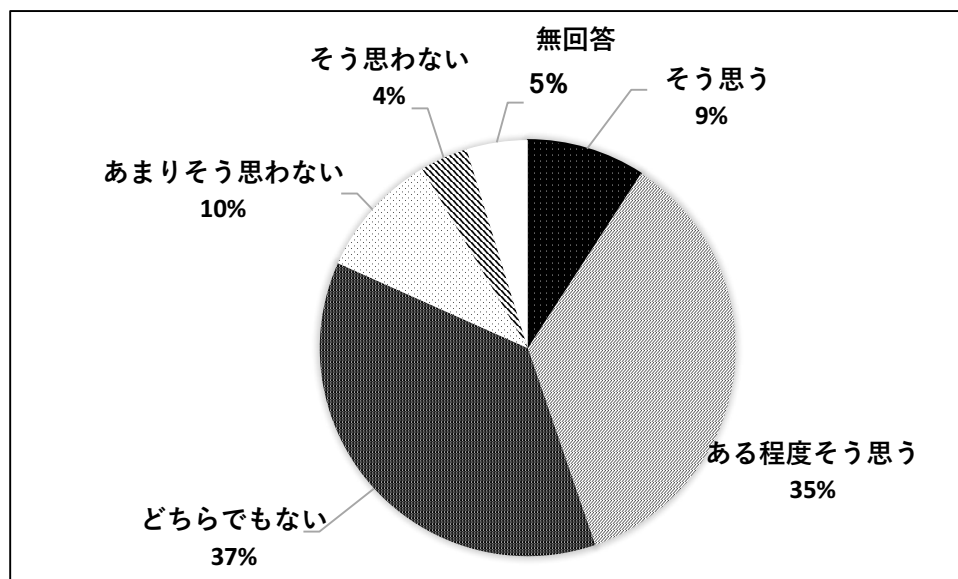
(自治体職員編：問 6－11)

回答者：274 人



(策定委員会委員編：問 16－11)

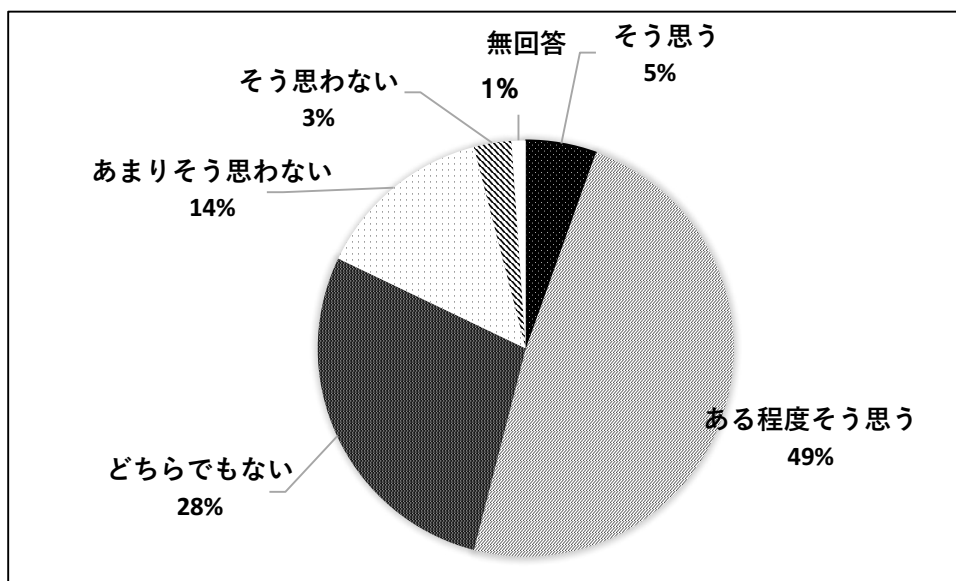
回答者：295 人



7—12. 庁内の連携が図られる

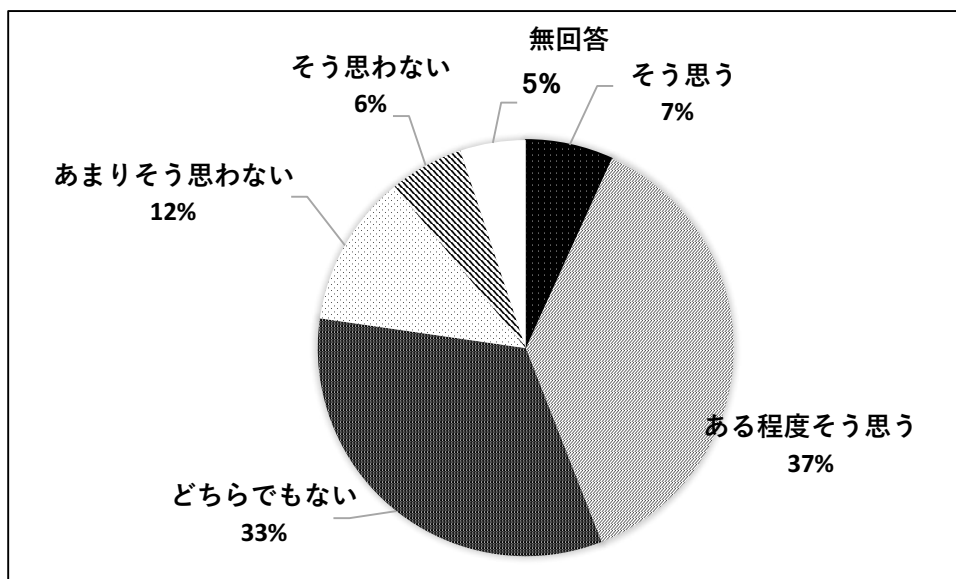
(自治体職員編：問 6－12)

回答者：274 人

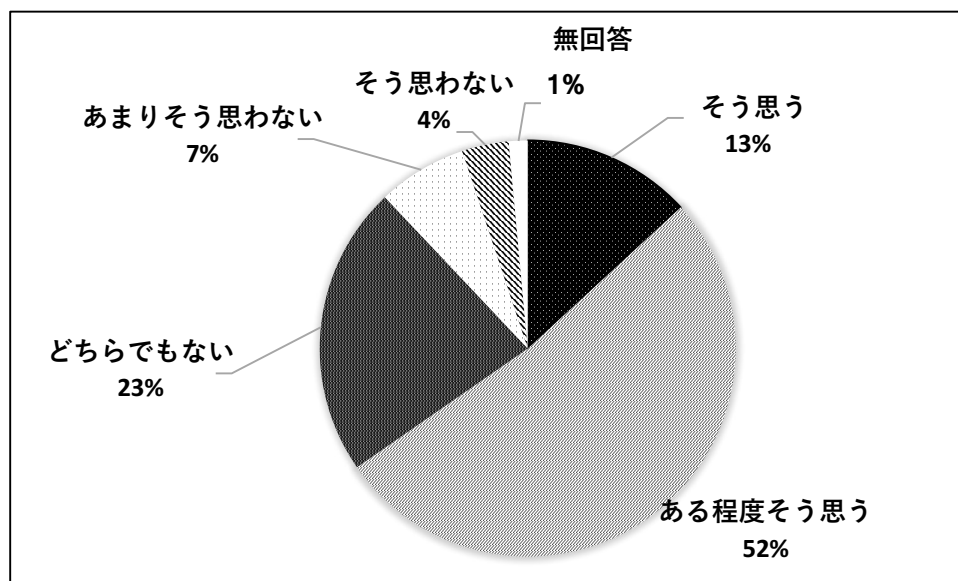


(策定委員会委員編：問 16－12)

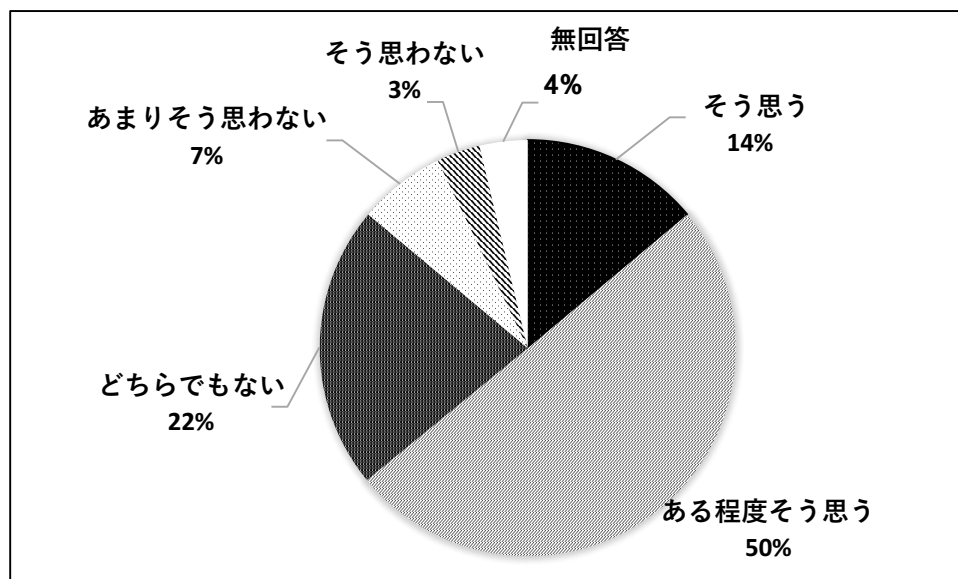
回答者：295 人



7—13. 生物多様性に関連する取組の予算獲得・維持の後押しとなる
 (自治体職員編：問 6－13) 回答者：274 人



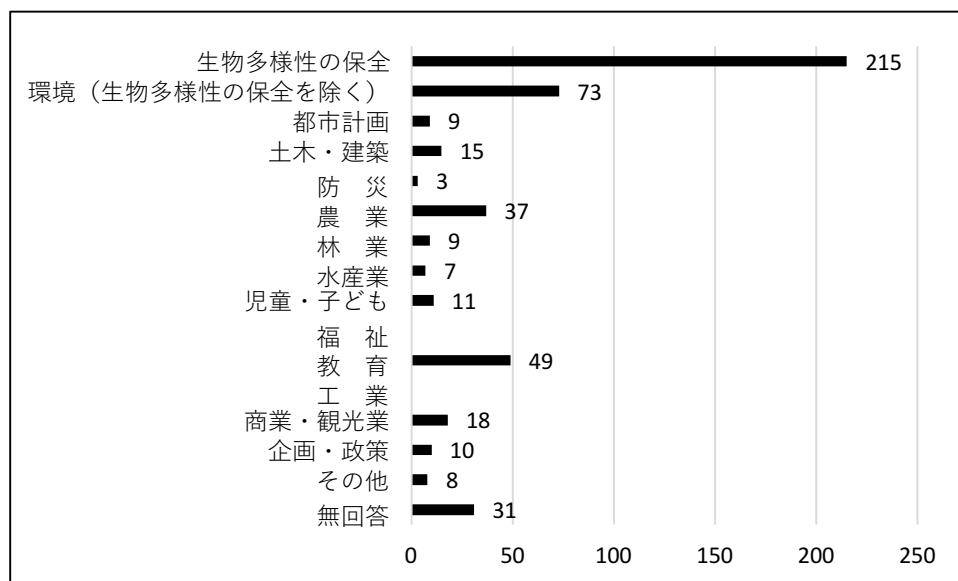
(策定委員会委員編：問 16－13) 回答者：295 人



8. 生物多様性地域戦略の策定により強化された取組

(自治体職員編：問 7)

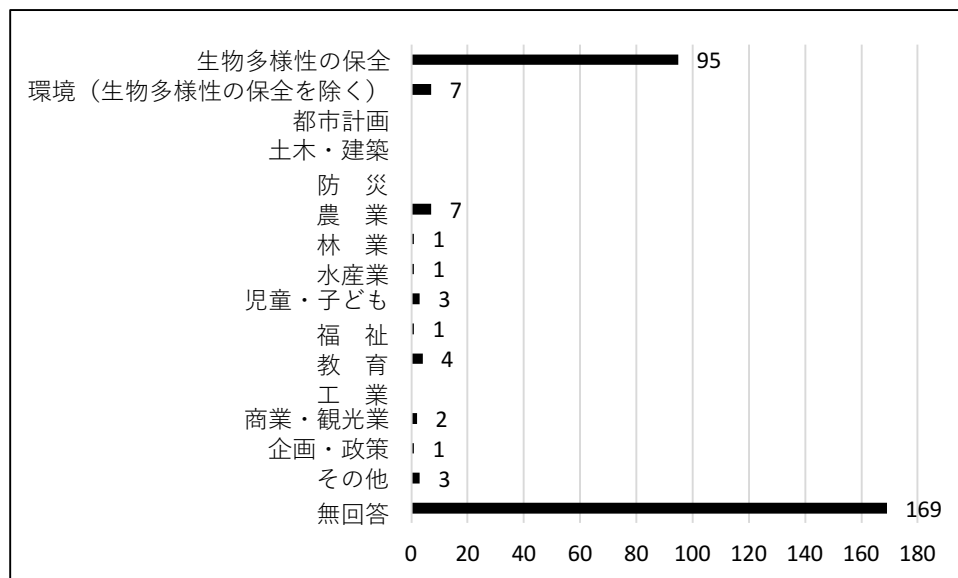
回答者：274 人（複数回答）



9. 策定後に新たな取組や既存の取組の強化のために予算がついた取組

(自治体職員編：問 8)

回答者：274 人（複数回答）



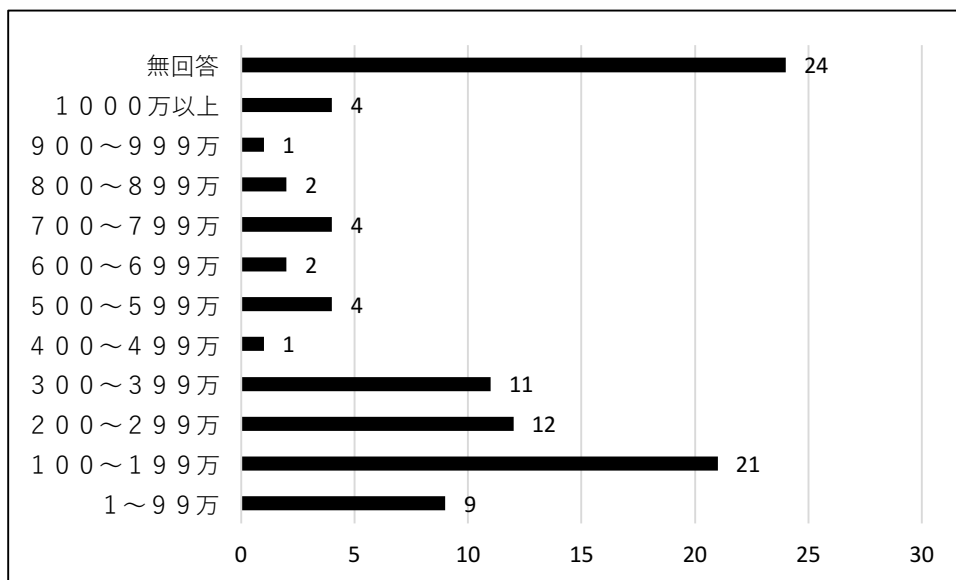
10. 策定後に新たな取組や既存の取組の強化のための予算額

※予算額の記載があった項目のみ図示

10-1 生物多様性の保全

(自治体職員編：問8-1)

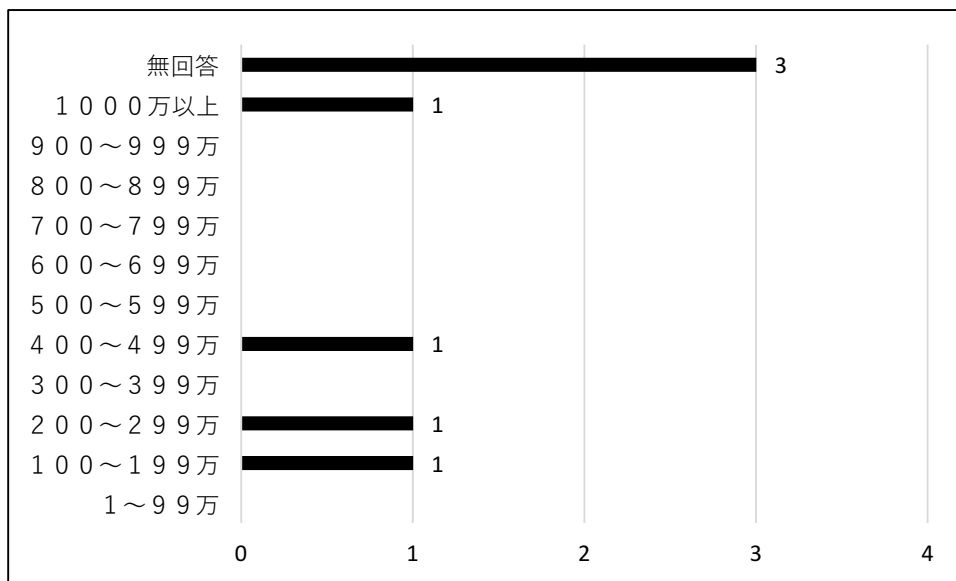
回答者：95人



10-2 環境（生物多様性の保全を除く）

(自治体職員編：問8-2)

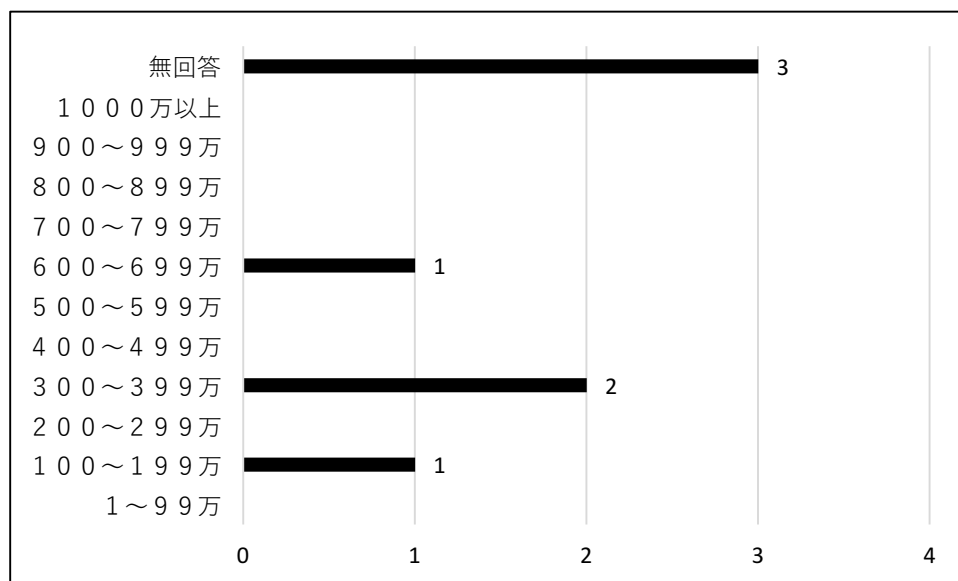
回答者：7人



10-3 農業

(自治体職員編：問8-6)

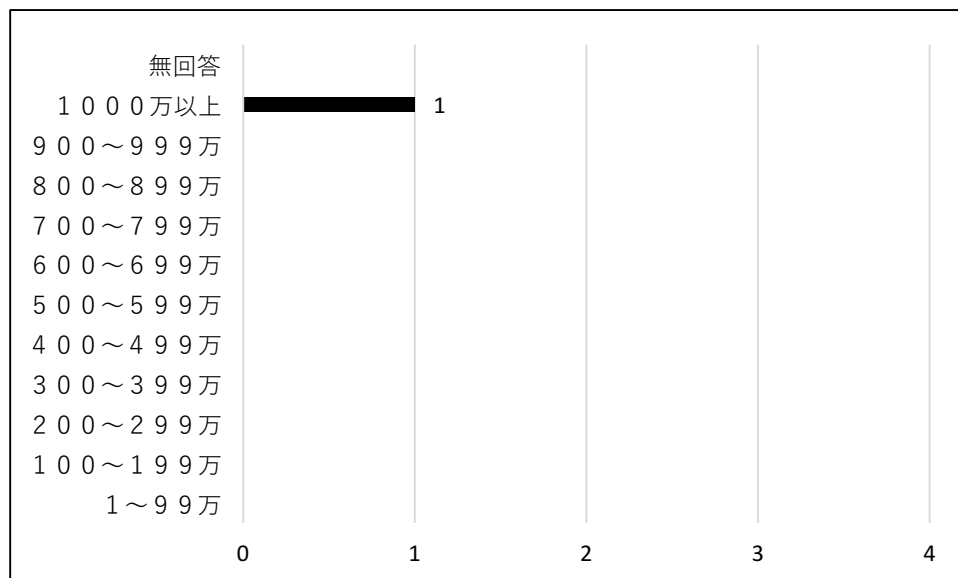
回答者：7人



10-4 林業

(自治体職員編：問8-7)

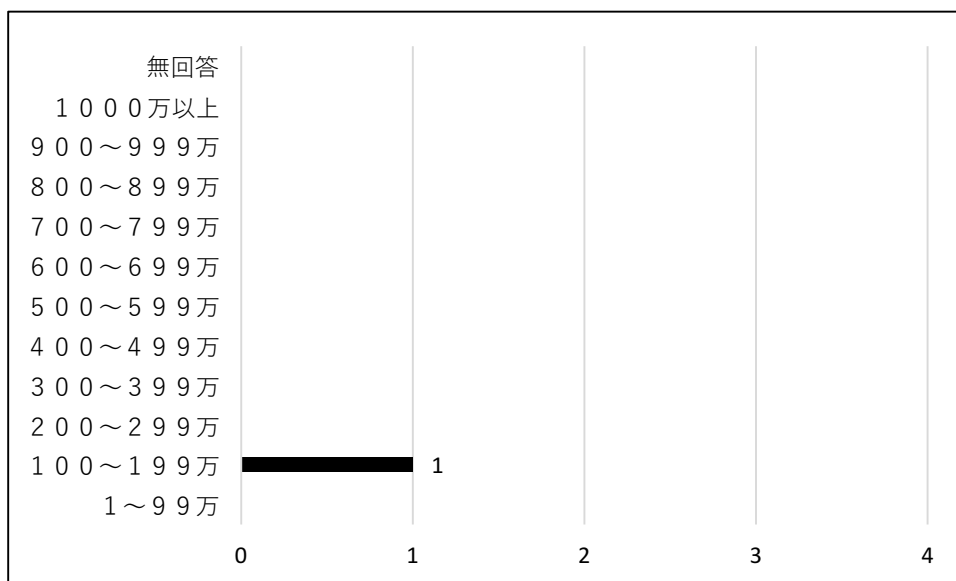
回答者：1人



10-5 水産業

(自治体職員編：問8-8)

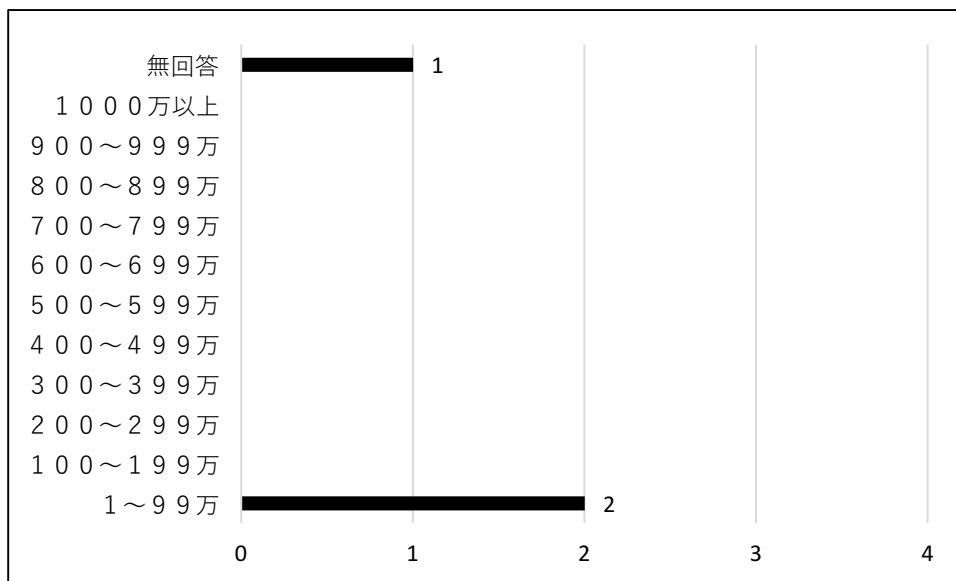
回答者：1人



10-6 児童・子ども

(自治体職員編：問8-9)

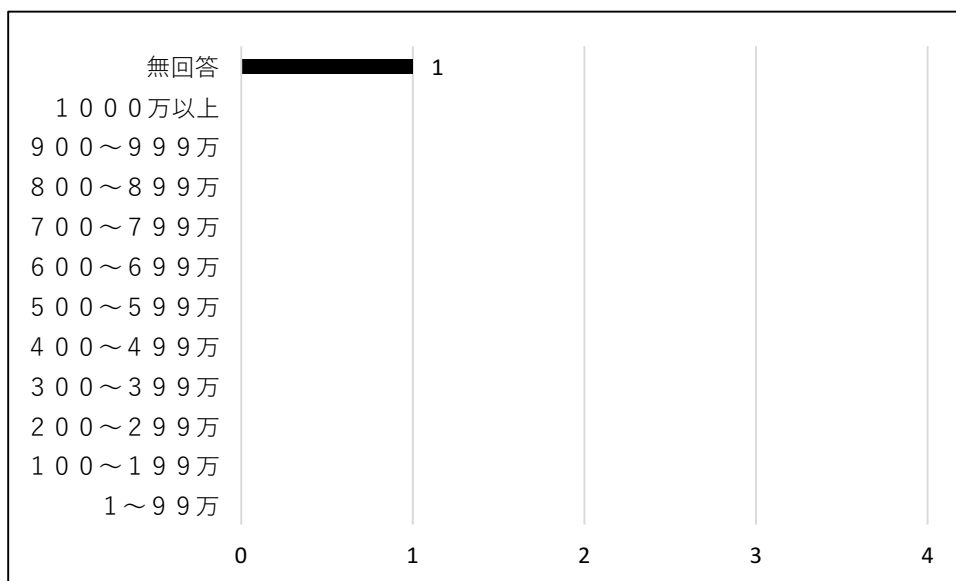
回答者：3人



10-7 福祉

(自治体職員編：問8-10)

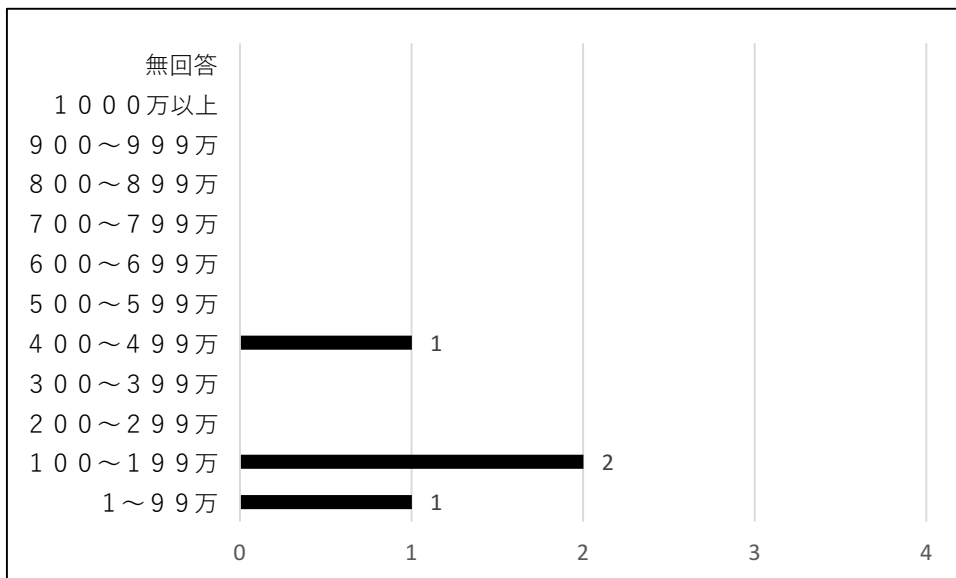
回答者：1人



10-8 教育

(自治体職員編：問8-11)

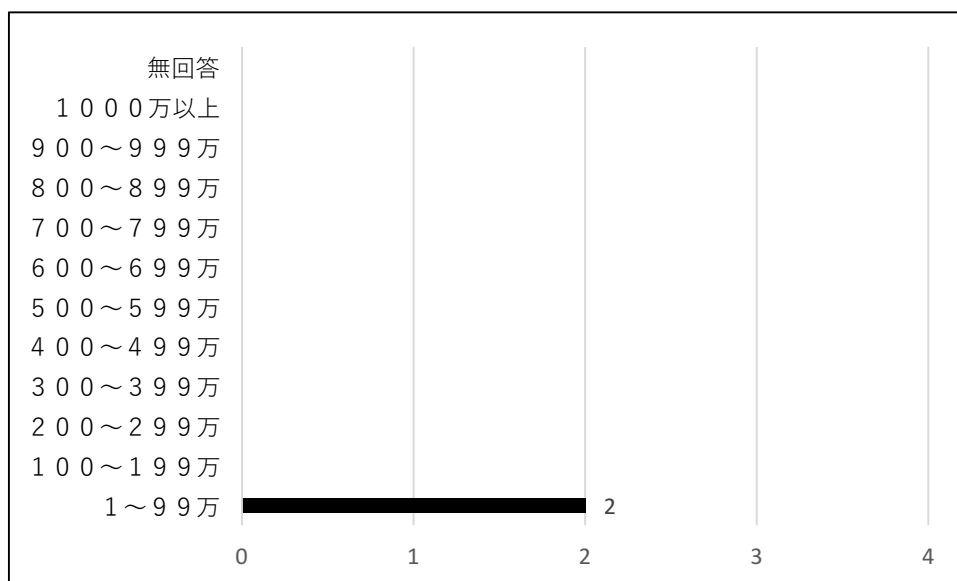
回答者：4人



10-9 商業・観光業

(自治体職員編：問8-13)

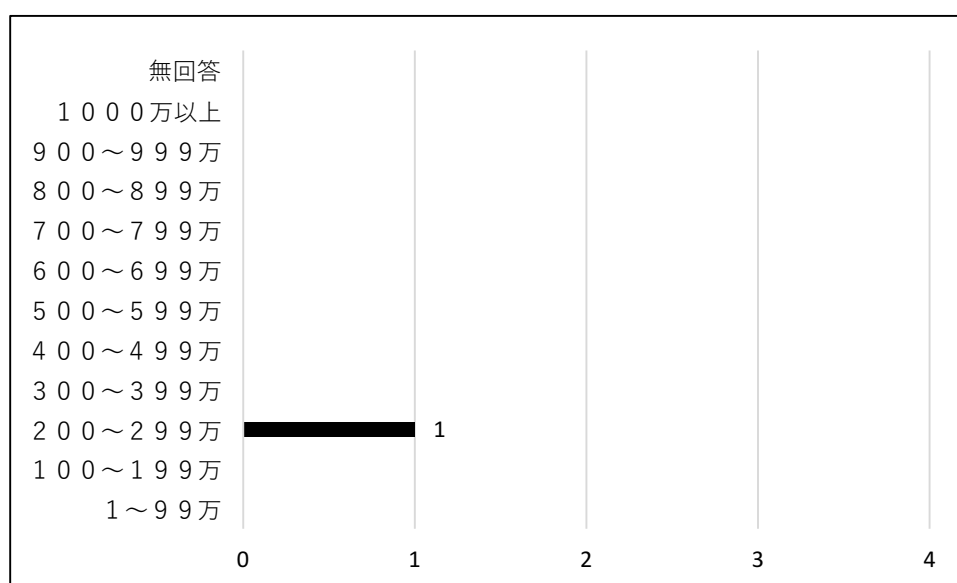
回答者：2人



10-10 企画・政策

(自治体職員編：問8-14)

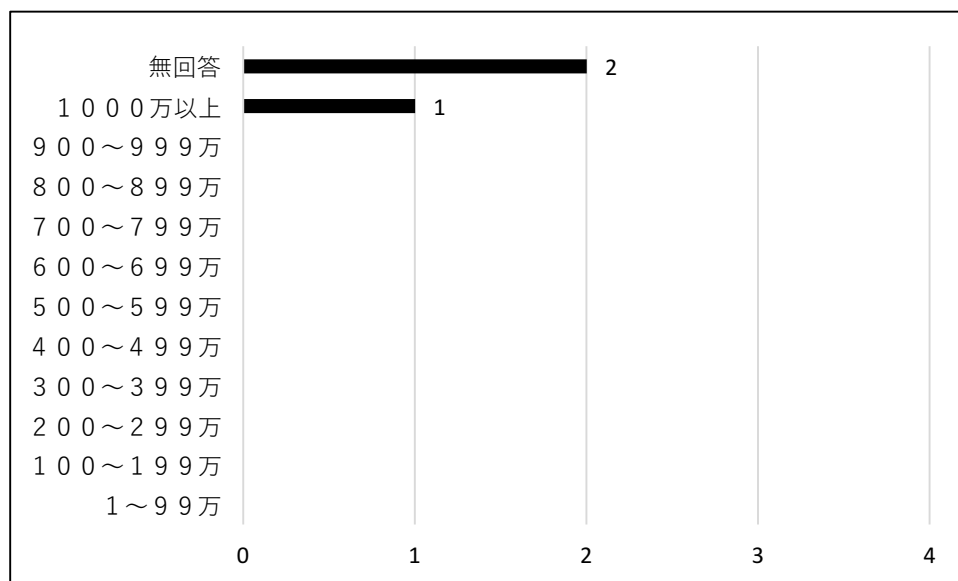
回答者：1人



10 - 11 その他

(自治体職員編：問8 -15)

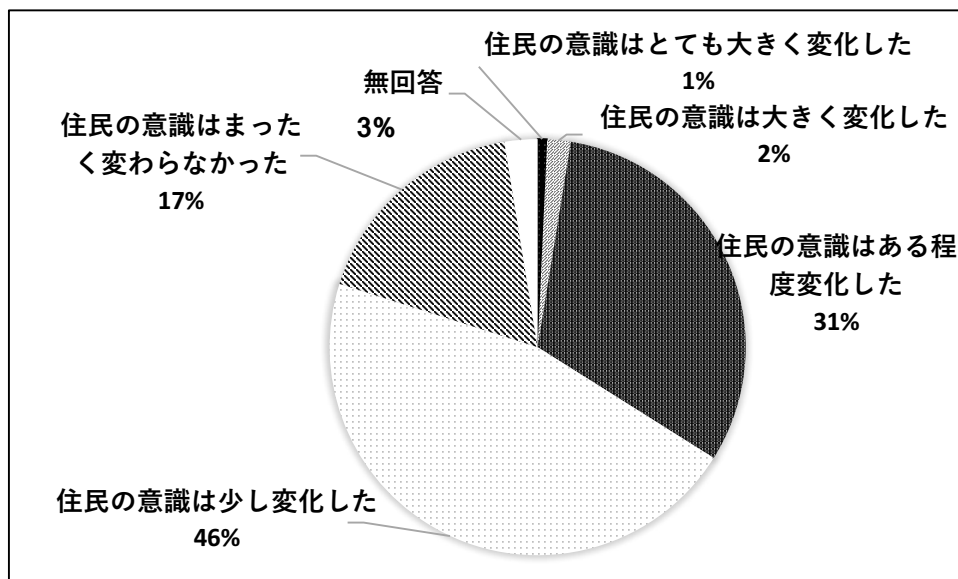
回答者：3人



1 1. 生物多様性地域戦略を策定することによる住民の意識の変化

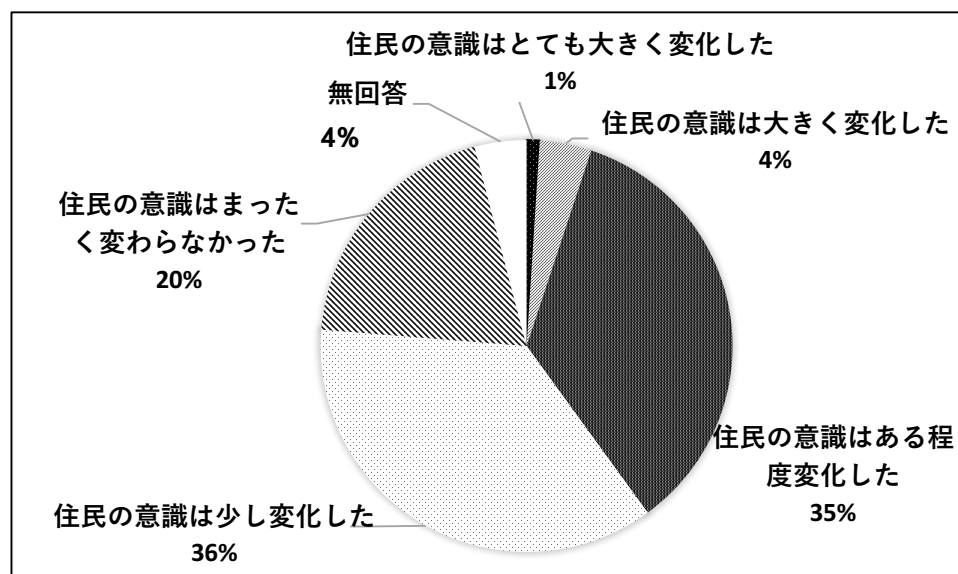
(自治体職員編：問 9)

回答者：274 人

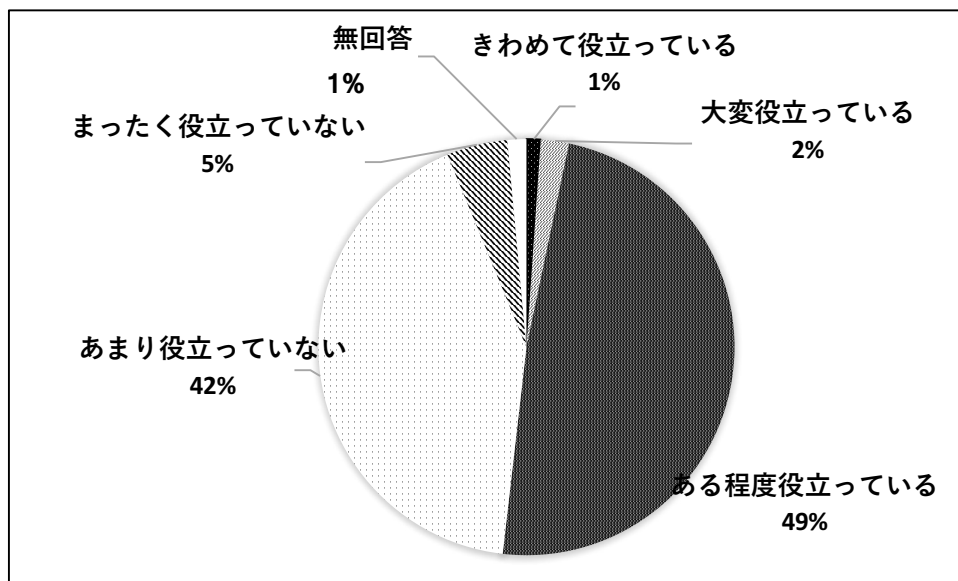


(策定委員会委員編：問 21)

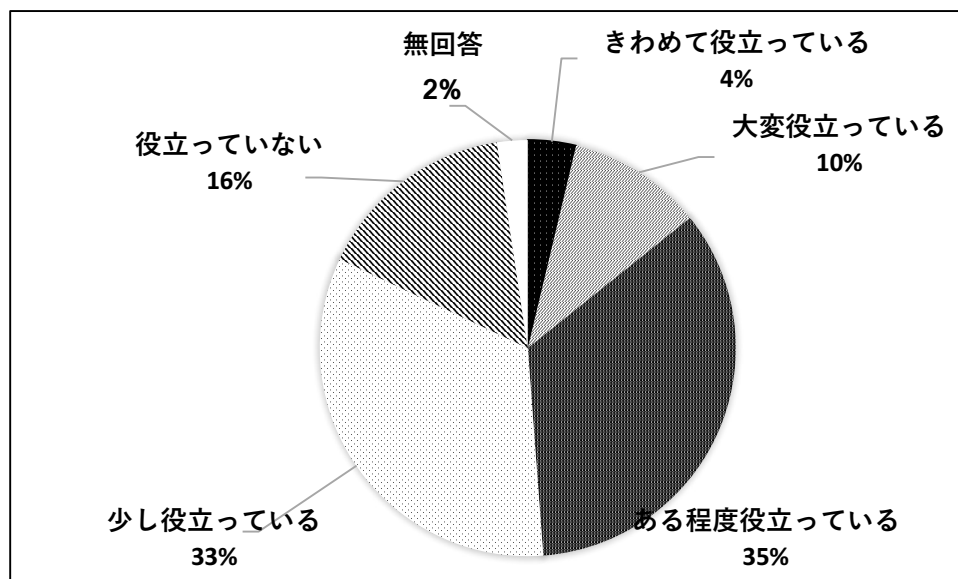
回答者：295 人



12. 地域の社会、経済、くらしに生物多様性地域戦略が役立っているか
(自治体職員編：問 10) 回答者：274 人



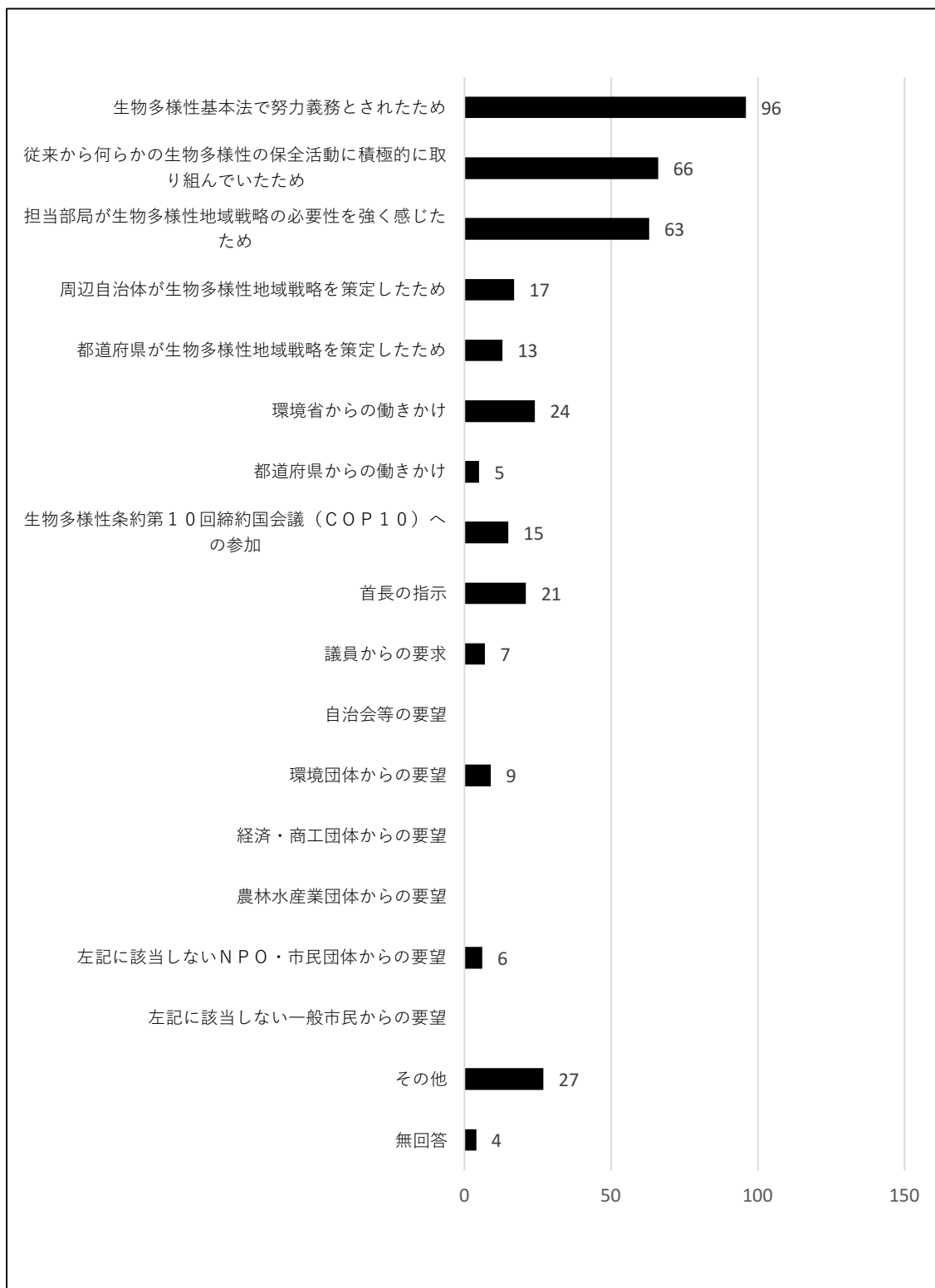
(策定委員会委員編：問 22) 回答者：295 人



1 3. 生物多様性地域戦略策定に至ったきっかけ

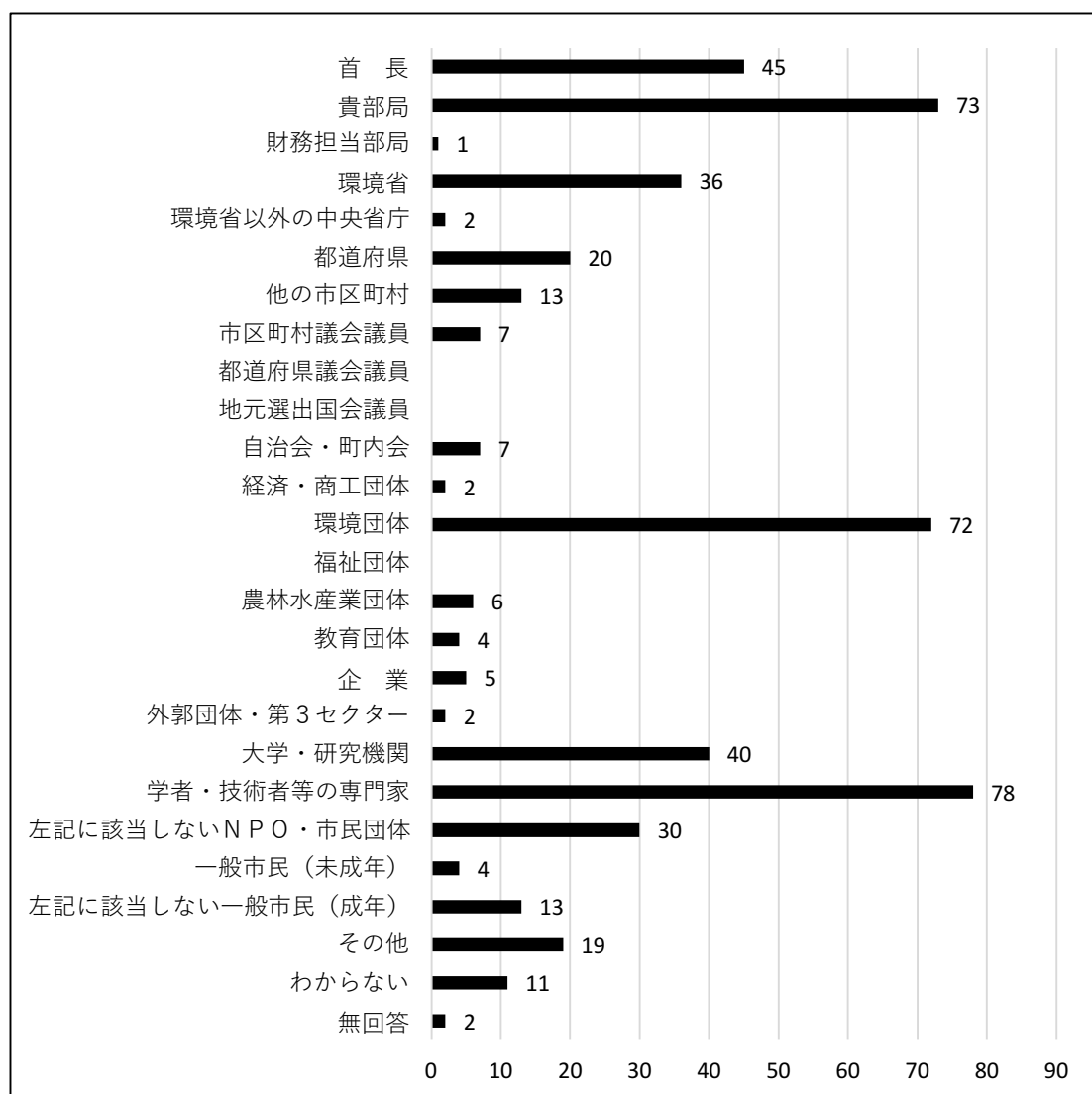
(自治体職員編：問 12)

回答者：156 人（複数回答）



1 4. 生物多様性地域戦略の記載内容に対して、大きな影響力があった人や団体
(自治体職員編：問 14)

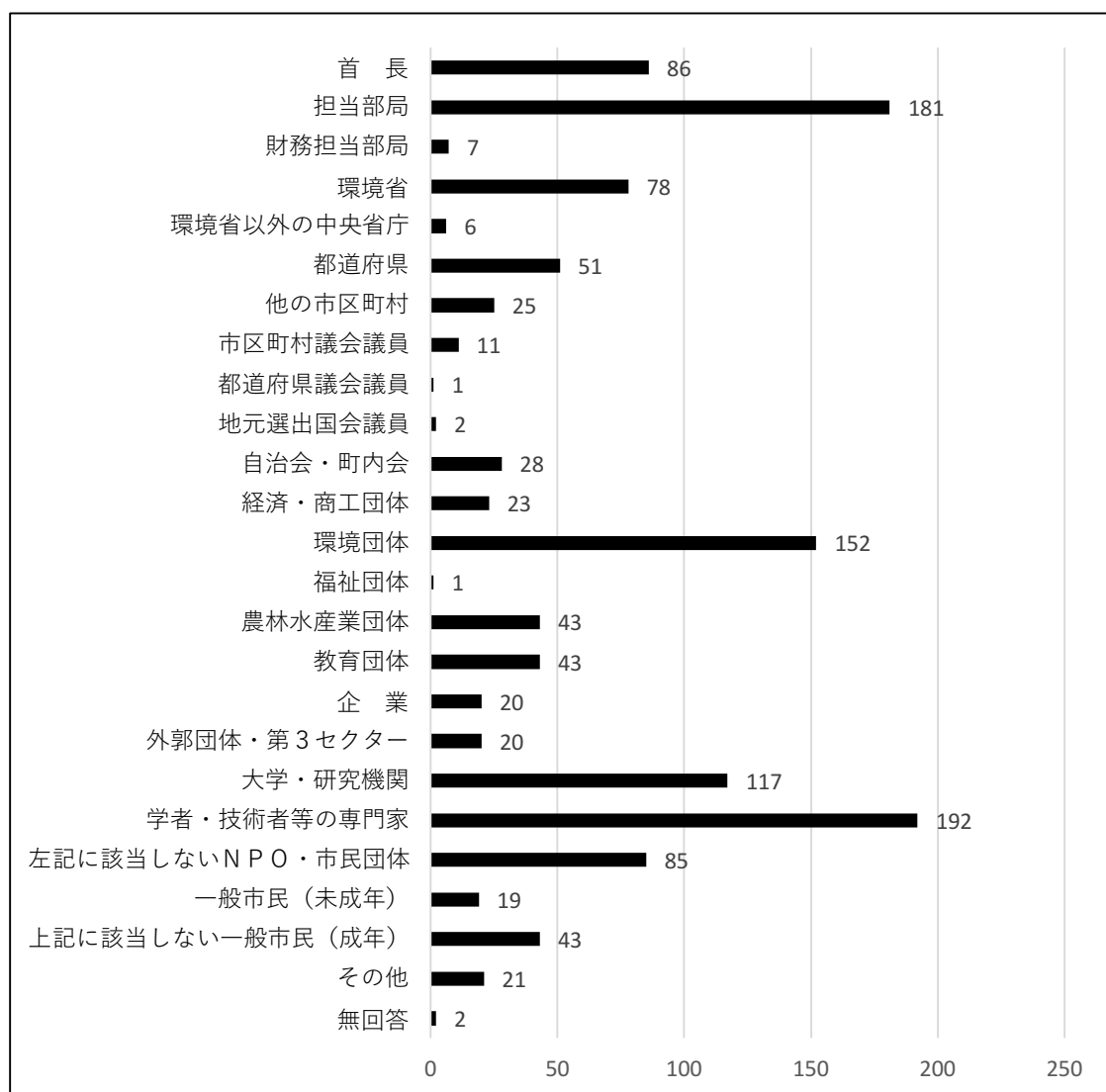
回答者：156 人（複数回答）



14. つづき

(策定委員会委員編：問4)

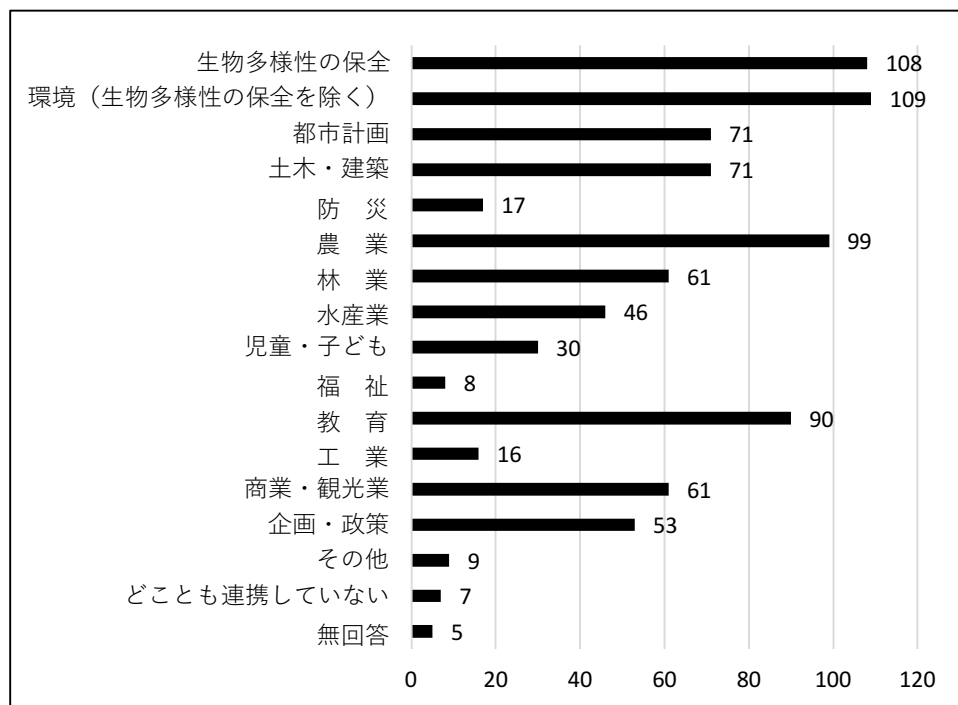
回答者：295人（複数回答）



1 5. 生物多様性地域戦略策定に際して、連携した関係部局

(自治体職員編：問 15)

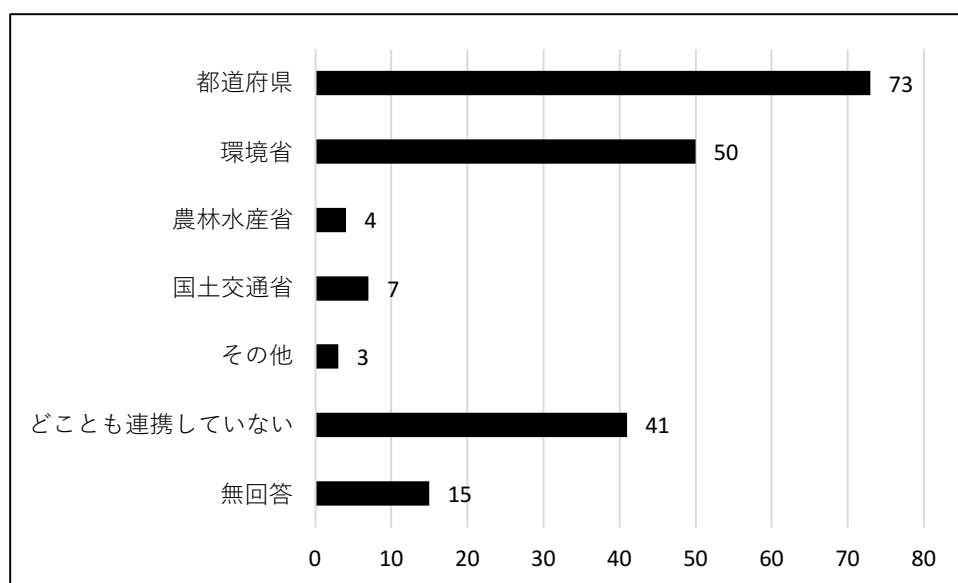
回答者：156 人（複数回答）



1 6. 生物多様性地域戦略策定に際して、連携した行政組織

(自治体職員編：問 16)

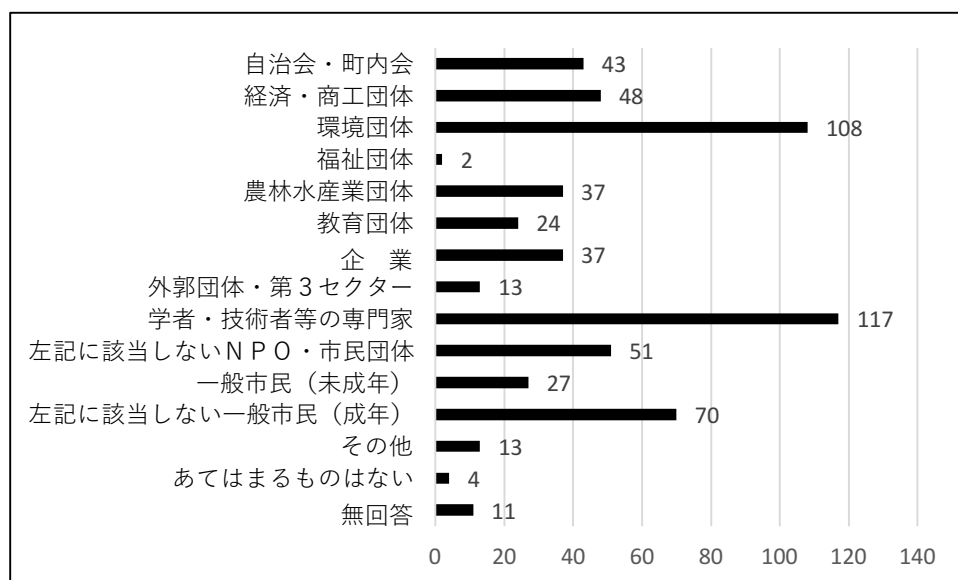
回答者：156 人（複数回答）



17. 生物多様性地域戦略策定に際して、公式の検討／議論の場に参加した人や団体

(自治体職員編：問 17)

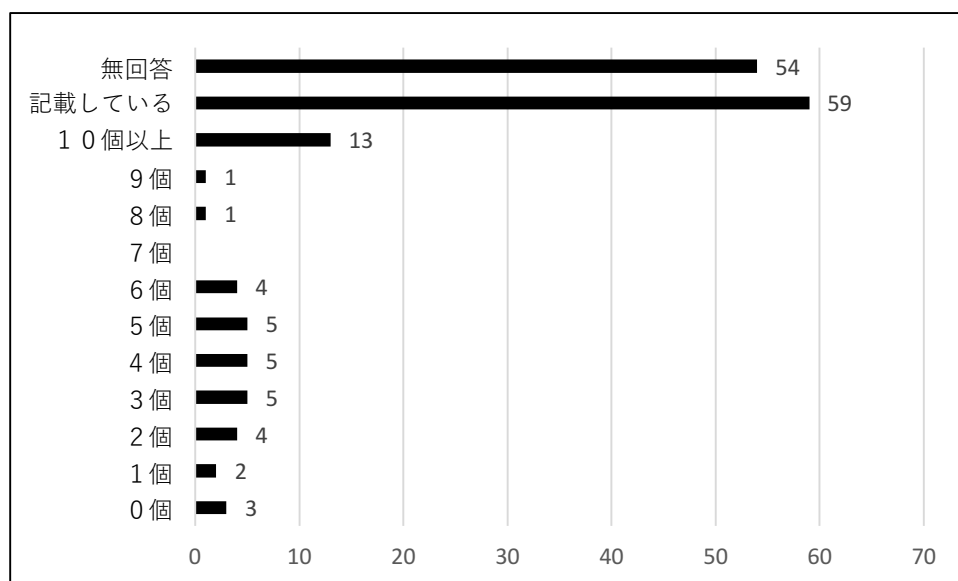
回答者：156 人（複数回答）



18. 生物多様性地域戦略に書かれた新規の取組数

(自治体職員編：問 18)

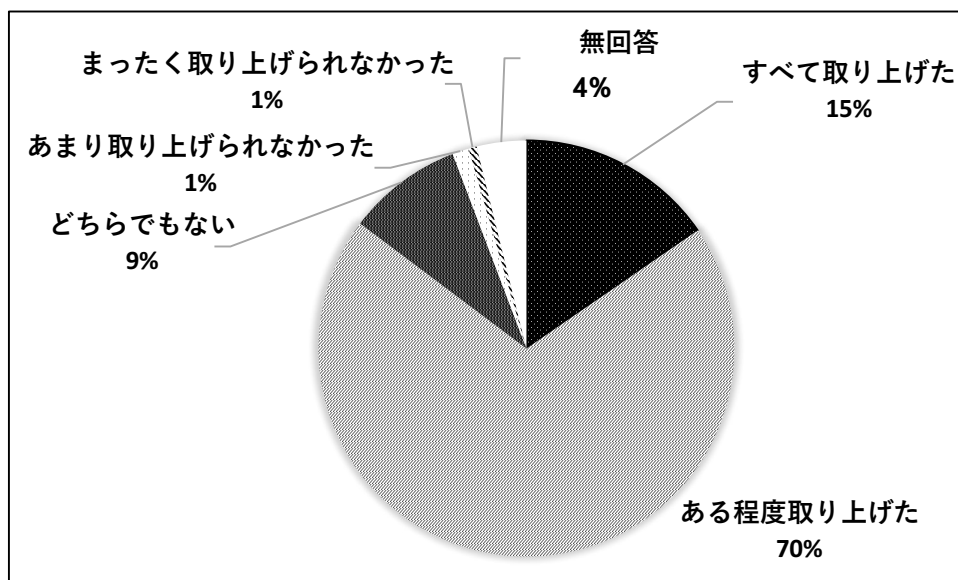
回答者：156 人



19. 生物多様性地域戦略に、地域にとって重要な自然のすべて（種・環境・活動拠点）を取組強化として取り上げられたか

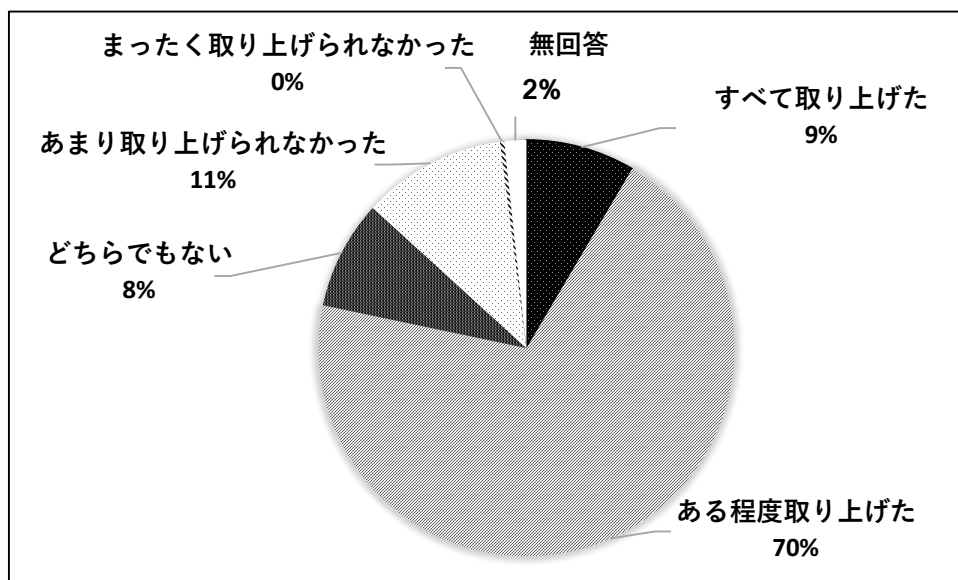
（自治体職員編：問 19）

回答者：156 人

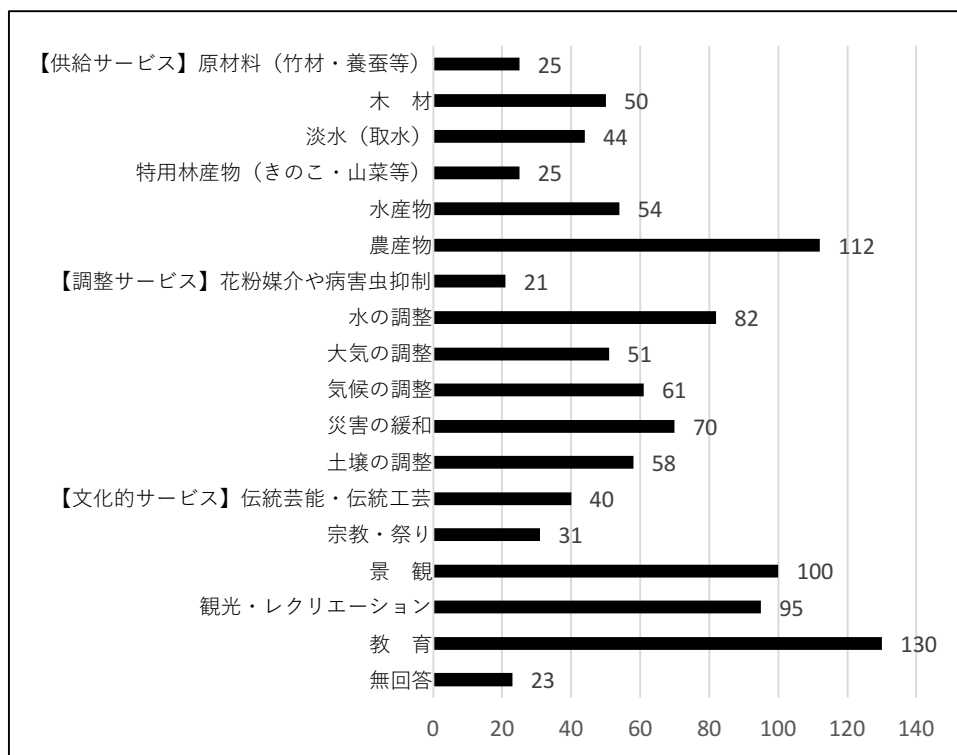


（策定委員会委員編：問 11）

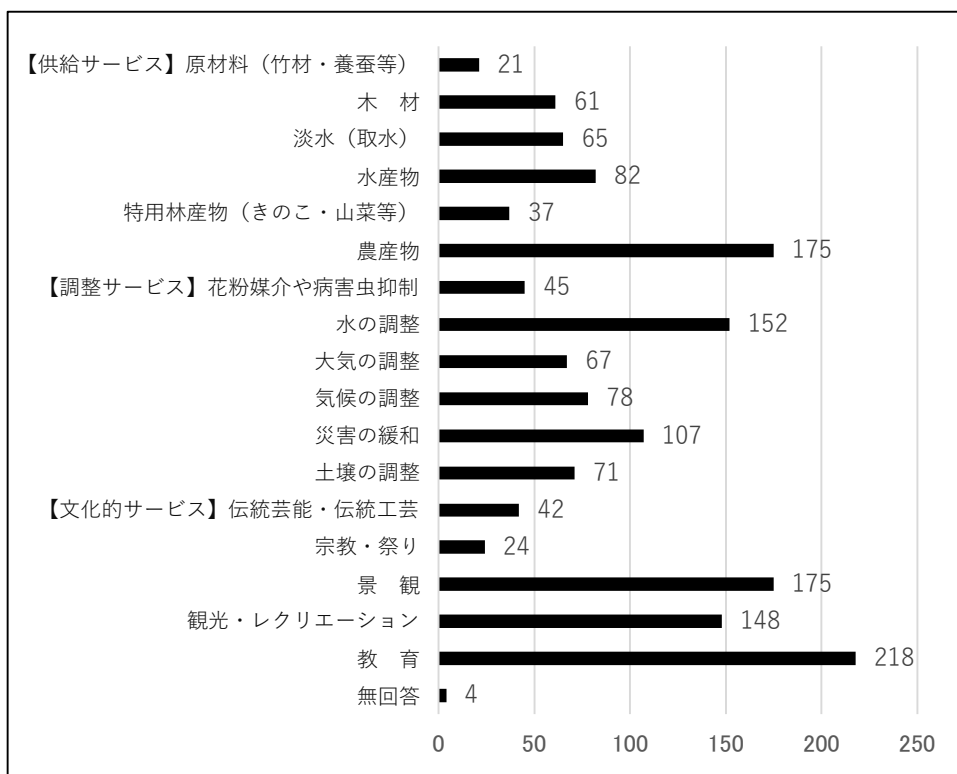
回答者：295 人



20. 生物多様性地域戦略策定に際して意識または注目した生態系サービス
(自治体職員編：問20・問50) 回答者：185人（複数回答）



(策定委員会委員編：問3) 回答者：295人（複数回答）

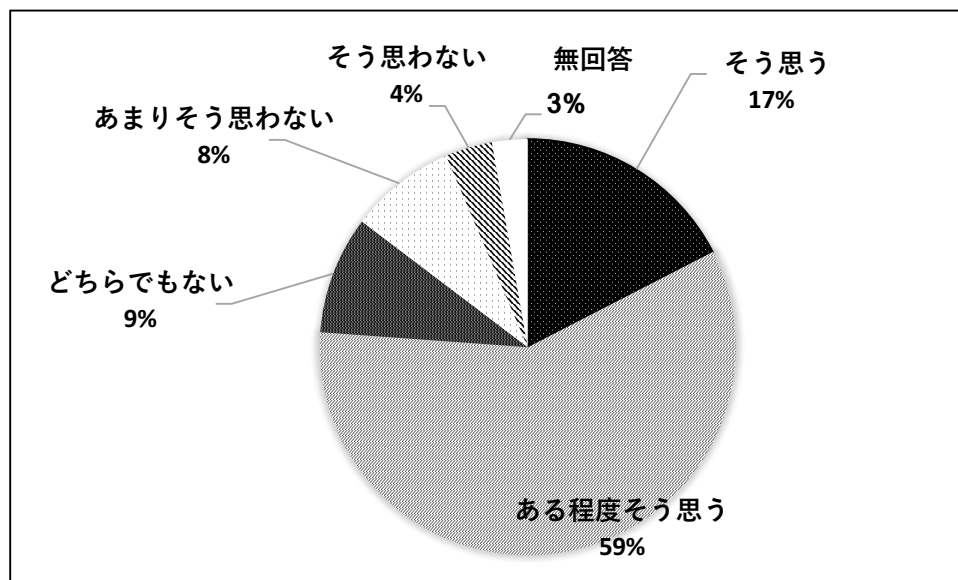


2 1. 生物多様性地域戦略策定に際して、下に挙げる種類の知見や情報が十分に
あったか

2 1—1. 生き物や生態系の状況の知見や情報が十分にあったか

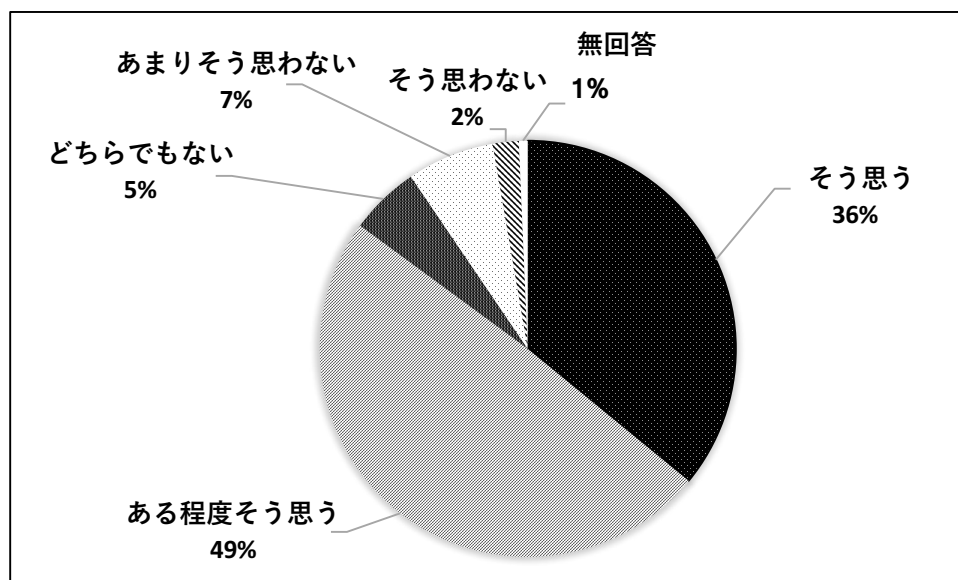
(自治体職員編：問 21)

回答者：109 人

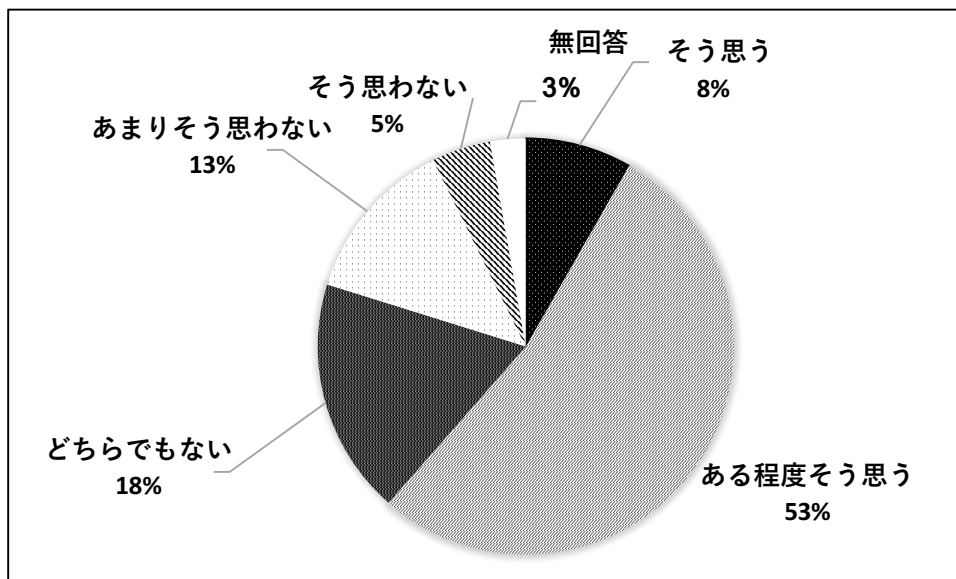


(策定委員会委員編：問 5)

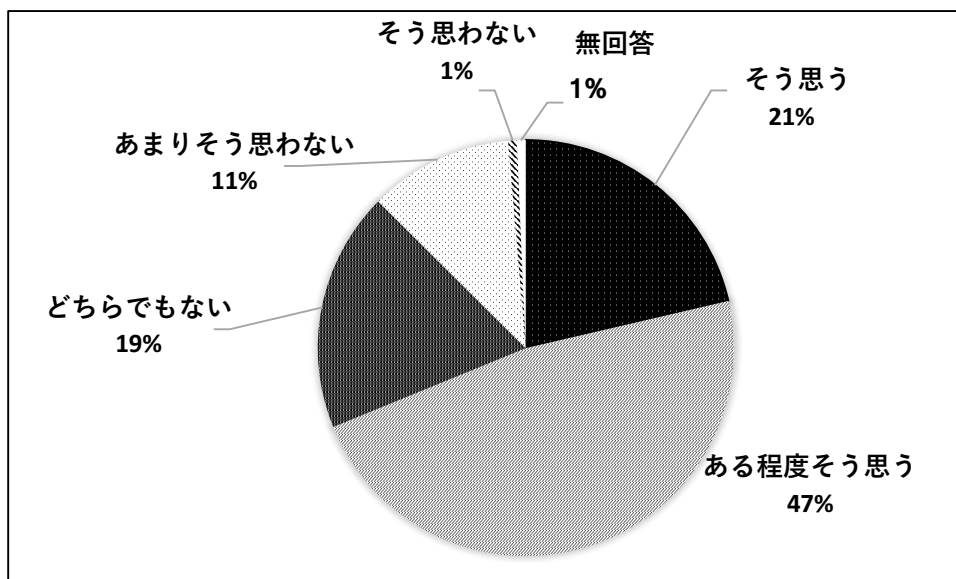
回答者：295 人



2 1—2. 自然の恩恵（生態系サービス）の知見や情報が十分にあったか
 （自治体職員編：問 21） 回答者：109 人



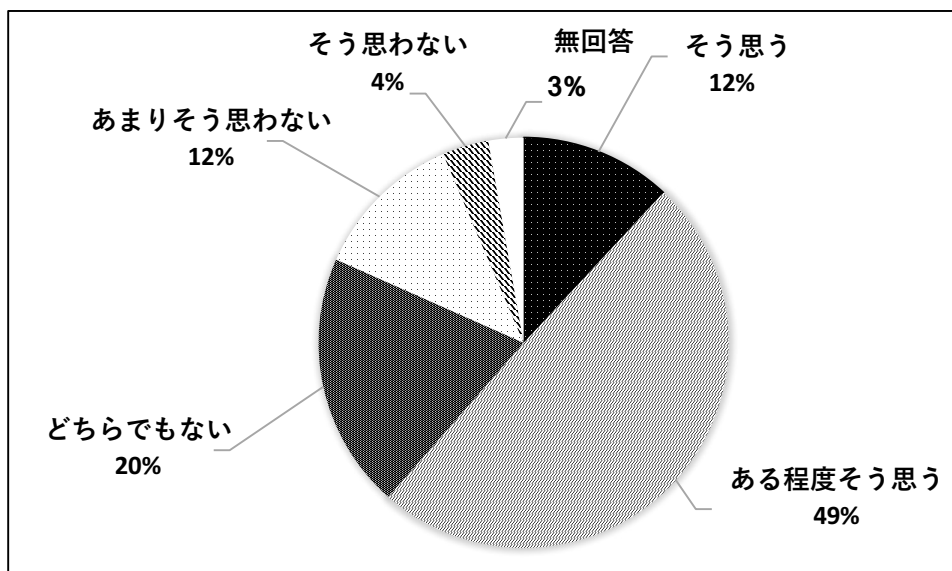
（策定委員会委員編：問 5） 回答者：295 人



2 1—3. 生物多様性が損なわれる原因についての知見や情報が十分にあったか

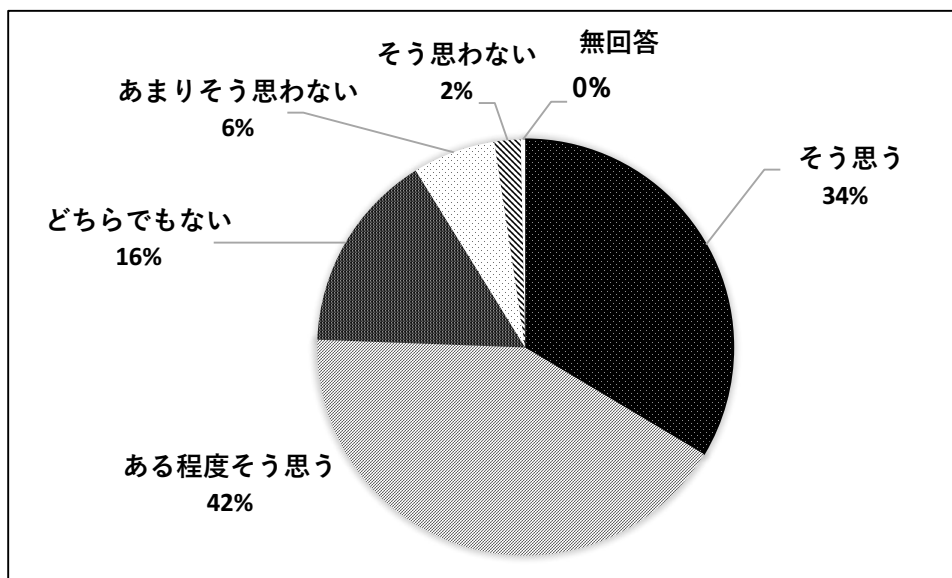
(自治体職員編：問 21)

回答者：109 人

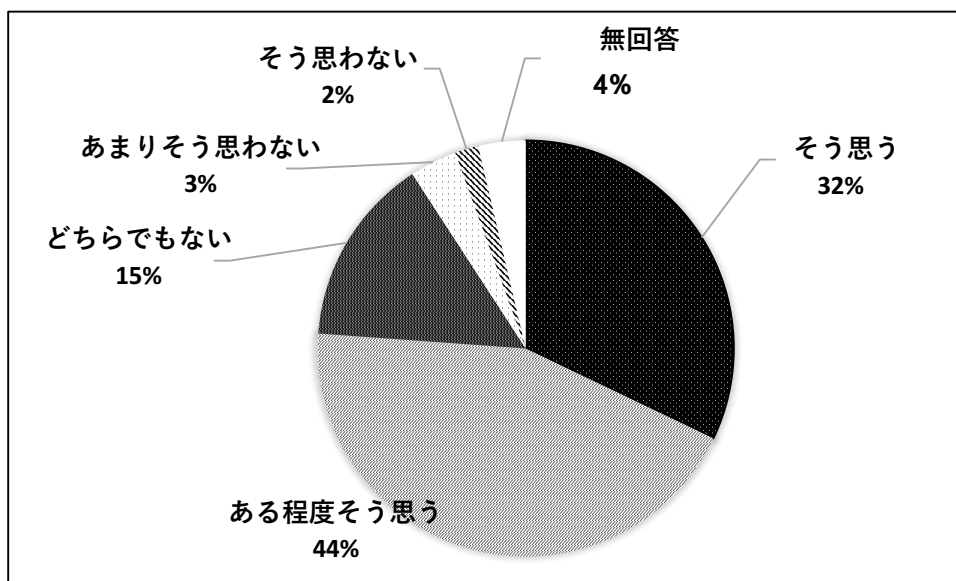


(策定委員会委員編：問 5)

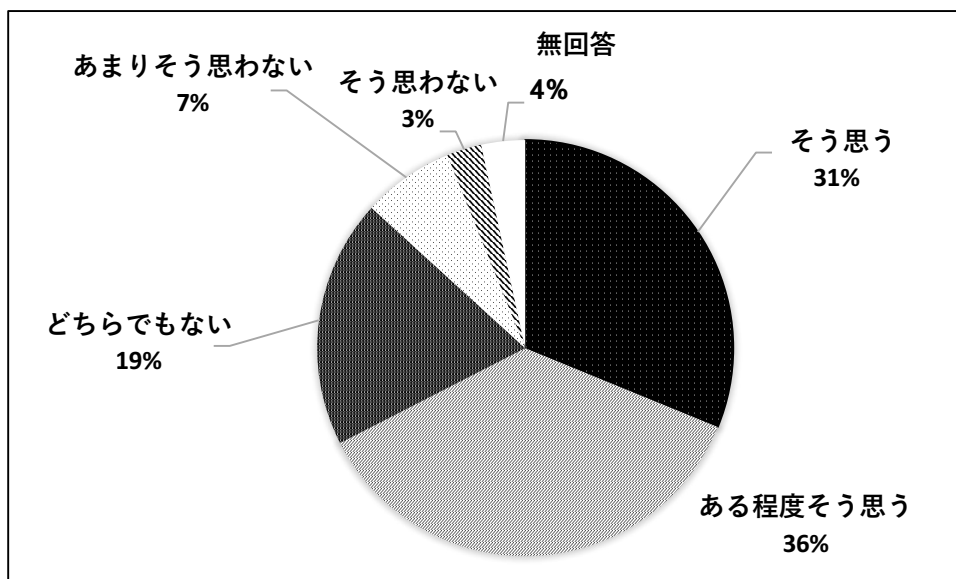
回答者：295 人



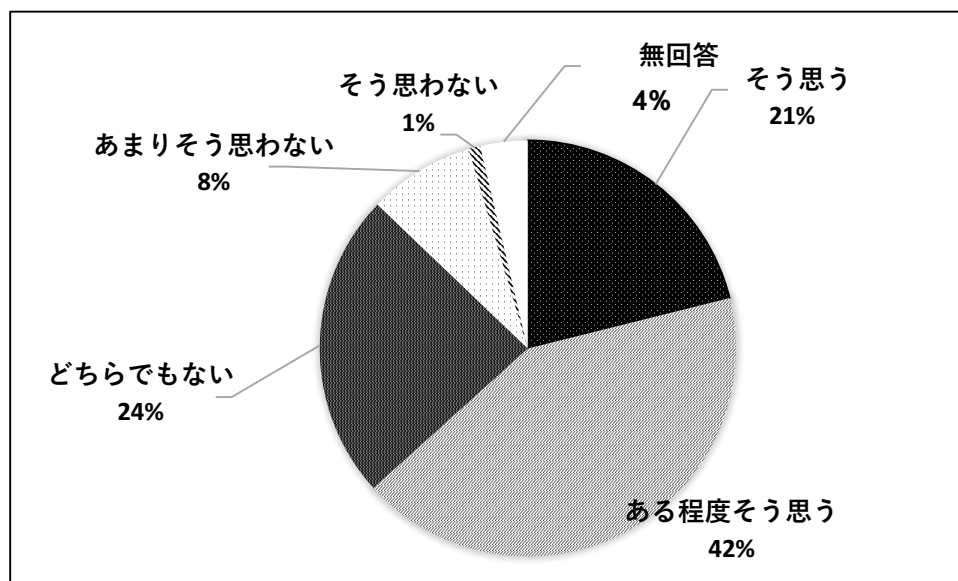
2 1—4. 地域の人口統計・推計についての知見や情報が十分にあったか
 (自治体職員編：問 21) 回答者：109 人



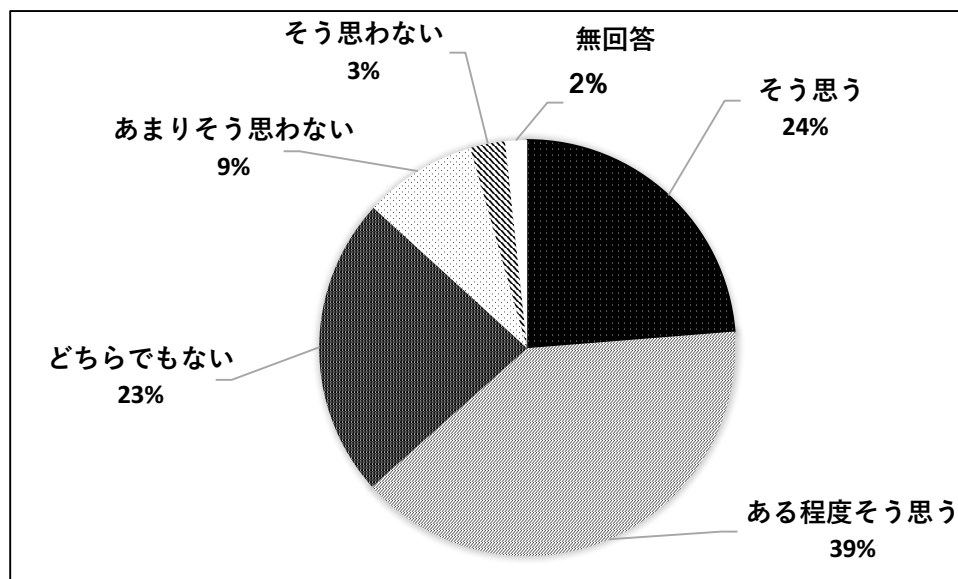
(策定委員会委員編：問 5) 回答者：295 人



2 1 — 5. 地域の産業統計・推計についての知見や情報が十分にあったか
 (自治体職員編：問 21) 回答者：109 人



(策定委員会委員編：問 5) 回答者：295 人

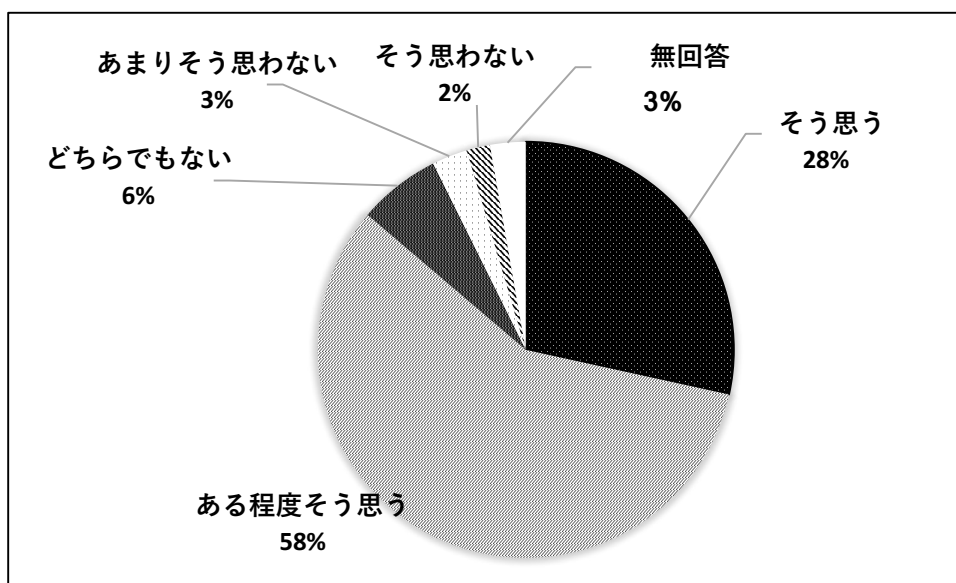


2 2. 生物多様性地域戦略策定に際して、下の知見や情報を十分に活用したか

2 2—1. 生き物や生態系の状況の知見や情報を十分に活用したか

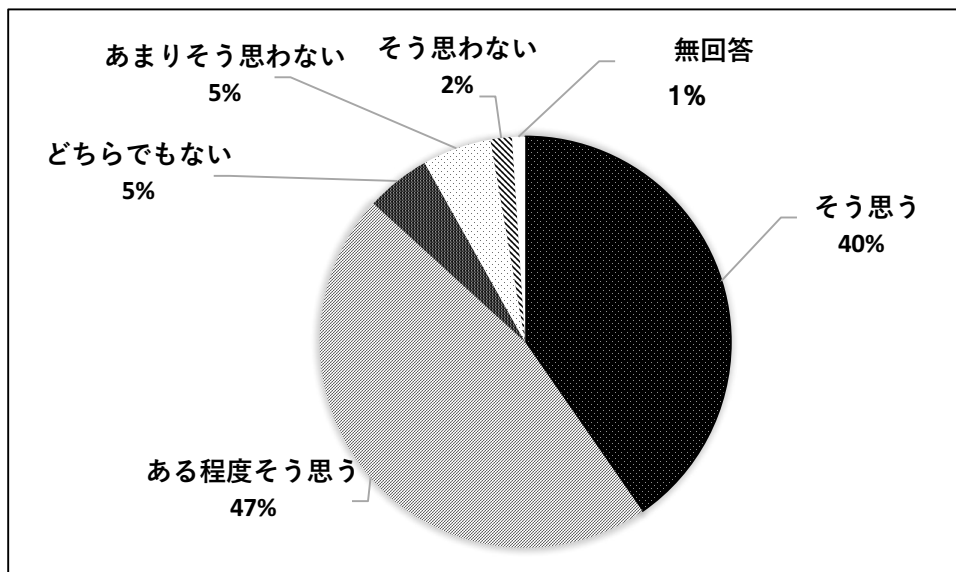
(自治体職員編：問 22)

回答者：109 人



(策定委員会委員編：問 6)

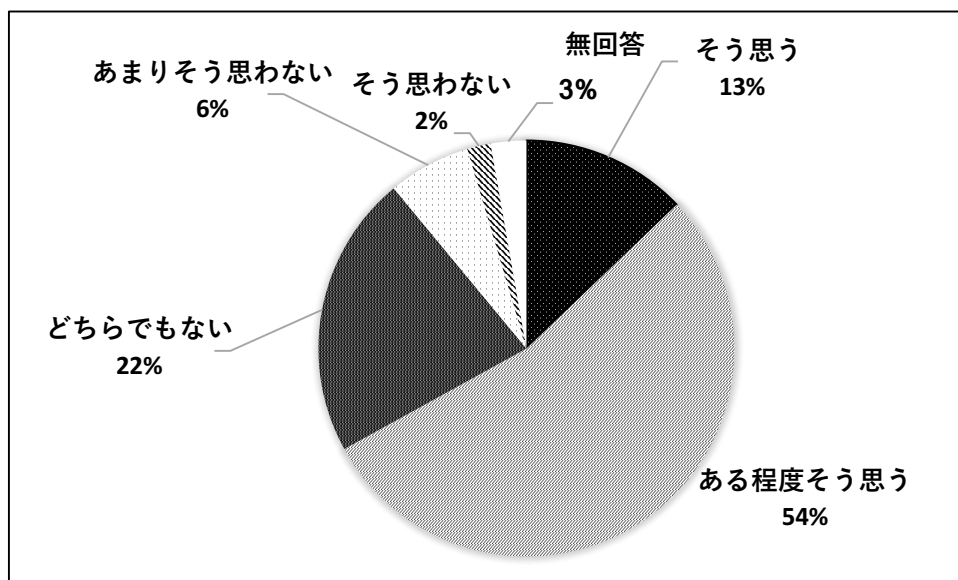
回答者：295 人



2 2—2. 自然の恩恵（生態系サービス）についての知見や情報を十分に活用したか

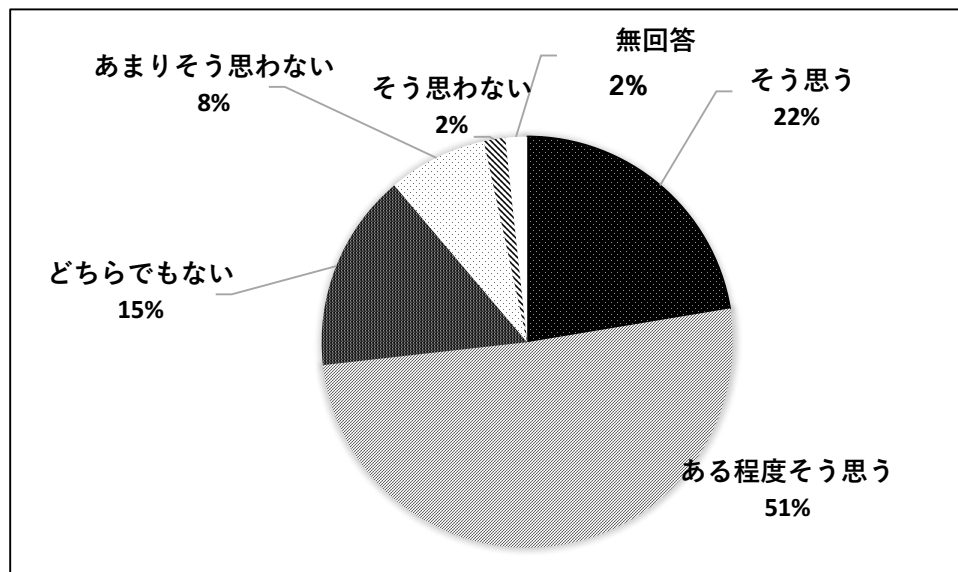
（自治体職員編：問 22）

回答者：109 人



（策定委員会委員編：問 6）

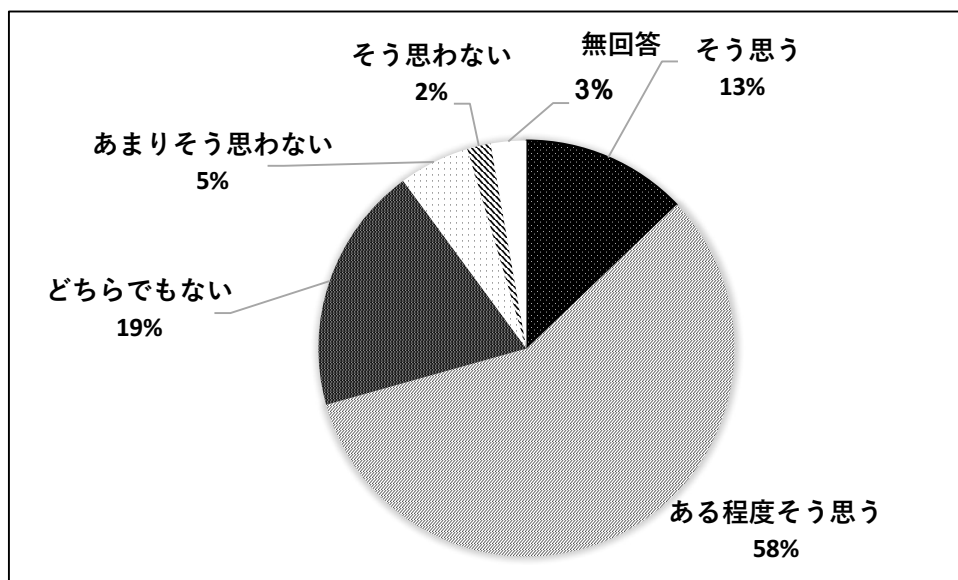
回答者：295 人



2 2—3. 生物多様性が損なわれる原因についての知見や情報を十分に活用したか

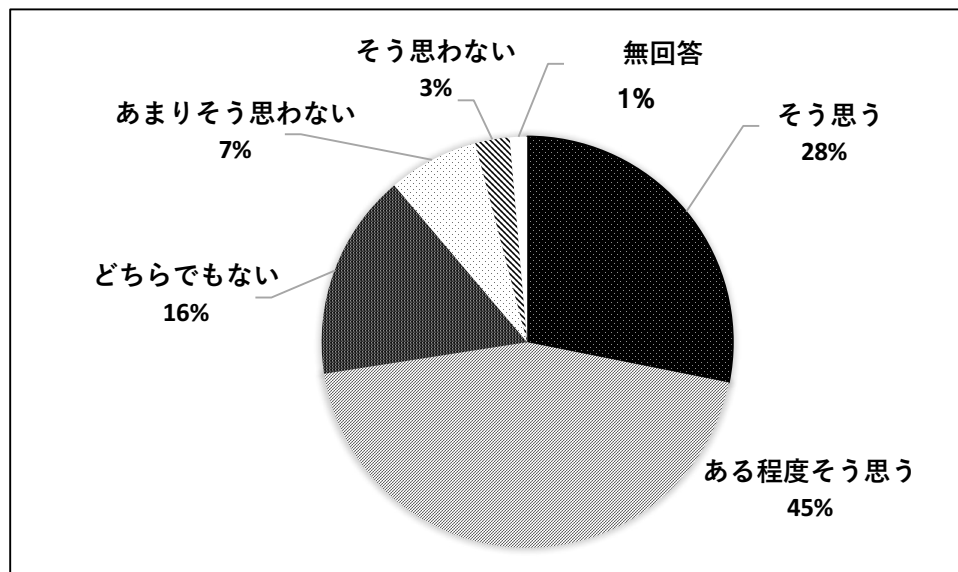
(自治体職員編：問 22)

回答者：109 人

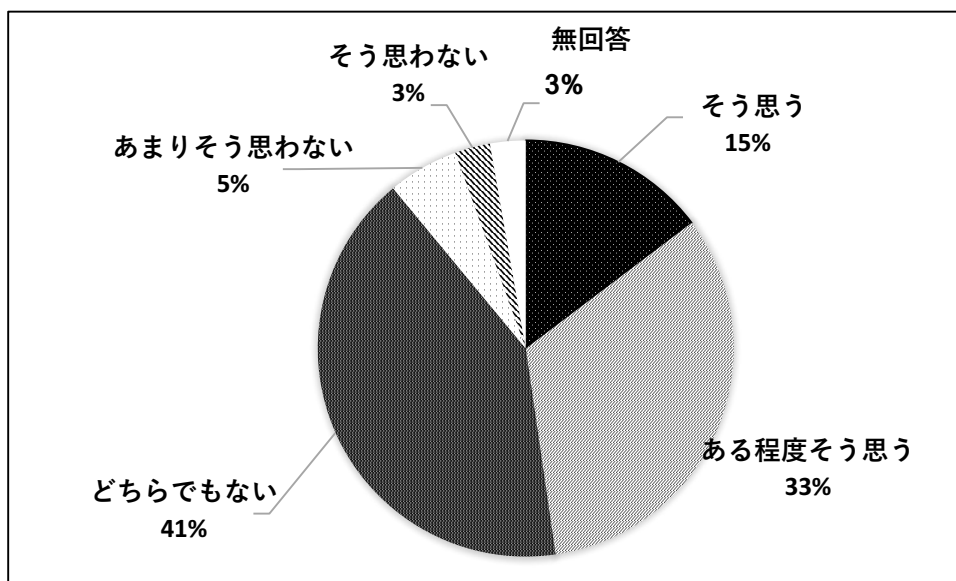


(策定委員会委員編：問 6)

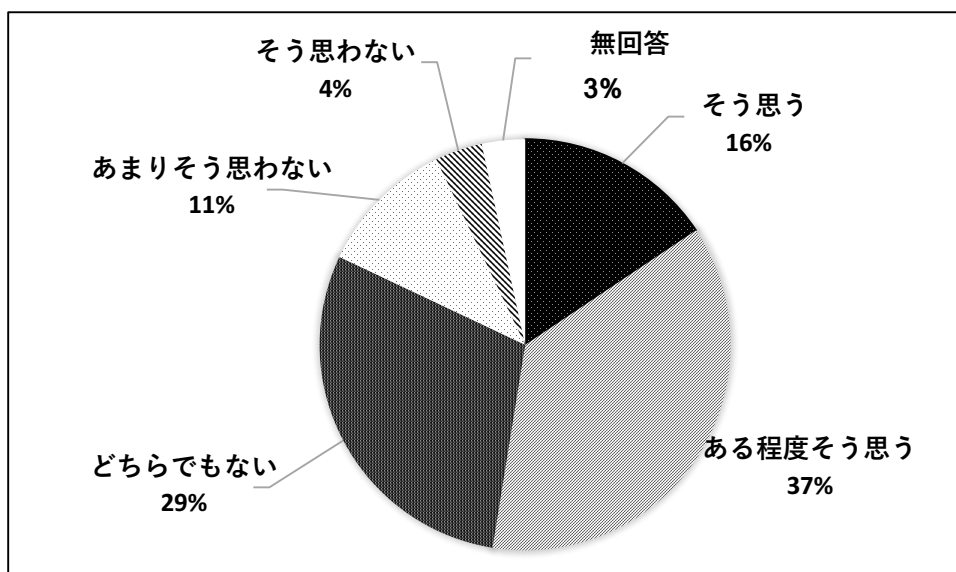
回答者：295 人



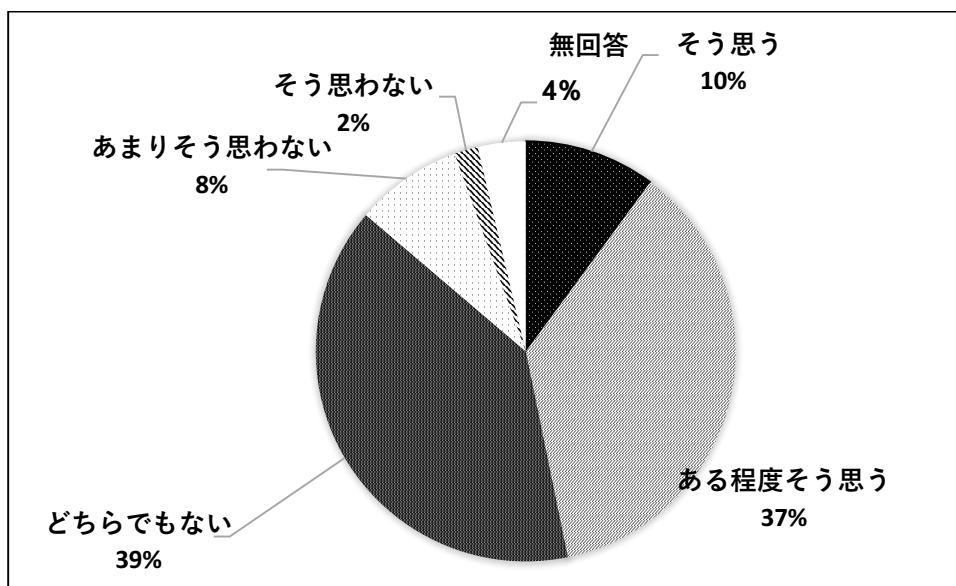
2 2 — 4. 地域の人口統計・推計についての知見や情報を十分に活用したか
 (自治体職員編：問 22) 回答者：109 人



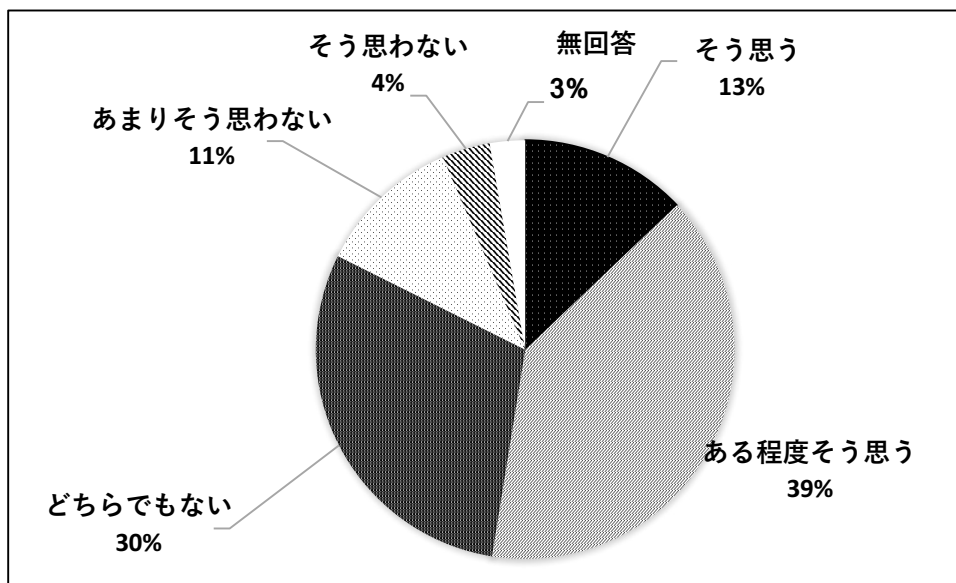
(策定委員会委員編：問 6) 回答者：295 人



2 2 — 5. 地域の産業統計・推計についての知見や情報を十分に活用したか
 (自治体職員編：問 22) 回答者：109 人



(策定委員会委員編：問 6) 回答者：295 人



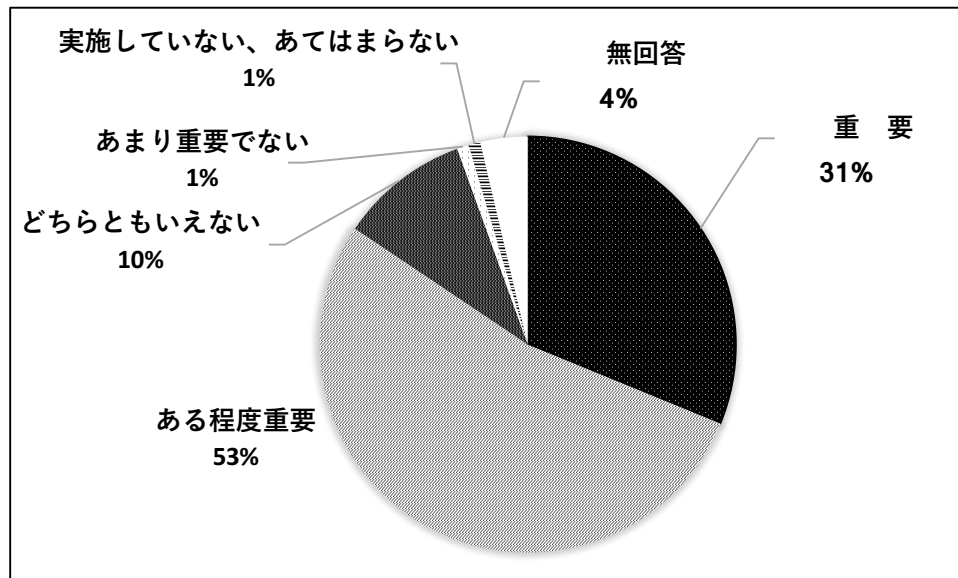
2 3. 知見や情報の入手方法の重要度

2 3—1. 担当部局の取組

2 3—1—1. 策定担当者のデスクワーク（インターネットや図書館蔵書の検索など）

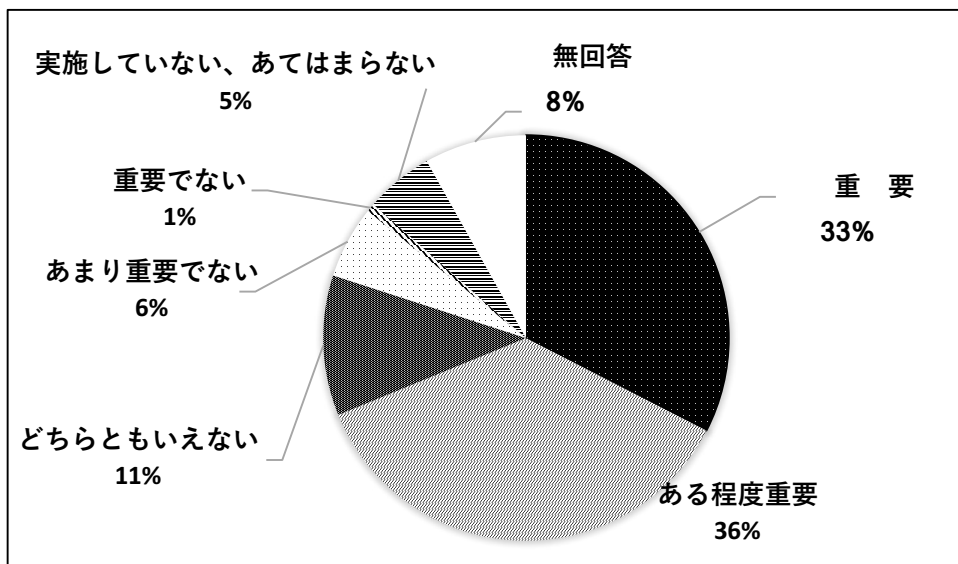
（自治体職員編：問 23）

回答者：109 人



（策定委員会委員編：問 7）

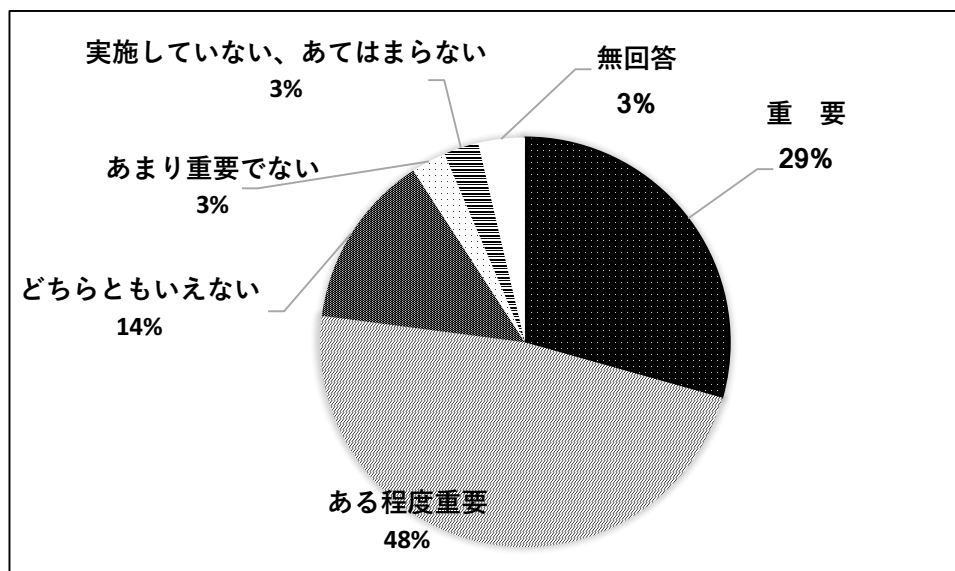
回答者：295 人



2 3—1—2. 策定担当者の個人的なネットワーキング（有識者との直接連絡など）

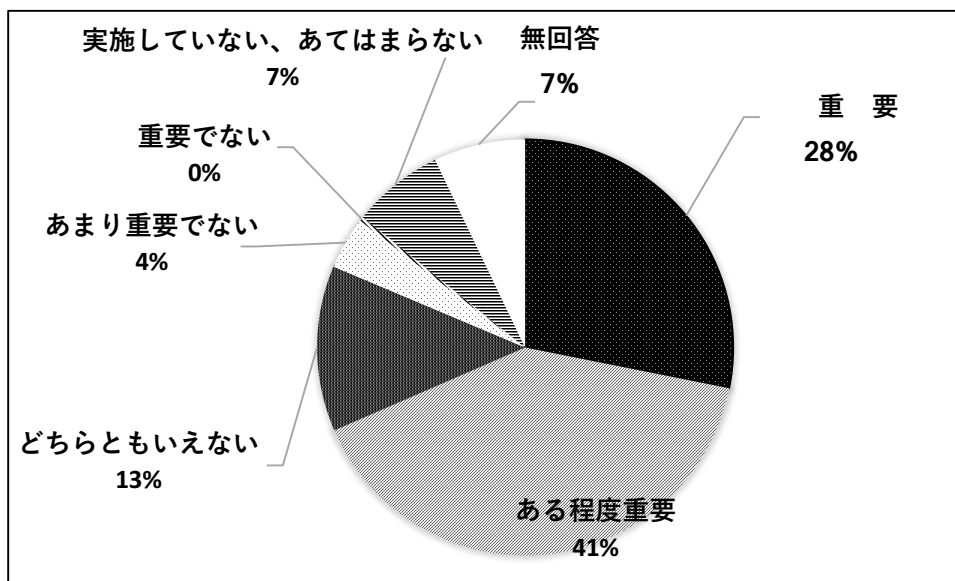
（自治体職員編：問 23）

回答者：109 人



（策定委員会委員編：問 7）

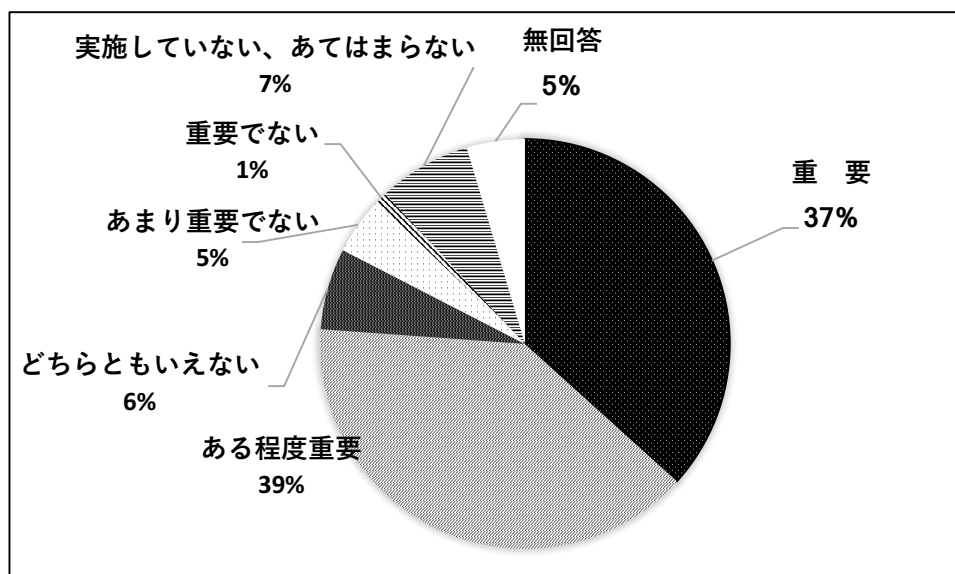
回答者：295 人



2 3—1—3. コンサルタント等への外部委託

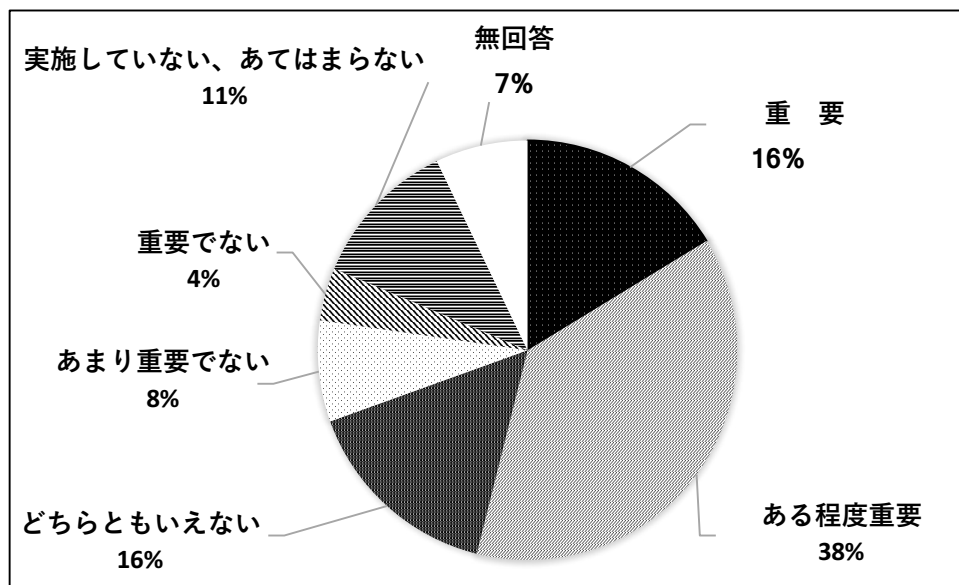
(自治体職員編：問 23)

回答者：109 人



(策定委員会委員編：問 7)

回答者：295 人

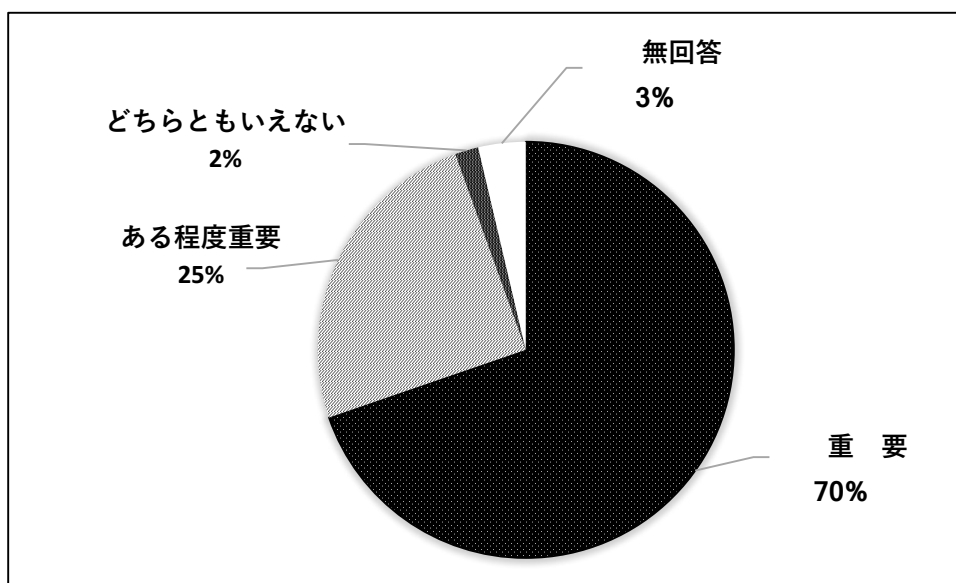


2 3—2. 参加型の取組

2 3—2—1. 生物多様性地域戦略策定に向けた検討委員会や策定部会など

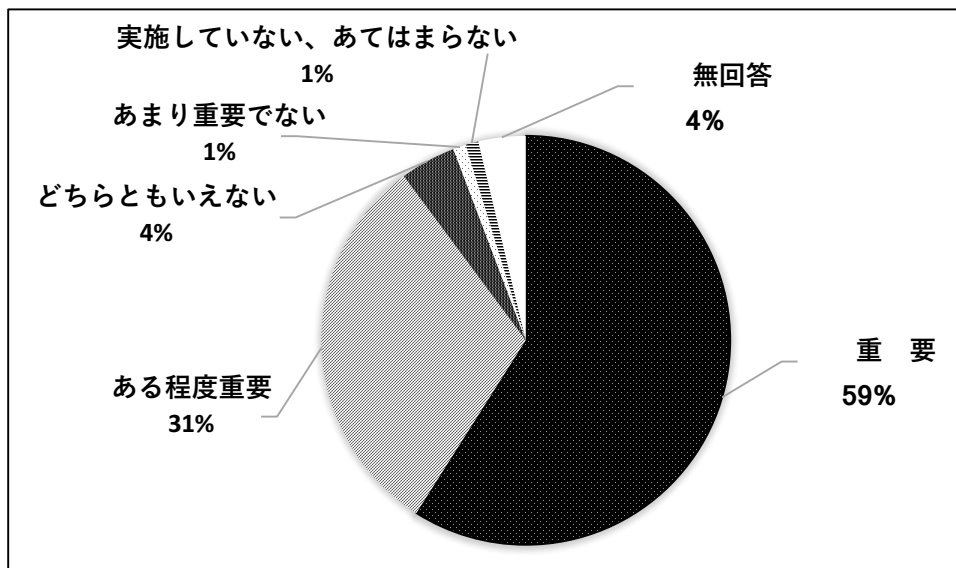
(自治体職員編：問 23)

回答者：109 人



(策定委員会委員編：問 7)

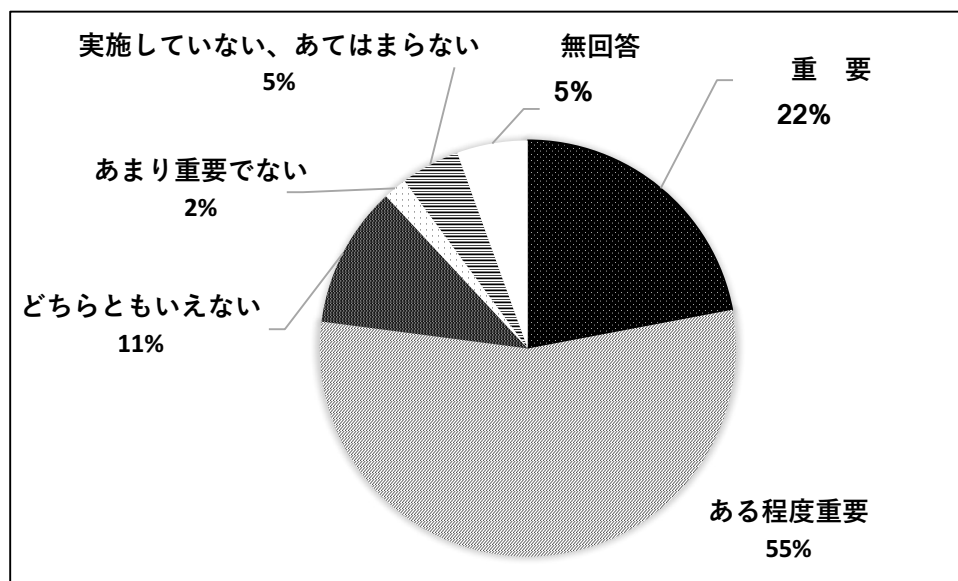
回答者：295 人



2 3—2—2. 関連分野の勉強会やワークショップなど

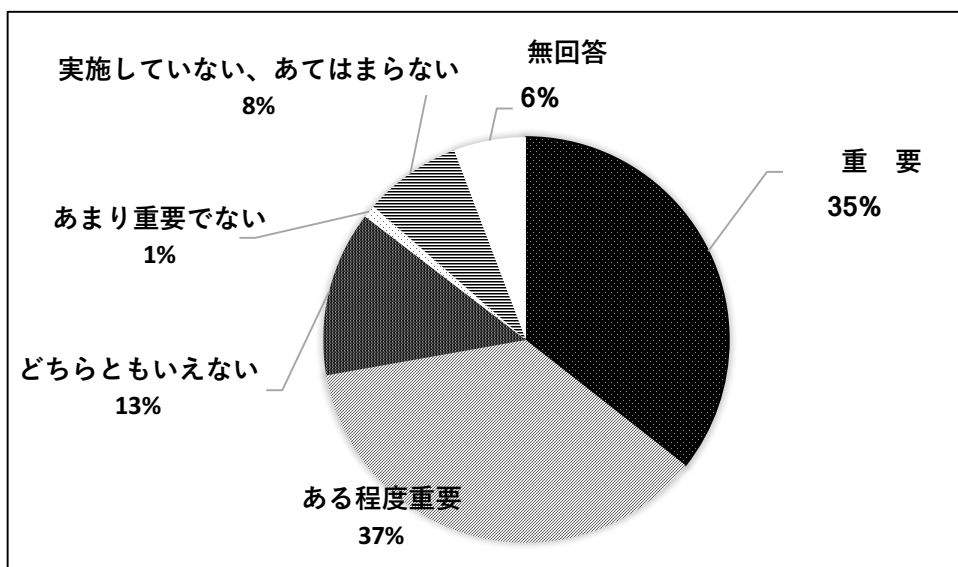
(自治体職員編：問 23)

回答者：109 人



(策定委員会委員編：問 7)

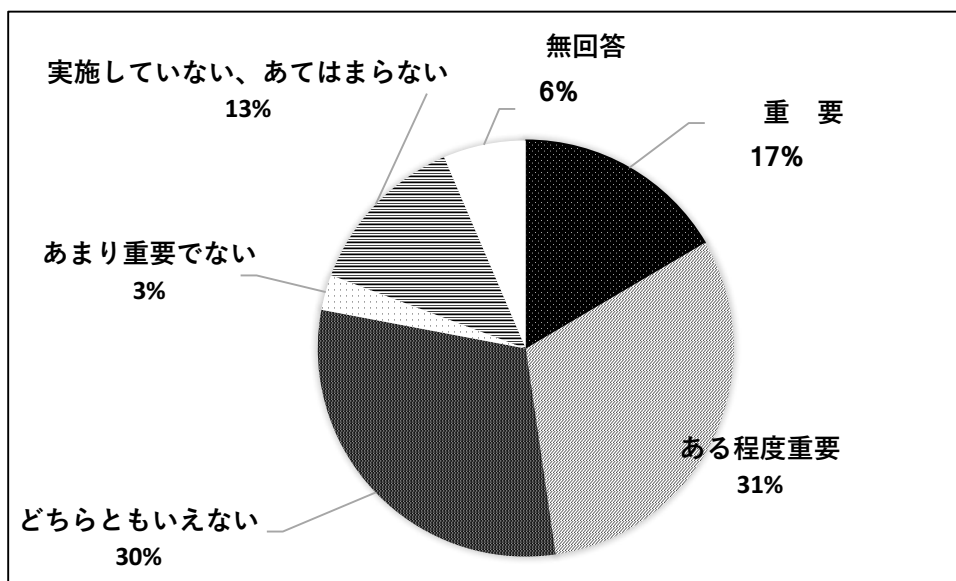
回答者：295 人



2 3—2—3. 地域の情報・活動拠点の整備

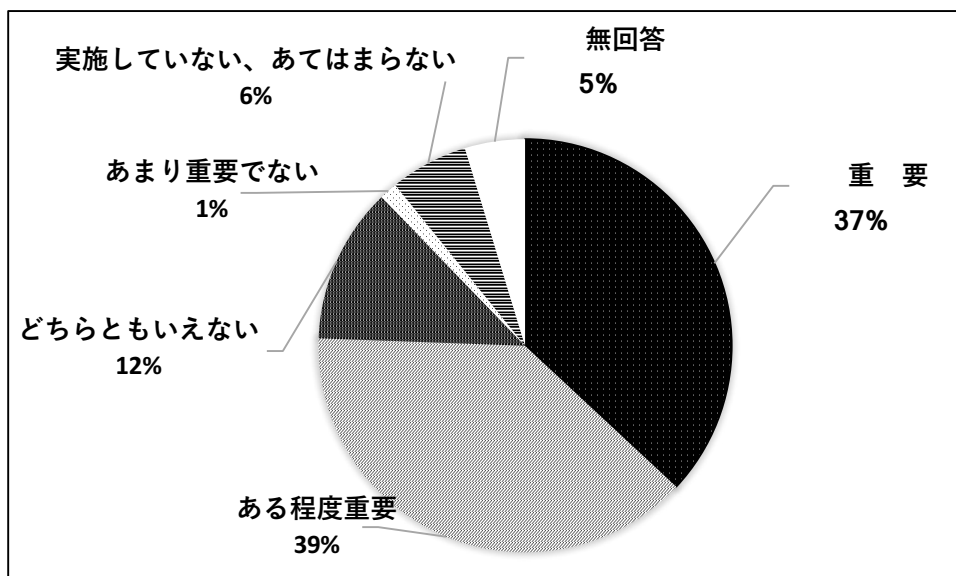
(自治体職員編：問 23)

回答者：109 人



(策定委員会委員編：問 7)

回答者：295 人

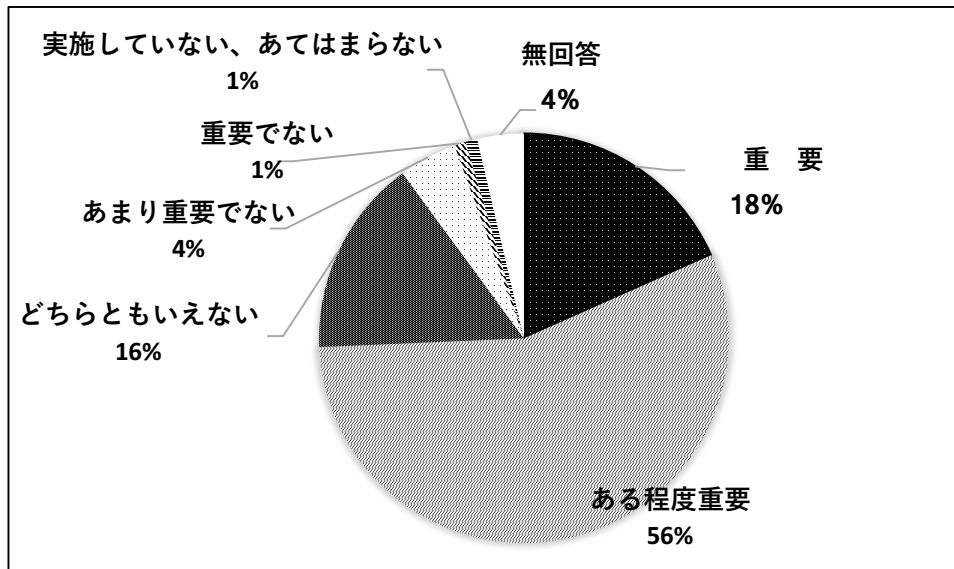


2 3—3. 外部との連携

2 3—3—1. 国または都道府県からの情報提供

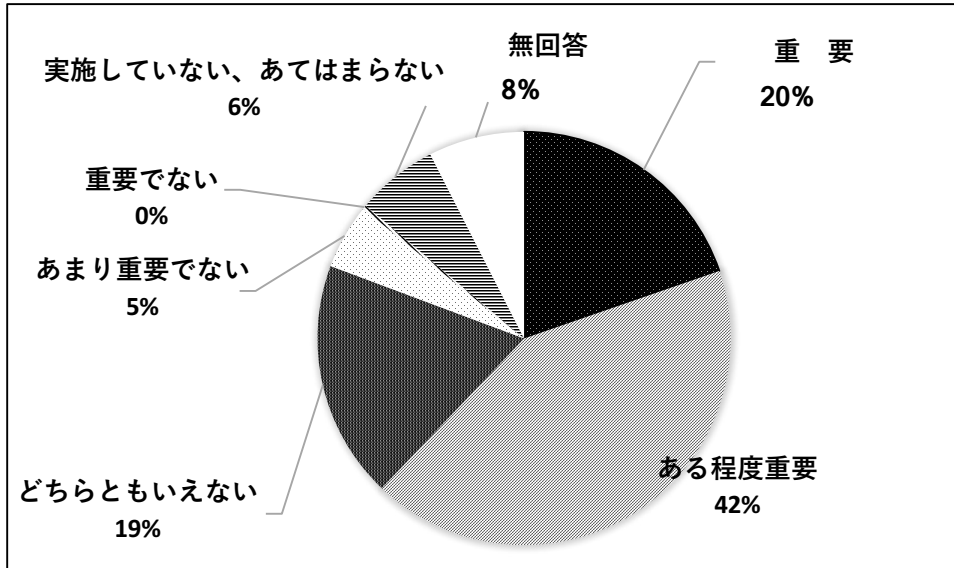
(自治体職員編：問 23)

回答者：109 人



(策定委員会委員編：問 7)

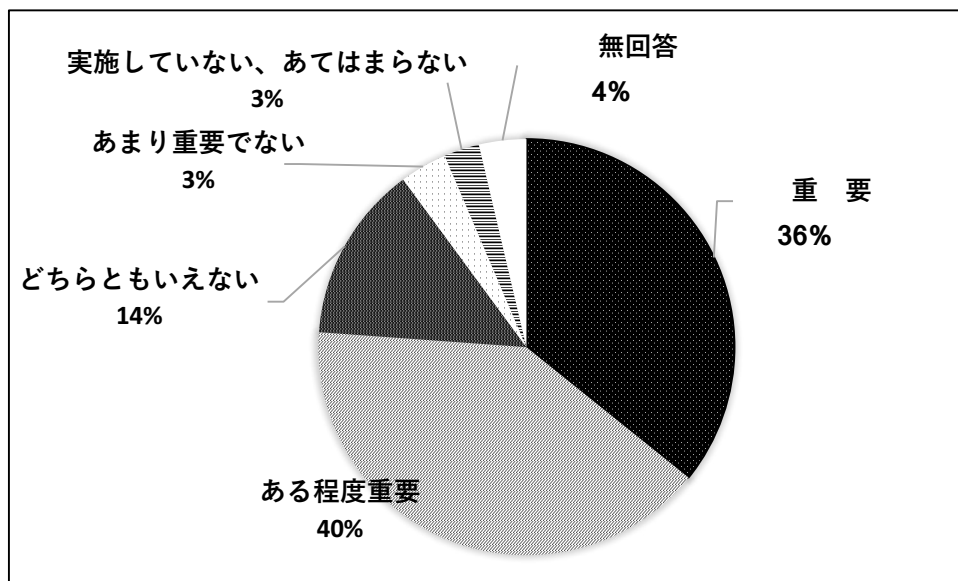
回答者：295 人



2 3—3—2. 大学・博物館などの教育・研究機関との連携

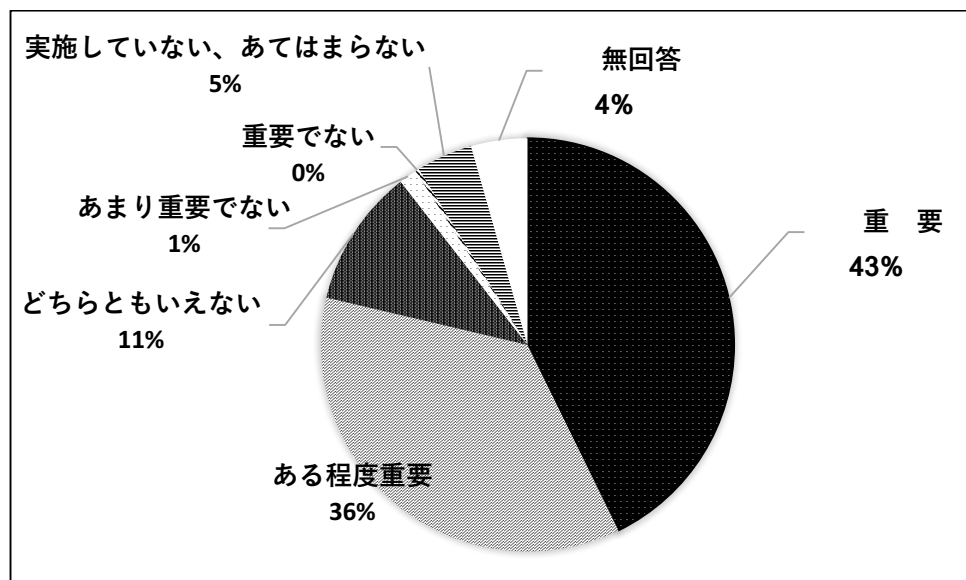
(自治体職員編：問 23)

回答者：109 人

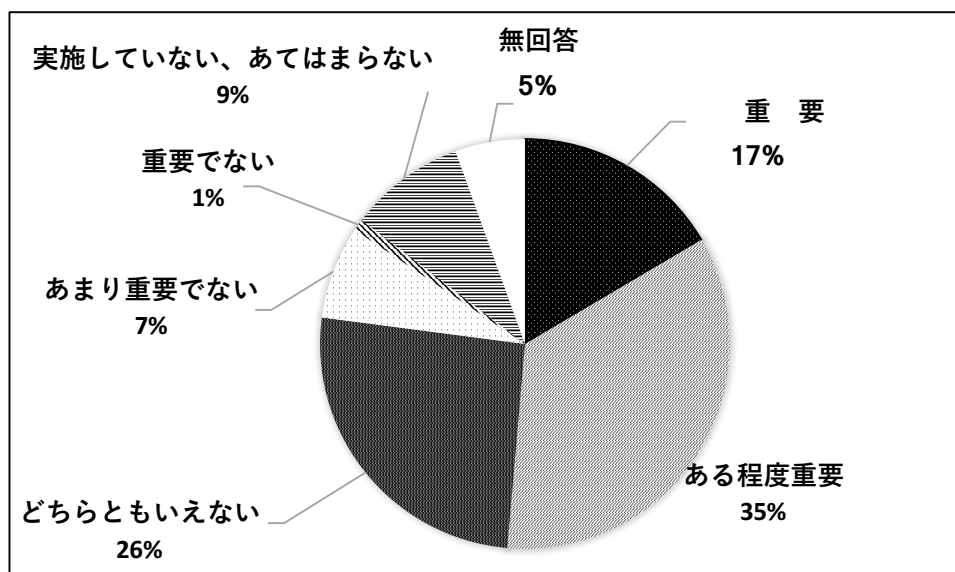


(策定委員会委員編：問 7)

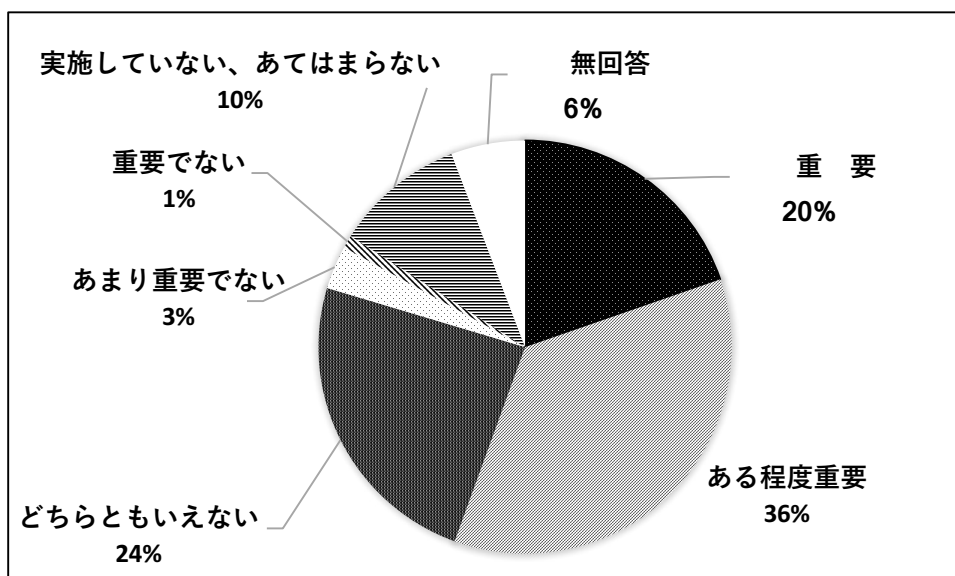
回答者：295 人



2 3—3—3. 他の市区町村や都道府県を含む広域ネットワークへの参加
(自治体職員編：問 23) 回答者：109 人



(策定委員会委員編：問 7) 回答者：295 人

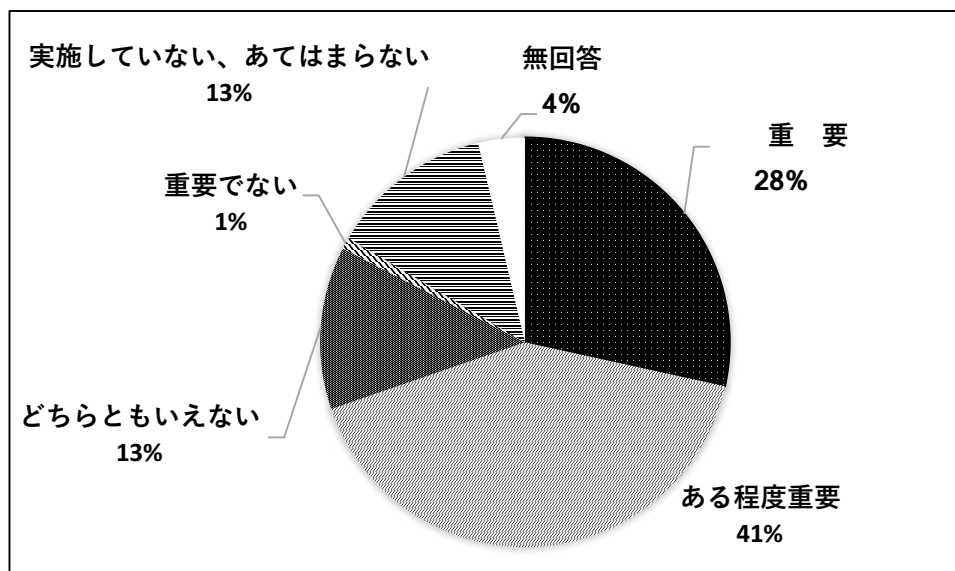


2 3—4. 知見・情報を充実させるための取組

2 3—4—1. 市民アンケートの実施

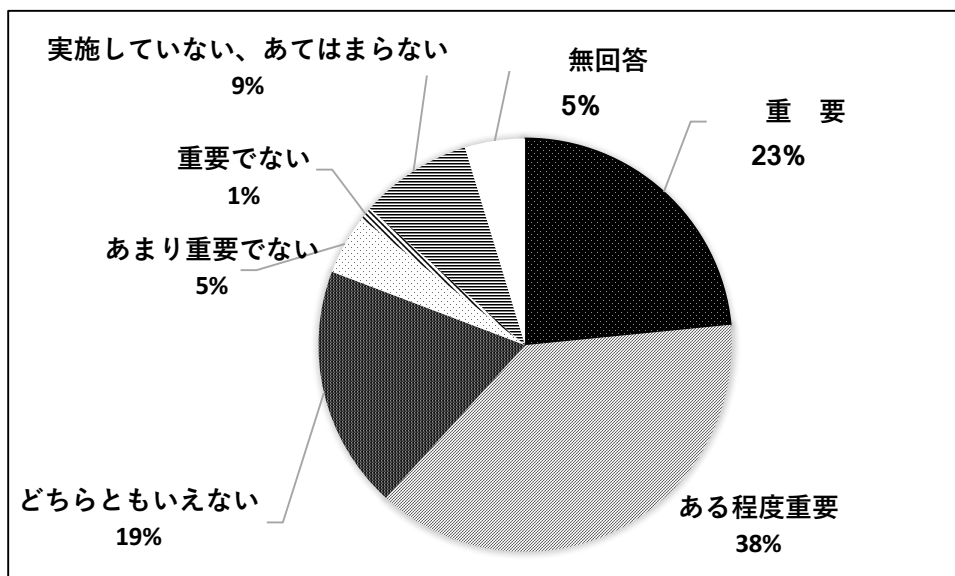
(自治体職員編：問 23)

回答者：109 人



(策定委員会委員編：問 7)

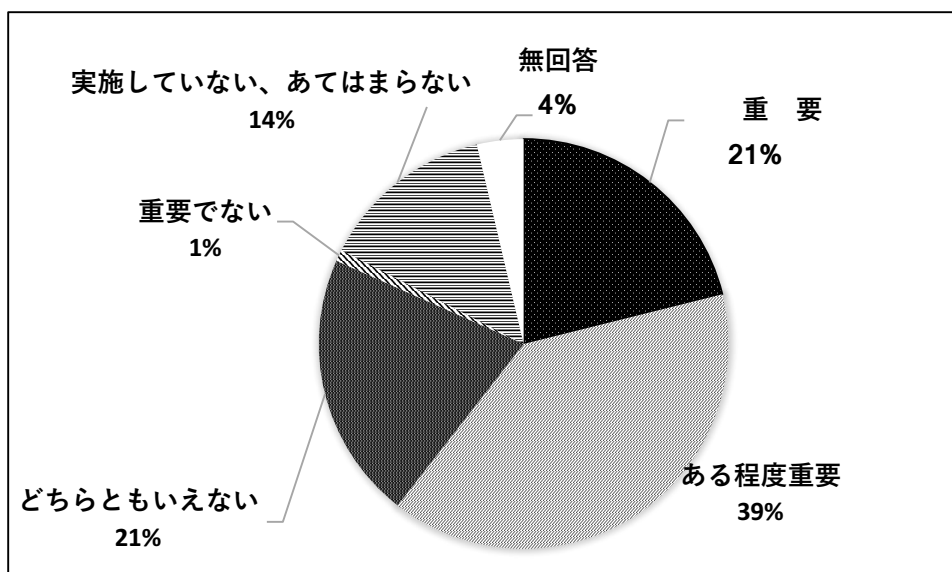
回答者：295 人



2 3—4—2. 独自調査やモデル事業などの実施

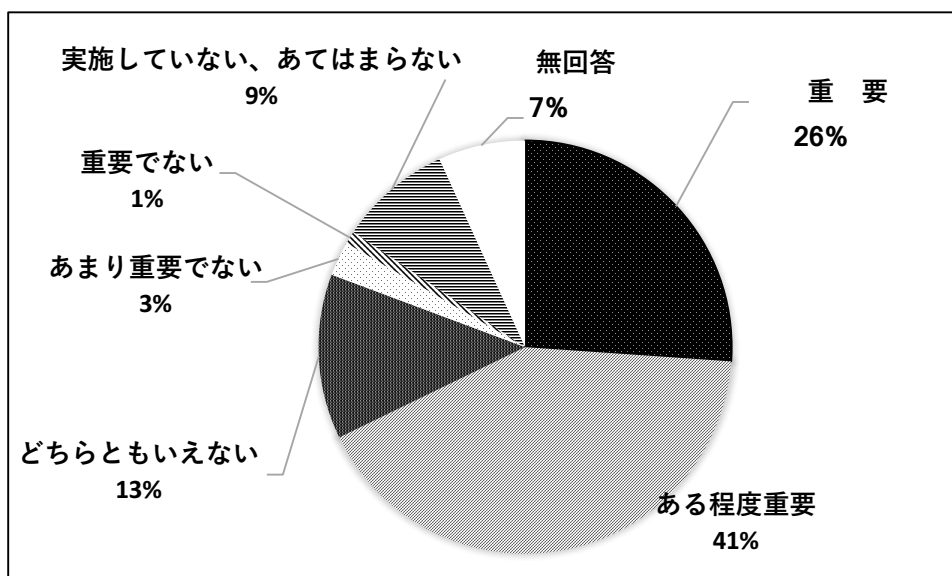
(自治体職員編：問 23)

回答者：109 人



(策定委員会委員編：問 7)

回答者：295 人

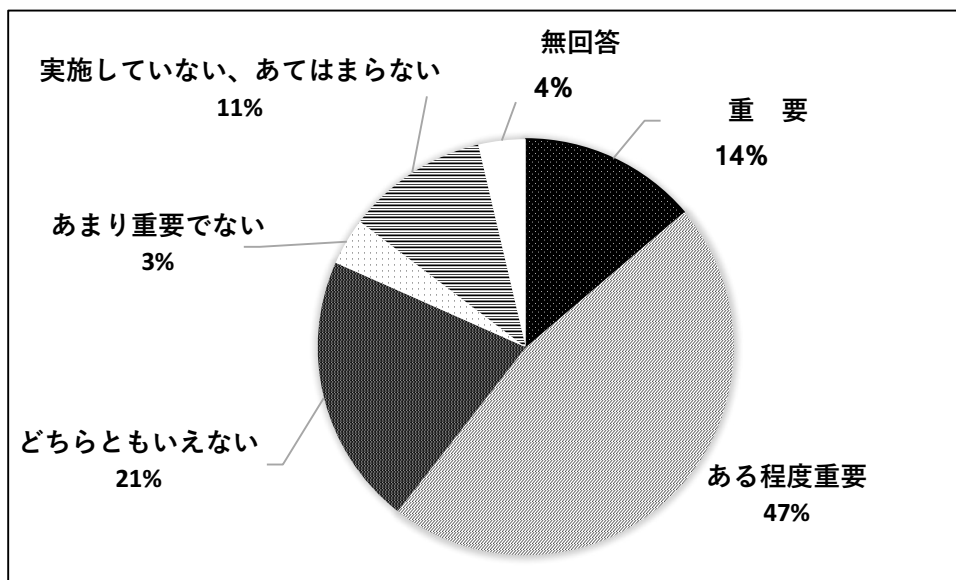


2 3—5. 知見・情報を使い手に伝えるための取組

2 3—5—1. 調査や研究を概説する広報資料やウェブページ、ニュースレターなど

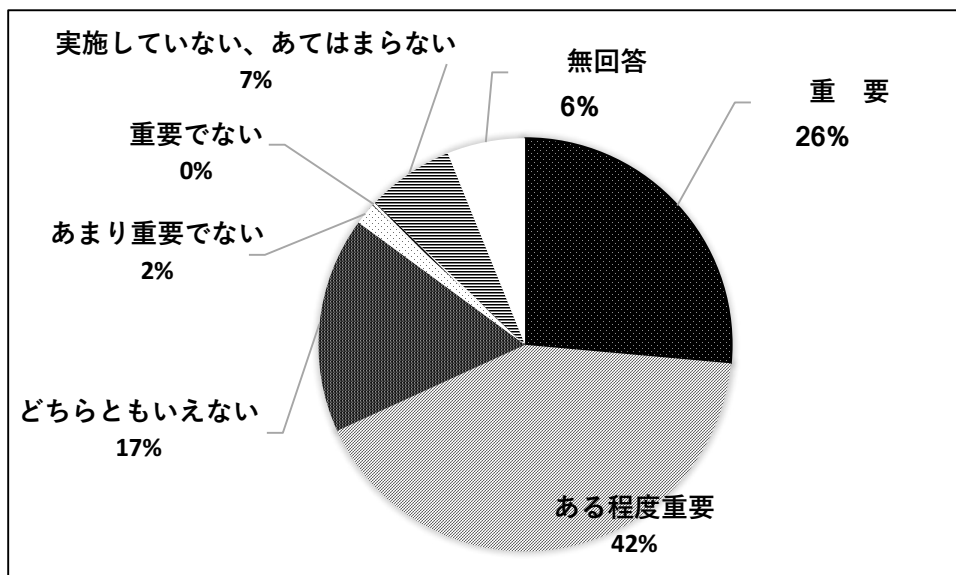
(自治体職員編：問 23)

回答者：109 人



(策定委員会委員編：問 7)

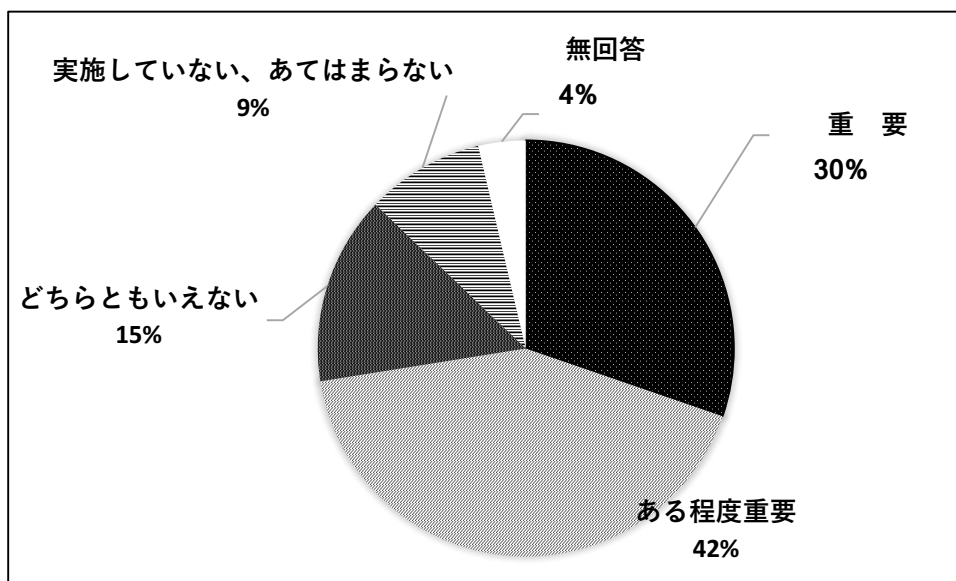
回答者：295 人



2 3—5—2. リスト化やデータベース整備など

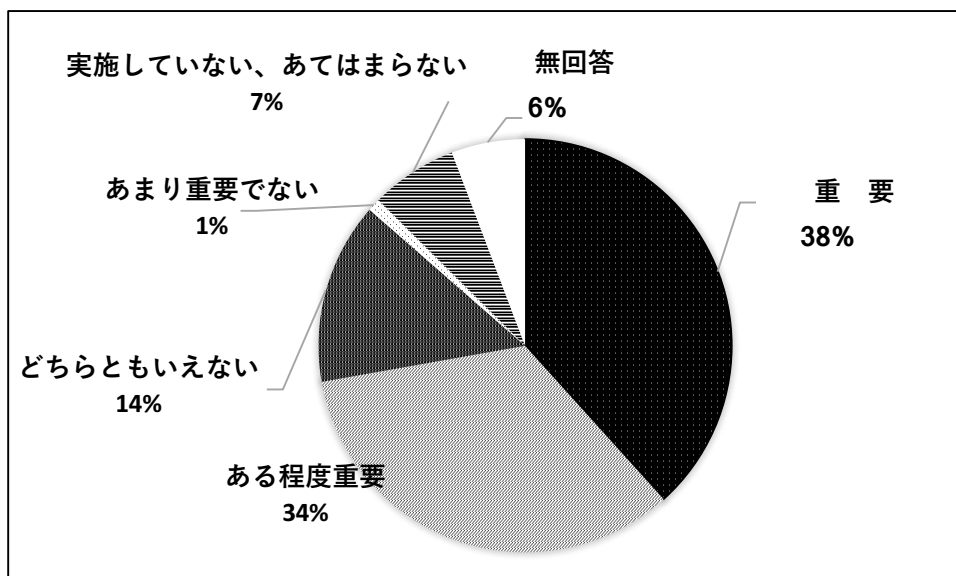
(自治体職員編：問 23)

回答者：109 人



(策定委員会委員編：問 7)

回答者：295 人

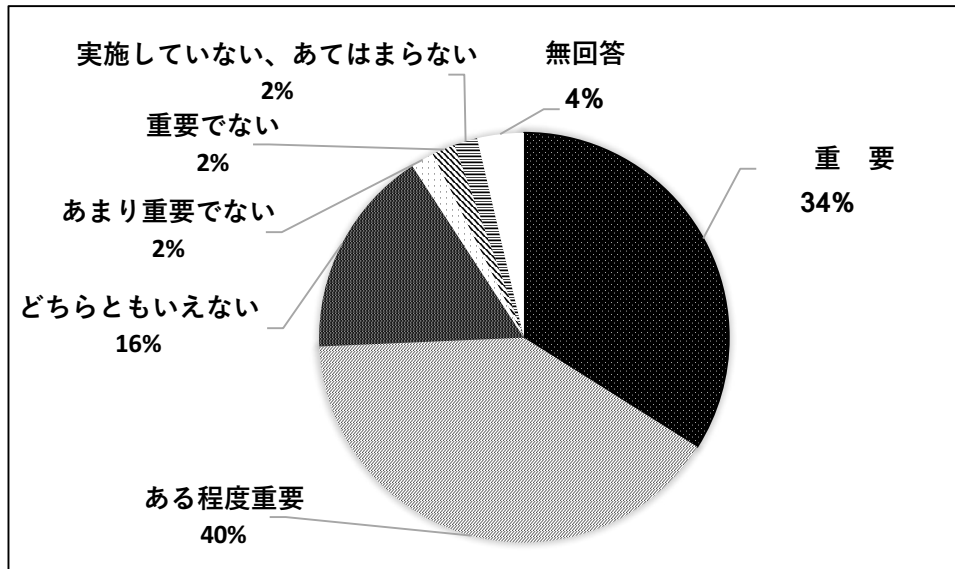


2 3—6. 知見・情報の精査

2 3—6—1. パブコメや有識者による生物多様性地域戦略文書（案）へのコメント

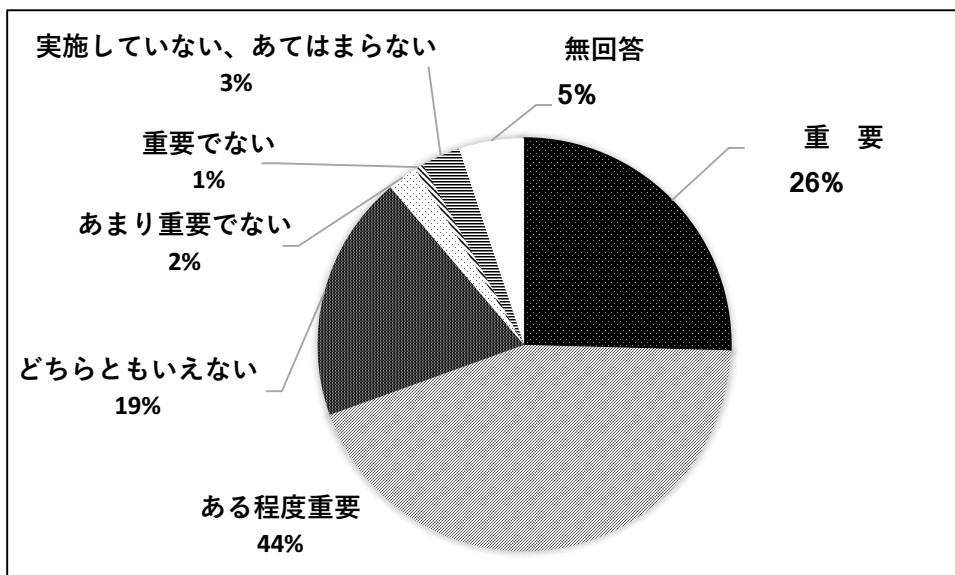
（自治体職員編：問 23）

回答者：109 人



（策定委員会委員編：問 7）

回答者：295 人

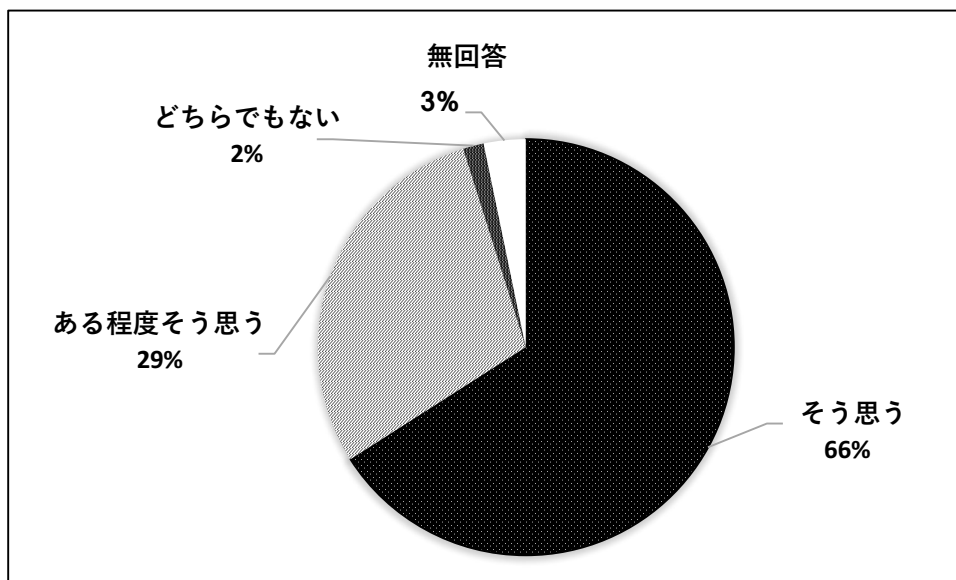


2 4. 生物多様性地域戦略の実施や改定に向けて、下の知見や情報を必要としているか

2 4—1. 生き物や生態系の状況の知見や情報を必要としているか

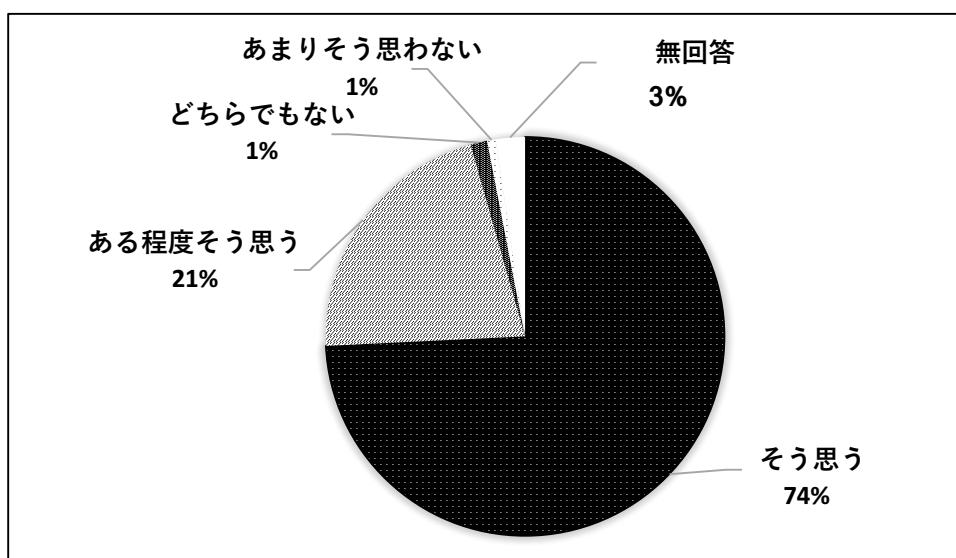
(自治体職員編：問 24・問 51)

回答者：185 人



(策定委員会委員編：問 8)

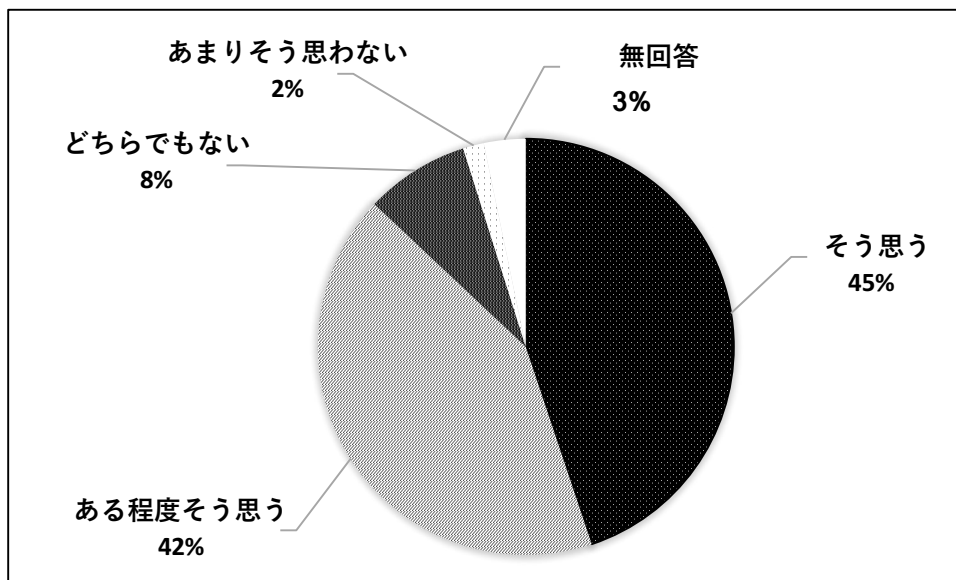
回答者：295 人



2 4 — 2. 自然の恩恵（生態系サービス）についての知見や情報を必要としているか

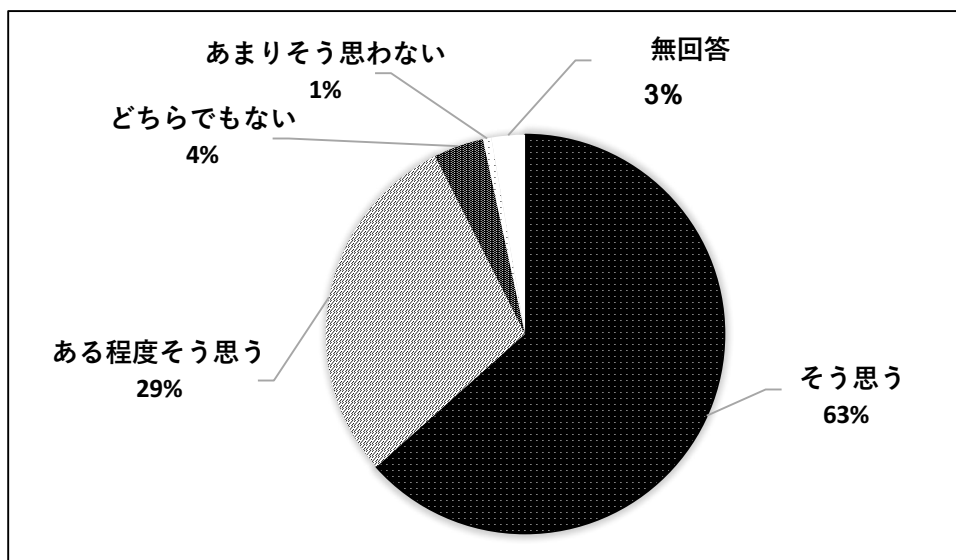
（自治体職員編：問 24・問 51）

回答者：185 人



（策定委員会委員編：問 8）

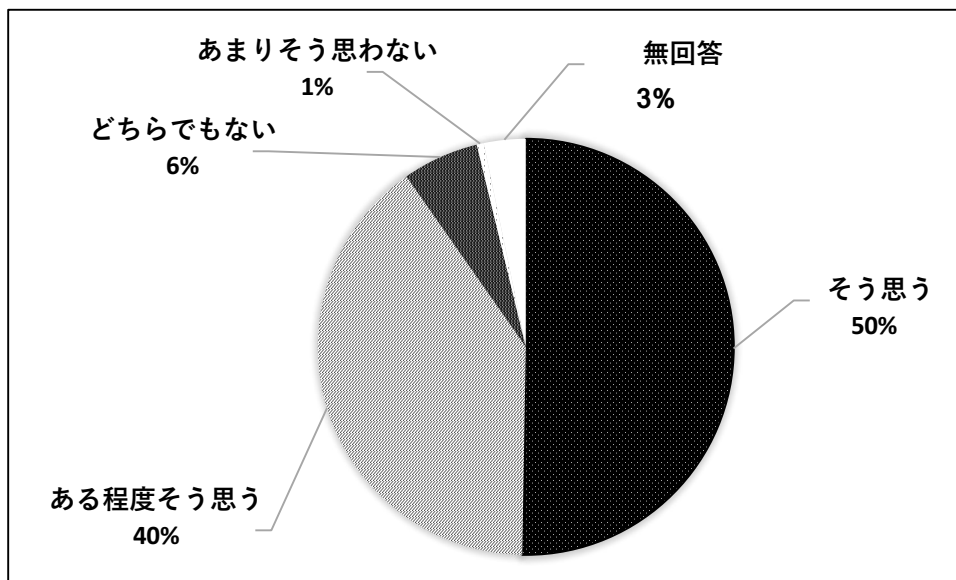
回答者：295 人



2 4 — 3. 生物多様性が損なわれる原因についての知見や情報を必要としているか

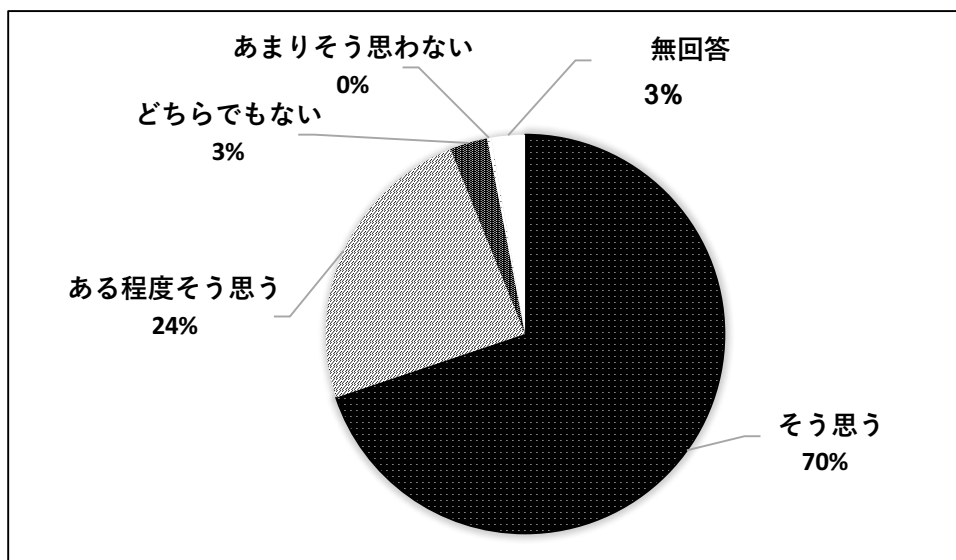
(自治体職員編：問 24・問 51)

回答者：185 人



(策定委員会委員編：問 8)

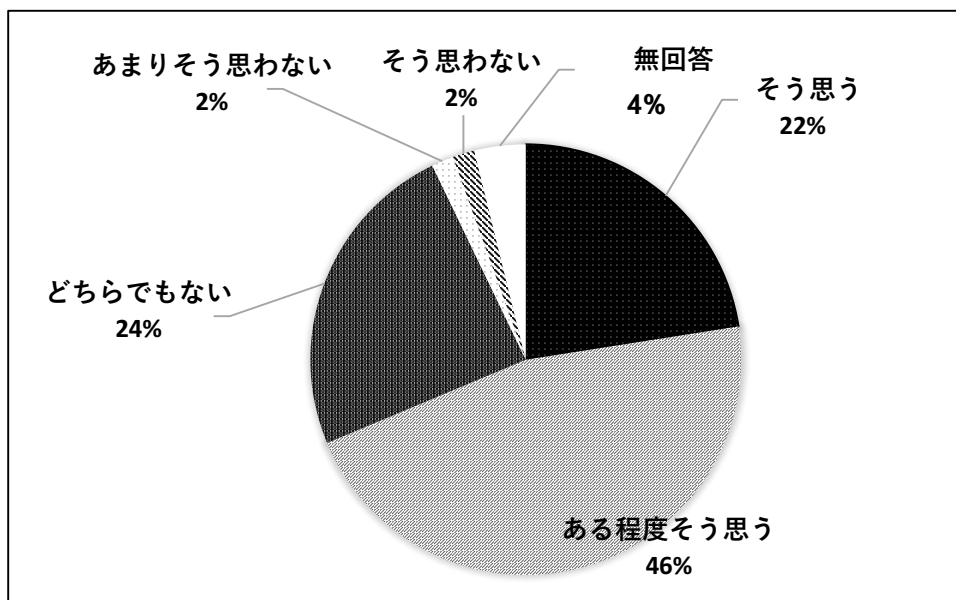
回答者：295 人



2 4 — 4. 地域の人口統計・推計についての状況の知見や情報を必要としているか

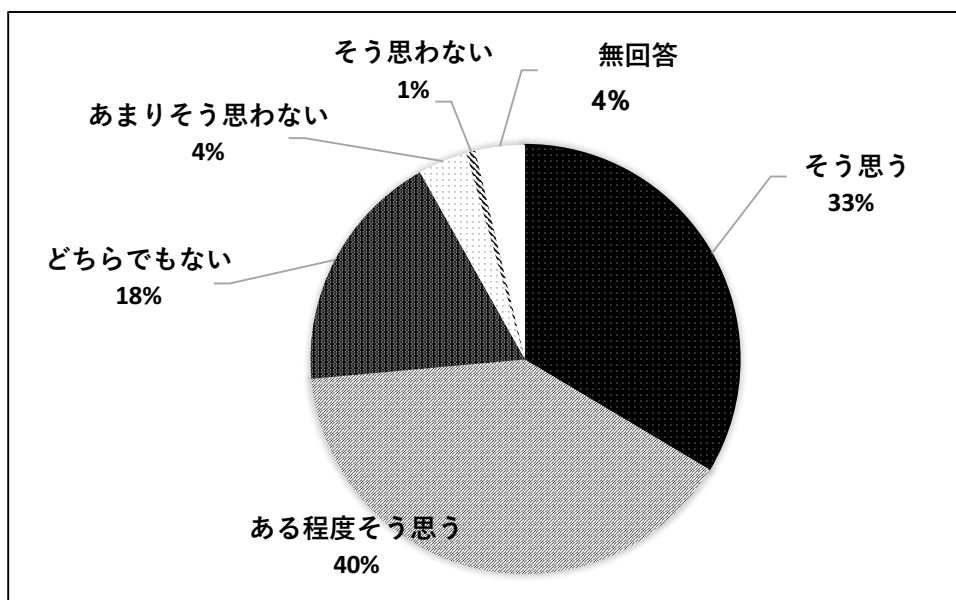
(自治体職員編：問 24・問 51)

回答者：185 人

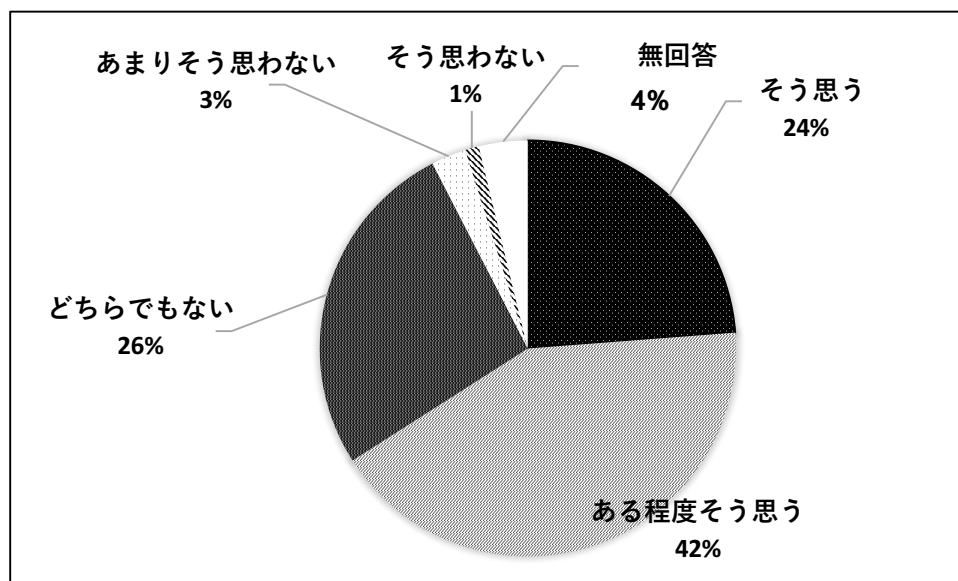


(策定委員会委員編：問 8)

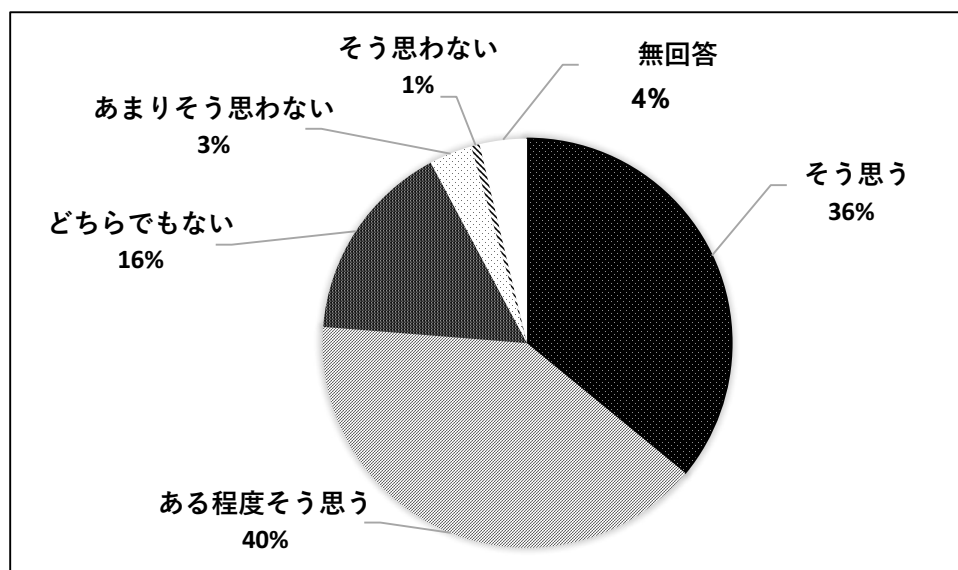
回答者：295 人



2 4 — 5. 地域の産業統計・推計についての知見や情報を必要としているか
 (自治体職員編：問 24・問 51) 回答者：185 人



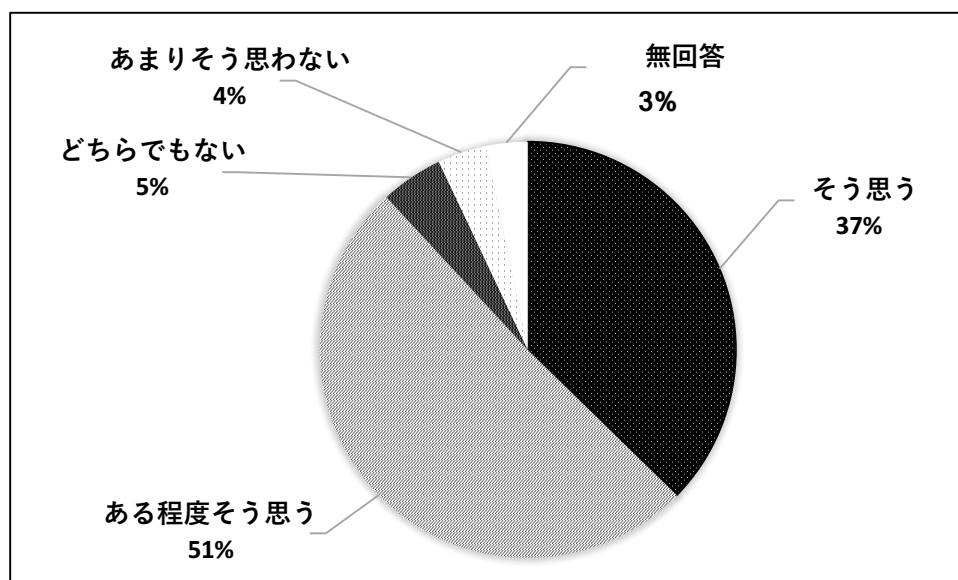
(策定委員会委員編：問 8) 回答者：295 人



25. 社会経済や自然環境の変化の予測結果は、今後の生物多様性地域戦略の実施や改定に有用であるか

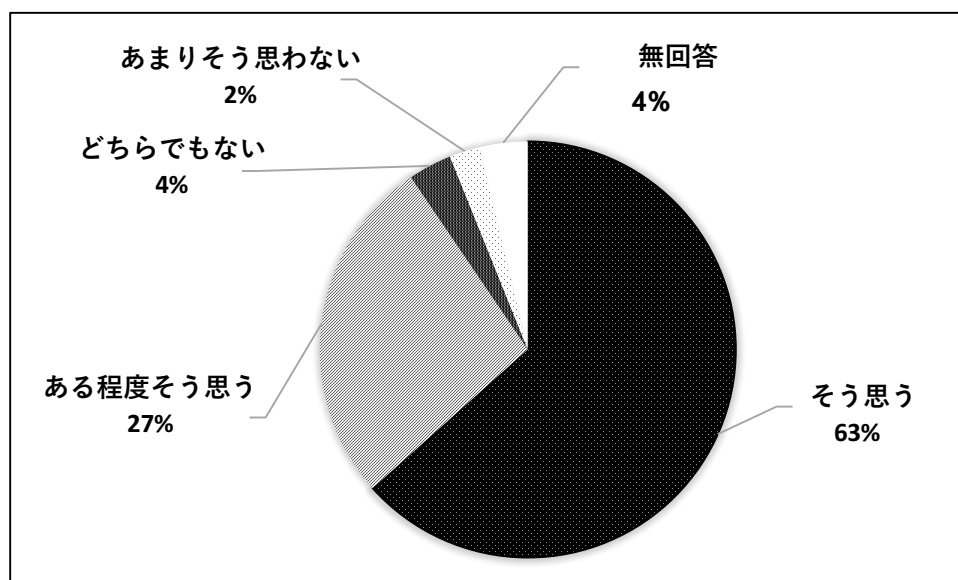
(自治体職員編：問 25・問 52)

回答者：185 人



(策定委員会委員編：問 9)

回答者：295 人

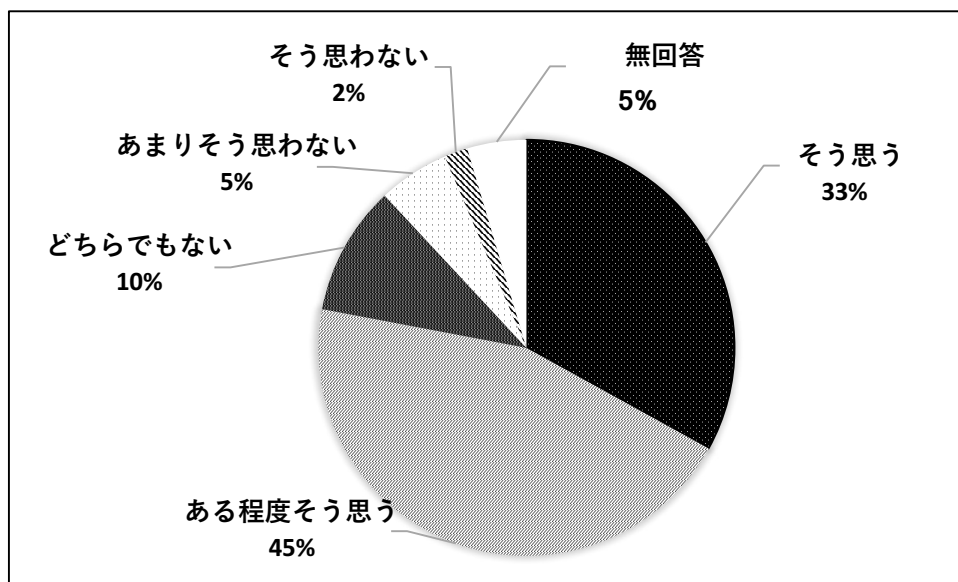


2 6. 生物多様性地域戦略の策定や実施、改定に求められる知見や情報の入手や活用を進める上での課題

2 6—1. 必要な知見や情報が不足している

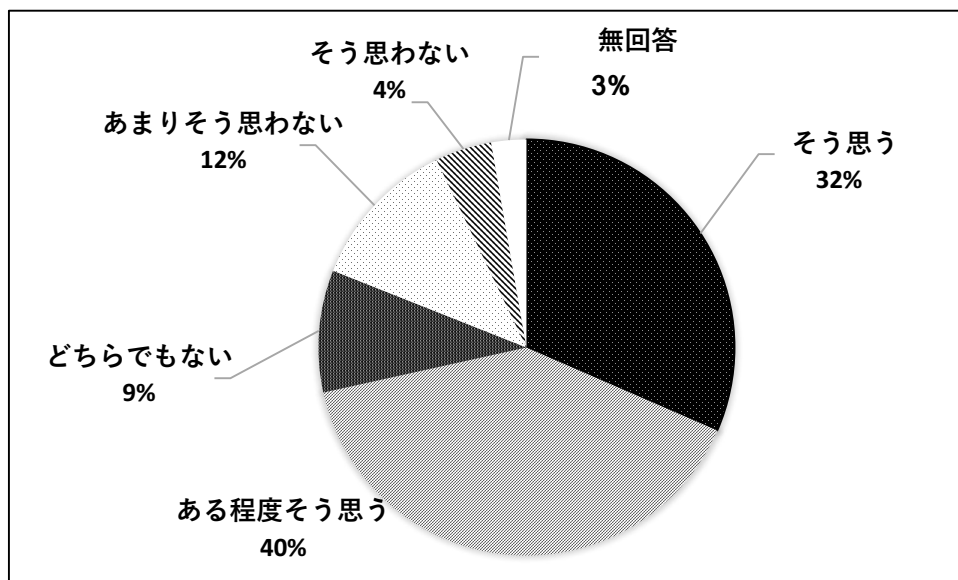
(自治体職員編：問 26・問 53)

回答者：109 人



(策定委員会委員編：問 10)

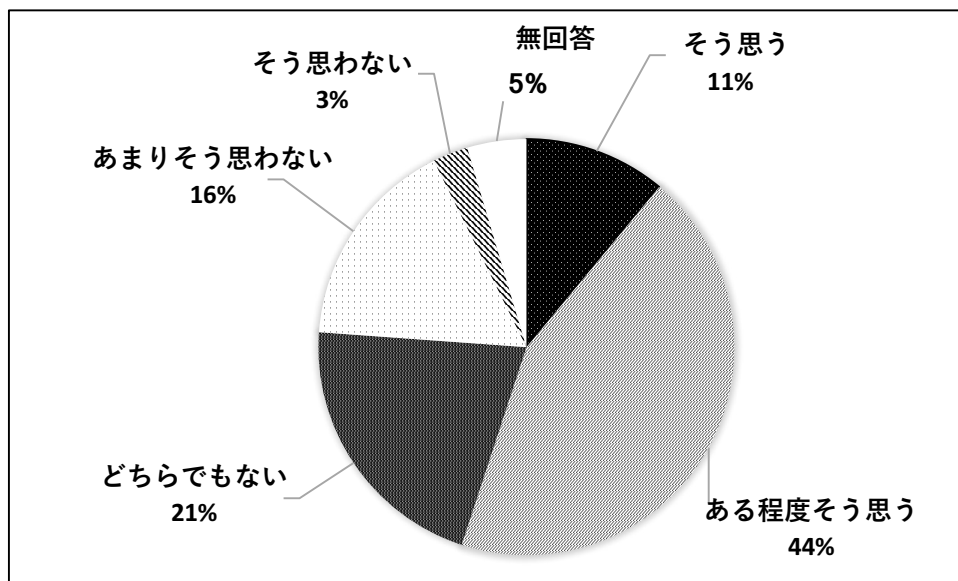
回答者：295 人



2 6—2. 必要な知見や情報がどこにあるかわからない

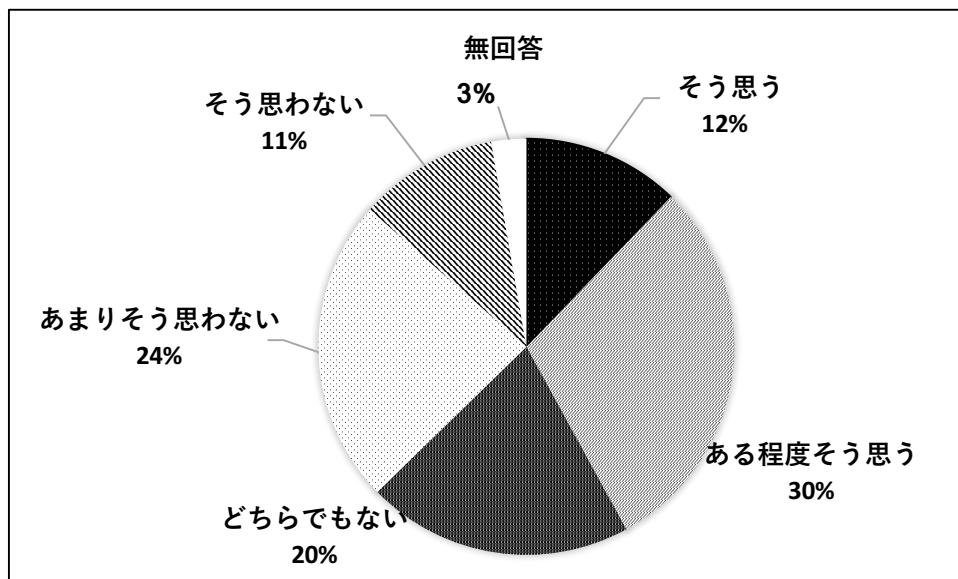
(自治体職員編：問 26・問 53)

回答者：109 人



(策定委員会委員編：問 10)

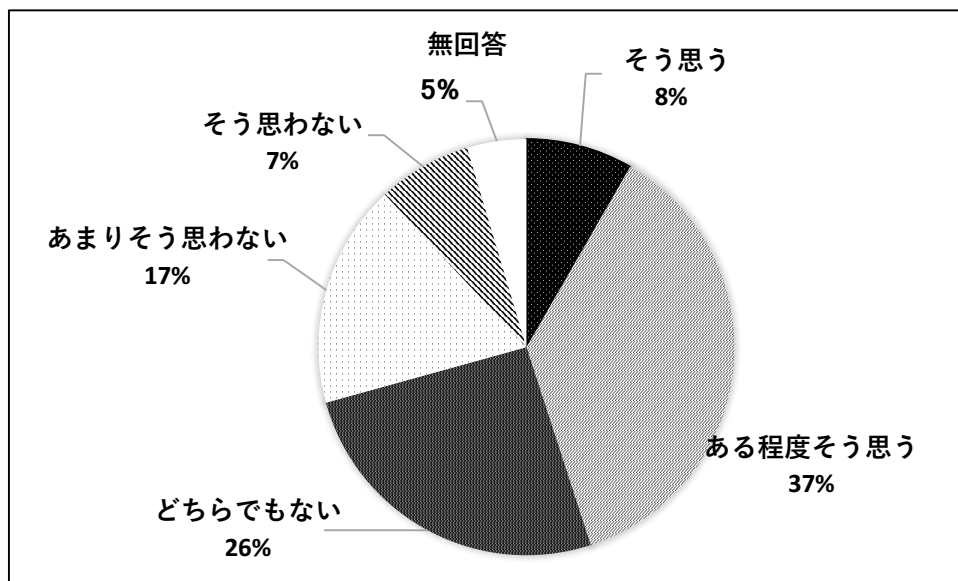
回答者：295 人



2 6 — 3. 関連する知見や情報はあが、内容が十分に理解できない

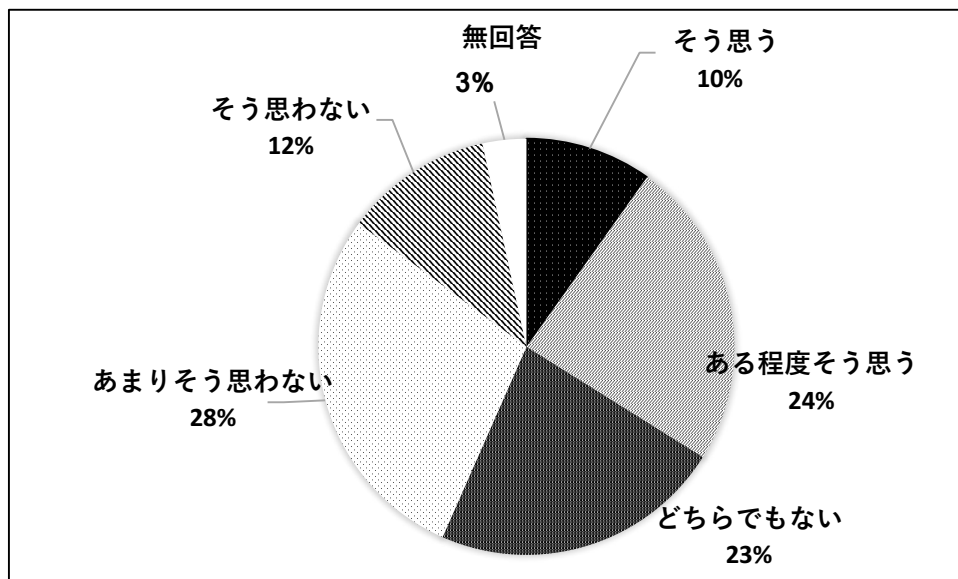
(自治体職員編：問 26・問 53)

回答者：109 人



(策定委員会委員編：問 10)

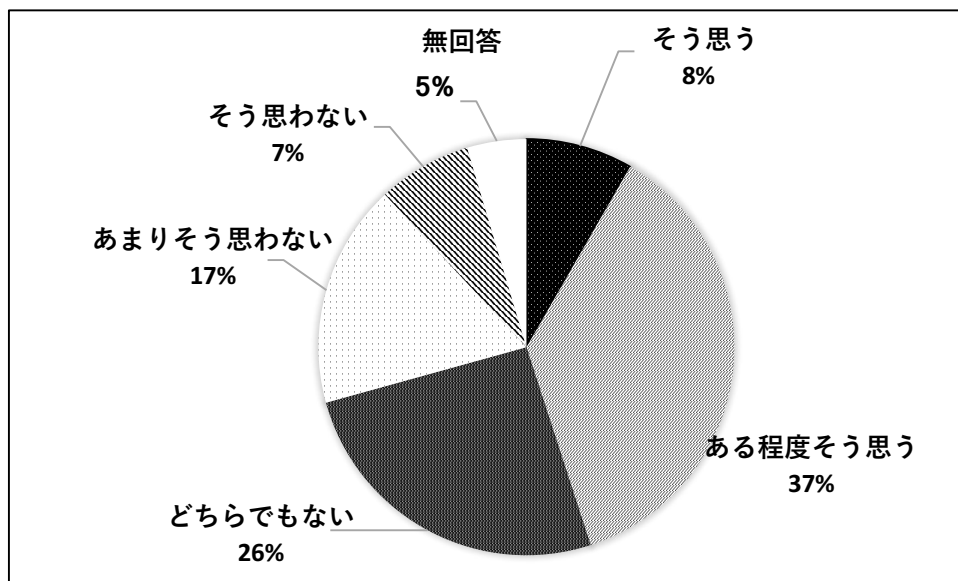
回答者：295 人



26—4. 関連する知見や情報はあがるが、偏りがある

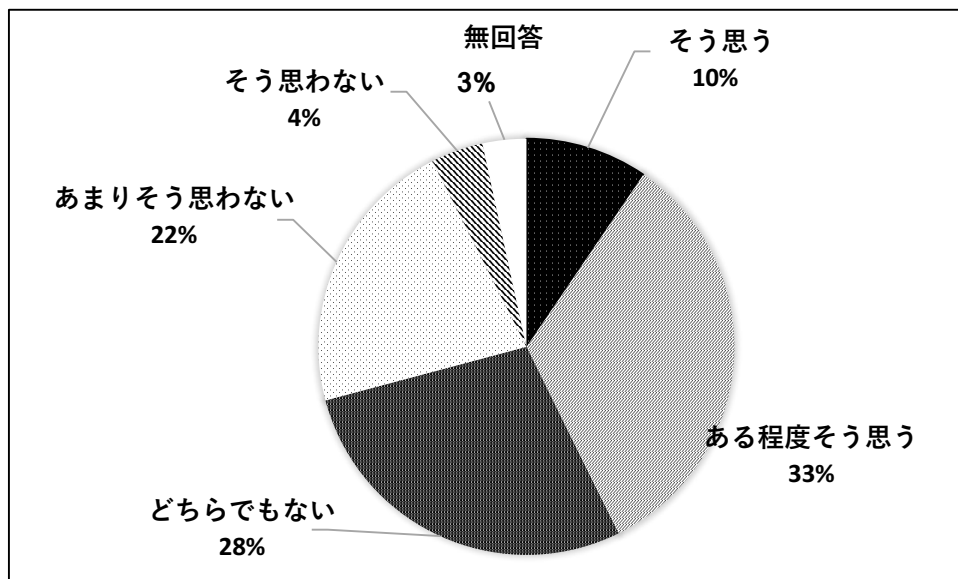
(自治体職員編：問 26・問 53)

回答者：109 人

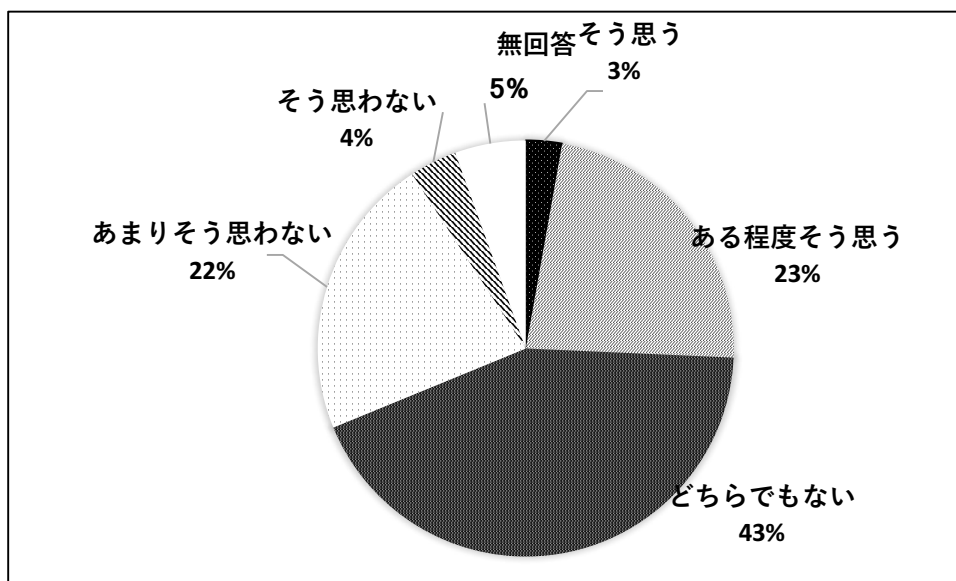


(策定委員会委員編：問 10)

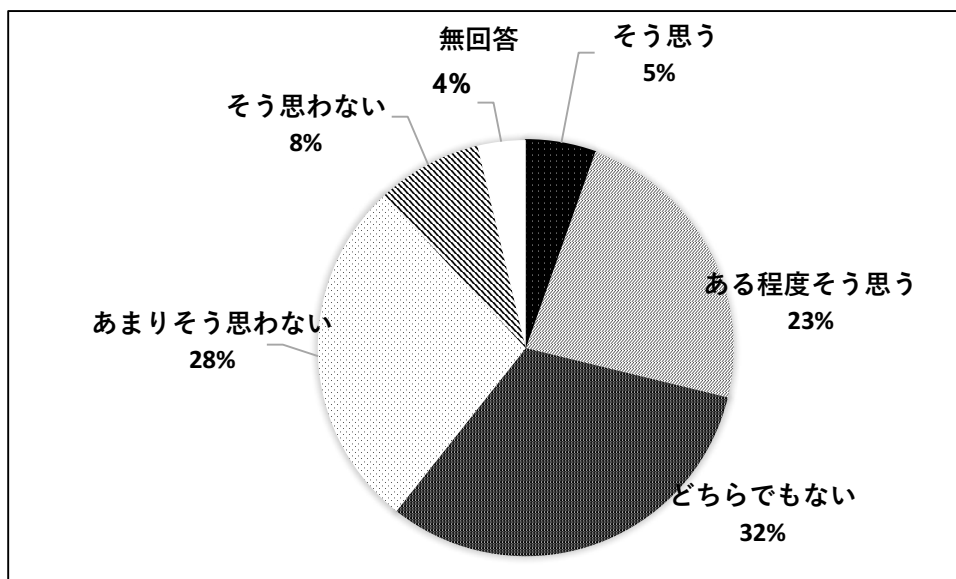
回答者：295 人



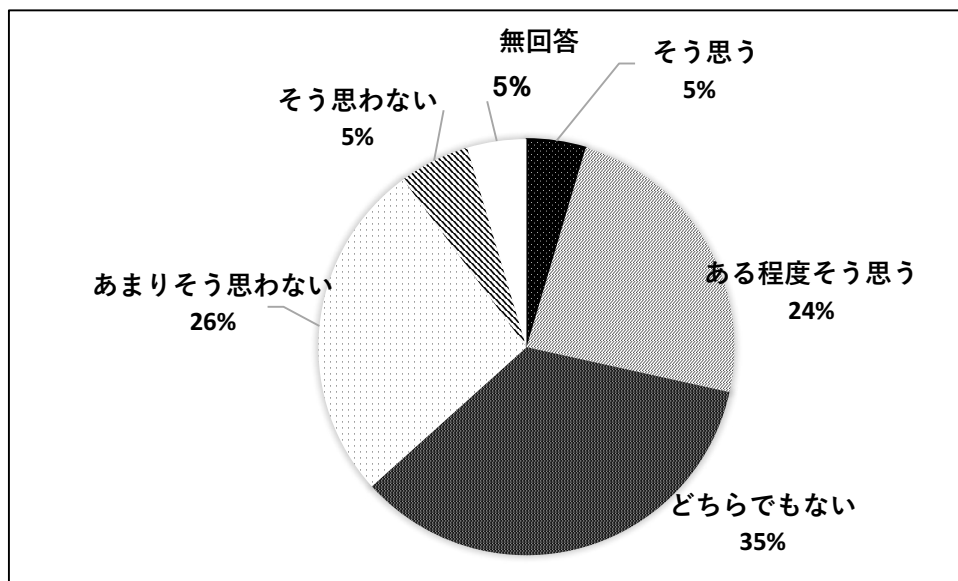
2 6 — 5. 関連する知見や情報はあが、信頼性や確実性が十分でない
 (自治体職員編：問 26・問 53) 回答者：109 人



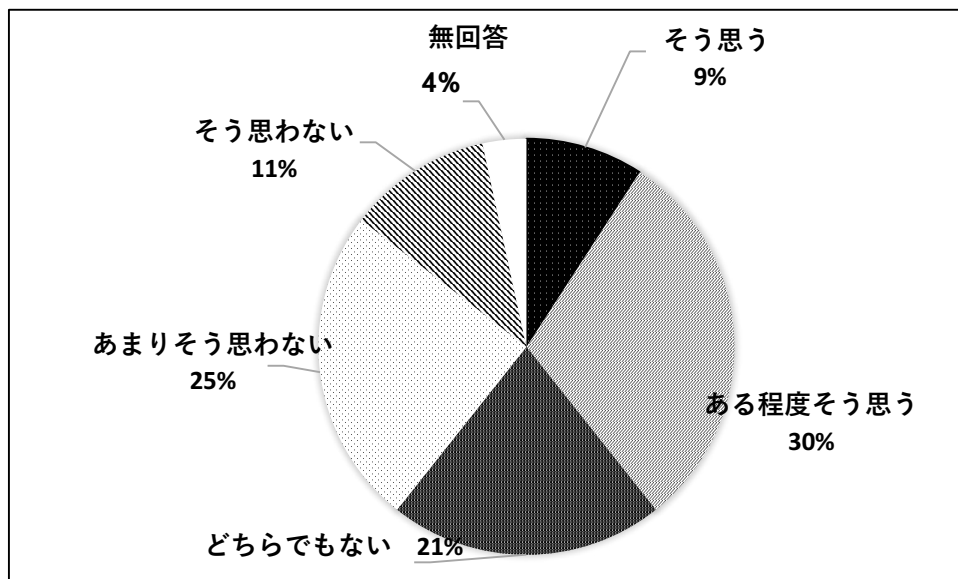
(策定委員会委員編：問 10) 回答者：295 人



2 6 — 6. 情報はあが、生物多様性地域戦略への活用方法がわからない
 (自治体職員編：問 26・問 53) 回答者：109 人



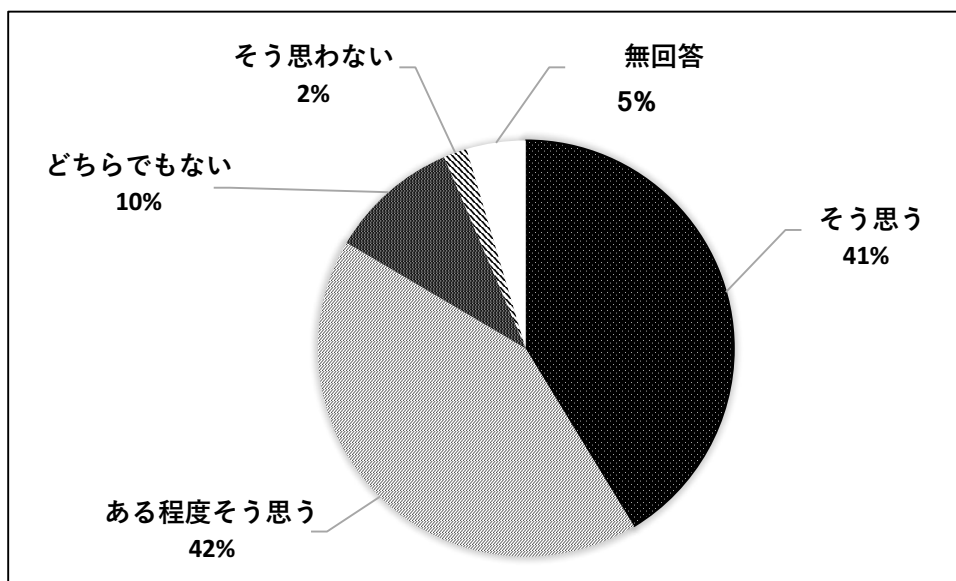
(策定委員会委員編：問 10) 回答者：295 人



26—7. 生物多様性地域戦略担当部局の人材が不足している

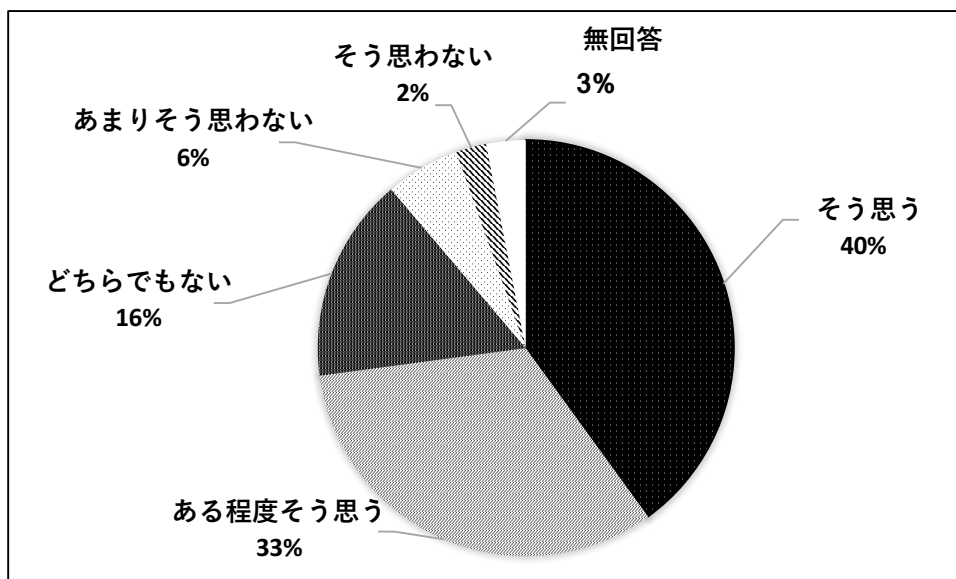
(自治体職員編：問 26・問 53)

回答者：109 人

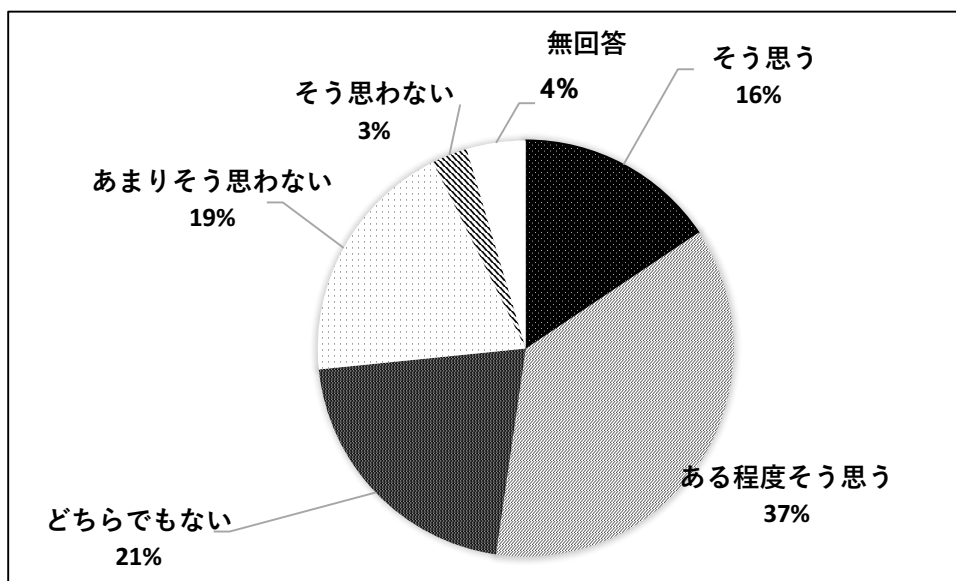


(策定委員会委員編：問 10)

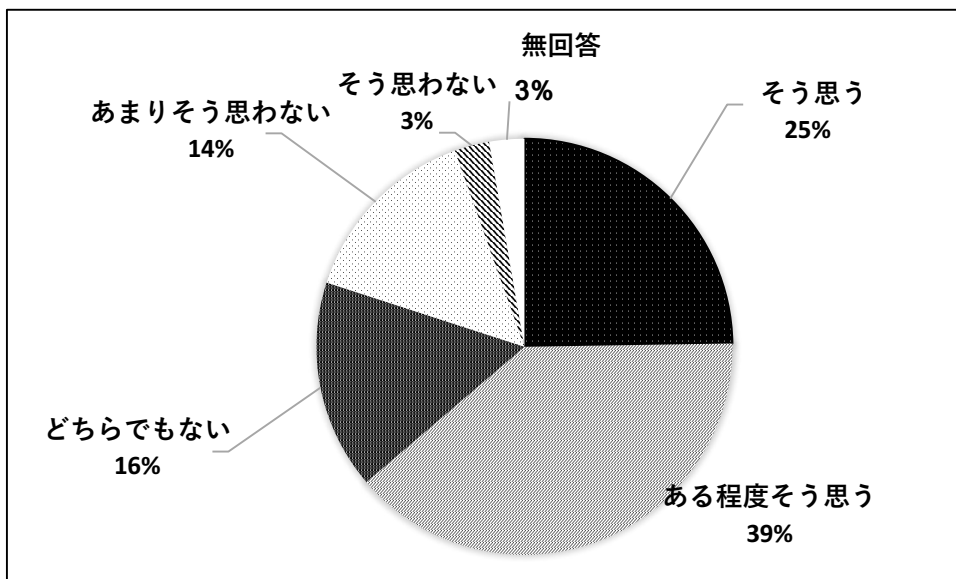
回答者：295 人



26—8. 必要な知見や情報をもつ有識者との協力や連携が不足している
 (自治体職員編：問 26・問 53) 回答者：109 人



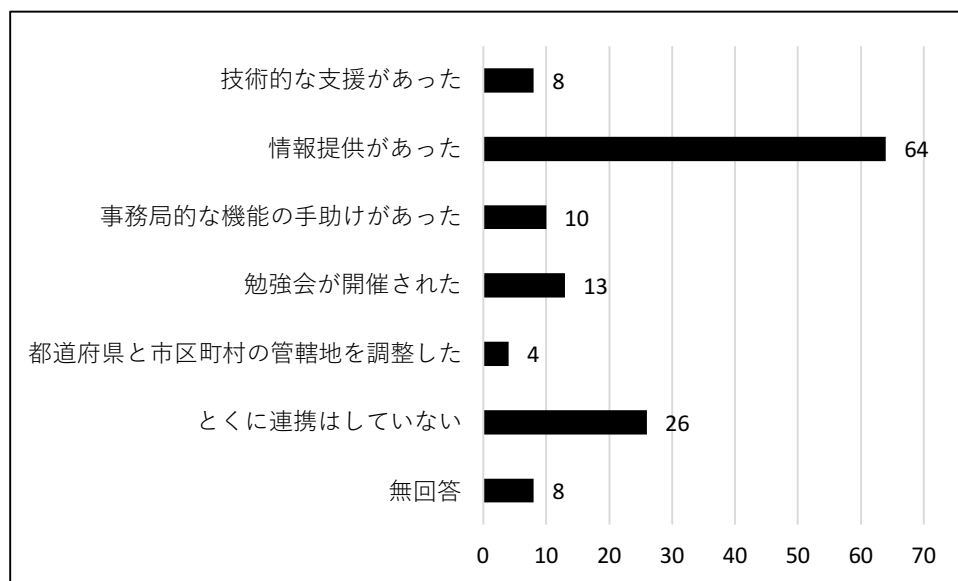
(策定委員会委員編：問 10) 回答者：295 人



2 7. 生物多様性地域戦略策定における都道府県との連携

(自治体職員編：問 27)

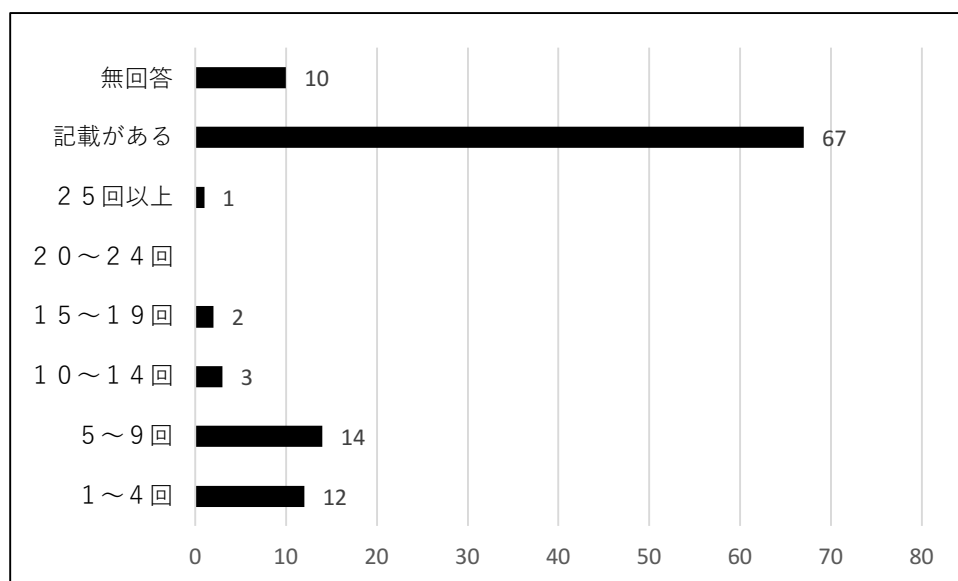
回答者：109 人（複数回答）



2 8. 生物多様性地域戦略の策定委員会の通算開催数

(自治体職員編：問 28)

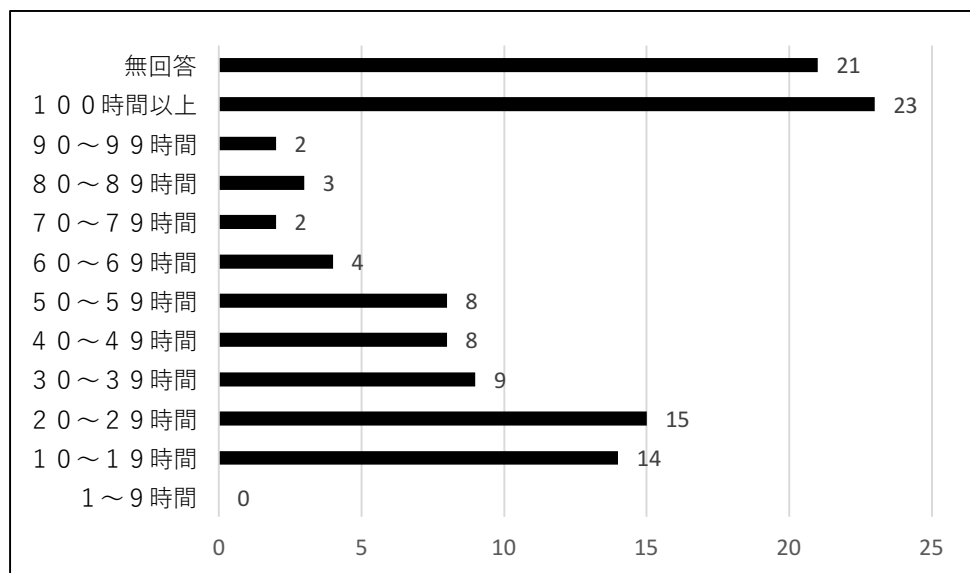
回答者：109 人



29. 策定委員会の他にを行った生物多様性地域戦略策定の打ち合わせや調整の時間

(自治体職員編：問 29)

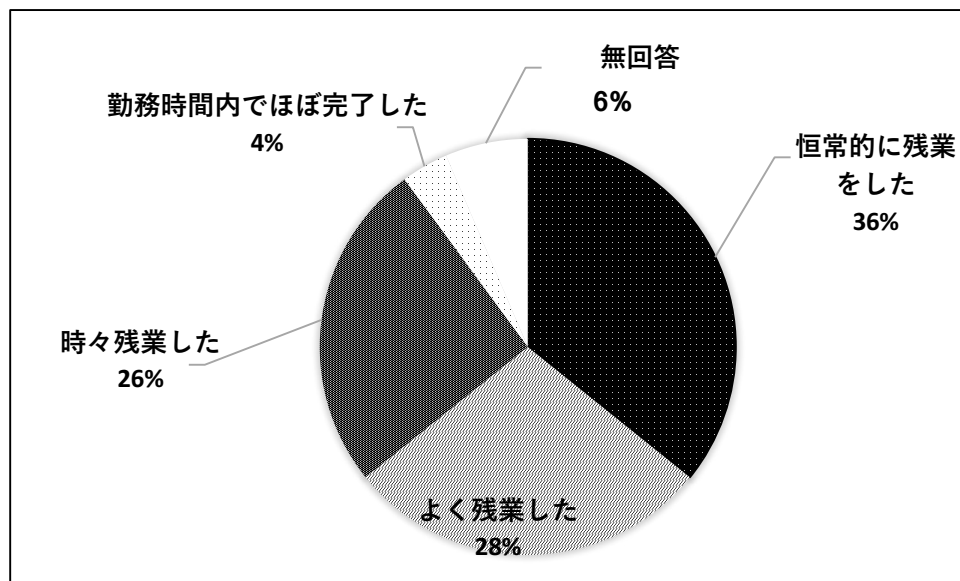
回答者：109 人



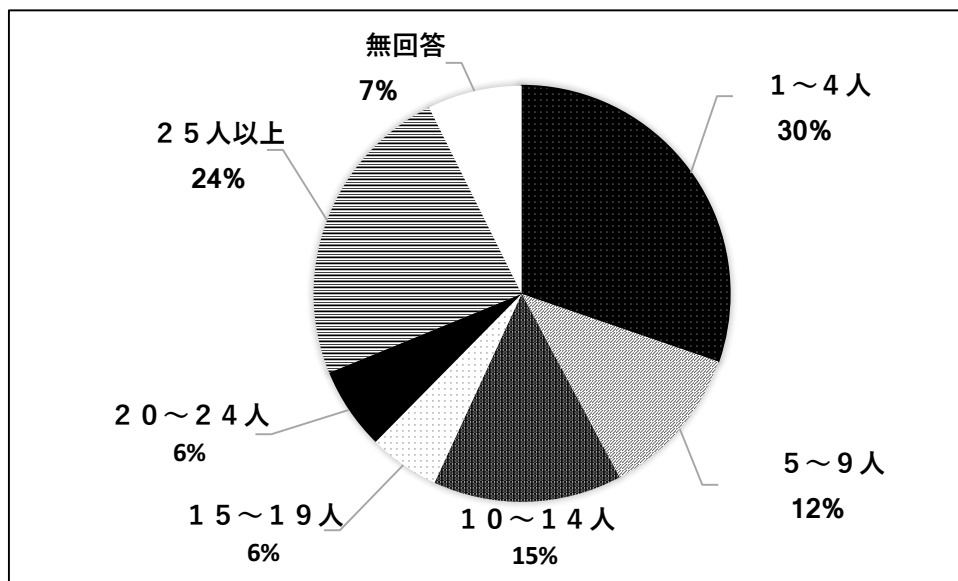
30. 策定委員会の他に要した生物多様性地域戦略策定の打ち合わせや調整の時間負担の印象

(自治体職員編：問 29-1)

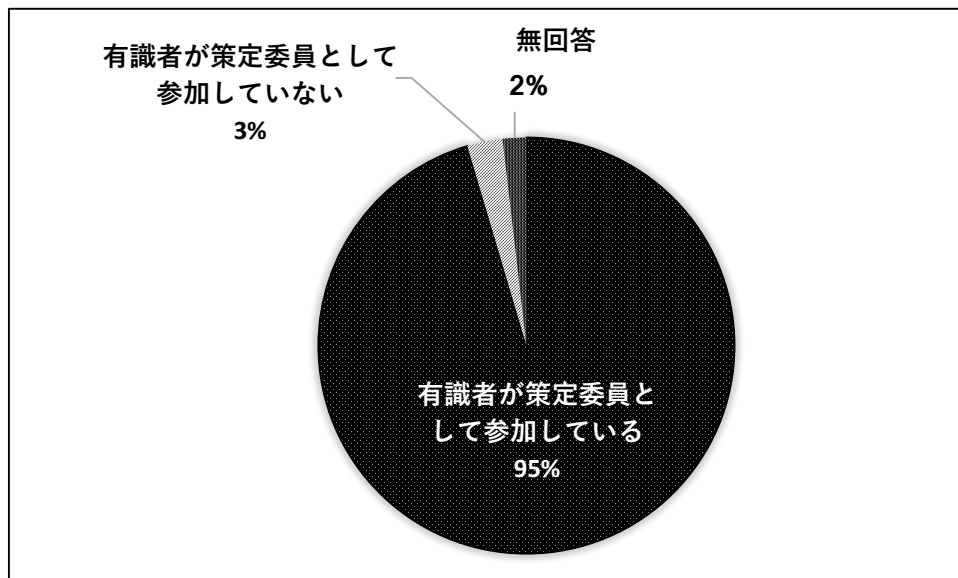
回答者：109 人



3 1. 生物多様性地域戦略策定に関わった担当部局および関係部局の職員の数
(自治体職員編：問 30) 回答者：109 人



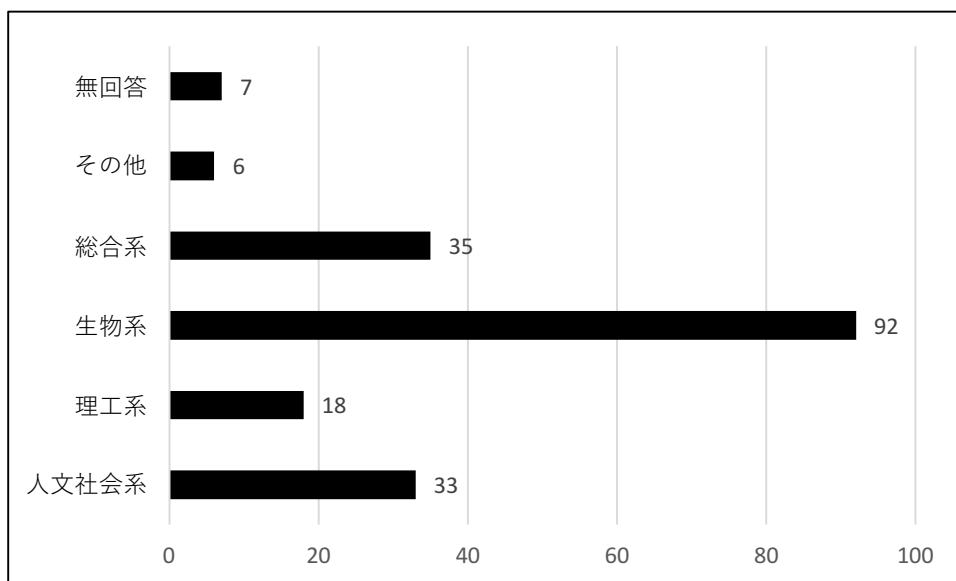
3 2. 生物多様性地域戦略策定時の有識者の策定委員への参加
(自治体職員編：問 31) 回答者：109 人



3 3. 策定委員として参加した有識者の専門分野別にみた人数

(自治体職員編：問 31 - 1)

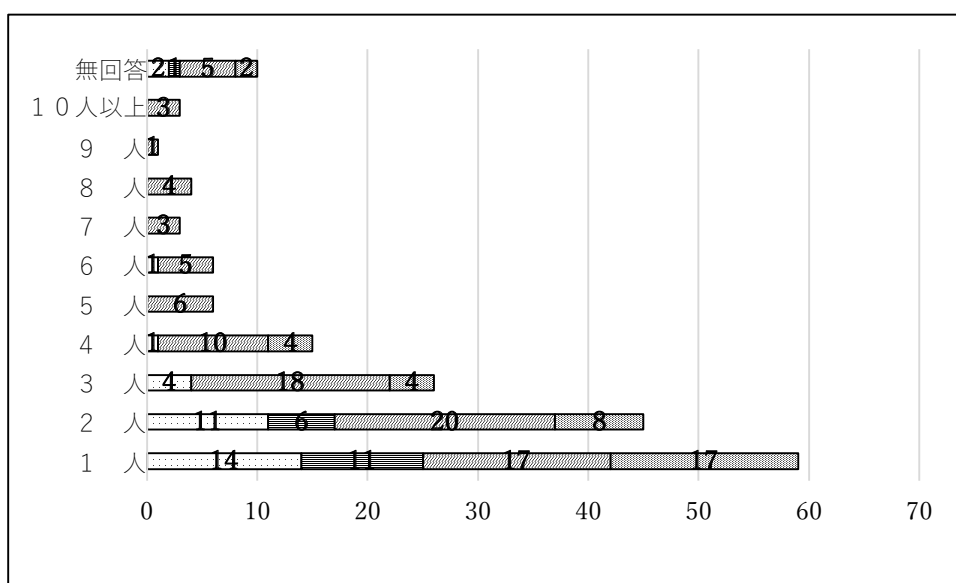
回答者：109 人（複数回答）



3 4. 策定委員として参加した有識者の人数

(自治体職員編：問 31 - 1)

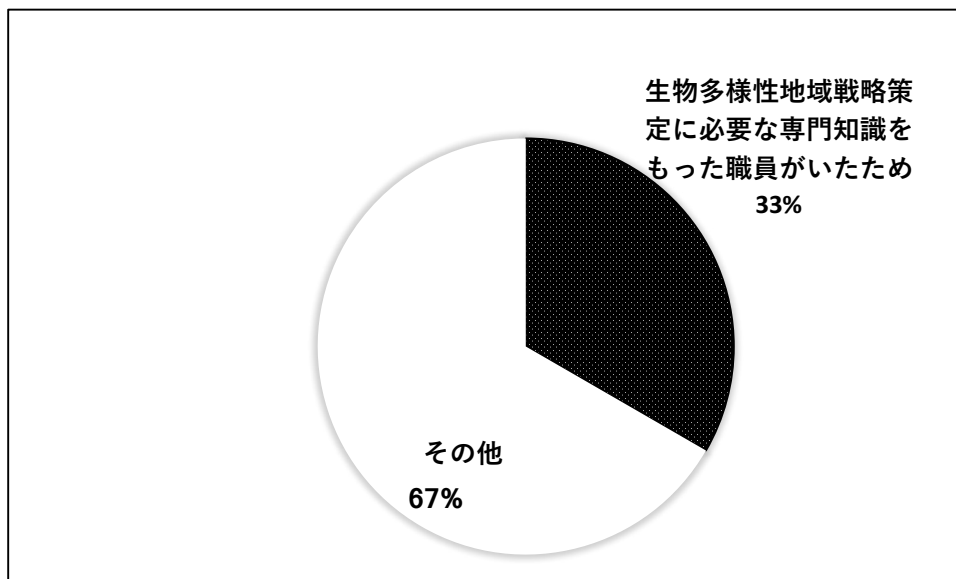
回答者：109 人（複数回答）



3 5. 策定委員に有識者が含まれていない理由

(自治体職員編：問 31 - 2)

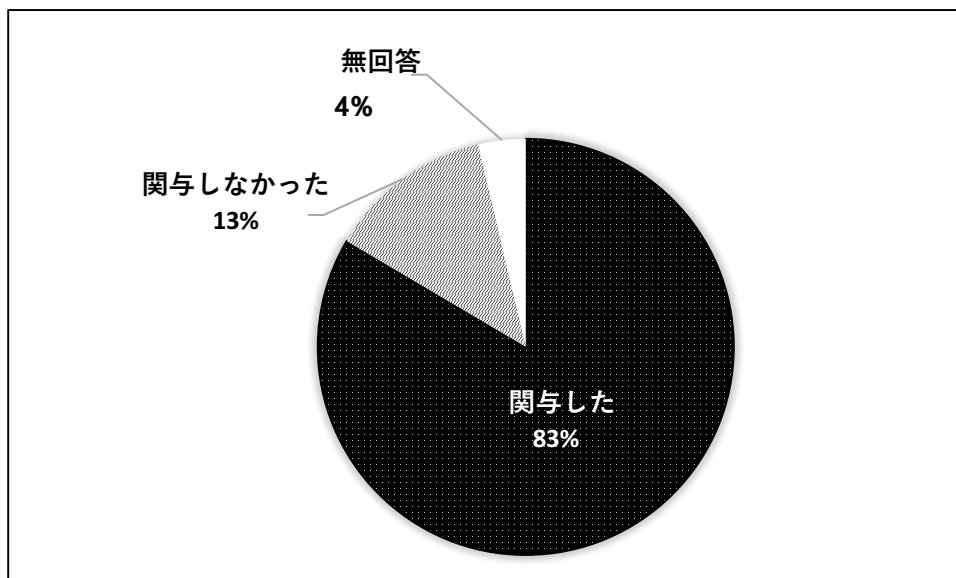
回答者：3 人（複数回答）



3 6. 生物多様性戦略策定時の環境コンサルタントの関与

(自治体職員編：問 32)

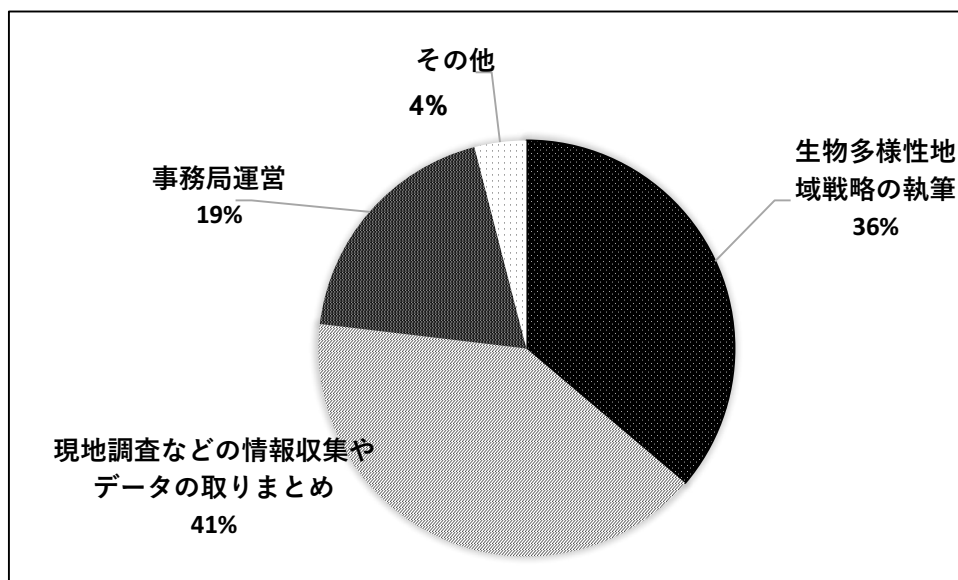
回答者：109 人



37. 生物多様性戦略策定において、環境コンサルタントがどのように関与したか

(自治体職員編：問 33)

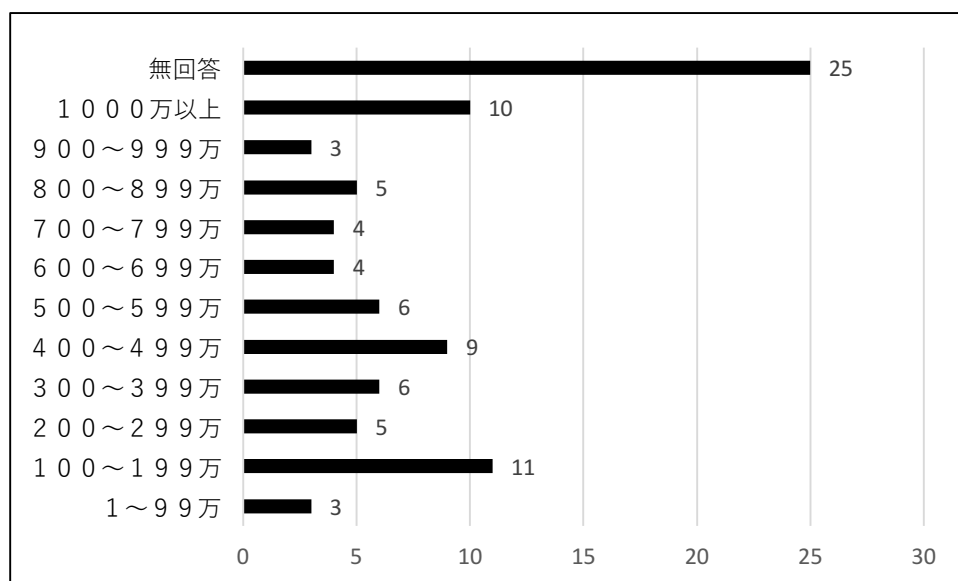
回答者：91 人（複数回答）



38. 環境コンサルタントに使用した予算

(自治体職員編：問 34)

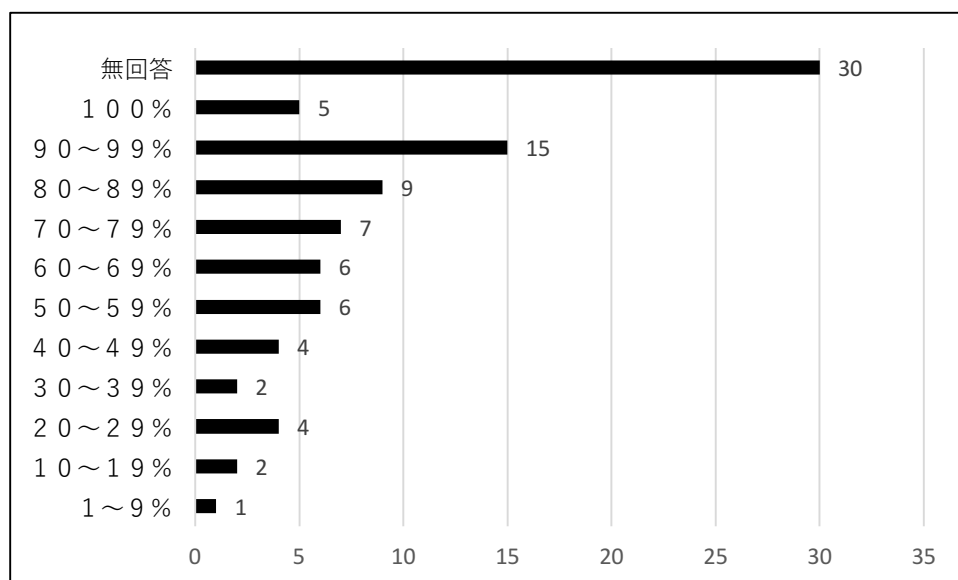
回答者：91 人



39. 生物多様性地域戦略に要した予算のうち、環境コンサルタントに使用した
予算の比率

(自治体職員編：問 34 - 1)

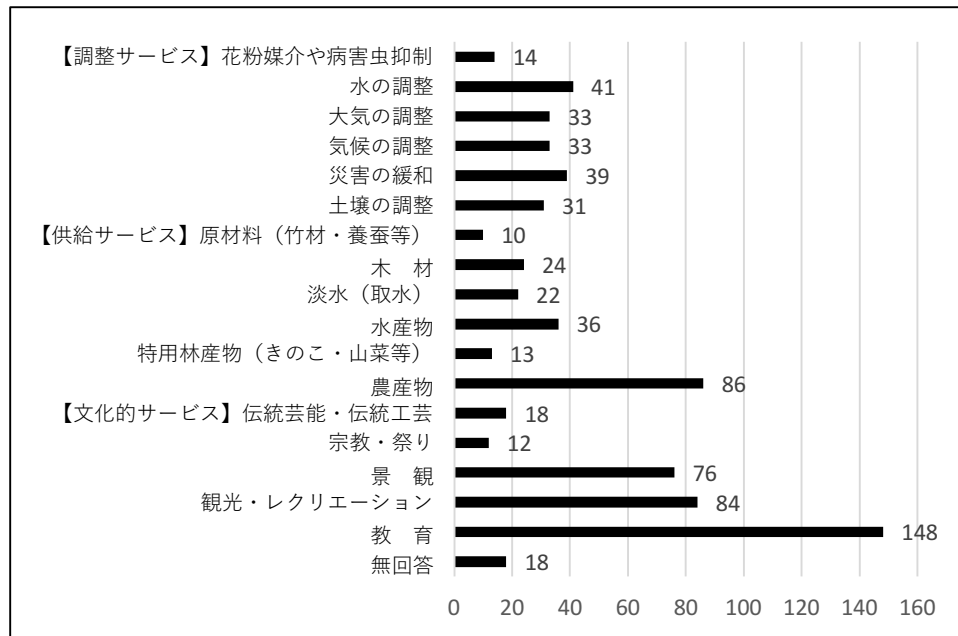
回答者：91 人



40. 生物多様性地域戦略策定にもとづいて実際に進めている取組と関連がある生態系サービス

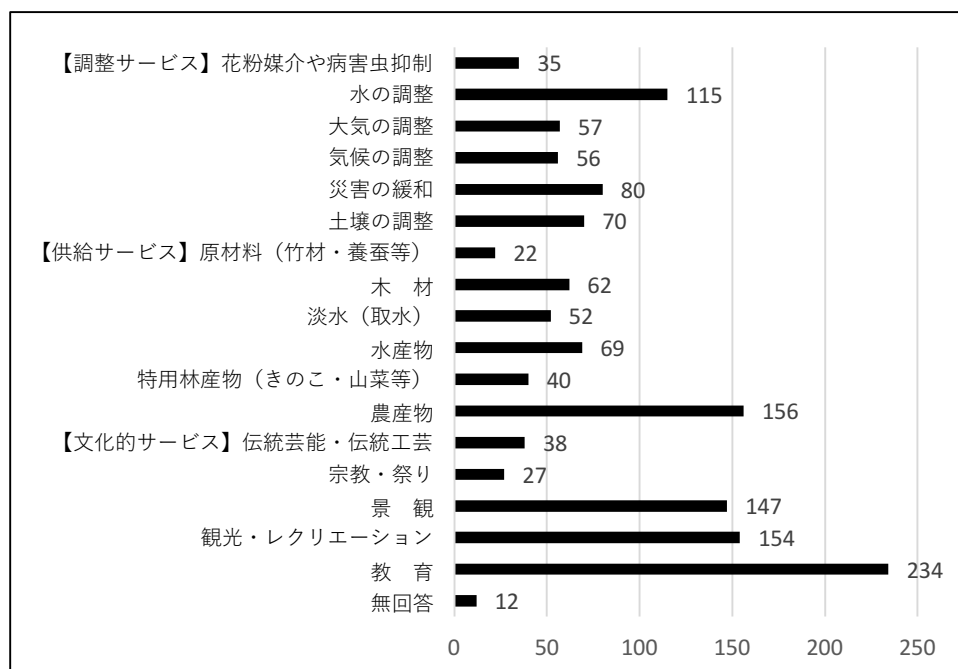
(自治体職員編：問 35・問 54)

回答者：185 人（複数回答）

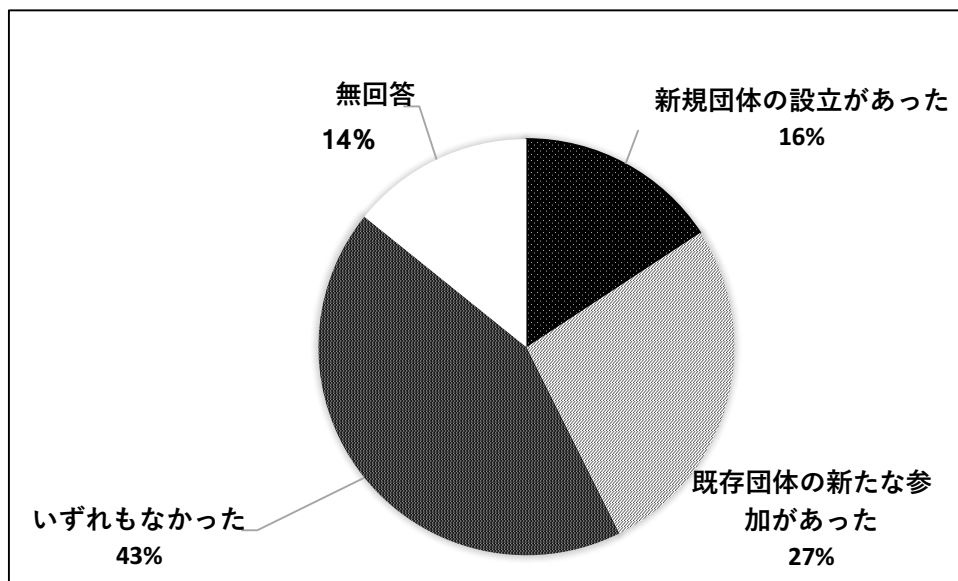


(策定委員会委員編：問 15)

回答者：295 人（複数回答）

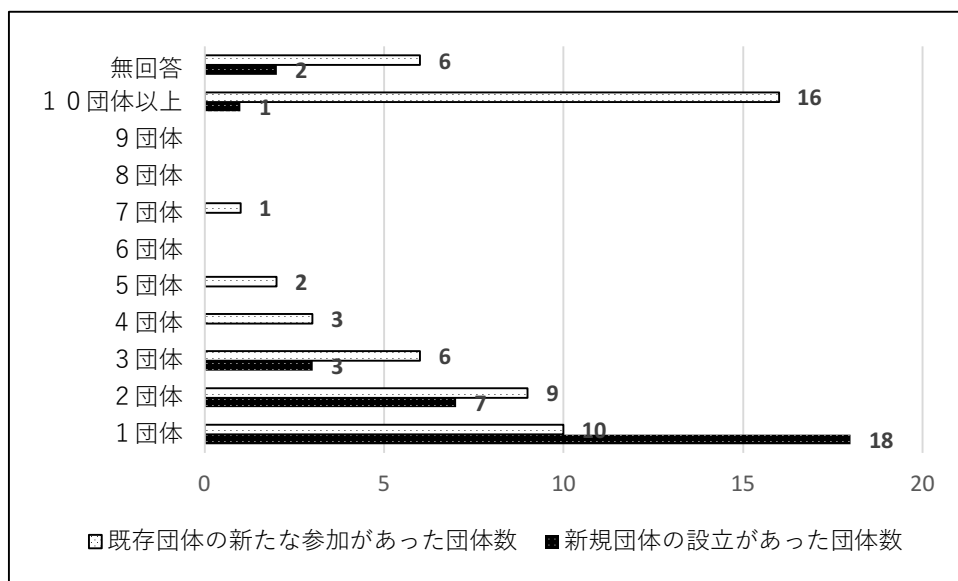


4 1. 生物多様性地域戦略策定による新規団体の設立や既存団体の新たな参加
(自治体職員編：問 36・問 55) 回答者：185 人（複数回答）



4 2. 生物多様性地域戦略策定による新規団体の設立や既存団体の新たな参加
団体数

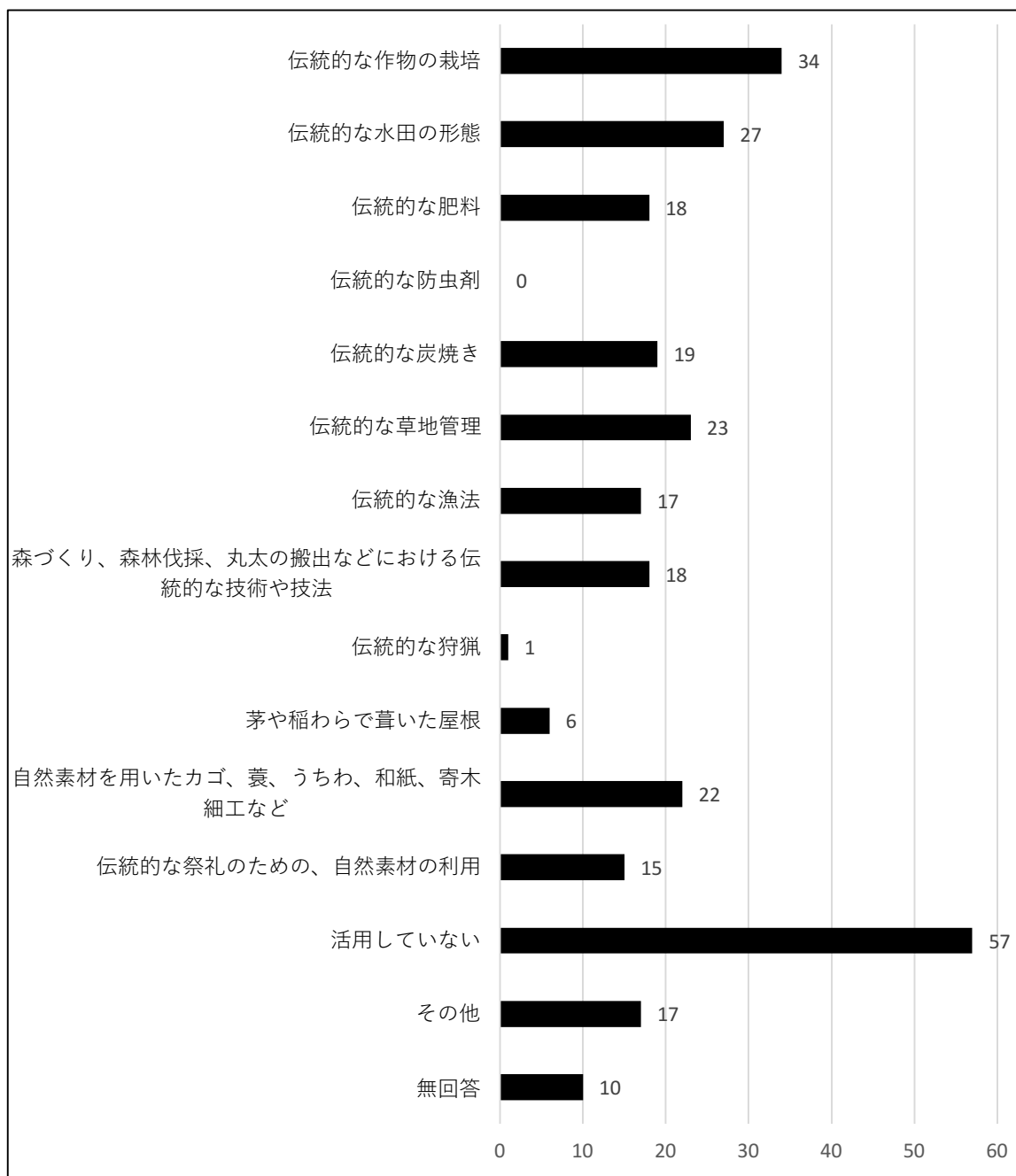
(自治体職員編：問 36・問 55) 回答者：53 人（複数回答）



4 3. 生物多様性地域戦略で活用している世代を超えて受け継がれる自然管理の知恵や技術および自然資源の利用方法

(自治体職員編：問 37・問 56)

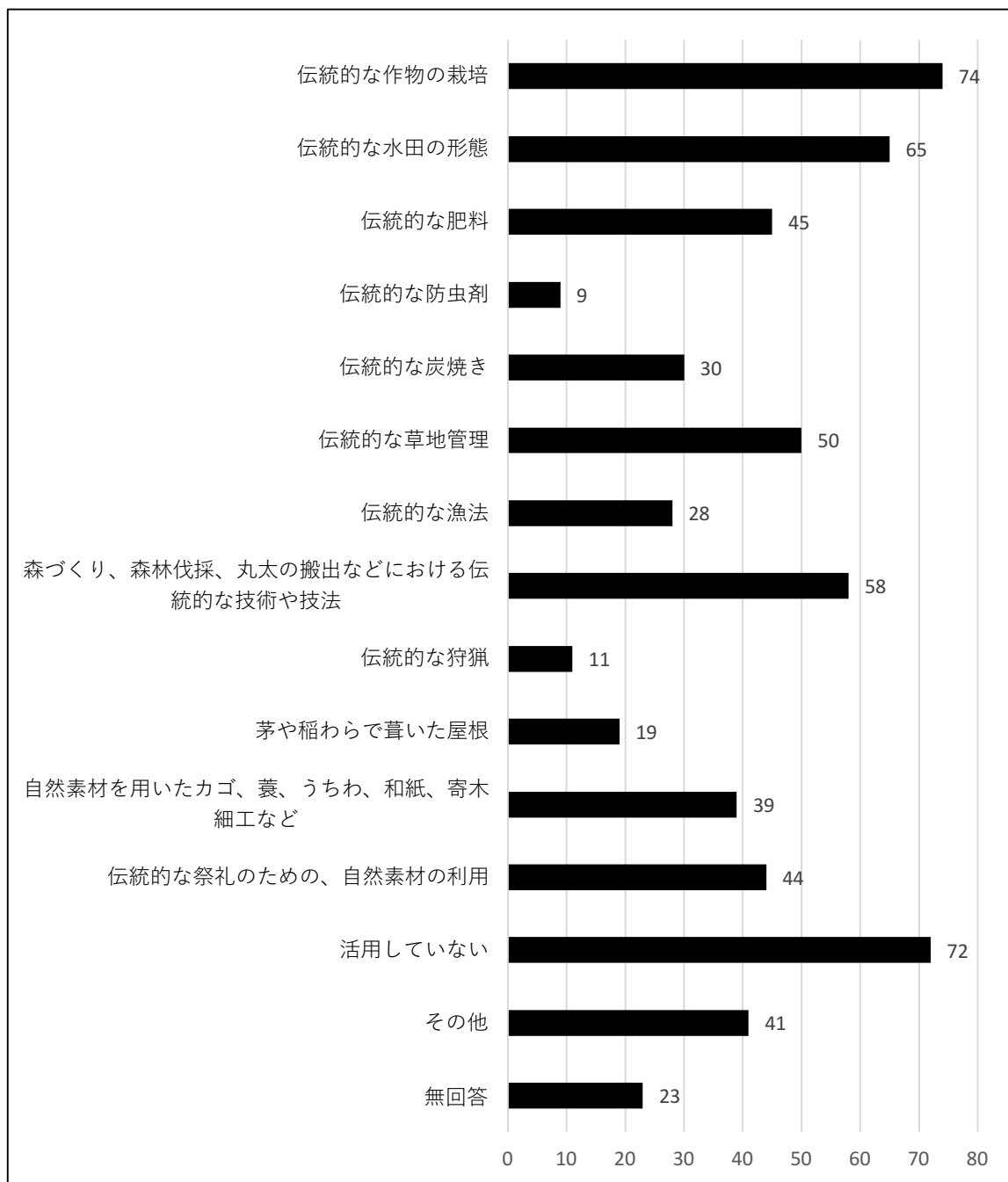
回答者：185 人（複数回答）



4 3. つづき

(策定委員会委員編：問 17)

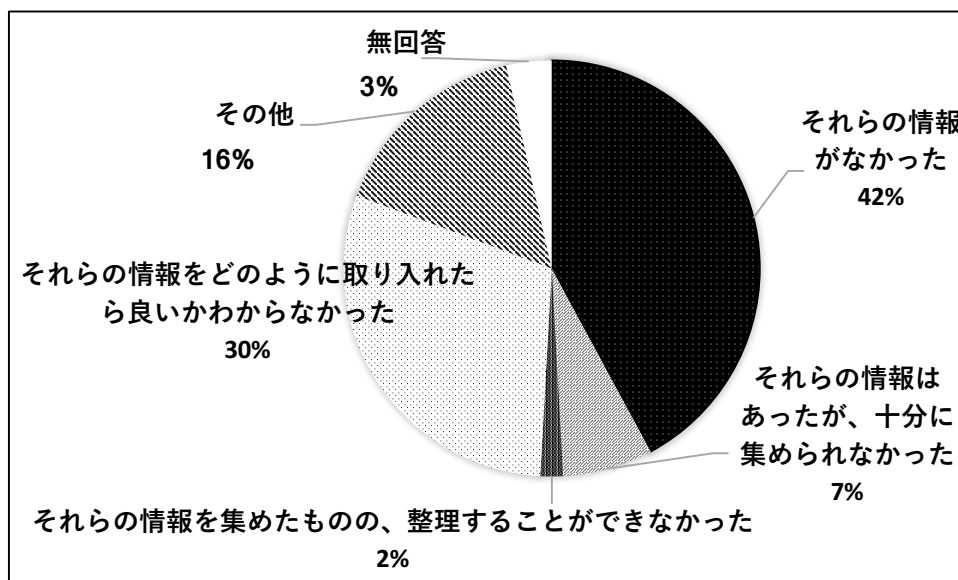
回答者：295 人（複数回答）



4 4. 世代を超えて受け継がれる自然管理の知恵や技術および自然資源の利用方法が取組に活用されていない理由

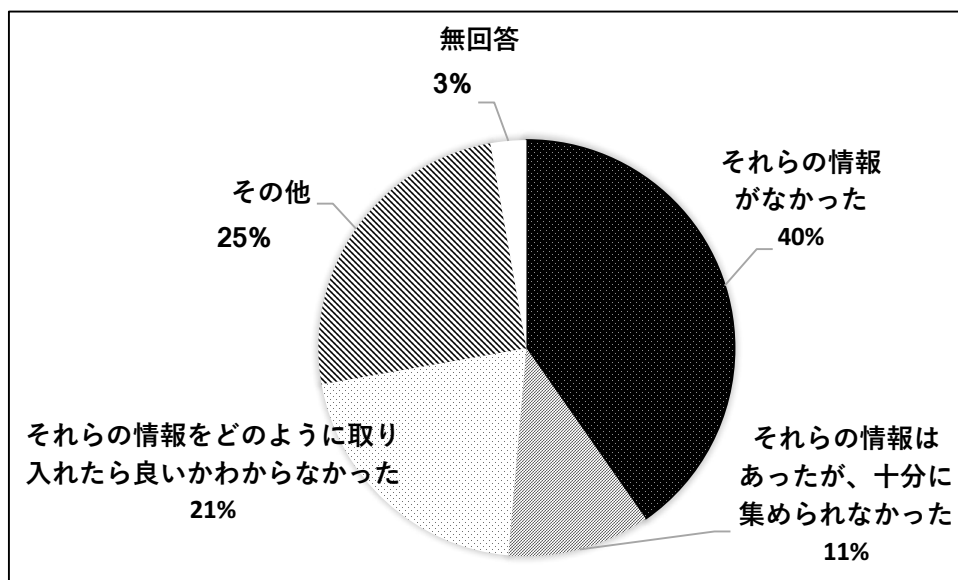
(自治体職員編：問 37 - 1・問 56 - 1)

回答者：57 人



(策定委員会委員編：問 17 - 1)

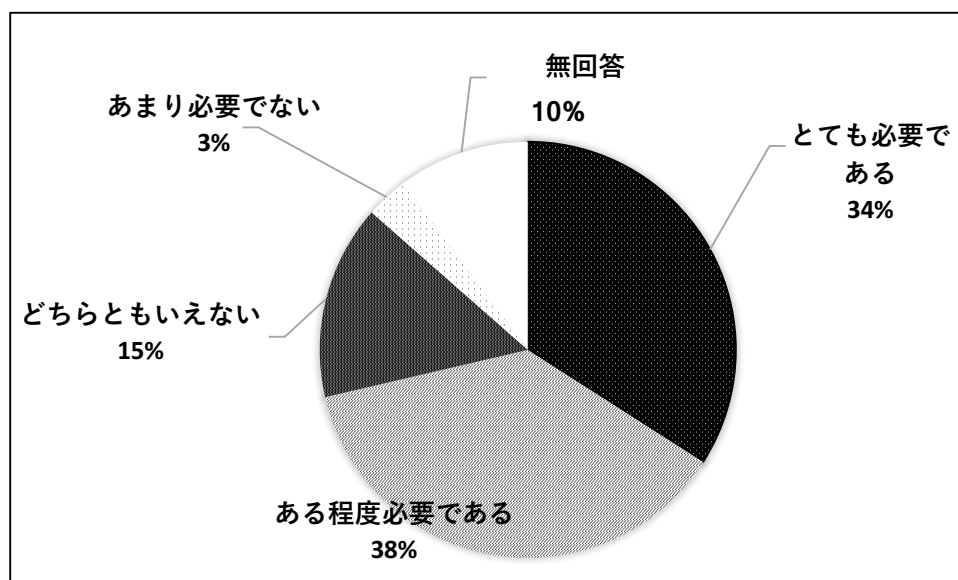
回答者：72 人



4 5. 世代を超えて受け継がれる自然管理の知恵や技術などを生物多様性地域戦略の推進に取り入れることについての考え

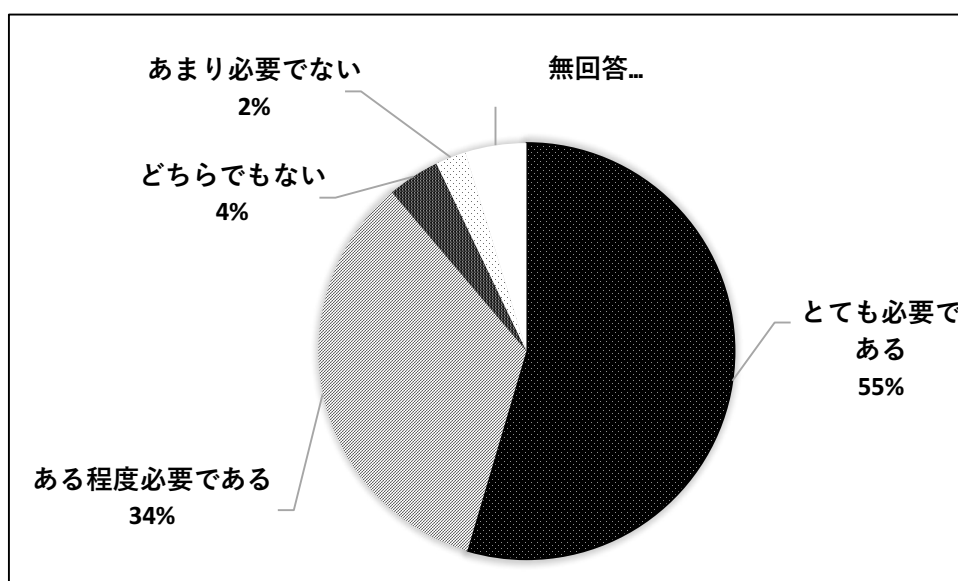
(自治体職員編：問 38・問 57)

回答者：185 人



(策定委員会委員編：問 18)

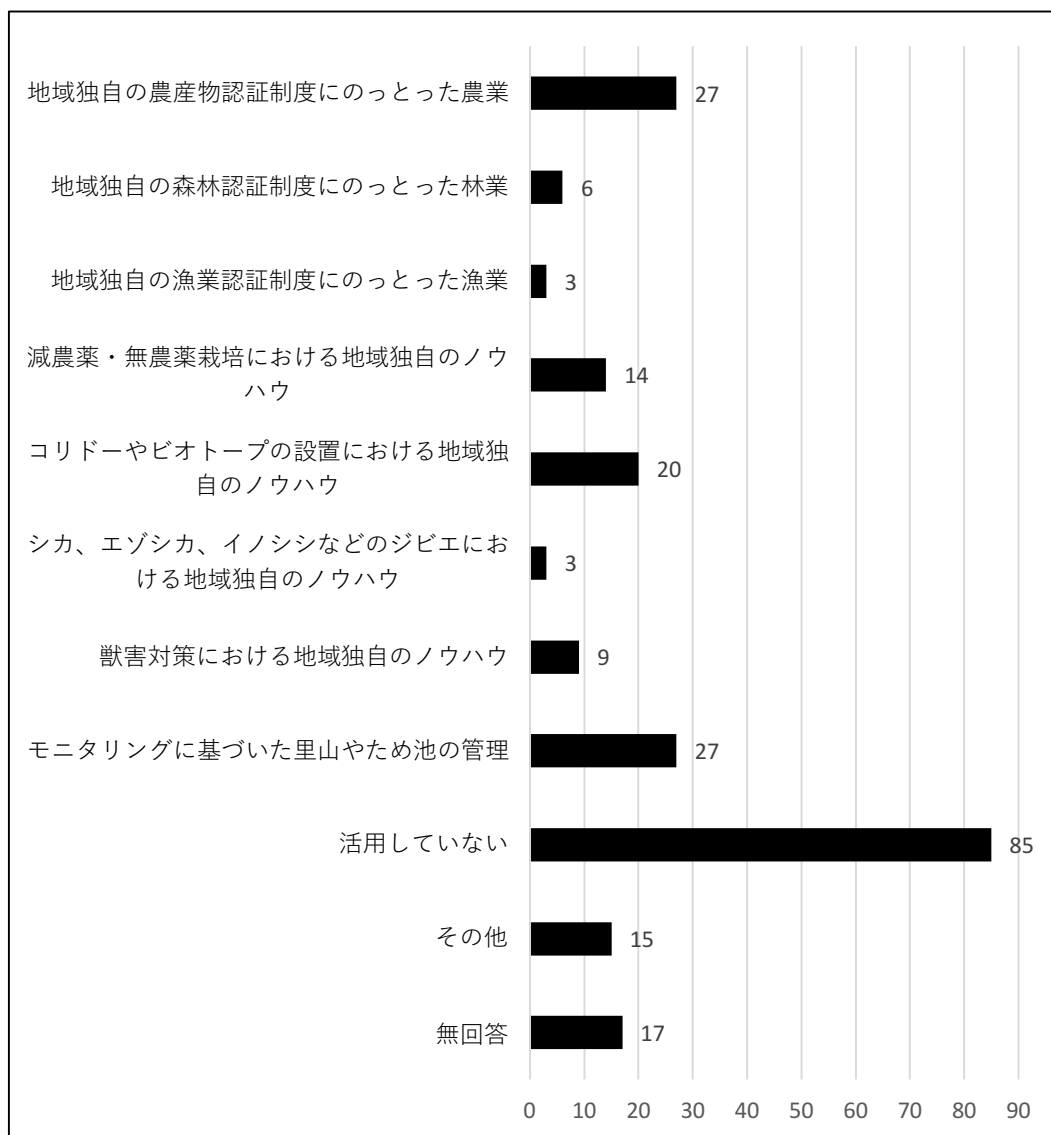
回答者：295 人



4 6. 生物多様性地域戦略で活用している地域に特有の自然管理の知恵や技術
および自然資源の利用方法

(自治体職員編：問 39・問 58)

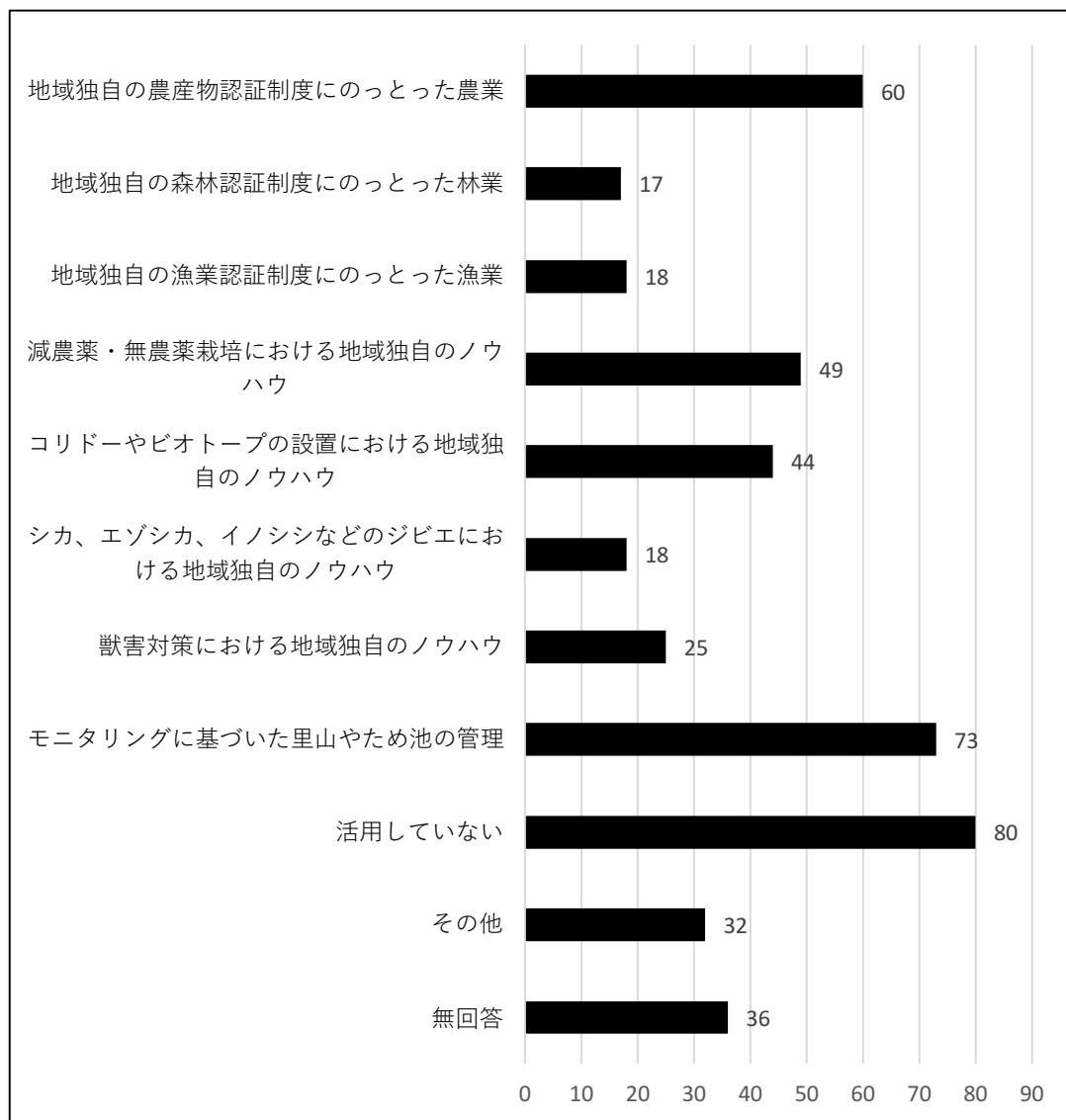
回答者：185 人（複数回答）



4 6. つづき

(策定委員会委員編：問 19)

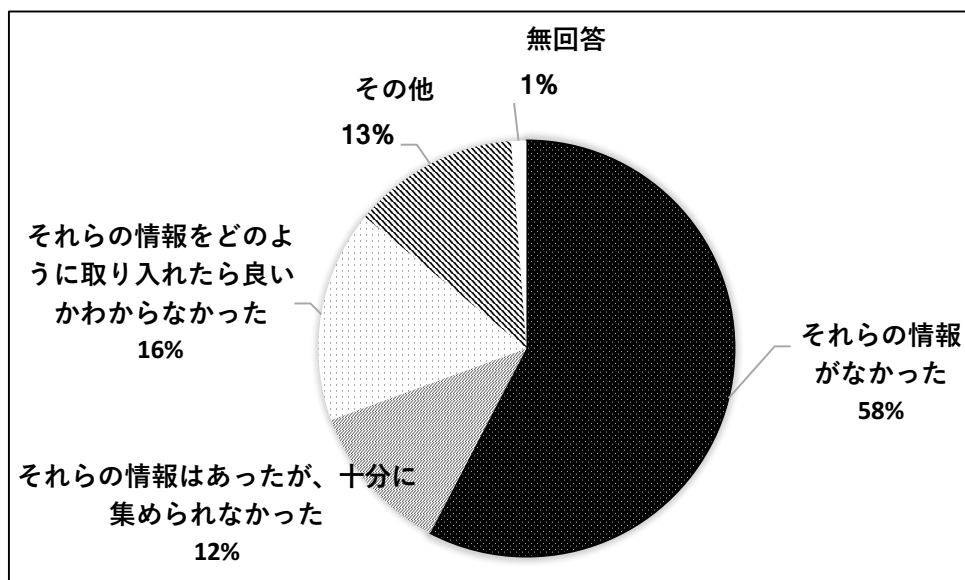
回答者：295 人（複数回答）



4 7. 地域に特有の自然管理の知恵や技術および自然資源の利用方法が取組に活用されていない理由

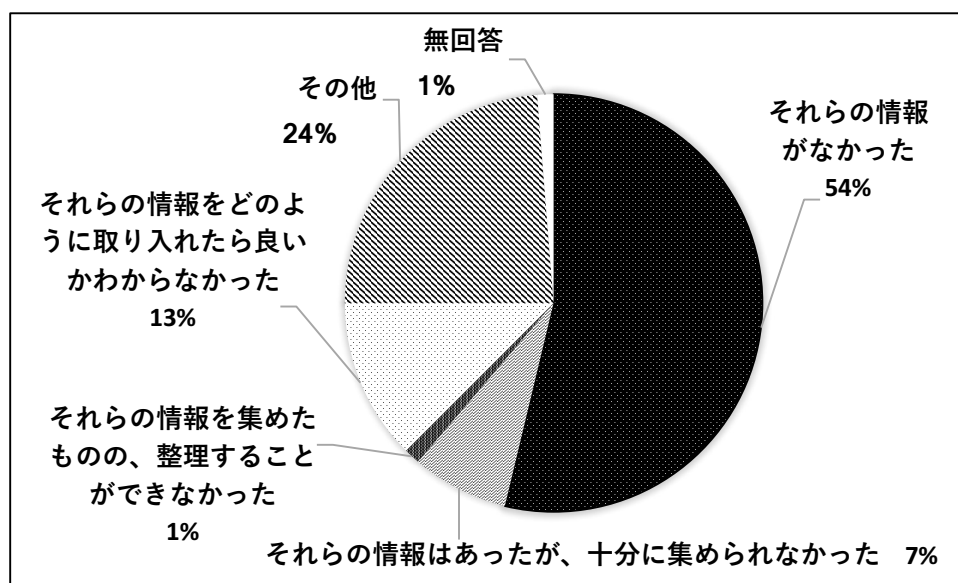
(自治体職員編：問 39-1・問 58-1)

回答者：85 人



(策定委員会委員編：問 19-1)

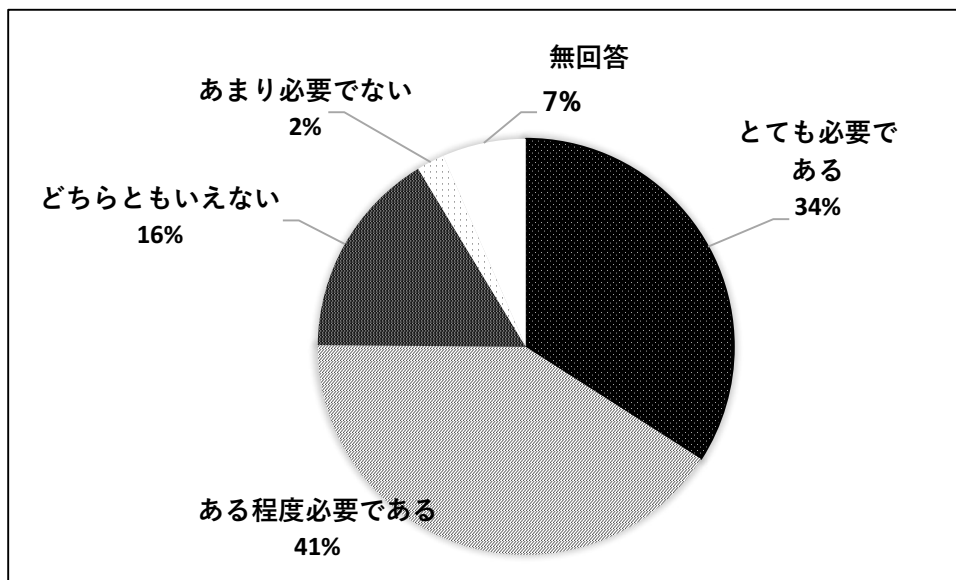
回答者：80 人



4 8. 地域に特有の自然管理の知恵や技術および自然資源の利用方法を生物多様性地域戦略の推進に取り入れることについての考え

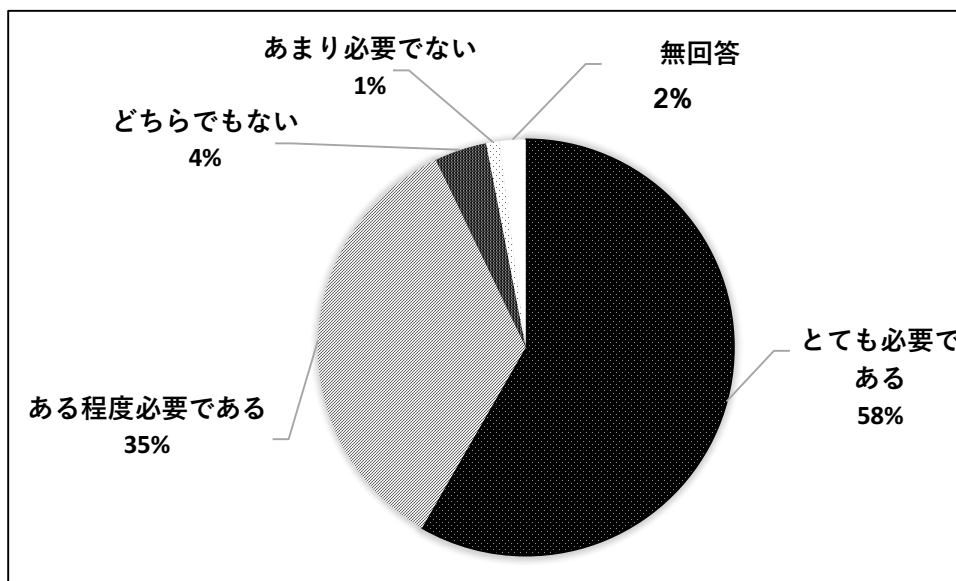
(自治体職員編：問 40・問 59)

回答者：185 人



(策定委員会委員編：問 20)

回答者：295 人

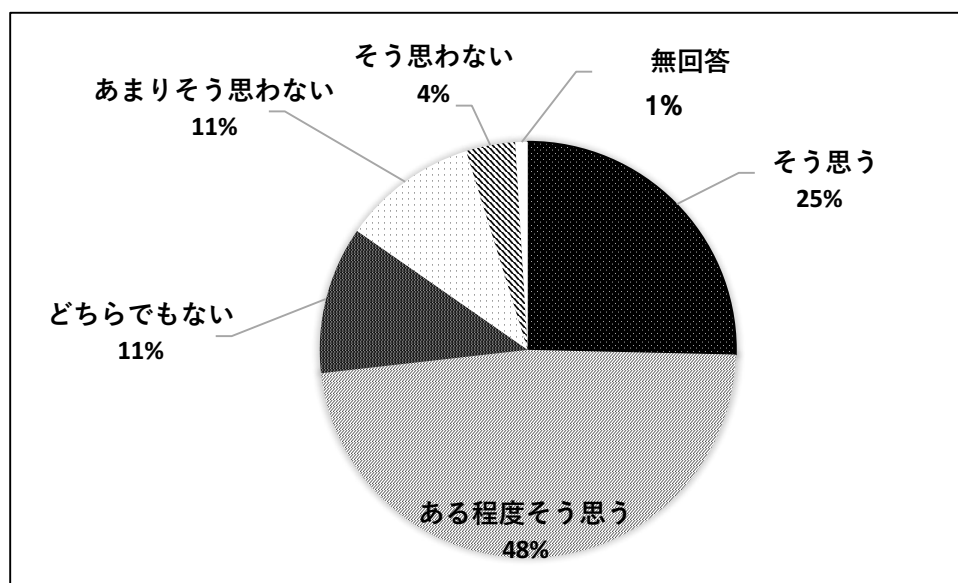


4 9．生物多様性地域戦略を推進する体制が機能しているか

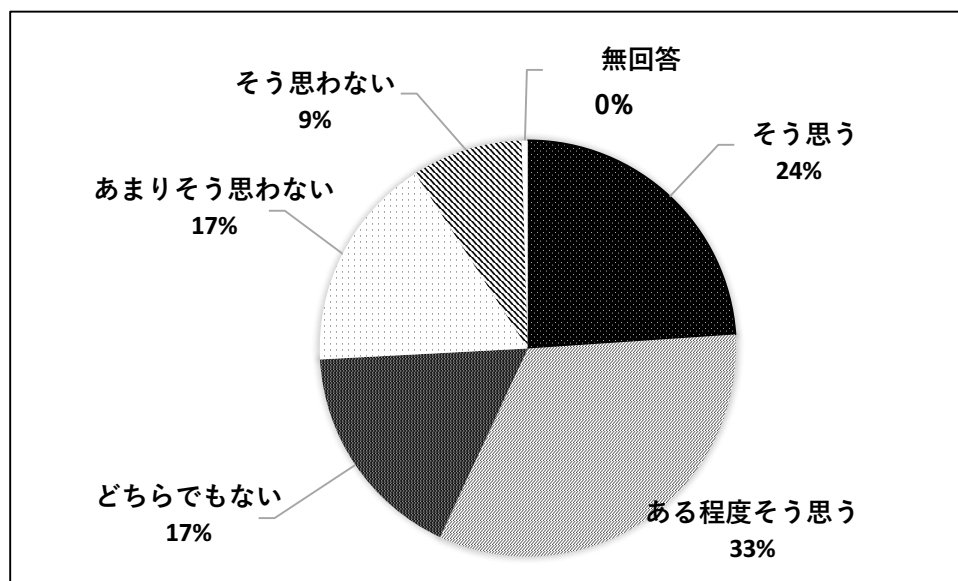
4 9—1．生物多様性地域戦略を推進する部局／担当者が連携をとっている

(自治体職員編：問 43 - 1)

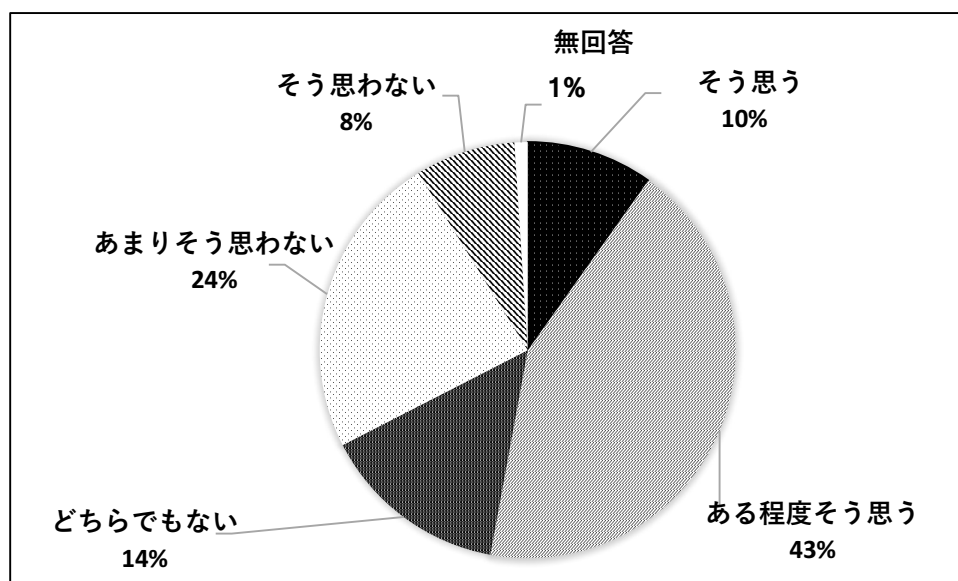
回答者：209 人



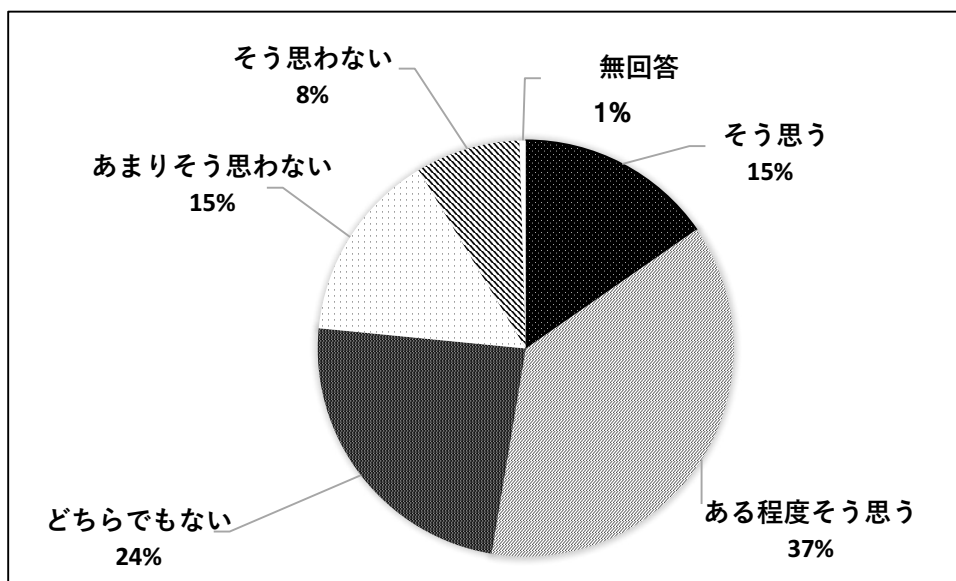
4 9—2. さまざまな主体の参加・連携を図る会議体が組織されている
(自治体職員編：問 43 - 2) 回答者：209 人



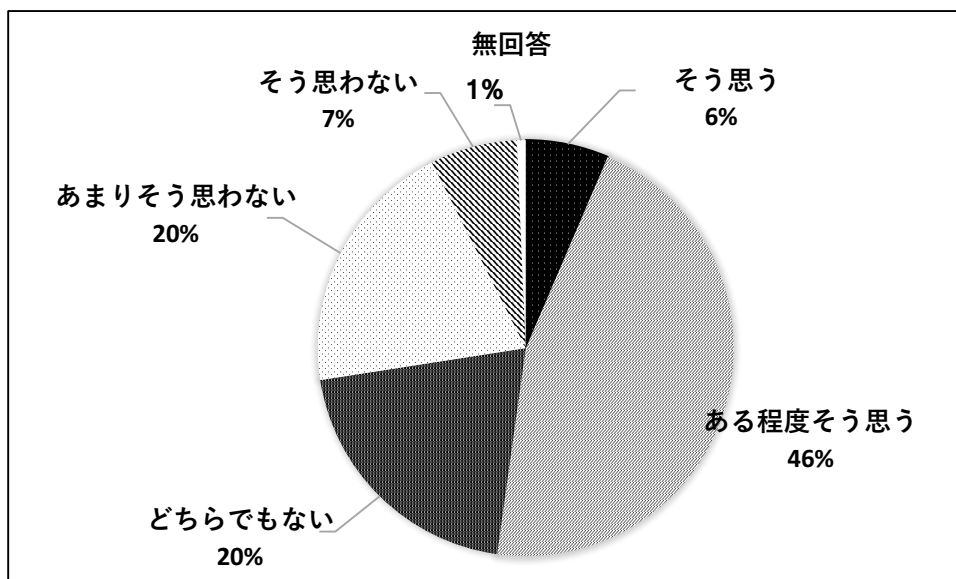
(策定委員会委員編：問 12 - 1) 回答者：295 人



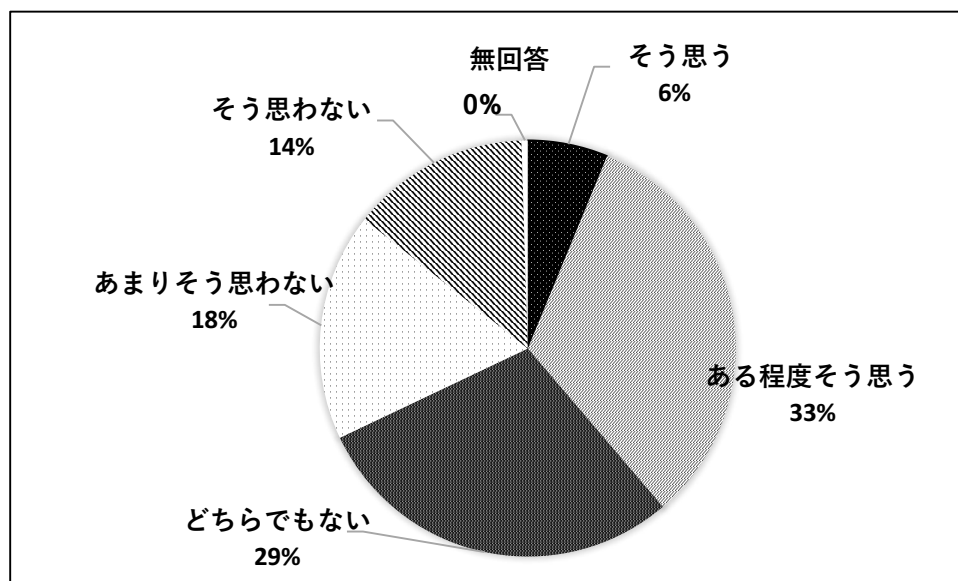
4 9 — 3. 研究者や地域ボランティア等による調査・解析が機能している
 (自治体職員編：問 43 - 3) 回答者：209 人



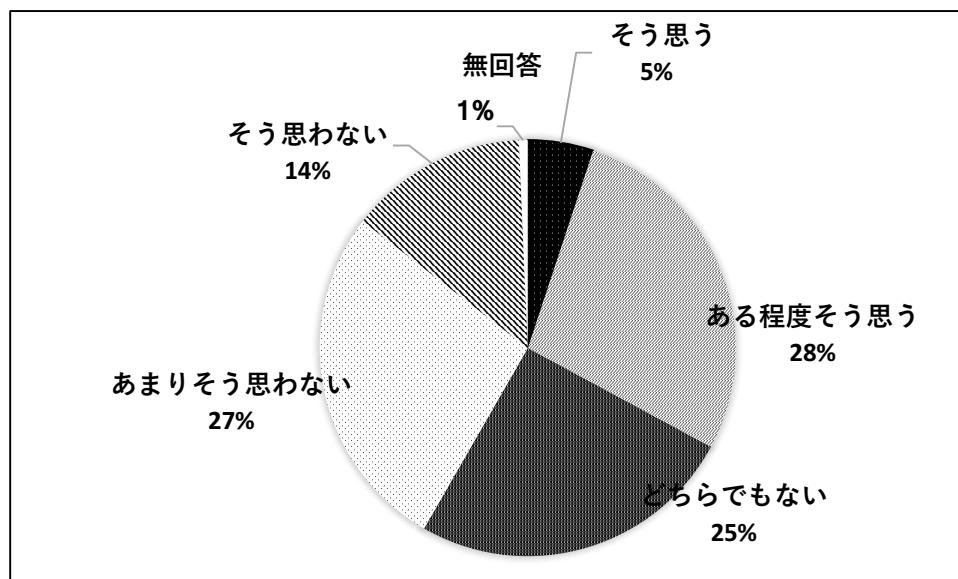
(策定委員会委員編：問 12 - 2) 回答者：295 人



4 9 — 4. 博物館やビジターセンター等が人材育成の場として機能している
 (自治体職員編：問 43 - 4) 回答者：209 人



(策定委員会委員編：問 12 - 3) 回答者：295 人

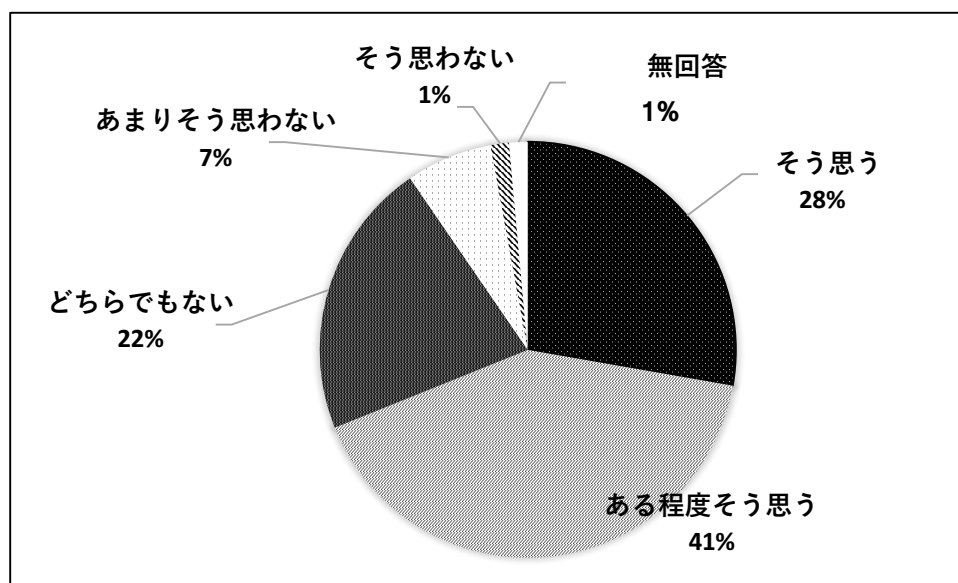


5 0. 取組の進捗が遅れている要因

5 0—1. 調査費（生物・生態系の現況把握等）の不足

（自治体職員編：問 44 - 1）

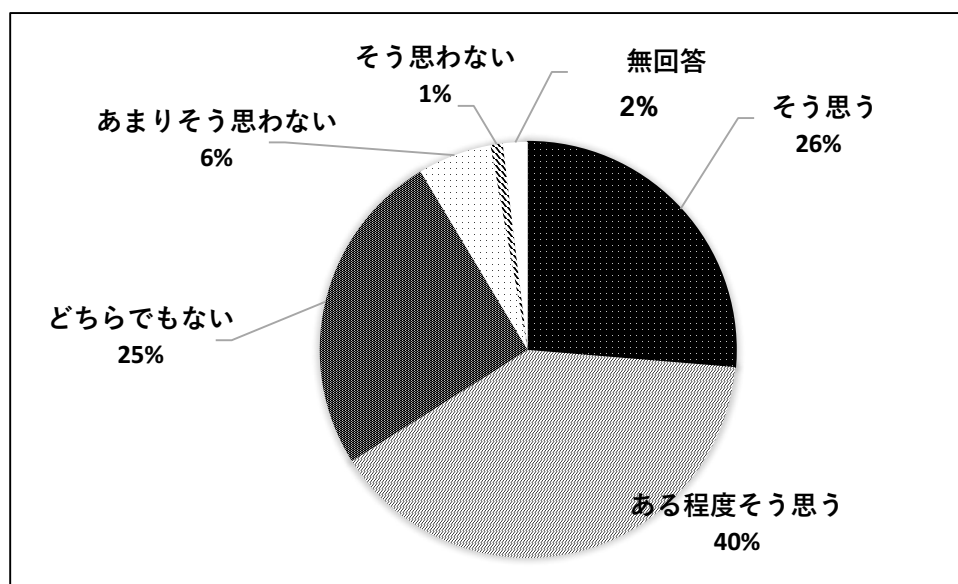
回答者：209 人



5 0—2. 事業費（物品購入、作業者確保、外部発注等）の不足

（自治体職員編：問 44 - 2）

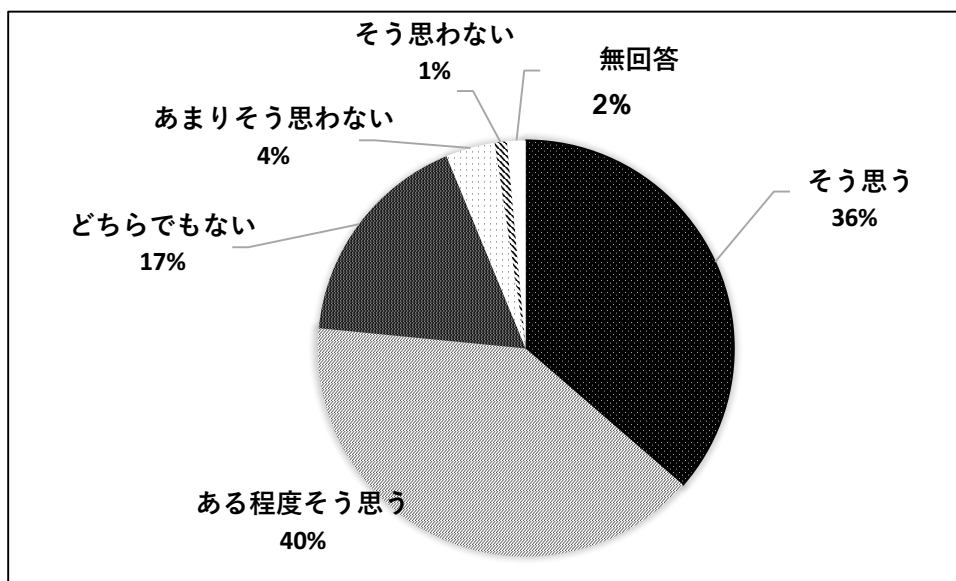
回答者：209 人



5 0－3．庁内担当部署の人手不足

(自治体職員編：問 44 - 3)

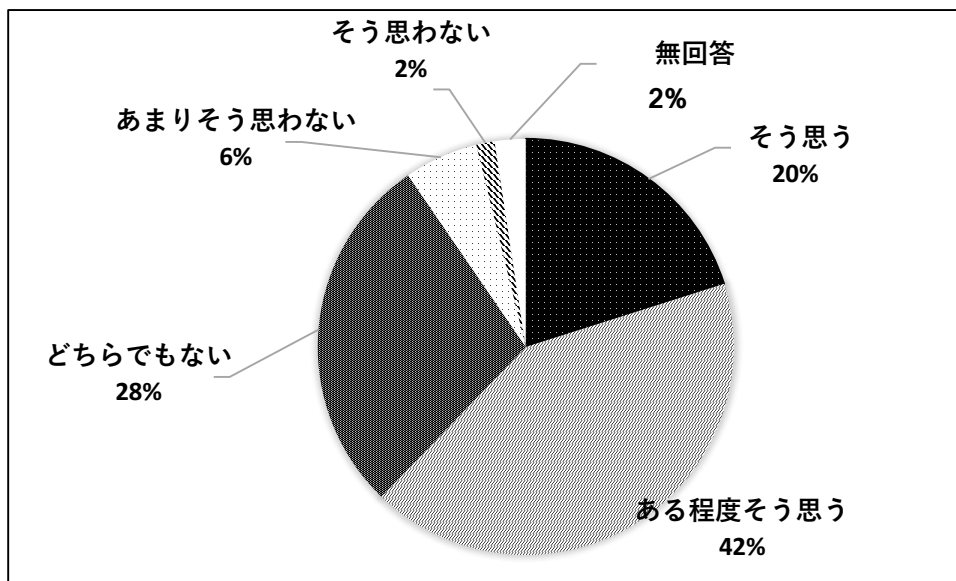
回答者：209 人



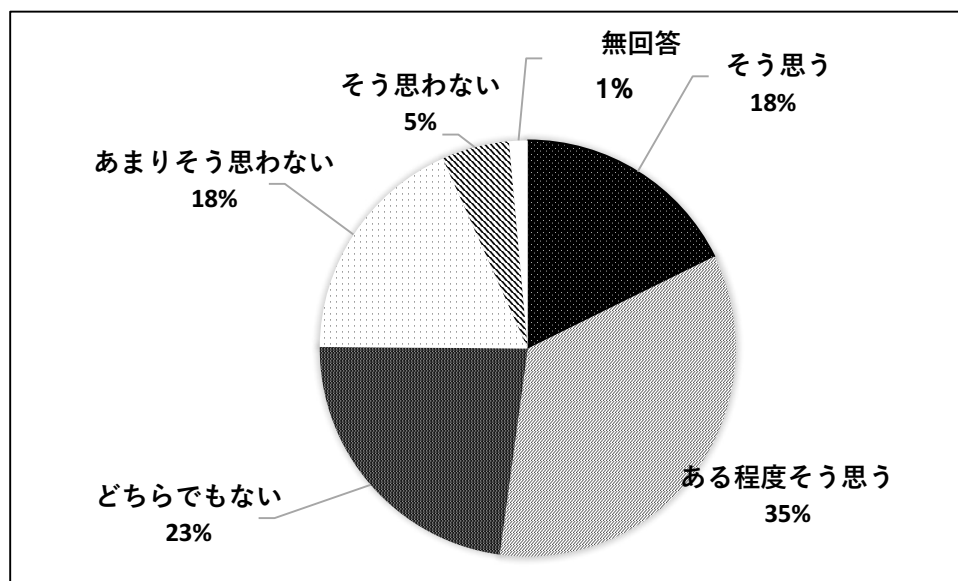
5 0－4．庁内関係部署からの支援・協力不足

(自治体職員編：問 44 - 4)

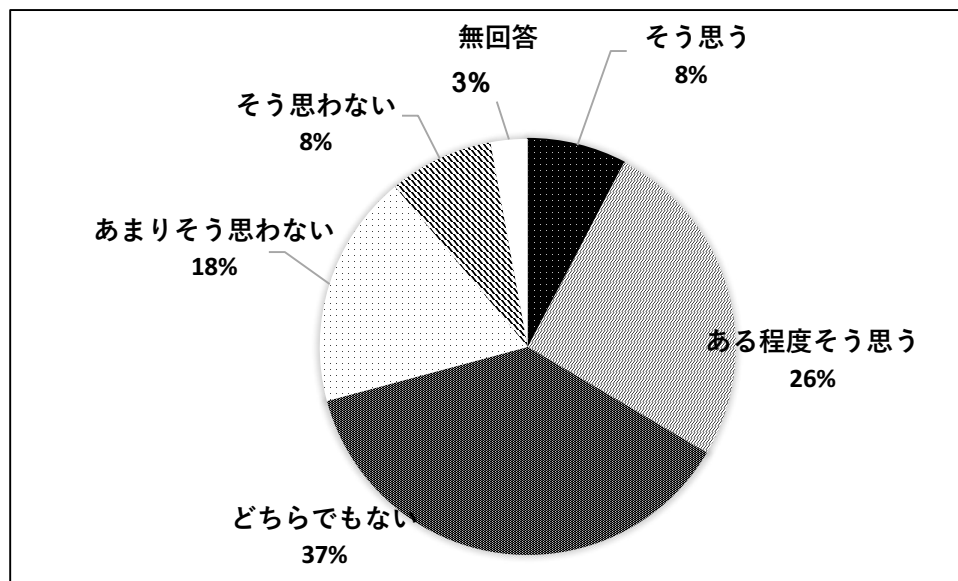
回答者：209 人



5 0－5．地域の生物、生態系管理、生物多様性などに関する有識者の不足
 (自治体職員編：問 44 - 5) 回答者：209 人



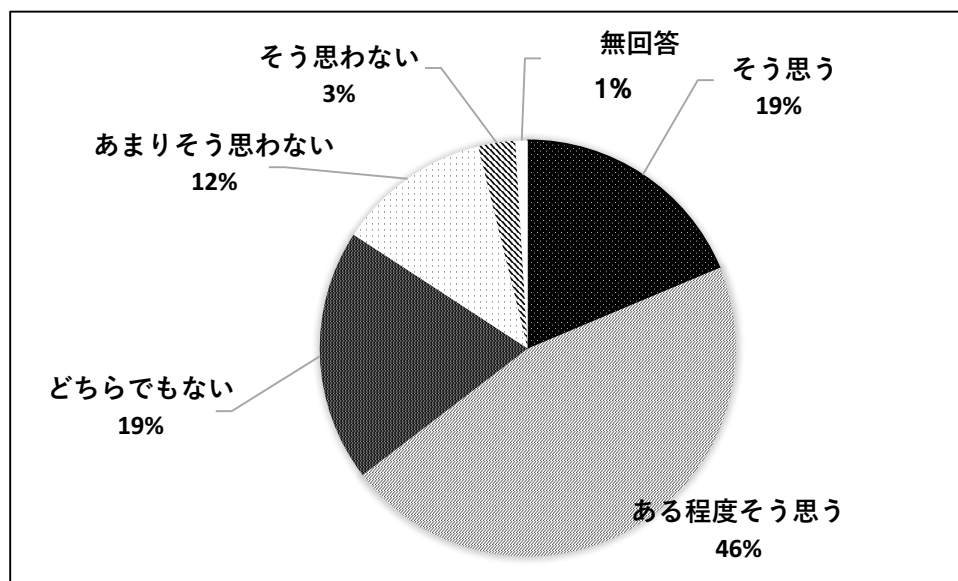
5 0－6．地域住民・関連団体からの要望がない
 (自治体職員編：問 44 - 6) 回答者：209 人



5 1. 担当する施策の評価に積極的に取り組んでいるか

(自治体職員編：問 45)

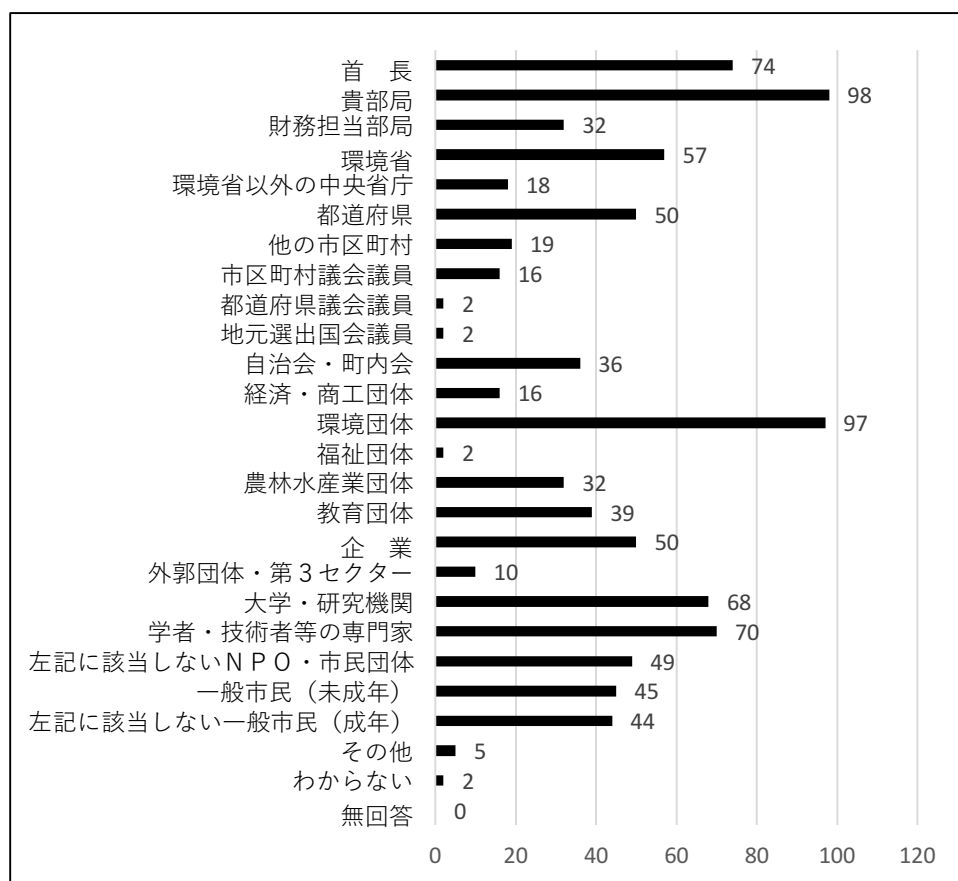
回答者：209 人



5 2. 生物多様性地域戦略の実施に際して重要な役割を担っている人や団体

(自治体職員編：問 46)

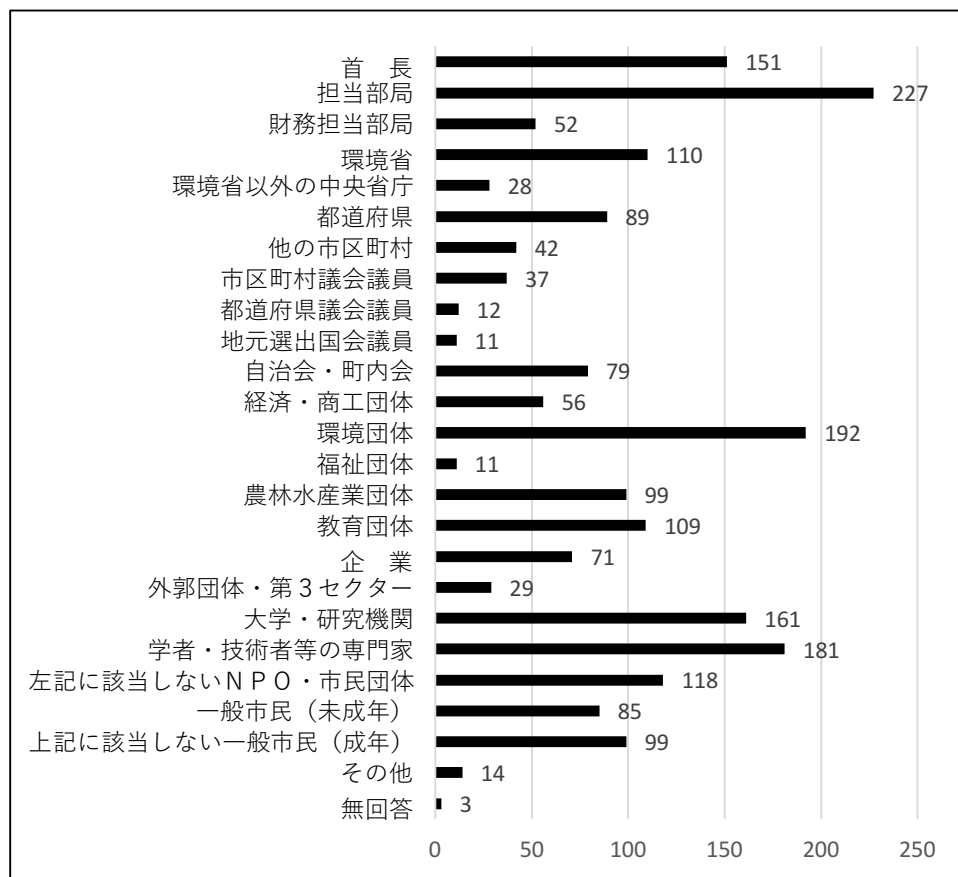
回答者：133 人（複数回答）



5 2. つづき

(策定委員会委員編：問 13)

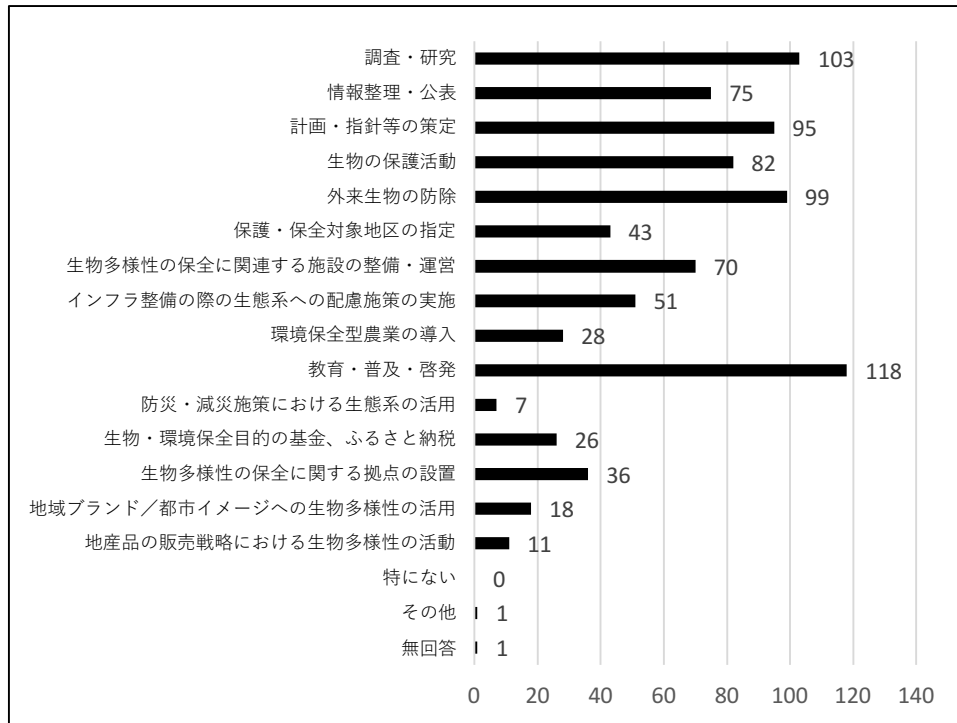
回答者：295 人（複数回答）



5 3. 生物多様性地域戦略に基づいた活動として実施している取組

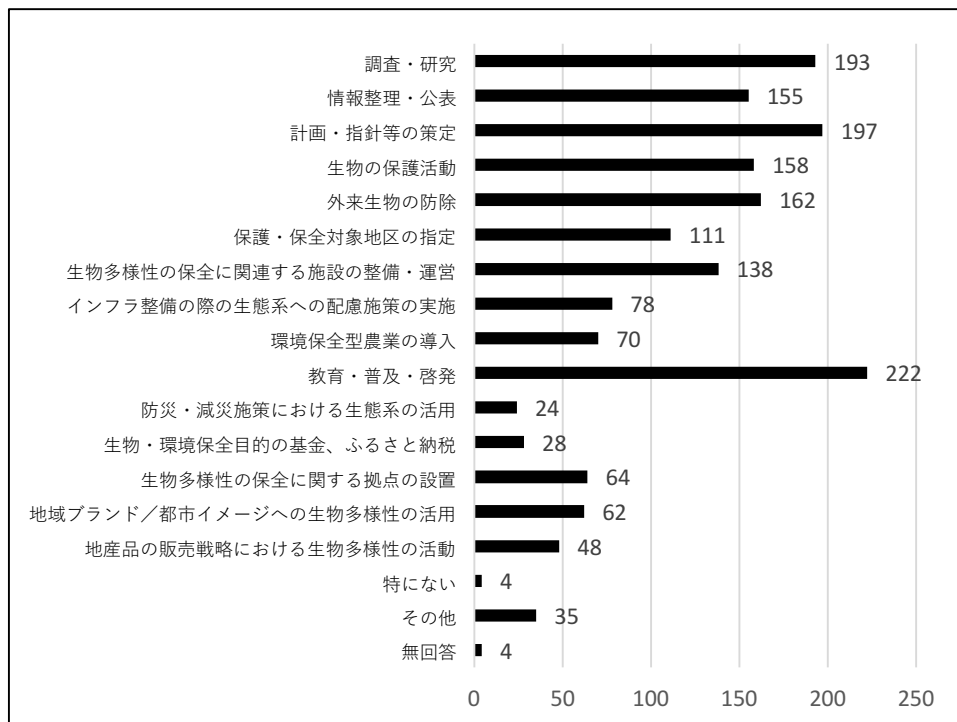
(自治体職員編：問 47)

回答者：133 人（複数回答）



(策定委員会委員編：問 14)

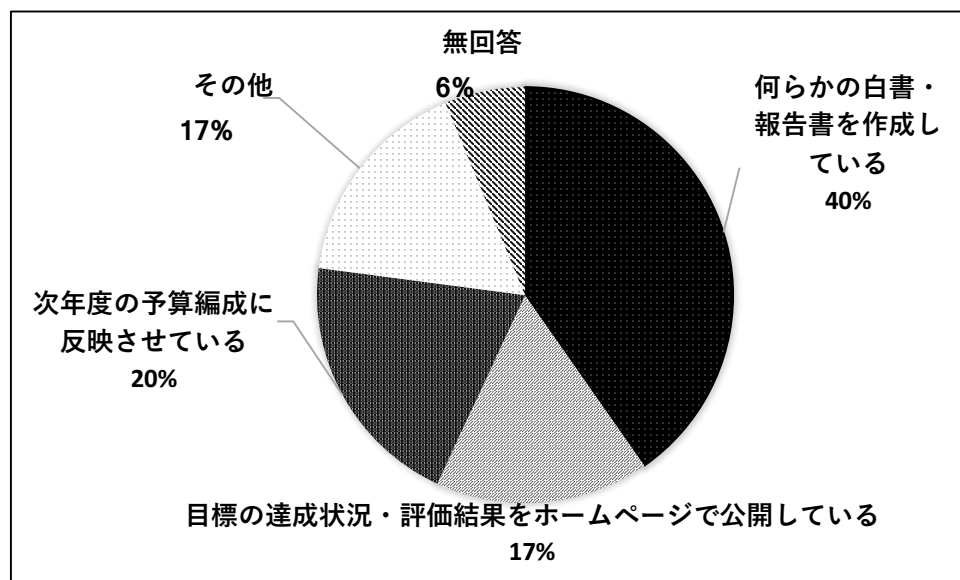
回答者：295 人（複数回答）



5 4. 生物多様性地域戦略における、目標の達成状況・評価結果をどのように公表・活用しているか

(自治体職員編：問 48)

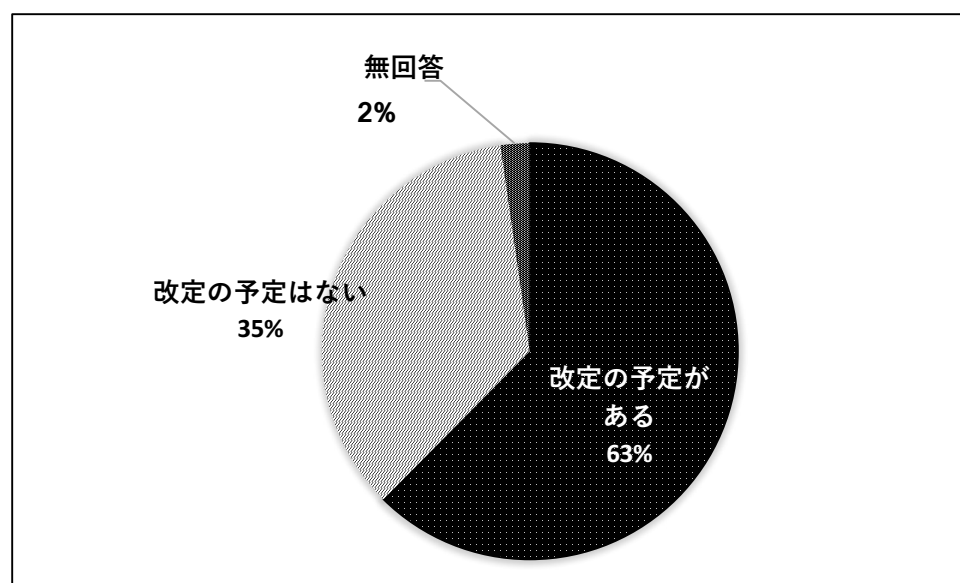
回答者：133 人



5 5. 生物多様性地域戦略の改定予定の有無

(自治体職員編：問 49)

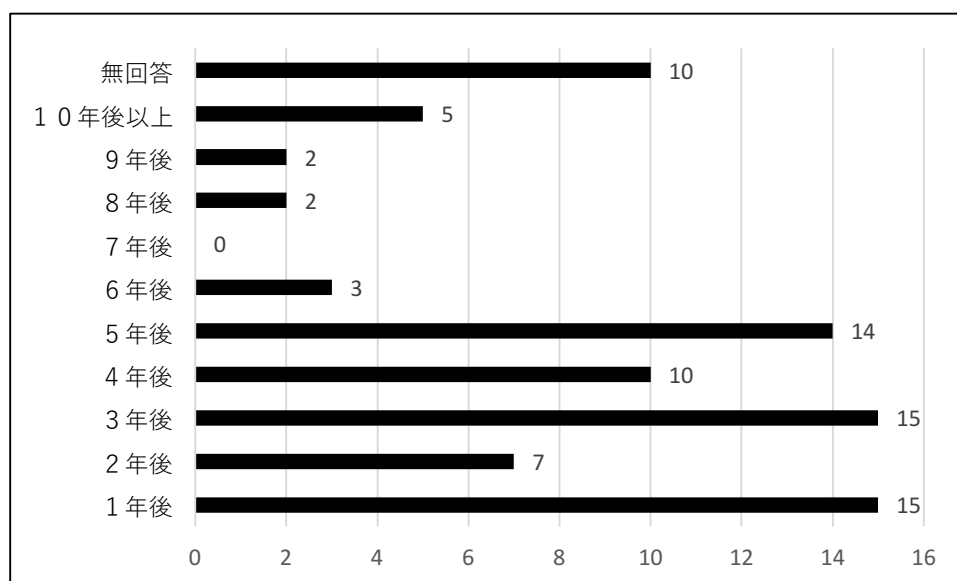
回答者：133 人



5 6. 生物多様性地域戦略の改定予定の時期

(自治体職員編：問 49)

回答者：83 人



調査票 生物多様性地域戦略策自治体職員編

(第 0652 号) **生物多様性地域戦略に関する自治体全国調査** ①～⑤
(市区町村職員様向け)

お忙しい中、アンケートにご協力いただき、ありがとうございます。

このアンケートでは、生物多様性地域戦略を**主担当とする部局の方**（現在および策定時の職員様）、取組などを通して生物多様性地域戦略に**関係する部局の方**（現在および策定時の職員様）にお答えいただきます。

下の表には、ご回答者区分、質問数およびおよその所要時間を示しています。

アンケートご回答者様による回答数と予想される回答時間一覧

	生物多様性地域戦略		回答数と予想される回答時間	
	策定時	現在		
1	担当部局の職員様	担当部局の職員様	全 4 8 問	5 0 分程度
2	担当部局の職員様	関係部局の職員様	全 4 4 問	4 5 分程度
3	担当部局の職員様	関わっていない	全 4 1 問	4 0 分程度
4	関係部局の職員様	担当部局の職員様	全 3 8 問	4 0 分程度
5	関係部局の職員様	関係部局の職員様	全 2 3 問	2 5 分程度
6	関係部局の職員様	関わっていない	全 2 0 問	2 0 分程度
7	関わっていない	担当部局の職員様	全 3 0 問	3 0 分程度
8	関わっていない	関係部局の職員	全 1 5 問	1 5 分程度

上記の質問数には、**1～8**に該当する方皆さんに共通でお答えいただく質問 12 問が含まれています。

裏面のご回答にあたってのお願いをお読みいただいた上で、1 ページからご回答ください。

ご回答にあたってのお願い

- ・ ご回答は、特に調べ物をしないで直感的にお答えいただいて構いません。
ご自身の見解としてお答えください。
- ・ アンケートにお答えいただいた市区町村様には、後日、全体の集計結果を郵送いたします。
集計結果から市区町村が特定されることはありません。また、それぞれの生物多様性地域
戦略をランク付けすることはありません。収集したデータは統計的に処理され、
論文・報告書の作成に利用いたします。
- ・ ご記入は、黒の鉛筆、ボールペンなどをお願いいたします。
- ・ 質問番号順にお答えください。質問の中には、一部の方にだけおたずねする部分もありますが、
その場合は指定された方法に従ってお答えください。
- ・ お答えは、当てはまる回答についている数字を○で囲んでいただく場合と、カッコや四角の中に
具体的に記入していただく場合があります。
- ・ なお、1, 2, 3, 4 などの選択肢の番号や、欄外の⑬⑭などの記号、カードNo.は、コンピュータ
で処理するときの記号です。お気になさらずにお答えください。
- ・ (○は1つ) と表示されている質問では、○は1つだけにしぼってお答えください。
- ・ **1～2週間でご回答の上、生物多様性地域戦略を主担当とする部局の方にお渡しください。**

＜このアンケートに関するお問い合わせ先＞

東京大学総合文化研究科広域システム科学系

准教授 吉田丈人

特任研究員 小川みふゆ

〒153-8903 東京都目黒区駒場 3-8-1

Tel & Fax: 03-5454-6645 E-mail: toiawase@pances.net

【共通質問】

【共通質問】（全 11 問） ご回答いただく方皆様に共通でお聞きます。 ⑩＝ 1

問 1 あなたの自治体の名称と所属部局名をご記入ください。

都道府県名		自治体名		⑪⑫
所属部局名				⑬

問 2 こちらからご連絡を差し上げて良い場合にはご記入ください。

役職名（任意）		回答者名（任意）		⑭⑮
電話番号（任意）		メールアドレス（任意）		⑯⑰

問 3 あなたの部局が担当している業務には、どのようなものが含まれていますか。
以下の欄から主たる業務を 1 つ選んで番号を記入して下さい。また、その他の業務があれば、
以下の欄のあてはまるものすべてに○をお付けください。（○はいくつでも）
業務間の重要性に差がない場合は、番号の記入はなくても構いません。（数字を記入）

主たる業務→

--	--

 ⑱⑲

1 生態多様性の保全	9 児童・子ども	⑳㉑
2 環境（生物多様性の保全を除く）	10 福祉	
3 都市計画	11 教育	
4 土木・建築	12 工業	
5 防災	13 商業・観光業	
6 農業	14 企画・政策	
7 林業	15 その他（具体的に	
8 水産業	）	

問 4 あなたは、市町村による生物多様性保全活動の意義・必要性、についてどのように考えていますか。
ご自身の個人的な見解としてお答えください。（○は 1 つ）

1 強い意義・必要性を感じる	4 あまり意義・必要性を感じない	㉒
2 意義・必要性を感じる	5 まったく意義・必要性を感じない	
3 どちらでもない		

問 5 あなたは、生物多様性の保全に関連する取り組みは、他の政策領域と比較した場合に、
予算・人員の配分などにおいて、優先順位を高くすべき政策領域だと思いますか。
ご自身の個人的な見解としてお答えください。（○は 1 つ）

1 優先順位の非常に高い政策領域だと思う	4 優先順位の低い政策領域だと思う	㉓
2 優先順位の高い政策領域だと思う	5 優先順位の非常に低い政策領域だと思う	
3 どちらでもない		

【共通質問】

問6 生物多様性地域戦略の策定により期待される効果に関する次の意見に対してのようにお考えですか。

以下の1)～13)それぞれの項目に対して、それぞれ「そう思う」～「そう思わない」の中から1つを選んで○をお付けください。

(それぞれに○は1つ)

そ う 思 う	あ る 程 度 そ う 思 う	ど ち ら で も な い	あ ま り そ う 思 わ な い	そ う 思 わ な い
------------------	--------------------------------------	---------------------------------	---	----------------------------

- 1) 生物多様性の保全に関連する取組を体系化できる-----→ 1---- 2--- 3----- 4---- 5 ②4
- 2) 生物多様性の保全が進展する -----→ 1---- 2--- 3----- 4---- 5 ②5
- 3) 市区町村・地域ブランドの創造・向上につながる-----→ 1---- 2--- 3----- 4---- 5 ②6
- 4) 農林水産業の振興・所得向上につながる-----→ 1---- 2--- 3----- 4---- 5 ②7
- 5) エコツアー等による観光の振興につながる-----→ 1---- 2--- 3----- 4---- 5 ②8
- 6) 環境共生・配慮技術の開発・導入が進展する-----→ 1---- 2--- 3----- 4---- 5 ②9
- 7) 地球温暖化の防止策となる -----→ 1---- 2--- 3----- 4---- 5 ③0
- 8) 地域コミュニティの再生につながる -----→ 1---- 2--- 3----- 4---- 5 ③1
- 9) 学校における環境教育が進展する -----→ 1---- 2--- 3----- 4---- 5 ③2
- 10) 市区町村外も含む関係者間のネットワークを形成できる-----→ 1---- 2--- 3----- 4---- 5 ③3
- 11) 市民などからの信頼が向上する -----→ 1---- 2--- 3----- 4---- 5 ③4
- 12) 庁内の連携が図られる -----→ 1---- 2--- 3----- 4---- 5 ③5
- 13) 生物多様性に関連する取組の予算獲得・維持の後押しとなる→ 1---- 2--- 3----- 4---- 5 ③6
- 14) その他（その他に期待される効果がありましたら、以下に具体的にご記入ください）

--

③7

問7 既存の取組のうち、生物多様性地域戦略の策定によって強化された取組はありますか。

該当する領域を選び、以下の欄のあてはまるものすべてに○をお付けください。（○はいくつでも）

1 生態多様性の保全	9 児童・子ども
2 環境（生物多様性の保全を除く）	10 福祉
3 都市計画	11 教育
4 土木・建築	12 工業
5 防災	13 商業・観光業
6 農業	14 企画・政策
7 林業	15 その他（具体的に
8 水産業	）

③8
③9

$$\textcircled{10} = 2$$
⑪⑫

(○は1つ)

88

(○は1つ)

(89)

【共通質問】

問 11 生物多様性地域戦略の策定時において、あなたの生物多様性地域戦略に対してのお立場を
1 つ選んで○をお付けください。 (○は1つ)

⑩ = 3

1 担当部局の職員	2 関係部局の職員	3 関わっていない
---------------------	---------------------	---------------------

↓
下に続くセクション 1 へお進みください。

↓
19 ページの間 42 へ
お進みください。

⑪

【セクション 1】 (全 8 問)

生物多様性地域戦略の策定時において、担当部局の職員、もしくは、関係部局の職員だった
(問 11 で 1・2 のいずれかに○を付けた) 方は、このセクションの質問にご回答ください。

問 12 あなたの自治体で生物多様性地域戦略を策定するに至ったきっかけは何ですか。
あてはまるものすべてに○をお付けください。 (○はいくつでも)

1	生物多様性基本法で努力義務とされたため	
2	従来から何らかの生物多様性の保全活動に積極的に取り組んでいたため	
3	市区町村内の担当部局が生物多様性地域戦略の必要性を強く感じたため	
4	<u>周辺自治体</u> が生物多様性地域戦略を策定したため	
5	<u>都道府県</u> が生物多様性地域戦略を策定したため	
6	<u>環境省</u> からの働きかけ	
7	<u>都道府県</u> からの働きかけ	
8	生物多様性条約第 10 回締約国会議 (COP10) への参加	⑫
9	<u>首長</u> の指示	⑬
10	<u>議員</u> からの要求	
11	<u>自治会等</u> の要望	
12	<u>環境団体</u> からの要望	
13	<u>経済・商工団体</u> からの要望	
14	<u>農林水産業団体</u> からの要望	
15	上記に該当しない <u>NPO・市民団体</u> からの要望	
16	上記に該当しない <u>一般市民</u> からの要望	
17	その他 (以下に具体的にご記入ください。)	

【セクション 1】

問 13 地域戦略策定の指示・要望が生じた背景、あるいは市区町村内の担当部局で策定が必要と判断された理由は何ですか。

生物多様性地域戦略に記載されていない策定当時の経緯について、情報があれば可能な範囲でご記入ください。 (自由回答)

⑭

問 14 生物多様性地域戦略の記載内容に対して、大きな影響力のあった人や団体はどれですか。
あてはまるものすべてに○をお付けください。 (○はいくつでも)
(※公式／非公式を問わず、戦略の方向性を決定付けた人、策定に際して意向に配慮した人、策定段階の戦略案の重要な箇所を修正した人、などを念頭に○をお付けください。)

1 首長	13 環境団体
2 貴部局	14 福祉団体
3 財務担当部局	15 農林水産業団体
4 環境省	16 教育団体
5 環境省以外の中央省庁	17 企業
6 都道府県	18 外郭団体・第3セクター
7 他の市区町村	19 大学・研究機関
8 市区町村議会議員	20 学者・技術者等の専門家
9 都道府県議会議員	21 1～20に該当しないNPO・市民団体
10 地元選出国会議員	22 一般市民（未成年）
11 自治会・町内会	23 1～21に該当しない一般市民（成年）
12 経済・商工団体	24 その他（具体的に
	25 わからない

⑮

⑯

⑰

問 15 生物多様性地域戦略の策定に際して、次の政策に関係する部局と連携しましたか。
あてはまるものすべてに○をお付けください。 (○はいくつでも)

1 生態多様性の保全	9 児童・子ども
2 環境（生物多様性の保全を除く）	10 福祉
3 都市計画	11 教育
4 土木・建築	12 工業
5 防災	13 商業・観光業
6 農業	14 企画・政策
7 林業	15 その他（具体的に
8 水産業	16 どのとも連携していない

⑱

⑲

【セクション1】

問 16 生物多様性地域戦略の策定に際して、次の行政組織と連携しましたか。

あてはまるものすべてに○をお付けください。

(○はいくつでも)

1 近隣市区町村	4 農林水産省
2 都道府県	5 国土交通省
3 環境省	6 その他（具体的に)
	7 どことも連携していない

⑳

問 17 生物多様性地域戦略の策定に際して、次にあげる人や団体は、公式の検討／議論の場

(委員会、タウンミーティング、パブリックコメントなど)に参加しましたか。

あてはまるものすべてに○をお付けください。

(○はいくつでも)

1 自治会・町内会	8 外郭団体・第3セクター
2 経済・商工団体	9 学者・技術者等の専門家
3 環境団体	10 1～9に該当しないNPO・市民団体
4 福祉団体	11 一般市民（未成年）
5 農林水産業団体	12 1～10に該当しない一般市民（成年）
6 教育団体	13 その他（具体的に)
7 企業	14 あてはまるものはない

㉑

㉒

問 18 あなたの自治体の生物多様性地域戦略に書かれた取組のうち、いくつが新規の取組ですか。

取組数を数字で記入して下さい。生物多様性地域戦略に新規の取り組みを明示的に記載している

場合は、取組数のご回答は不要ですので、xに○をお付けください。

(数字を記入)

取組数

--	--	--

x 記載している

㉓～㉕

㉖

問 19 あなたの自治体の生物多様性地域戦略には、地域にとって重要な自然（種・環境・活動拠点）の

すべてを新規や既存の取組の強化として取り上げられたと思いますか。

あなたの考えをお聞かせください。

(○は1つ)

1 すべて取り上げた	4 あまり取り上げられなかった
2 ある程度取り上げた	5 まったく取り上げられなかった
3 どちらでもない	

㉗

【セクション1】は、ここまでとなります。

生物多様性地域戦略策定時において、担当部局の職員であった方(4ページの間11で1と答えた方)

は、次の7ページへお進みください

生物多様性地域戦略策定時において、関係部局の職員であった方は、19ページの間42へお進みくだ

さい。

【セクション 2】

【セクション 2】（全 21 問）

生物多様性地域戦略策定時において、担当部局の職員だった（問 11 に 1 に○を付けた）方は、このセクションの質問にご回答ください。

問 20 生物多様性地域戦略の策定に際して、次にあげるどの生態系サービスを意識または注目しましたか。あてはまるものすべてに○をお付けください。（○はいくつでも）

【文化的サービス】	
1 教育	4 宗教・祭り
2 観光・レクリエーション	5 伝統芸能・伝統工芸
3 景観	
【供給サービス】	
6 農産物	9 淡水（取水）
7 特用林産物（きのこ・山菜等）	10 木材
8 水産物	11 原材料（竹材・養蚕等）
【調整サービス】	
12 土壌の調整	15 大気の調整
13 災害の緩和	16 水の調整
14 気候の調整	17 花粉媒介や病虫害抑制

⑳
㉑

問 21 あなたの地域には、生物多様性地域戦略の策定に際して、下に挙げる種類の知見や情報が十分にありましたか。（それぞれに○は 1 つ）

知見や情報の種類	そう 思う	そう ある 程度 思う	ない どちら でも	あまり ない 思う	そう 思う
生き物や生態系の状況： 動物・植物や生態系の状況、希少種（レッドリストなど）、重要な地域や種など（自然公園、天然記念物、文化財、日本の重要湿地 500、ふるさと生きものの里 100 選など）	1	2	3	4	5
自然の恩恵（生態系サービス）： 食料、燃料、木材、繊維、薬、水など私たちの生活に必要な資源の供給（供給サービス）、森林による気候の緩和や風水害の抑制、水や空気の浄化といった環境を調節する作用（調整サービス）、地域の信仰や文化と関係の深い生き物や生態系、美しい景観、レクリエーションの場など（文化サービス）	1	2	3	4	5
生物多様性が損なわれる原因： 開発などの人間活動の影響（第 1 の危機）、里山の利用など自然に対する働きかけの縮小（第 2 の危機）、ゴミや化学物質、外来種など人間により持ち込まれたものによる影響（第 3 の危機）、地球温暖化や海洋酸性化などの影響（第 4 の危機）	1	2	3	4	5
社会・経済状況 地域の人口統計・推計	1	2	3	4	5
地域の産業統計・推計（農林水産統計、経済白書、食料・農業・農村白書、水産白書、観光白書など）	1	2	3	4	5

③①
③②
③③
③④

【セクション 2】

問 22 あなたの地域の生物多様性地域戦略の策定に、下に挙げる種類の知見や情報が

十分に活用されましたか。

(それぞれに○は1つ)

知見や情報の種類	そう思う	ある程度 そう思う	ない どちらでも	あまり 思わない	そう 思わない	
生き物や生態系の状況： 動物・植物や生態系の状況、希少種（レッドリストなど）、重要な地域や種など（自然公園、天然記念物、文化財、日本の重要湿地 500、ふるさと生きものの里 100 選など）	1	2	3	4	5	③⑤
自然の恩恵（生態系サービス）： 食料、燃料、木材、繊維、薬、水など私たちの生活に必要な資源の供給（供給サービス）、森林による気候の緩和や風水害の抑制、水や空気の浄化といった環境を調節する作用（調整サービス）、地域の信仰や文化と関係の深い生き物や生態系、美しい景観、レクリエーションの場など（文化サービス）	1	2	3	4	5	③⑥
生物多様性が損なわれる原因： 開発などの人間活動の影響（第 1 の危機）、里山の利用など自然に対する働きかけの縮小（第 2 の危機）、ゴミや化学物質、外来種など人間により持ち込まれたものによる影響（第 3 の危機）、地球温暖化や海洋酸性化などの影響（第 4 の危機）	1	2	3	4	5	③⑦
社会・経済状況						
地域の人人口統計・推計	1	2	3	4	5	③⑧
地域の産業統計・推計（農林水産統計、経済白書、食料・農業・農村白書、水産白書、観光白書など）	1	2	3	4	5	③⑨
その他	(その他、生物多様性地域戦略の策定に役立った重要な知見や情報がありましたらご記入ください)					④⑩

【セクション 2】

問 23 問 22 にお答えいただいた知見や情報の入手方法や、生物多様性地域戦略の策定にこれらが活用されたきっかけは何でしたか。次に挙げるものについて、知見や情報を生物多様性地域戦略に活用する上でどの程度重要であったかをお答えください。

実施していない、またはあてはまらないものには**6**に○をお付けください。（それぞれに○は1つ）

		重要	重要 ある 程度	どちらとも いえない	あまり 重要でない	重要でない	実施していない、 あてはまらない
担当部局 の取組	策定担当者のデスクワーク （インターネットや図書館蔵書の検索など）	1	2	3	4	5	6
	策定担当者の個人的なネットワーキング （有識者との直接連絡、学会参加など）	1	2	3	4	5	6
	コンサルタント等への外部委託	1	2	3	4	5	6
参加型の 取組	生物多様性地域戦略策定に向けた 検討委員会や策定部会など	1	2	3	4	5	6
	関連分野の勉強会やワークショップなど （関係する別の施策に係るものを含む）	1	2	3	4	5	6
	地域の情報・活動拠点の整備	1	2	3	4	5	6
外部との 連携	国または都道府県からの情報提供	1	2	3	4	5	6
	大学・博物館などの教育・研究機関との連携	1	2	3	4	5	6
	共通の課題に取り組む他の市町村や 都道府県を含む広域ネットワークへの参加	1	2	3	4	5	6
知見・情報を 充実させる ための取組	市民アンケートの実施	1	2	3	4	5	6
	独自調査やモデル事業などの実施	1	2	3	4	5	6
知見・情報を 使い手に 伝える ための取組	関係する調査や研究の結果を概説する 広報資料やウェブページ、ニュースレターなど	1	2	3	4	5	6
	リスト化やデータベース整備など （例えば地域の希少種リストや GIS データベースなど）	1	2	3	4	5	6
知見・情報 の精査	パブコメや有識者による生物多様性 地域戦略文書（案）へのコメント	1	2	3	4	5	6
その他	（その他特に重要な取組や方法がありましたらご記入ください）						

【セクション2】

問 24 あなたの地域では、生物多様性地域戦略の今後の実施や改定に向けて、
下に挙げる種類の知見や情報を必要としていますか。(それぞれに○は1つ)

知見や情報の種類		そう 思う	ある 程度 そう 思う	ない どちら でも	あまり そう 思わ ない	そう 思わ ない
生き物や生態系の状況： 動物・植物や生態系の状況、希少種（レッドリストなど）、重要な地域や種 など（自然公園、天然記念物、文化財、日本の重要湿地 500、ふるさと生 きものの里 100 選など）		1	2	3	4	5
自然の恩恵（生態系サービス）： 食料、燃料、木材、繊維、薬、水など私たちの生活に必要な資源の供給（供給 サービス）、森林による気候の緩和や風水害の抑制、水や空気の浄化とい った環境を調節する作用（調整サービス）、地域の信仰や文化と関係の深 い生き物や生態系、美しい景観、レクリエーションの場など（文化サービ ス）		1	2	3	4	5
生物多様性が損なわれる原因： 開発などの人間活動の影響（第1の危機）、里山の利用など自然に対する 働きかけの縮小（第2の危機）、ゴミや化学物質、外来種など人間により 持ち込まれたものによる影響（第3の危機）、地球温暖化や海洋酸性化な どの影響（第4の危機）		1	2	3	4	5
社会・経済状況	地域の人口統計・推計	1	2	3	4	5
	地域の産業統計・推計（農林水産統計、経済白書、 食料・農業・農村白書、水産白書、観光白書など）	1	2	3	4	5
その他	（その他、生物多様性地域戦略の今後の実施や改定に向けて、特に重要と思われる知見 や情報がありましたらご記入ください）					

問 25 問 24 にお答えいただいた知見や情報について、現状に関するものだけでなく、特定の施策の導入
や今後の社会経済や自然環境（気候など）の変化など、将来的な変化の予測が可能であれば、そのよう
な予測結果は今後の生物多様性地域戦略の実施や改定に有用であると思いますか。（○は1つ）

1 そう思う	4 あまりそう思わない
2 ある程度そう思う	5 そう思わない
3 どちらでもない	

【セクション2】

問 26 生物多様性地域戦略の策定、実施や今後の改定に求められる知見や情報の入手や活用を進める上での課題は何ですか。

以下の1)～8)それぞれの項目に対して、それぞれ「そう思う」～「そう思わない」の中から1つを選んで○をお付けください。
(それぞれに○は1つ)

そ う 思 う	あ る 程 度 そ う 思 う	ど ち ら で も な い	あ ま り そ う 思 わ な い	そ う 思 わ な い
------------------	--------------------------------------	---------------------------------	---	----------------------------

- 1) 必要な知見や情報が不足している -----> 1 ---- 2 ---- 3 --- 4 ---- 5 ⑥3
- 2) 必要な知見や情報がどこにあるかわからない-----> 1 ---- 2 ---- 3 --- 4 ---- 5 ⑥4
- 3) 関連する知見や情報はあるが、内容が十分に理解できない -> 1 ---- 2 ---- 3 --- 4 ---- 5 ⑥5
- 4) 関連する知見や情報はあるが、偏りがある-----> 1 ---- 2 ---- 3 --- 4 ---- 5 ⑥6
- 5) 関連する知見や情報はあるが、信頼性や確実性が十分でない -> 1 ---- 2 ---- 3 --- 4 ---- 5 ⑥7
- 6) 関連する知見や情報はあるが、
生物多様性地域戦略への活用方法がわからない-----> 1 ---- 2 ---- 3 --- 4 ---- 5 ⑥8
- 7) 生物多様性地域戦略担当部局の人材が不足している-----> 1 ---- 2 ---- 3 --- 4 ---- 5 ⑥9
- 8) 必要な知見や情報をもつ有識者との協力や連携が不足している -> 1 ---- 2 ---- 3 --- 4 ---- 5 ⑦0
- 9) その他（その他に特筆すべき課題などがありましたら、以下に具体的にご記入ください）

⑦1

問 27 生物多様性地域戦略策定において、都道府県とどのような連携をとって進めましたか。
あてはまるものすべてに○をお付けください。(○はいくつでも)

- | | |
|-------------------|----------------------|
| 1 技術的な支援があった | 4 勉強会が開催された |
| 2 情報提供があった | 5 都道府県と市区町村の管轄地を調整した |
| 3 事務局的な機能の手助けがあった | 6 とくに連携はしていない |
- ⑦2

【セクション2】

問 28 生物多様性地域戦略を策定するために、策定委員会を通算何回開催しましたか。

回数を数字で記入してください。

生物多様性地域戦略に策定委員会の開催回数の記載がある場合は、
開催回数のご回答は不要ですので、**x** に○をお付けください。

(数字を記入)

--	--	--

回

x 記載がある

⑦③～⑦⑤

⑦⑥

問 29 上記の策定委員会の他に、生物多様性地域戦略を策定するための打ち合わせや調整をどの程度行
いましたか。会議や調整のために使用した時間の印象を、**わかる範囲**でお答えください。

また、例えば、2 時間の打ち合わせを 10 回なら、20 時間と合計した時間でお答えください。

(数字を記入)

およそ

--	--	--

時間程度

⑦⑦～⑦⑨

問 29-1 策定委員会の他に、生物多様性地域戦略を策定するための打ち合わせや調整に要した

時間負担の印象を下から 1 つ選んで○をお付けください。

(○は 1 つ)

1 恒常的に残業をした

4 勤務時間内ではほぼ完了した

2 よく残業した

5 勤務時間内で完了し、他の業務も十分にできた

3 時々残業した

⑧⑩

問 30 生物多様性地域戦略を策定するために、担当部局および関係部局から、およそ何人くらいの職員
が関わりましたか。数字をご記入ください。

(数字を記入)

およそ

--	--	--

人

⑧①～⑧③

【セクション 2】

⑩ = 4

問 31 生物多様性地域戦略の策定時、有識者（研究者、専門家など）が策定委員として参加しましたか。

（○は 1 つ）

1 有識者が策定委員として参加している	2 有識者は策定委員として参加していない	⑪
---------------------	----------------------	---

問 31-1 へ

14 ページの問 31-2 へ

【有識者が策定委員として参加していると回答された（問 31 で 1 と回答された）方にお聞きます。】

問 31-1 その人の専門分野は何ですか。

（わかる範囲で構いませんので、01～04 の大項目と 11～57 の小項目の両方にあてはまるものすべて

○をお付けください。人数がわかる場合は、その人数を数字で書き込んでください。

また、1 人の方が複数の分野に該当する場合には、該当する全ての分野に○をお付けください。）

01 人文社会系 計 (人)	
11 哲学 (人)	17 社会学 (人)
12 文学 (人)	18 教育学 (人)
13 文化人類学 (人)	19 観光学 (人)
14 法学 (人)	20 史学 (人)
15 政治学 (人)	21 その他 (人)
16 経済学 (人)	
02 理工系 計 (人)	
31 物理学 (人)	35 建築学 (人)
32 天文学 (人)	36 機械工学 (人)
33 数学 (人)	37 土木工学 (人)
34 化学 (人)	38 その他 (人)
03 生物系 計 (人)	
41 生物資源保全学 (人)	44 基礎生物学 (人)
42 農学 (人)	45 その他 (人)
43 医歯薬学 (人)	
04 総合系 計 (人)	
51 情報学 (人)	55 スポーツ科学 (人)
52 環境学 (人)	56 脳科学 (人)
53 生活科学 (人)	57 その他 (人)
54 人間工学 (人)	
05 その他 （その他にありましたら、以下に具体的な専門分野と人数を記入して下さい。）	

⑫

⑬⑭

⑮

⑯

⑰

⑱⑲

⑳㉑

㉒㉓

㉔㉕

㉖

㉗

【セクション2】

【有識者が策定委員として参加していないと回答された（問31で2と回答された）方にお聞きます。】

問31-2 策定委員に有識者が含まれていない理由は何ですか。

あてはまるものすべてに○をお付けください。

（○はいくつでも）

- 1 生物多様性地域戦略策定に必要な専門知識をもった職員がいたため必要としなかった
- 2 生物多様性地域戦略策定に必要な専門知識をもった人が地域にいたため必要としなかった
- 3 有識者とつながるつてが無かったため
- 4 策定への参加を断られたため
- 5 有識者は生物多様性地域戦略の策定には必要ないと判断したため
- 6 その他（以下に具体的にご記入ください。）

⑤7

問32 生物多様性地域戦略の策定時に環境コンサルタントが関与しましたか。

（○は1つ）

1 関与した

2 関与しなかった

⑤8

↓
問33へ

↓
15ページの問35へ

【環境コンサルタントが関与したと回答された（問32で1と回答された）方にお聞きます。】

問33 生物多様性地域戦略の策定において、環境コンサルタントがどのように関与したのかを

教えてください。あてはまるものすべてに○をお付けください。

（○はいくつでも）

- 1 生物多様性地域戦略の執筆
- 2 現地調査などの情報収集やデータの取りまとめ
- 3 事務局運営
- 4 その他（以下に具体的にご記入ください。）

⑤9

問34 上記の環境コンサルタントの関与にどれくらいの予算を使いましたか。

金額をわかる範囲でお答えください。

（数字を記入）

約

--	--	--	--

万円

⑥0～⑥3

問34-1 また、それは生物多様性地域戦略に要した予算の何パーセントでしたか。

わかる範囲で数字をお答えください。

（数字を記入）

生物多様性地域戦略策定に要した予算の約

--	--	--

%

⑥4～⑥6

【セクション2】

問 35 生物多様性地域戦略の策定にもとづいて実際に進めている取組は、次にあげるどの生態系サービスと関連があると考えますか。あてはまるものすべてに○をお付けください。（○はいくつでも）

【文化的サービス】	
1 教育	4 宗教・祭り
2 観光・レクリエーション	5 伝統芸能・伝統工芸
3 景観	
【供給サービス】	
6 農産物	9 淡水（取水）
7 特用林産物（きのこ・山菜等）	10 木材
8 水産物	11 原材料（竹材・養蚕等）
【調整サービス】	
12 土壌の調整	15 大気の調整
13 災害の緩和	16 水の調整
14 気候の調整	17 花粉媒介や病害虫抑制

⑥7
⑥8

問 36 生物多様性地域戦略が策定されたことで、生物多様性保全や生態系管理に関する新規団体の設立、および、生物多様性地域戦略で取り上げた取組への既存団体の新たな参加はありましたか。
あてはまるものすべてに○をお付けください。（○はいくつでも）
また、いずれかがあった場合には、それぞれの団体数も数字でご記入ください。（数字を記入）

1 新規団体の設立があった	→	団体数		
2 既存団体の新たな参加があった	→	団体数		
3 いずれもなかった				

⑥9
⑦0 ⑦1
⑦2 ⑦3

【セクション2】

問 37 生物多様性地域戦略で扱っている取組において、世代を超えて受け継がれる自然管理の知恵や技術および自然資源の利用方法を活用していますか。活用している方法を取組の説明の中で記載していても構いません。活用しているものすべてに○をお付けください。（○はいくつでも）

1	伝統的な作物の栽培	
2	伝統的な水田の形態（棚田、縁田など）	
3	伝統的な肥料（干鰯、落ち葉、緑肥、水草など）	
4	伝統的な防虫剤（鯨油など）	
5	伝統的な炭焼き	
6	伝統的な草地管理（野焼き、入会地の刈取りなど）	
7	伝統的な漁法 （居繰り網漁、アバ漁、エリ漁、オイサデ漁、モンドリ漁、柴漬け漁など）	⑦④ ⑦⑤
8	森づくり、森林伐採、丸太の搬出などにおける伝統的な技術や技法 （三角植栽法、あがりこ、台切り、馬搬など）	
9	伝統的な狩猟（マタギなど）	
10	茅や稲わらで葺いた屋根	
11	自然素材を用いたカゴ、蓑、うちわ、和紙、寄木細工など	
12	伝統的な祭祀用のための、自然素材の利用（盆花、祭具、装具など）	
13	活用していない	
14	その他（以下に具体的にご記入ください）	

【活用していないと回答された（問 37 で 13 と回答された）方にお聞きます。】

問 37-1 世代を超えて受け継がれる自然管理の知恵や技術および自然資源の利用方法が生物多様性地域戦略の取組に活用されていない理由を教えてください。（○は1つ）

1	それらの情報がなかった	
2	それらの情報はあったが、十分に集められなかった	
3	それらの情報を集めたものの、整理することができなかった	⑦⑥
4	それらの情報をどのように生物多様性地域戦略に取り入れたら良いかわからなかった	
5	その他（具体的に）	

問 38 世代を超えて受け継がれる自然管理の知恵や技術および自然資源の利用方法を、生物多様性地域戦略の推進に取り入れることについて、あなたのお考えに最も近いものを選んでください。（○は1つ）

1	とても必要である	4	あまり必要でない	
2	ある程度必要である	5	まったく必要でない	⑦⑦
3	どちらともいえない			

【セクション2】

問 39 生物多様性地域戦略で扱っている取組において、問 37 でお答えいただいた世代を超えて受け継がれる自然管理の知恵や技術および自然資源の利用方法の他に、地域に特有の自然管理の知恵や技術および自然資源の利用方法（現代的なもの、科学に基づくもので、他の地域ではあまり見られないもの）を活用していますか。
活用している方法を取組の説明の中で記載していなくても構いません。
活用しているものすべてに○をお付けください。（○はいくつでも）

1 地域独自の農産物認証制度にのっとりた農業

2 地域独自の森林認証制度にのっとりた林業

3 地域独自の漁業認証制度にのっとりた漁業

4 減農薬・無農薬栽培における地域独自のノウハウ

5 コリドーやビオトープの設置における地域独自のノウハウ

6 シカ、エゾシカ、イノシシなどのジビエにおける地域独自のノウハウ

7 獣害対策における地域独自のノウハウ（サルバスター、マングースバスターなど）

8 モニタリングに基づいた里山やため池の管理

9 活用していない

10 その他（以下に具体的にご記入ください）

78

【活用していないと回答された（問 39 で9 と回答された）方にお聞きします。】
問 39-1 地域に特有の自然管理の知恵や技術および自然資源の利用方法が生物多様性地域戦略の取組に活用されていない理由を教えてください。（○は1つ）

1 それらの情報がなかった

2 それらの情報はあったが、十分に集められなかった

3 それらの情報を集めたものの、整理することができなかった

4 それらの情報をどのように生物多様性地域戦略に取り入れたら良いかわからなかった

5 その他（具体的に ）

79

問 40 地域に特有の自然管理の知恵や技術および自然資源の利用方法を、生物多様性地域戦略の推進に取り入れることについて、あなたのお考えに最も近いものを選んでください。（○は1つ）

1 とても必要である

2 ある程度必要である

3 どちらともいえない

4 あまり必要でない

5 まったく必要でない

80

【セクション2】

問 41 生物多様性地域戦略に基づいて現在行われている地域の活動（生態系管理や自然再生など）のうち、あなたが重要と思う活動を3つまであげて、概要と場所を教えてください。（自由回答）

1	活動内容（概要）： 場所：	⑧1
2	活動内容（概要）： 場所：	⑧2
3	活動内容（概要）： 場所：	⑧3

【共通質問】

【全員のの方に】

⑩＝5

問 42 現在において、あなたの生物多様性地域戦略に対してのお立場を1つ選んで○をお付けください。
(○は1つ)

1 担当部局の職員	2 関係部局の職員	3 関わっていない	⑪
下に続くセクション3へお進みください。		質問は以上となります。 ご回答いただき、 ありがとうございました。	

【セクション3】(全3問)

現在において、生物多様性地域戦略の担当部局の職員、もしくは、関係部局の職員である方
(問42の1・2いずれかに○を付けた方)は、このセクションの質問にご回答ください。

問 43 あなたの自治体では、生物多様性地域戦略を推進する体制が機能していますか。
以下の1)～4)それぞれの項目に対して、それぞれ「そう思う」～「そう思わない」の中から
1つを選んで○をお付けください。
(それぞれに○は1つ)

そ う 思 う	あ る 程 度 そ う 思 う	ど ち ら で も な い	あ ま り そ う 思 わ な い	そ う 思 わ な い
------------------	--------------------------------------	---------------------------------	---	----------------------------

- 1) 生物多様性地域戦略を推進する部局／担当者が
存在し、部局／担当者間の連携をとっている-----→ 1 --- 2 --- 3 --- 4 --- 5 ⑫
- 2) さまざまな主体の参加・連携を図る会議体が組織されている--→ 1 --- 2 --- 3 --- 4 --- 5 ⑬
- 3) 研究者や地域ボランティア等による調査・解析が機能している--→ 1 --- 2 --- 3 --- 4 --- 5 ⑭
- 4) 地域にある博物館やビジターセンター等が
人材育成の場として機能している -----→ 1 --- 2 --- 3 --- 4 --- 5 ⑮
- 5) その他(その他に機能している体制などがありましたら、以下に具体的にご記入ください)

⑯

【セクション3】

問 44 生物多様性地域戦略に記載された取組のうち、進捗が遅れている取組の要因について
お聞きします。

以下の1)～6)それぞれの項目に対して、それぞれ「そう思う」～「そう思わない」の中から
1つを選んで○をお付けください。 (それぞれに○は1つ)

そ う 思 う	あ る 程 度 そ う 思 う	ど ち ら で も な い	あ ま り そ う 思 わ な い	そ う 思 わ な い
------------------	--------------------------------------	---------------------------------	---	----------------------------

- 1) 調査費（生物・生態系の現況把握、生態系サービスの評価、戦略の進捗状況把握等）の不足 → 1 ---- 2 --- 3 ---- 4 ---- 5 ⑰
- 2) 事業費（物品購入、作業者確保、外部発注等）の不足 → 1 ---- 2 --- 3 ---- 4 ---- 5 ⑱
- 3) 庁内担当部署の人手不足 → 1 ---- 2 --- 3 ---- 4 ---- 5 ㉑
- 4) 庁内関係部署からの支援・協力不足 → 1 ---- 2 --- 3 ---- 4 ---- 5 ㉒
- 5) 地域の生物、生態系管理、生物多様性、生態系サービスなどに関する有識者の不足 → 1 ---- 2 --- 3 ---- 4 ---- 5 ㉓
- 6) 地域住民・関連団体からの要望がない → 1 ---- 2 --- 3 ---- 4 ---- 5 ㉔
- 7) その他（その他に進捗が遅れている要因などがありましたら、以下に具体的にご記入ください）

	㉕
--	---

問 45 あなたの部局では、担当する施策の評価に積極的に取り組んでいると思いますか。 (○は1つ)

1	2	3	4	5	
そう思う	ある程度そう思う	どちらでもない	あまりそう思わない	そう思わない	㉖

【セクション3】は、ここまでとなります。

現在、担当部局の職員の方（19 ページの問 42 で 1 と答えた方）は、次の 21 ページへお進みください。

現在、関係部局の職員の方（19 ページの問 42 で 2 と答えた方）は、こちらで終わりとなります。

ご回答いただき、ありがとうございました。

【セクション 4】

【セクション 4】

現在において、担当部局の職員の方（問 42 で 1 に○を付けた方）は、このセクションの質問にご回答ください。
（全 15 問、ただし、策定時も担当部局の職員であった（【セクション 2】を回答した）方は最初の 4 問のみ）

問 46 生物多様性地域戦略に基づく取組の実施に際して、重要な役割を担っている人や団体は
どれですか。あてはまるものすべてに○をお付けください。（○はいくつでも）

1 首長	13 環境団体
2 貴部局	14 福祉団体
3 財務担当部局	15 農林水産業団体
4 環境省	16 教育団体
5 環境省以外の中央省庁	17 企業
6 都道府県	18 外郭団体・第 3 セクター
7 他の市区町村	19 大学・研究機関
8 市区町村議会議員	20 学者・技術者等の専門家
9 都道府県議会議員	21 1～20 に該当しない N P O ・市民団体
10 地元選出国会議員	22 一般市民（未成年）
11 自治会・町内会	23 1～21 に該当しない一般市民（成年）
12 経済・商工団体	24 その他（具体的に)
	25 わからない

②5
②6
②7

【セクション4】

問 47 あなたの自治体では、生物多様性地域戦略に基づいた活動として、どのような取組を実施していますか。あてはまるものすべてに○をお付けください。（○はいくつでも）

- 1 調査・研究（例：生物の生息状況、生態系、植生、自然環境の調査）
- 2 情報整理・公表（例：データベース、目録等の作成）
- 3 計画・指針等の策定
（例：環境基本計画、緑の基本計画、環境・生態系に関する構想・指針）
- 4 生物の保護活動
- 5 外来生物の防除
- 6 保護・保全対象地区の指定
- 7 生物多様性の保全に関連する施設（自然観察園、公園、ビオトープ）の整備・運営
- 8 インフラ整備（道路・河川・水路等）の際の生態系への配慮施策の実施
- 9 環境保全型農業（有機・無農薬・減農薬農法等）の導入
- 10 教育・普及・啓発
（例：ガイドブック等の作成、ワークショップ開催、環境教育活動、自然観察会）
- 11 防災・減災施策における生態系の活用（例：防災林、防潮林）
- 12 生物・環境保全目的の基金、生物多様性の保全と関連する取組を用途に含む
ふるさと納税
- 13 生物多様性の保全に関する拠点の設置
- 14 地域ブランド／都市イメージへの生物多様性の活用
- 15 地産品の販売戦略における生物多様性の活動
- 16 特にない
- 17 その他（以下に具体的にご記入ください）

②⑧

②⑨

問 48 あなたの自治体では、生物多様性地域戦略における、目標の達成状況・評価結果をどのように公表・活用していますか。（○は1つ）

- 1 何らかの白書・報告書を作成している
- 2 目標の達成状況・評価結果をホームページで公開している
- 3 次年度の予算編成に反映させている
- 4 その他（具体的に ）

③⑩

問 49 あなたの自治体では、生物多様性地域戦略の改定予定がありますか。
改定予定が決まっている場合には何年後の予定かも教えてください。（○は1つ）

- 1 改定の予定がある→（ 年後）
- 2 改定の予定はない

③①

③② ③③

【セクション４】

策定時も担当部局の職員であった方（【セクション２】を回答された方）は、以下の質問は重複しますので、ここまでとなります。たくさんの質問にお答えいただき、ご協力ありがとうございました。
策定時は担当部局の職員でなかった方（【セクション２】を回答いただいていない方）は、恐れ入りますが、下に続く残り 11 問をお答えください。

問 50 生物多様性地域戦略の策定に際して、次にあげるどの生態系サービスを意識または注目しましたか。あてはまるものすべてに○をお付けください。（○はいくつでも）

【文化的サービス】	
1 教育	4 宗教・祭り
2 観光・レクリエーション	5 伝統芸能・伝統工芸
3 景観	
【供給サービス】	
6 農産物	9 淡水（取水）
7 特用林産物（きのこ・山菜等）	10 木材
8 水産物	11 原材料（竹材・養蚕等）
【調整サービス】	
12 土壌の調整	15 大気の調整
13 災害の緩和	16 水の調整
14 気候の調整	17 花粉媒介や病虫害抑制

34
35

問 51 あなたの地域では、生物多様性地域戦略の今後の実施や改定に向けて、下に挙げる種類の知見や情報を必要としていますか。（それぞれに○は1つ）

知見や情報の種類	そう思う	ある程度 そう思う	ない どちらでも	あまり 思わない	そう 思わない
生き物や生態系の状況 ：動物・植物や生態系の状況、希少種（レッドリストなど）、重要な地域や種など（自然公園、天然記念物、文化財、日本の重要湿地 500、ふるさと生きものの里 100 選など）	1	2	3	4	5
自然の恩恵（生態系サービス） ：食料、燃料、木材、繊維、薬、水など私たちの生活に必要な資源の供給（供給サービス）、森林による気候の緩和や風水害の抑制、水や空気の浄化といった環境を調節する作用（調整サービス）、地域の信仰や文化と関係の深い生き物や生態系、美しい景観、レクリエーションの場など（文化サービス）	1	2	3	4	5
生物多様性が損なわれる原因 ：開発などの人間活動の影響（第 1 の危機）、里山の利用など自然に対する働きかけの縮小（第 2 の危機）、ゴミや化学物質、外来種など人間により持ち込まれたものによる影響（第 3 の危機）、地球温暖化や海洋酸性化などの影響（第 4 の危機）	1	2	3	4	5
社会・経済状況 地域の人口統計・推計	1	2	3	4	5
地域の産業統計・推計（農林水産統計、経済白書、食料・農業・農村白書、水産白書、観光白書など）	1	2	3	4	5
その他 （その他、生物多様性地域戦略の今後の実施や改定に向けて、特に重要と思われる知見や情報がありましたらご記入ください）					

36
37
38
39
40
41

【セクション4】

問 52 問 51 にお答えいただいた知見や情報について、現状に関するものだけでなく、特定の施策の導入や今後の社会経済や自然環境（気候など）の変化など、将来的な変化の予測が可能であれば、そのような予測結果は今後の生物多様性地域戦略の実施や改定に有用であると思いますか。

（○は1つ）

1	そう思う	4	あまりそう思わない
2	ある程度そう思う	5	そう思わない
3	どちらでもない		

④②

問 53 生物多様性地域戦略の策定、実施や今後の改定に求められる知見や情報の入手や活用を進める上での課題は何ですか。

以下の1)～8)それぞれの項目に対して、それぞれ「そう思う」～「そう思わない」の中から

1つを選んで○をお付けください。

（それぞれに○は1つ）

そ う 思 う	あ る 程 度 そ う 思 う	ど ち ら で も な い	あ ま り そ う 思 わ な い	そ う 思 わ な い
------------------	--------------------------------------	---------------------------------	---	----------------------------

- 1) 必要な知見や情報が不足している ----- → 1 ---- 2 ---- 3 ---- 4 ---- 5 ④③
- 2) 必要な知見や情報がどこにあるかわからない ----- → 1 ---- 2 ---- 3 ---- 4 ---- 5 ④④
- 3) 関連する知見や情報はあるが、内容が十分に理解できない → 1 ---- 2 ---- 3 ---- 4 ---- 5 ④⑤
- 4) 関連する知見や情報はあるが、偏りがある ----- → 1 ---- 2 ---- 3 ---- 4 ---- 5 ④⑥
- 5) 関連する知見や情報はあるが、信頼性や確実性が十分でない → 1 ---- 2 ---- 3 ---- 4 ---- 5 ④⑦
- 6) 関連する知見や情報はあるが、
生物多様性地域戦略への活用方法がわからない ----- → 1 ---- 2 ---- 3 ---- 4 ---- 5 ④⑧
- 7) 生物多様性地域戦略担当部局の人材が不足している ----- → 1 ---- 2 ---- 3 ---- 4 ---- 5 ④⑨
- 8) 必要な知見や情報をもつ有識者との協力や連携が不足している → 1 ---- 2 ---- 3 ---- 4 ---- 5 ⑤⑩
- 9) その他（その他に特筆すべき課題などがありましたら、以下に具体的にご記入ください）

--

⑤①

【セクション4】

問 54 生物多様性地域戦略の策定にもとづいて実際に進めている取組は、
次にあげるどの生態系サービスと関連があると考えますか。
あてはまるものすべてに○をお付けください。 (○はいくつでも)

【文化的サービス】	
1 教育	4 宗教・祭り
2 観光・レクリエーション	5 伝統芸能・伝統工芸
3 景観	
【供給サービス】	
6 農産物	9 淡水（取水）
7 特用林産物（きのこ・山菜等）	10 木材
8 水産物	11 原材料（竹材・養蚕等）
【調整サービス】	
12 土壌の調整	15 大気の調整
13 災害の緩和	16 水の調整
14 気候の調整	17 花粉媒介や病虫害抑制

52
53

問 55 生物多様性地域戦略が策定されたことで、生物多様性保全や生態系管理に関する新規団体の設立、
および、生物多様性地域戦略で取り上げた取組への既存団体の新たな参加はありましたか。
あてはまるものすべてに○をお付けください。 (○はいくつでも)
また、いずれかがあった場合には、それぞれの団体数もご記入ください。 (数字を記入)

1 新規団体の設立があった	→	団体数		
2 既存団体の新たな参加があった	→	団体数		
3 いずれもなかった				

54
55 56
57 58

【セクション 4】

問 56 生物多様性地域戦略で扱っている取組において、世代を超えて受け継がれる自然管理の知恵や技術および自然資源の利用方法を活用していますか。活用している方法を取組の説明の中で記載していても構いません。活用しているものすべてに○をお付けください。（○はいくつでも）

1	伝統的な作物の栽培	
2	伝統的な水田の形態（棚田、縁田など）	
3	伝統的な肥料（干鰯、落ち葉、緑肥、水草など）	
4	伝統的な防虫剤（鯨油など）	
5	伝統的な炭焼き	
6	伝統的な草地管理（野焼き、入会地の刈取りなど）	
7	伝統的な漁法 （居繰り網漁、アバ漁、エリ漁、オイサデ漁、モンドリ漁、柴漬け漁など）	⑤⑥
8	森づくり、森林伐採、丸太の搬出などにおける伝統的な技術や技法 （三角植栽法、あがりこ、台切り、馬搬など）	
9	伝統的な狩猟（マタギなど）	
10	茅や稲わらで葺いた屋根	
11	自然素材を用いたカゴ、蓑、うちわ、和紙、寄木細工など	
12	伝統的な祭礼用のための、自然素材の利用（盆花、祭具、装具など）	
13	活用していない	
14	その他（以下に具体的にご記入ください）	

【活用していないと回答された（問 56 で 13 と回答された）方にお聞きます。】

問 56-1 世代を超えて受け継がれる自然管理の知恵や技術および自然資源の利用方法が生物多様性地域戦略の取組に活用されていない理由を教えてください。（○は 1 つ）

1	それらの情報がなかった	
2	それらの情報はあったが、十分に集められなかった	
3	それらの情報を集めたものの、整理することができなかった	⑥①
4	それらの情報をどのように生物多様性地域戦略に取り入れたら良いかわからなかった	
5	その他（具体的に）	

問 57 世代を超えて受け継がれる自然管理の知恵や技術および自然資源の利用方法を、生物多様性地域戦略の推進に取り入れることについて、あなたのお考えに最も近いものを選んでください。（○は 1 つ）

1	とても必要である	4	あまり必要でない	
2	ある程度必要である	5	まったく必要でない	⑥②
3	どちらともいえない			

【セクション４】

問 58 生物多様性地域戦略で扱っている取組において、問 56 でお答えいただいた世代を超えて

受け継がれる自然管理の知恵や技術および自然資源の利用方法の他に、地域に特有の

自然管理の知恵や技術および自然資源の利用方法（現代的なもの、科学に基づくもので、他の地域ではあまり見られないもの）を活用していますか。

活用している方法を取組の説明の中で記載していなくても構いません。

活用しているものすべてに○をお付けください。

（○はいくつでも）

- 1 地域独自の農産物認証制度にのっとった農業
- 2 地域独自の森林認証制度にのっとった林業
- 3 地域独自の漁業認証制度にのっとった漁業
- 4 減農薬・無農薬栽培における地域独自のノウハウ
- 5 コリドーやビオトープの設置における地域独自のノウハウ
- 6 シカ、エゾシカ、イノシシなどのジビエにおける地域独自のノウハウ
- 7 獣害対策における地域独自のノウハウ（サルバスター、マングースバスターなど）
- 8 モニタリングに基づいた里山やため池の管理
- 9 活用していない
- 10 その他（以下に具体的にご記入ください）

⑥3

【活用していないと回答された（問 58 で 9 と回答された）方にお聞きします。】

問 58- 1 地域に特有の自然管理の知恵や技術および自然資源の利用方法が生物多様性地域戦略の取組に活用されていない理由を教えてください。

（○は 1 つ）

- 1 それらの情報がなかった
- 2 それらの情報はあったが、十分に集められなかった
- 3 それらの情報を集めたものの、整理することができなかった
- 4 それらの情報をどのように生物多様性地域戦略に取り入れたら良いかわからなかった
- 5 その他（具体的に

⑥4

問 59 地域に特有の自然管理の知恵や技術および自然資源の利用方法を、生物多様性地域戦略の推進に取り入れることについて、あなたのお考えに最も近いものを選んでください。

（○は 1 つ）

- | | |
|-------------|-------------|
| 1 とても必要である | 4 あまり必要でない |
| 2 ある程度必要である | 5 まったく必要でない |
| 3 どちらともいえない | |

⑥5

【セクション4】

問 60 生物多様性地域戦略に基づいて現在行われている地域の活動（生態系管理や自然再生など）のうち、あなたが重要と思う活動を3つまであげて、概要と場所を教えてください。（自由回答）

1	活動内容（概要）： 場所：	66
2	活動内容（概要）： 場所：	67
3	活動内容（概要）： 場所：	68

質問は以上となります。
たくさんの質問にお答えいただき、ご協力ありがとうございました。

調査票 生物多様性地域戦略策定委員会委員編

(0652 号)

生物多様性地域戦略に関する自治体全国調査
(生物多様性地域戦略策定委員会委員向け)

①～⑤

⑩＝1

ご回答にあたってのお願い

お忙しい中、アンケートにご協力いただき、ありがとうございます。

本調査では、生物多様性地域戦略の策定の経緯や内容、取組についてお伺いしています。

【セクション1】では、策定された生物多様性地域戦略について伺います。(10問)

【セクション2】では、生物多様性地域戦略に基づいた取組について伺います。(13問)

ご回答にあたっては、特に調べ物はせず、ご自身の見解をお答えいただいて構いません。

後日、全体の集計結果を自治体に郵送いたします。集計結果から市区町村が特定されることはありません。また、それぞれの生物多様性地域戦略をランク付けすることもあります。収集したデータは統計的に処理され、論文・報告書の作成に利用いたします。

ご回答いただいた調査票は、同封の返信用封筒（宛名印字・切手貼付け済）に入れて、自治体の生物多様性地域戦略担当部局担当者様にご返送ください。

ご記入は黒の鉛筆、ボールペンなどをお願いいたします。

お答えは、当てはまる回答についている数字に○で囲んでいただく場合と、カッコや四角の中に具体的に記入していただく場合とがあります。

なお、1, 2, 3, 4などの選択肢の番号や、欄外の⑬⑭などの記号、カードNo.は、コンピュータで処理するときの記号です。お気になさらずにお答えください。

(○は1つ)と表示されている質問では、○は1つだけに絞ってお答えください。

1～2週間でご回答の上、市区町村の担当部局にご返送ください。

<このアンケートに関するお問い合わせ先>

東京大学総合文化研究科広域システム科学系

准教授 吉田丈人

特任研究員 小川みふゆ

〒153-8903 東京都目黒区駒場 3-8-1

Tel & Fax: 03-5454-6645 E-mail: toiawase@pances.net

策定に関わった 自治体名		ご所属	
-----------------	--	-----	--

⑪
⑫

【セクション１】策定された生物多様性地域戦略について伺います。（10問）

問１ あなたは、市町村による生物多様性保全活動の意義・必要性、についてどのように考えていますか。ご自身の個人的な見解をお答えください。

（○は１つ）

- | | |
|----------------|-------------------|
| 1 強い意義・必要性を感じる | 4 あまり意義・必要性を感じない |
| 2 意義・必要性を感じる | 5 まったく意義・必要性を感じない |
| 3 どちらでもない | |

⑬

問２ あなたは、生物多様性の保全に関連する取り組みは、他の政策領域と比較した場合に、予算・人員の配分などにおいて、優先順位の高い政策領域だと思いますか。

ご自身の個人的な見解としてお答えください。

（○は１つ）

- | |
|----------------------|
| 1 優先順位の非常に高い政策領域だと思う |
| 2 優先順位の高い政策領域だと思う |
| 3 どちらでもない |
| 4 優先順位の低い政策領域だと思う |
| 5 優先順位の非常に低い政策領域だと思う |

⑭

問３ 策定に関わった自治体の生物多様性戦略では、次にあげるどの生態系サービスを重要視していると考えますか。わかる範囲でお答えください。

あてはまるものすべてに○をお付けください。

（○はいくつでも）

【文化的サービス】

- | | |
|---------------|-------------|
| 1 教育 | 4 宗教・祭り |
| 2 観光・レクリエーション | 5 伝統芸能・伝統工芸 |
| 3 景観 | |

【供給サービス】

- | | |
|------------------|----------------|
| 6 農産物 | 9 淡水（取水） |
| 7 特用林産物（きのこ・山菜等） | 10 木材 |
| 8 水産物 | 11 原材料（竹材・養蚕等） |

【調整サービス】

- | | |
|----------|---------------|
| 12 土壌の調整 | 15 大気の調整 |
| 13 災害の緩和 | 16 水の調整 |
| 14 気候の調整 | 17 花粉媒介や病虫害抑制 |

⑮

⑯

問4 生物多様性地域戦略の記載内容に対して、大きな影響力のあった人や団体はどれですか。あてはまるものすべてに○をお付けください。（○はいくつでも）
（※公式／非公式を問わず、戦略の方向性を決定付けた人、策定に際して意向に配慮した人、策定段階の戦略案の重要な箇所を修正した人、などを念頭に○をお付けください。）

1 首長	13 環境団体	⑰ ⑱ ⑲
2 担当部局	14 福祉団体	
3 財務担当部局	15 農林水産業団体	
4 環境省	16 教育団体	
5 環境省以外の中央省庁	17 企業	
6 都道府県	18 外郭団体・第3セクター	
7 他の市区町村	19 大学・研究機関	
8 市区町村議会議員	20 学者・技術者等の専門家	
9 都道府県議会議員	21 1～20に該当しないNPO・市民団体	
10 地元選出国会議員	22 一般市民（未成年）	
11 自治会・町内会	23 1～21に該当しない一般市民（成年）	
12 経済・商工団体	24 その他（具体的に	

問5 策定に関わった地域には、生物多様性地域戦略の策定に際して、下に挙げる種類の知見や情報が十分にありましたか。（それぞれに○は1つ）

知見や情報の種類		そう思う	ある程度思う	どちらでもない	あまりそう思わない	そう思わない	
生き物や生態系の状況： 動物・植物や生態系の状況、希少種（レッドリストなど）、重要な地域や種など（自然公園、天然記念物、文化財、日本の重要湿地500、ふるさと生きものの里100選など）		1	2	3	4	5	⑳
自然の恩恵（生態系サービス）： 食料、燃料、木材、繊維、薬、水など私たちの生活に必要な資源の供給（供給サービス）、森林による気候の緩和や風水害の抑制、水や空気の浄化といった環境を調節する作用（調整サービス）、地域の信仰や文化と関係の深い生き物や生態系、美しい景観、レクリエーションの場など（文化サービス）		1	2	3	4	5	㉑
生物多様性が損なわれる原因： 開発などの人間活動の影響（第1の危機）、里山の利用など自然に対する働きかけの縮小（第2の危機）、ゴミや化学物質、外来種など人間により持ち込まれたものによる影響（第3の危機）、地球温暖化や海洋酸性化などの影響（第4の危機）		1	2	3	4	5	㉒
社会・経済状況	地域の人口統計・推計	1	2	3	4	5	㉓
	地域の産業統計・推計 （農林水産統計、経済白書、食料・農業・農村白書、水産白書、観光白書など）	1	2	3	4	5	㉔

問 6 策定に関わった地域の生物多様性地域戦略の策定に、下に挙げる種類の知見や情報が十分に活用されましたか。(それぞれに○は1つ)

知見や情報の種類		そう 思う	ある 程度 思う	ない どちら でも	あまり そう 思わ ない	そう 思わ ない	
生き物や生態系の状況： 動物・植物や生態系の状況、希少種（レッドリストなど）、重要な地域や種など（自然公園、天然記念物、文化財、日本の重要湿地 500、ふるさと生きものの里 100 選など）		1	2	3	4	5	②⑤
自然の恩恵（生態系サービス）： 食料、燃料、木材、繊維、薬、水など私たちの生活に必要な資源の供給（供給サービス）、森林による気候の緩和や風水害の抑制、水や空気の浄化といった環境を調節する作用（調整サービス）、地域の信仰や文化と関係の深い生き物や生態系、美しい景観、レクリエーションの場など（文化サービス）		1	2	3	4	5	②⑥
生物多様性が損なわれる原因： 開発などの人間活動の影響（第 1 の危機）、里山の利用など自然に対する働きかけの縮小（第 2 の危機）、ゴミや化学物質、外来種など人間により持ち込まれたものによる影響（第 3 の危機）、地球温暖化や海洋酸性化などの影響（第 4 の危機）		1	2	3	4	5	②⑦
社会・経済状況	地域の人口統計・推計	1	2	3	4	5	②⑧
	地域の産業統計・推計 （農林水産統計、経済白書、食料・農業・農村白書、水産白書、観光白書など）	1	2	3	4	5	②⑨
その他	（その他、生物多様性地域戦略の策定に役立った重要な知見や情報がありましたらご記入ください）						③⑩

問7 問6にお答えいただいた知見や情報の入手方法や、生物多様性地域戦略の策定にこれらが活用されたきっかけは何でしたか。次に挙げるものについて、知見や情報を生物多様性地域戦略に活用する上でどの程度重要であったかをお答えください。
実施していない、またはあてはまらないものには6に○をお付けください。

(それぞれに○は1つ)

		重要	ある程度重要	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない	実施していない、あてはまらない	
担当部局の取組	策定担当者のデスクワーク (インターネットや図書館蔵書の検索など)	1	2	3	4	5	6	③①
	策定担当者の個人的なネットワーキング (有識者との直接連絡、学会参加など)	1	2	3	4	5	6	③②
	コンサルタント等への外部委託	1	2	3	4	5	6	③③
参加型の取組	生物多様性地域戦略策定に向けた検討委員会や策定部会など	1	2	3	4	5	6	③④
	関連分野の勉強会やワークショップなど (関係する別の施策に係るものを含む)	1	2	3	4	5	6	③⑤
	地域の情報・活動拠点の整備	1	2	3	4	5	6	③⑥
外部との連携	国または都道府県からの情報提供	1	2	3	4	5	6	③⑦
	大学・博物館などの教育・研究機関との連携	1	2	3	4	5	6	③⑧
	共通の課題に取り組む他の市町村や都道府県を含む広域ネットワークへの参加	1	2	3	4	5	6	③⑨
知見・情報を充実させるための取組	市民アンケートの実施	1	2	3	4	5	6	④⑩
	独自調査やモデル事業などの実施	1	2	3	4	5	6	④⑪
知見・情報を使い手に伝えるための取組	関係する調査や研究の結果を概説する広報資料やウェブページ、ニュースレターなど	1	2	3	4	5	6	④⑫
	リスト化やデータベース整備など (例えば地域の希少種リストやGISデータベースなど)	1	2	3	4	5	6	④⑬
知見・情報の精査	パブコメや有識者による生物多様性地域戦略文書(案)へのコメント	1	2	3	4	5	6	④⑭
その他	(その他特に重要な取組や方法がありましたらご記入ください)							④⑮

問 8 策定に関わった地域では、生物多様性地域戦略の今後の実施や改定に向けて、
下に挙げる種類の知見や情報を必要としていますか。

(それぞれに○は1つ)

知見や情報の種類		そう 思う	ある 程度 そう 思う	ない どちら でも	あまり そう 思わ ない	そう 思わ ない	
生き物や生態系の状況： 動物・植物や生態系の状況、希少種（レッドリストなど）、重要な地域や種など（自然公園、天然記念物、文化財、日本の重要湿地 500、ふるさと生きものの里 100 選など）		1	2	3	4	5	④⑥
自然の恩恵（生態系サービス）： 食料、燃料、木材、繊維、薬、水など私たちの生活に必要な資源の供給（供給サービス）、森林による気候の緩和や風水害の抑制、水や空気の浄化といった環境を調節する作用（調整サービス）、地域の信仰や文化と関係の深い生き物や生態系、美しい景観、レクリエーションの場など（文化サービス）		1	2	3	4	5	④⑦
生物多様性が損なわれる原因： 開発などの人間活動の影響（第 1 の危機）、里山の利用など自然に対する働きかけの縮小（第 2 の危機）、ゴミや化学物質、外来種など人間により持ち込まれたものによる影響（第 3 の危機）、地球温暖化や海洋酸性化などの影響（第 4 の危機）		1	2	3	4	5	④⑧
	地域の人口統計・推計	1	2	3	4	5	④⑨
社会・経済状況	地域の産業統計・推計 (農林水産統計、経済白書、食料・農業・農村白書、水産白書、観光白書など)	1	2	3	4	5	⑤⑩
	(その他、生物多様性地域戦略の今後の実施や改定に向けて、特に重要と思われる知見や情報がありましたらご記入ください)						⑤⑪
その他							

問 9 問 8 にお答えいただいた知見や情報について、現状に関するものだけでなく、特定の施策の導入や今後の社会経済や自然環境（気候など）の変化など、将来的な変化の予測が可能であれば、そのような予測結果は今後の生物多様性地域戦略の実施や改定に有用であると思いますか。

(○は1つ)

1	そう思う	4	あまりそう思わない	⑤⑫
2	ある程度そう思う	5	そう思わない	
3	どちらでもない			

問10 生物多様性地域戦略の策定、実施や今後の改定に求められる知見や情報の入手や活用を進める上での課題は何ですか。

以下の1)～8)それぞれの項目に対して、それぞれ「そう思う」～「そう思わない」の中から1つを選んで○を付けてください。

(それぞれに○は1つ)

そ う 思 う	あ る 程 度 そ う 思 う	ど ち ら で も な い	あ ま り そ う 思 わ な い	そ う 思 わ な い
------------------	--------------------------------------	---------------------------------	---	----------------------------

- 1) 必要な知見や情報が不足している ----- → 1 --- 2 ---- 3 --- 4 --- 5 ⑤③
- 2) 必要な知見や情報がどこにあるかわからない ---- → 1 --- 2 ---- 3 --- 4 --- 5 ⑤④
- 3) 関連する知見や情報はあるが、内容が十分に理解できない -- → 1 --- 2 ---- 3 --- 4 --- 5 ⑤⑤
- 4) 関連する知見や情報はあるが、偏りがある ----- → 1 --- 2 ---- 3 --- 4 --- 5 ⑤⑥
- 5) 関連する知見や情報はあるが、信頼性や確実性が十分でない -- → 1 --- 2 ---- 3 --- 4 --- 5 ⑤⑦
- 6) 関連する知見や情報はあるが、
生物多様性地域戦略への活用方法がわからない -- → 1 --- 2 ---- 3 --- 4 --- 5 ⑤⑧
- 7) 生物多様性地域戦略担当部局の人材が不足している -- → 1 --- 2 ---- 3 --- 4 --- 5 ⑤⑨
- 8) 必要な知見や情報をもつ有識者との協力や連携が不足している -- → 1 --- 2 ---- 3 --- 4 --- 5 ⑥⑩
- 9) その他（その他に課題がありましたら、以下に具体的にご記入ください）

--

⑥⑪

【セクション2】生物多様性地域戦略に基づいた取組について伺います。（13問）

問 11 策定に関わった自治体の生物多様性地域戦略には、地域にとって重要な自然（種・環境・活動拠点）のすべてを新規や既存の取組の強化として取り上げられたと思いますか。あなたの考えをお聞かせください。（○は1つ）

- | | | |
|-------------|------------------|----|
| 1 すべて取り上げた | 4 あまり取り上げられなかった | ⑥2 |
| 2 ある程度取り上げた | 5 まったく取り上げられなかった | |
| 3 どちらでもない | | |

問 12 生物策定に関わった自治体では、生物多様性地域戦略を推進する体制が機能していますか。以下の1)～3)それぞれの項目に対して、それぞれ「そう思う」～「そう思わない」の中から1つを選んで○を付けてください。（それぞれに○は1つ）

そ う 思 う	そ あ う る 思 程 う 度	な ど ち ら で い も	思 あ ま り な そ う	思 そ わ な い
------------------	--------------------------------------	---------------------------------	---------------------------------	-----------------------

- 1) さまざまな主体の参加・連携を図る会議体が組織されている → 1 --- 2 --- 3 --- 4 --- 5 ⑥3
- 2) 研究者や地域ボランティア等による調査・解析が機能している → 1 --- 2 --- 3 --- 4 --- 5 ⑥4
- 3) 地域にある博物館やビジターセンター等が人材育成の場として機能している → 1 --- 2 --- 3 --- 4 --- 5 ⑥5
- 4) その他（その他にありましたら、以下に具体的にご記入ください）

	⑥6
--	----

問 13 生物多様性地域戦略に基づく取組の実施に際して、重要な役割を担っている人や団体はどれですか。あてはまるものすべてに○をお付けください。（○はいくつでも）

- | | | |
|--------------|------------------------|----------------|
| 1 首長 | 13 環境団体 | ⑥7
⑥8
⑥9 |
| 2 担当部局 | 14 福祉団体 | |
| 3 財務担当部局 | 15 農林水産業団体 | |
| 4 環境省 | 16 教育団体 | |
| 5 環境省以外の中央省庁 | 17 企業 | |
| 6 都道府県 | 18 外郭団体・第3セクター | |
| 7 他の市区町村 | 19 大学・研究機関 | |
| 8 市区町村議会議員 | 20 学者・技術者等の専門家 | |
| 9 都道府県議会議員 | 21 1～20 に該当しないNPO・市民団体 | |
| 10 地元選出国会議員 | 22 一般市民（未成年） | |
| 11 自治会・町内会 | 23 1～21 に該当しない一般市民（成年） | |
| 12 経済・商工団体 | 24 その他（具体的に | |

問 14 策定に関わった自治体では、生物多様性地域戦略に基づいた活動として、実際にどのような取組を実施していますか。わかる範囲でお答えください。

あてはまるものすべてに○をお付けください。

(○はいくつでも)

- 1 調査・研究（例：生物の生息状況、生態系、植生、自然環境の調査）
- 2 情報整理・公表（例：データベース、目録等の作成）
- 3 計画・指針等の策定
（例：環境基本計画、緑の基本計画、環境・生態系に関する構想・指針）
- 4 生物の保護活動
- 5 外来生物の防除
- 6 保護・保全対象地区の指定
- 7 生物多様性の保全に関連する施設（自然観察園、公園、ビオトープ）
の整備・運営
- 8 インフラ整備（道路・河川・水路等）の際の生態系への配慮施策の実施 ㉚
- 9 環境保全型農業（有機・無農薬・減農薬農法等）の導入 ㉛
- 10 教育・普及・啓発
（例：ガイドブック等の作成、ワークショップ開催、環境教育活動、自然観察会）
- 11 防災・減災施策における生態系の活用（例：防災林、防潮林）
- 12 生物・環境保全目的の基金、生物多様性の保全と関連する取組を用途に
含むふるさと納税
- 13 生物多様性の保全に関する拠点の設置
- 14 地域ブランド／都市イメージへの生物多様性の活用
- 15 地産品の販売戦略における生物多様性の活動
- 16 特にない
- 17 その他（以下に具体的にご記入ください）

問 15 生物多様性地域戦略に基づいて実際に進めている取組は、次にあげる
どの生態系サービスと関連があると考えますか。わかる範囲でお答えください。
あてはまるものすべてに○をお付けください。 (○はいくつでも)

【文化的サービス】	
1 教育	4 宗教・祭り
2 観光・レクリエーション	5 伝統芸能・伝統工芸
3 景観	
【供給サービス】	
6 農産物	9 淡水（取水）
7 特用林産物（きのこ・山菜等）	10 木材
8 水産物	11 原材料（竹材・養蚕等）
【調整サービス】	
12 土壌の調整	15 大気の調整
13 災害の緩和	16 水の調整
14 気候の調整	17 花粉媒介や病害虫抑制

⑫
⑬

問 16 生物多様性地域戦略の策定により期待される効果に関する次の意見に対し
どのようにお考えですか。

以下の 1) ～13) それぞれの項目に対して、それぞれ「そう思う」～「そう思わない」の
中から 1 つを選んで○を付けてください。
(それぞれに○は 1 つ)

⑩ = 2

そ う 思 う	あ る 程 度 そ う 思 う	ど ち ら で も な い	あ ま り そ う 思 わ な い	そ う 思 わ な い
------------------	--------------------------------------	---------------------------------	---	----------------------------

- 1) 生物多様性の保全に関連する取組を体系化できる → 1 --- 2 --- 3 --- 4 --- 5 ⑪
- 2) 生物多様性の保全が進展する → 1 --- 2 --- 3 --- 4 --- 5 ⑫
- 3) 市区町村・地域ブランドの創造・向上につながる → 1 --- 2 --- 3 --- 4 --- 5 ⑬
- 4) 農林水産業の振興・所得向上につながる → 1 --- 2 --- 3 --- 4 --- 5 ⑭
- 5) エコツアー等による観光の振興につながる → 1 --- 2 --- 3 --- 4 --- 5 ⑮
- 6) 環境共生・配慮技術の開発・導入が進展する → 1 --- 2 --- 3 --- 4 --- 5 ⑯
- 7) 地球温暖化の防止策となる → 1 --- 2 --- 3 --- 4 --- 5 ⑰
- 8) 地域コミュニティの再生につながる → 1 --- 2 --- 3 --- 4 --- 5 ⑱
- 9) 学校における環境教育が進展する → 1 --- 2 --- 3 --- 4 --- 5 ⑲
- 10) 市区町村外も含む関係者間のネットワークを形成できる → 1 --- 2 --- 3 --- 4 --- 5 ⑳
- 11) 市民などからの信頼が向上する → 1 --- 2 --- 3 --- 4 --- 5 ㉑
- 12) 庁内の連携が図られる → 1 --- 2 --- 3 --- 4 --- 5 ㉒
- 13) 生物多様性に関連する取組の予算獲得・維持の後押しとなる → 1 --- 2 --- 3 --- 4 --- 5 ㉓
- 14) その他（その他に期待される効果がありましたら、以下に具体的にご記入ください）

㉔

問 17 生物多様性地域戦略で扱っている取組において、世代を超えて受け継がれる

自然管理の知恵や技術および自然資源の利用方法を活用していますか。

活用している方法を取組の説明の中で記載していなくても構いません。

活用しているものすべてに○をお付けください。

(○はいくつでも)

- 1 伝統的な作物の栽培
- 2 伝統的な水田の形態（棚田、縁田など）
- 3 伝統的な肥料（干鰯、落ち葉、緑肥、水草など）
- 4 伝統的な防虫剤（鯨油など）
- 5 伝統的な炭焼き
- 6 伝統的な草地管理（野焼き、入会地の刈取りなど）
- 7 伝統的な漁法
(居繰り網漁、アバ漁、エリ漁、オイサデ漁、モンドリ漁、柴漬け漁など)
- 8 森づくり、森林伐採、丸太の搬出などにおける伝統的な技術や技法
(三角植栽法、あがりこ、台切り、馬搬など)
- 9 伝統的な狩猟（マタギなど）
- 10 茅や稲わらで葺いた屋根
- 11 自然素材を用いたカゴ、蓑、うちわ、和紙、寄木細工など
- 12 伝統的な祭礼用のための、自然素材の利用（盆花、祭具、装具など）
- 13 活用していない
- 14 その他（以下に具体的にご記入ください）

②5

②6

【活用していないと回答された（問 17 で 13 と回答された）方にお聞きします。】

問 17-1 世代を超えて受け継がれる自然管理の知恵や技術および自然資源の利用方法が生物多様性地域戦略の取組に活用されていない理由を教えてください。(○は1つ)

- 1 それらの情報がなかった
- 2 それらの情報はあったが、十分に集められなかった
- 3 それらの情報を集めたものの、整理することができなかった
- 4 それらの情報をどのように生物多様性地域戦略に取り入れたら良いかわからなかった
- 5 その他（具体的に

②7

問 18 世代を超えて受け継がれる 自然管理の知恵や技術および自然資源の利用方法を、生物多様性地域戦略の推進に取り入れることについて、あなたのお考えに最も近いものを選んでください。 (○は1つ)

- | | |
|-------------|-------------|
| 1 とても必要である | 4 あまり必要でない |
| 2 ある程度必要である | 5 まったく必要でない |
| 3 どちらでもない | |

②8

問 19 生物多様性地域戦略で扱っている取組において、問 17 でお答えいただいた世代を超えて受け継がれる自然管理の知恵や技術および自然資源の利用方法の他に、地域に特有の自然管理の知恵や技術および自然資源の利用方法（現代的なもの、科学に基づくもので、他の地域ではあまり見られないもの）を活用していますか。活用している方法を取組の説明の中で記載していなくても構いません。活用しているものすべてに○をお付けください。 (○はいくつでも)

- | | |
|---|--|
| 1 地域独自の農産物認証制度にのっとりた農業 | |
| 2 地域独自の森林認証制度にのっとりた林業 | |
| 3 地域独自の漁業認証制度にのっとりた漁業 | |
| 4 減農薬・無農薬栽培における地域独自のノウハウ | |
| 5 コリドーやビオトープの設置における地域独自のノウハウ | |
| 6 シカ、エゾシカ、イノシシなどのジビエにおける地域独自のノウハウ | |
| 7 獣害対策における地域独自のノウハウ（サルバスター、マングースバスターなど） | |
| 8 モニタリングに基づいた里山やため池の管理 | |
| 9 活用していない | |
| 10 その他（以下に具体的にご記入ください） | |

②9

【活用していないと回答された（問 19 で 9 と回答された）方にお聞きします。】

問 19-2 地域に特有の自然管理の知恵や技術および自然資源の利用方法が生物多様性地域戦略の取組に活用されていない理由を教えてください。 (○は1つ)

- | | |
|--|---|
| 1 それらの情報がなかった | |
| 2 それらの情報はあったが、十分に集められなかった | |
| 3 それらの情報を集めたものの、整理することができなかった | |
| 4 それらの情報をどのように生物多様性地域戦略に取り入れたら良いかわからなかった | |
| 5 その他（具体的に | ） |

③0

問 20 地域に特有の自然管理の知恵や技術および自然資源の利用方法を
生物多様性地域戦略の推進に取り入れることについて、あなたのお考えに
最もあてはまるものを選んでください。

(○は1つ)

- | | |
|-------------|-------------|
| 1 とても必要である | 4 あまり必要でない |
| 2 ある程度必要である | 5 まったく必要でない |
| 3 どちらでもない | |

③①

問 21 策定に関わった自治体では、生物多様性地域戦略を策定することで
住民の生物多様性に関する意識が変わりましたか。

(○は1つ)

- | | |
|-------------------|---------------------|
| 1 住民の意識はとて大きく変化した | 4 住民の意識は少し変化した |
| 2 住民の意識は大きく変化した | 5 住民の意識はまったく変わらなかった |
| 3 住民の意識はある程度変化した | |

③②

問 22 地域の社会、経済、くらしに生物多様性地域戦略が役立っていると思いますか。

(○は1つ)

- | | |
|--------------|------------|
| 1 極めて役立っている | 4 少し役立っている |
| 2 大変役立っている | 5 役立っていない |
| 3 ある程度役立っている | |

③③

問 23 生物多様性地域戦略に基づいて現在行われている地域の活動（生態系管理や自然再生など）のうち、あなたが重要と思う活動を3つまであげて、概要と場所を教えてください。（自由記述）

1	活動内容（概要）： 場所：	③4
2	活動内容（概要）： 場所：	③5
3	活動内容（概要）： 場所：	③6

こちらからご連絡を差し上げて良い場合にはご記入ください。

お名前（任意）				③7
電話番号 （任意）		メールアドレス （任意）		③8 ③9

ご協力いただき、ありがとうございました。

